

1590迄 (2237件)

- 1581年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「サイフル・リジャル」
- 1581年-08:00|インドネシア| |||<即位>ハカン・スルタン「Alauddin1世」(~1609年)
- 1581年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「シャー・ベルナイ」(~1582年死去)
- 1581年-08:00|フィリピン| |||マニラに最初の中国人街ができる
- 1581年-05:30|スリランカ| |||<死去>シタワカ王国国王「マドゥンネ」
- 1581年-05:30|スリランカ| |||<即位>シタワカ王国国王「ラジャシンハ1世」(~1593年死去)
- 1581年-04:00|ロシア| |||コサックの首領エルマークがウラル山脈をこえシベリアへ東進
- 1581年-04:00|ロシア/スウェーデン| |||スウェーデンがナルヴァ(エストニア)、ウァンゴロト、ヤマ(現在のキンギセップ)、コホリエ(カプリオ)を占領(~1590年、ナルヴァを除きロシアが奪還)
- 1581年-04:00|オスマン/トルコ| |||マスカットがオスマン帝国に占領された(~1588年)
- 1581年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ベイルベイ「アフメト・ハシヤ」(~1582年)
- 1581年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ダマド・イセリヤリ・イブラヒム・ハシヤ」(~同年)⇒「ハムラムハシヤ」(~1582年)
- 1581年-01:00|ベルギー-| |||<就任>リエージュ公「ハイルンのアーネスト」(~16120217死去)
- 1581年-01:00|スペイン| |||<就任>リハゴルザ伯「Ferdinand」(~1592年)
- 1581年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「ステファン・ミクリッチ」(~1605年)
- 1581年-01:00|ポーランド| |||<退任>レグニツァ公「ヘンリー11世」
- 1581年-01:00|オランダ/スリナム| |||オランダ人がスリナムに入植
- 1581年-01:00|ドイツ/トルコ| |||ヒュスベックが回想録を著し、オスマントルコをヨーロッパに紹介
- 1581年-01:00|オランダ/スペイン| |||ブレダはスペイン領ネーデルラントによって管理(~1590年)
- 1581年 00:00|イギリス| |||<就任>初代オーケー伯「ロバート・スチュワート」(~15930204死去)
- 1581年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー-島管理人「Thomas Wigmore」(~1588年)
- 1581年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>マテウス総督「Joao Leitao」(1期目~1582年)
- 1581年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官代行「ペドロ・デ・アルセオ」(~1583年)
- 1581年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル市長「アロンソ・デ・ナバ」(~1586年)
- 1581年1月1日-09:00|日本|島根県出雲市|天正8年11月26日|出雲国杵築社できる
- 1581年1月5日-09:00|日本|鹿児島県|天正8年12月|<所領没収>大隅国「肝付兼護」島津氏の家臣となる⇒薩摩阿多10000石
- 1581年1月26日-01:00|ベルギー-/オランダ| |||<就任>ベルギー-対立総督「アンソニー・アランソン公フランス・イルキュール」オランジュ公(~7. 26)
- 1581年2月2日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正8年12月29日|左近衛門内方ら、三河国高井郷大明神宮の社殿を建立
- 1581年2月3日-09:00|日本|岡山県津山市|天正8年12月末|<祝山城合戦>宇喜多勢は美作祝山城を陥れて、美作の東半分を制圧
- 1581年2月4日-09:00|日本|兵庫県神戸市兵庫区|天正9年|池田恒興が、花隈城を破却して兵庫城を築く
- 1581年2月4日-08:00|中国| |||明・万暦9年|明がこの年から一条鞭法(銀納)を全国的に施行、銀需要が増大し大商人台頭
- 1581年2月10日-09:00|日本|愛媛県西予市|天正9年1月7日|宇和郡三滝城主北之川通安、長宗我部元親のために攻め滅ぼされる
- 1581年2月14日-09:00|日本|愛媛県西予市|天正9年1月11日|長宗我部元親の将西川近江守ら、西園寺公広の宇和郡黒瀬城を攻めて城を焼く
- 1581年2月19日-09:00|日本|大分県大分市|天正9年1月16日|大分に初神学校[コレ]が開校
- 1581年3月5日-09:00|日本|高知県高知市|天正9年2月|長曾我部元親、土佐大津城主「一条内政」を長宗我部氏家臣の波川清宗の謀叛に加わった嫌疑で伊予法華津に追放
- 1581年3月5日-09:00|日本|富山県富山市|天正9年2月|<拝領>越中富山54万石「佐々成政」(~天正13(1585)年8月26日降伏)
- 1581年3月5日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天正9年2月|北条城の北条輔広も上杉景勝に降伏し越後における景勝の領国支配体制の基盤が確立される
- 1581年3月5日-09:00|日本|福島県郡山市|天正9年2月|佐竹義重が再び出陣、御代田城攻撃に加わる
- 1581年3月8日-09:00|日本|山形県最上郡真室川町|天正9年2月4日|<鮭延城の戦い>出羽の鮭延城で最上家家臣の氏家守棟と鮭延城主の鮭延秀綱らが戦い氏家守棟が勝利
- 1581年3月10日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ウイラール・マイオール伯フェルナン・テレズ・デ・メネズ」(~9. 17)
- 1581年3月18日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正9年2月14日|<死去>備前岡山城主「宇喜多直家」53歳、岡山城で病没⇒「宇喜多秀家」が嗣ぐ(~慶長5(1600)年)
- 1581年3月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン=ラウエンブルク公「フランツ1世」
- 1581年3月19日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=ラウエンブルク公「フランツ2世」(~16190702死去)
- 1581年3月22日-09:00|日本|岡山県玉野市|天正9年2月18日|<麦飯山の戦い>信長の命による秀吉の中国攻めの最中秀吉の依頼を受けた宇喜多忠家が籠る麦飯山城を毛利方の穂井田元清が攻撃/内応者の手引きにより籠城を続けるのが困難だと悟った宇喜多忠家はやむなく麦飯山城から撤退
- 1581年3月25日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ティエゴ」(~15821121死去)アストリアス公
- 1581年3月25日-09:00|日本|岡山県玉野市|天正9年2月21日|<麦飯山の戦い>麦飯山城を奪回すべく 忠家嫡男の宇

1590迄 (2237件)

- 喜多基家が麦飯山城から東へ約一里にある八浜に押し寄せそこで大きな戦いに発展するが毛利軍の鉄砲隊による迎撃作戦が成功し毛利が宇喜多を撃退
- 1581年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「イ/フェツオ・ブランケイ」「ジ・オ・ト・ダ・イ・コ・デ・イ・マツテ・ハ・ルツイ」
- 1581年4月4日-09:00|日本|滋賀県|天正9年3月|<拝領>近江国坂田郡2万5000石「堀秀政」
- 1581年4月4日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正9年3月|三好康長が阿波岩倉城へ入り嫡男康俊を長宗我部氏から離反させ織田方へつかせた
- 1581年4月4日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正9年3月|<完成>黒田官兵衛の勧めで秀吉が姫路に3層の天守閣を築き、姫路城を拠点に中国地方の侵攻を行う
- 1581年4月9日-09:00|日本|富山県|天正9年3月6日|越中の反織田派国侍たちが上杉景勝を引き入れて一揆
- 1581年4月12日-09:00|日本|石川県白山市|天正9年3月9日|佐久間盛政、加賀・白山麓・二曲城を攻略し、加賀一揆を鎮圧
- 1581年4月12日-09:00|日本|富山県富山市|天正9年3月9日|<小出城の戦い>上杉景勝、佐々成政の越中国小出城を包囲
- 1581年4月14日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正9年3月11日|沼田平八郎景義が沼田城代藤田信吉・海野幸光勢を田北原で打ち破る
- 1581年4月17日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正9年3月14日|旧沼田城主・沼田平八郎景義が沼田奪回をはかって挙兵するが叔父金子泰清に城を明け渡すと沼田城内に引き入れられ殺された
- 1581年4月17日-09:00|日本|山梨県|天正9年3月14日|武田勝頼が佐竹義重を介して里見義頼と同盟を結ぶ
- 1581年4月20日-09:00|日本|熊本県|天正9年3月17日|阿蘇氏の御船城主甲斐宗運、城氏の隈本城主親賢が龍造寺氏に服従
- 1581年4月20日-09:00|日本|山梨県上野原市|天正9年3月17日|北条軍が甲斐へ進入し柵原で武田軍が撃退/武田方は上津国峯城、都留郡岩殿城の防備を強化
- 1581年4月21日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年3月18日|<就任>因幡国鳥取城主「吉川経家」毛利家重臣
- 1581年4月21日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|天正9年3月18日|<加増>播磨宍粟郡1万石「黒田孝高」羽柴秀吉より→宍粟郡2万石
- 1581年4月25日 11:00|日本|静岡県掛川市|天正9年3月22日|<高天神城合戦>夜、高天神城の武田軍将兵が出撃/徳川軍は迎撃し多くを討取り、または城内に攻め込んで陥落させた/武田家部将の高天神城将岡部元信以下の在城衆は討死
- 1581年4月27日-09:00|日本|富山県|天正9年3月24日|織田家部将の佐々成政は神通川・六道寺川を越えて越中中郡のうちのの中田という地へ入った/敵勢の上杉景勝・河田備前は卯刻に陣払いをはじめ、小出表から兵を引き上げていった
- 1581年5月 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ガブリエル・デ・ヘルナンデス」(1回目~1583年)
- 1581年5月1日-09:00|日本|石川県七尾市|天正9年3月28日|菅屋長頼を能登七尾城代として派遣し、能登が平定される
- 1581年5月2日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正9年3月29日|武田軍海賊衆小浜景隆等、伊豆久料浦を攻撃し、北条方の梶原備前守を打ち破る
- 1581年5月3日-09:00|日本|山形県最上郡真室川町|天正9年4月|最上義光が小野寺氏重臣の鮭延城(城主鮭延秀綱)を調略によって占領
- 1581年5月3日-09:00|日本|山梨県|天正9年4月|滝山城北条氏照が檜原城(城主平山氏重)の檜原衆を甲斐へ侵攻させ、武田軍に勝利
- 1581年5月12日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正9年4月10日|<桑実寺の惨劇>織田信長、侍女十二人と桑実寺住職を成敗
- 1581年5月13日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|天正9年4月11日|伊達輝宗は相馬家の小狭井城主・佐藤宮内為信を裏切らせることに成功/為信は相馬家の軍監・金沢美濃守以下三十騎をことごとく斬殺して伊達家に降伏
- 1581年5月15日-09:00|日本|熊本県菊池市|天正9年4月13日|<隈府城の戦い>龍造寺隆信が赤星氏の隈府城主赤星統家を服従させる/北肥後の合志氏から服属の起請文を受け取り北肥後を支配下に置く/龍造寺軍は天草諸島へも侵攻
- 1581年5月16日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正9年4月14日|<虎倉城合戦>毛利軍、宇喜多軍を攻めるも大敗
- 1581年5月20日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正9年4月18日|陸奥の伊達輝宗の仲介により、三春城の田村清顕が、佐竹義重、芦名盛隆と和睦/蘆名・二階堂氏が奪った御代田は田村氏へ返還、田村氏は拠点である岩瀬郡の今泉城や本拠 田村郡の一部を二階堂氏へ返還(実質佐竹連合軍の勝利となる)
- 1581年5月27日-02:00|ルーマニア| |||<死去>トランシルヴァニア総督「クリストフ・バソリ・ソムリヨ」
- 1581年5月27日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ジギスムント・バソリ・ソムリヨ」(~1588|208)
- 1581年5月31日-09:00|日本|京都府京都市|天正9年4月29日|<就任>関白「一条内基」(~天正12年12月)
- 1581年5月31日-09:00|日本|京都府京都市|天正9年4月29日|<退任>関白「九条兼孝」
- 1581年6月2日 00:00|イギリス| |||<死去>4代モートン伯「ジェームズ・ダグラス」剥奪
- 1581年6月2日-09:00|日本|茨城県鹿嶋市|天正9年5月|常陸の佐竹氏配下の江戸、島崎氏らが鹿島に侵攻し、鹿島貞信、清秀兄弟らが下総矢作城に退避
- 1581年6月2日-09:00|日本|京都府宮津市|天正9年5月|細川藤孝が宮津城を築城
- 1581年6月2日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正9年5月|北条氏照軍が佐竹方の下野唐沢山城(城主佐野宗綱)を攻撃するが撤退
- 1581年6月2日-09:00|日本|宮城県宮城郡松島町|天正9年5月1日|<小深田合戦>伊達輝宗は相馬氏から旧領の小狭

1590迄 (2237件)

- 井・金山・丸森を奪還しようと坂本に出陣/相馬軍もこれを聞いて菅谷に陣を張り激戦/相馬軍の勝利
- 1581年6月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヤコブ3世」
- 1581年6月4日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハ7世」(~1590501死去)
- 1581年6月5日-09:00|日本|富山県富山市|天正9年5月4日|<願海寺合戦>織田方菅屋長頼ら、越中・願海寺城を攻略、城主の寺崎盛永父子をとらえる(6.11,七尾に送られ切腹)
- 1581年6月11日-09:00|日本|大阪府和泉市|天正9年5月10日|織田信澄・蜂屋頼隆・堀秀政・松井友閑・丹羽長秀が和泉国榎尾寺へ入り、坊舎を検分した上でよき建物は没収し、また少々を壊して持ち去った。残る堂塔伽藍・寺庵僧坊および経巻は、堀秀政の検使のもと一字も残さず焼き払われた
- 1581年6月11日-09:00|日本|山形県東根市|天正9年5月10日|<東根城の戦い>東根城主東根頼景は家臣・里見源右衛門の裏切りに遭い数十人の部下と共に非業の死を遂げた
- 1581年6月17日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領ブラジル総督「ロウレンソ・ダ・ウエイガ」
- 1581年6月17日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「評議会(コスメランゲル・デ・マセド/アントニオ・モス・パレイズ)」(~15830511)
- 1581年6月21日-09:00|日本|京都府京都市|天正9年5月20日|京都洪水/四条橋、流失
- 1581年6月27日-09:00|日本|愛媛県松山市|天正9年5月26日|村上(来島)通総が風早郡に来襲したので南通方らこれを防ぐ
- 1581年6月30日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正9年5月29日|<柳川の戦い(肥後国)>筑後柳河領主「蒲池鎮漣」が島津と通じたことから、龍造寺隆信は和平締結のためと称し佐賀城に呼び寄せ、襲撃、自害させる/蒲池氏一族も殺害/その後龍造寺隆信は鍋島直茂に命じ、蒲池鎮漣の柳川を占領
- 1581年7月6日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団対立総長「マチュリン・ロメガス」(~11.3没)
- 1581年7月16日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正9年6月16日|<新発田重家の乱>越後新発田城主新発田重家、織田信長に内通して上杉景勝に背く/重家は一門衆のほか加地秀綱ら加地衆や上杉景虎を支持していた豪族を味方に引き入れ新発津を奪取、同地に新発城を築城し独立
- 1581年7月25日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンゴール首長「フランシスコ・デ・アルメイダ」(~1590年)
- 1581年7月25日-09:00|日本|岡山県津山市|天正9年6月25日|<岩屋城合戦>毛利方の美作葛下城主の中村頼宗が、宇喜多方の美作岩屋城を攻略
- 1581年7月25日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年6月25日|羽柴秀吉が毛利方の吉川経家の鳥取城を包囲し、兵糧攻めにする(~10月25日)
- 1581年7月26日-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国総督「ラニエウイム1世」ナッサウ=テ・イルンブルク伯「イルヘルム」の長男(~15840710死去51歳)
- 1581年7月26日-01:00|オランダ| |||ネーデルランドの北部ユトレヒト同盟7州、スペインから独立を宣言しネーデルラント連邦共和国結成
- 1581年7月27日-09:00|日本|石川県七尾市|天正9年6月27日|<七尾城の戦い>織田信長は菅屋長頼に命じ、能登七尾城において悪逆を重ねていた遊佐美作兄弟・伊丹孫三郎の三名を能登国内で殺害させた/温井備前守と弟の三宅備前守も、次はわが身と心得て逐電
- 1581年7月31日-09:00|日本|香川県|天正9年7月|三好存保(元三好政兼)は、激を安富、寒河、植田、三谷、香西に伝え、兵一万を指揮して西庄城を攻めた/香川民部は城を捨てて塩飽に落ちた/三好存保はその勢いに乗じて、勝瑞城を取り戻し、河内の三好笑岩と淡路の田村康広がおのおの数百騎を率いて来援、共に一宮城も攻めたが一宮城は堅く安易には抜けず一宮成祐もよく防いだ
- 1581年7月31日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年7月|<雁金城の戦い>宮部継潤が塩冶高清のまもる因幡雁金城を攻撃し塩冶は丸山城に逃亡
- 1581年7月31日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正9年7月|最上義光、天童頼澄の舅細川直元を万騎ヶ原の戦いで破り出羽小国城を攻略
- 1581年8月2日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<死去>プエルトリコ知事兼提督「Juan de Guespedes」
- 1581年8月2日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督代理「Juan Lopez Melgarejo」(~15820418)
- 1581年8月4日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正9年7月5日|<就任>岸和田城主「蜂屋頼隆」(岸和田城には織田信張も在城)
- 1581年8月5日 00:00|イギリス| |||<就任>レックス公・ダークリー伯「エドワード」(~15830526死去)
- 1581年8月5日-09:00|日本|滋賀県|天正9年7月6日|越中木舟城主の石黒左近と家老の石黒与右衛門・伊藤次右衛門・水巻采女佐が一門三十騎余りを引き連れて上国/織田信長は丹羽長秀に一行を佐和山で殺害するよう命を下していたが石黒らは長浜まで出たところで危険を察知し、そのまま動こうとしなかったため、長秀はやむなく長浜まで下って石黒のいる町屋を囲み、屋内で歴々17人を殺害、丹羽方にも主立った者二・三人が討死する損害が出た/織田軍、木舟城を接收
- 1581年8月11日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年7月12日|<第2次鳥取城合戦>織田家部将の羽柴秀吉が因幡鳥取城(吉川経家)攻めを開始/吉川元長が、鳥取城救援に向かう
- 1581年8月12日-09:00|日本|福島県福島市|天正9年7月13日|伊達輝宗、相馬盛胤の属城陸奥金山・丸森両城を攻め、矢野目の戦いで敗れる
- 1581年8月16日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正9年7月17日|佐和山に幽閉中の越中願海寺城主「寺崎盛永」父子に切腹を命じる
- 1581年8月22日-09:00|日本|高知県|天正9年7月23日|長宗我部元親が、伊予の金子元宅に起請文を送り、盟約を結ぶ
- 1581年8月23日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正9年7月24日|昨年に追放処分とした佐久間信盛が大和の

1590迄 (2237件)

- 十津川で湯治中に死去 (55歳) / 信長は息子の信栄を赦免、旧領を安堵
- 1581年8月29日-09:00 | 日本 | 愛媛県西予市 | 天正9年8月 | 西園寺公広、宇和郡齒長寺を再建
- 1581年8月29日-09:00 | 日本 | 栃木県佐野市 | 天正9年8月 | 北條氏政は武藏国鉢形城主北條氏邦、岩槻城主太田氏房らをして下野国佐野城主佐野宗綱を攻め、佐竹義重と戦って敗北
- 1581年8月29日-09:00 | 日本 | 広島県廿日市市 | 天正9年8月 | 厳島本地堂の再興成り、本尊を移す
- 1581年8月29日-09:00 | 日本 | 福島県須賀川市 | 天正9年8月 | <死去>須賀川城主「二階堂盛義」(38歳) ⇒ 長男の盛隆は蘆名氏当主となっているため、盛義の次男行親が二階堂氏の家督を継ぐ
- 1581年8月29日-09:00 | 日本 | 和歌山県伊都郡高野町 | 天正9年8月 | 織田信長は高野山へ匿っている荒木村重の旧臣2名を差し出すよう使者を送るが、高野山側は使者10名を殺害
- 1581年9月8日-04:00 | ロシア/リトアニア/ポーランド | ||| | ポーランド・リトアニア共和国軍が、ロシアのプスコフを包囲
- 1581年9月8日-01:00 | マルタ | ||| | <就任>マルタ騎士団総長「ガスパレウ・イスコティ」教皇特使 (~15820112)
- 1581年9月14日-09:00 | 日本 | 石川県七尾市 | 天正9年8月17日 | <拝領>能登26万3千石「前田利家」七尾城主となる (翌天正10年に小丸山城を築城して居城を移す)
- 1581年9月14日-09:00 | 日本 | 石川県七尾市 | 天正9年8月17日 | 能登七尾城の遊佐美作守續光・遊佐四郎右衛門尉盛光が逐電したので捕らえて斬首する
- 1581年9月14日-09:00 | 日本 | 滋賀県近江八幡市 | 天正9年8月17日 | 織田信長、謀反した荒木村重の家臣らを、密かに高野山において匿ったとして、高野聖数百人を安土において処刑
- 1581年9月15日-09:00 | 日本 | 福岡県福岡市東区 | 天正9年8月18日 | <交替>筑前立花山領主「立花闇千代」婿取り ⇒ 「立花宗茂」(⇒天正15(1587)年、筑後柳川13万2000石)
- 1581年9月16日-09:00 | 日本 | 岡山県岡山市北区 | 天正9年8月19日 | 備前虎倉城主伊賀家久が宇喜多氏を離反、毛利氏に通じて所領安堵
- 1581年9月17日-05:30 | インド/ポルトガル | ||| | <就任>ポルトガル領インド総督「フランシスコ・マスカレナス・デ・サント・カリス」(~1584年11月)
- 1581年9月17日-09:00 | 日本 | 熊本県水俣市 | 天正9年8月20日 | <水俣城の戦い>島津義久・義弘・歳久・家久の大軍が水俣城を攻撃、相良義陽を降伏させる
- 1581年9月17日-09:00 | 日本 | 富山県富山市 | 天正9年8月20日 | <弓庄城の戦い>弓庄城は織田方の佐々成政の攻撃を受けが落城せず持ちこたえる
- 1581年9月18日-01:00 | フランス | ||| | <即位>ジョージス公「Anne」(~15871020死去)
- 1581年9月22日-09:00 | 日本 | 和歌山県伊都郡高野町 | 天正9年8月25日 | <金剛峯寺の戦い>織田信孝と高野山金剛峯寺が戦い織田が勝利
- 1581年9月23日 05:00 | ハールス・イン | ||| | <就任>ハール副王「マルティン・エンリケス・デ・アルマンサ」(~15830313没)
- 1581年9月23日-09:00 | 日本 | 福島県須賀川市 | 天正9年8月26日 | <死去>陸奥須賀川領主「二階堂盛義」⇒次男の「二階堂行親」が継ぐ (~翌年死去)
- 1581年9月24日-09:00 | 日本 | 岡山県玉野市 | 天正9年8月27日 | <備前八浜合戦>宇喜多軍は毛利軍と八浜で直接戦う / 毛利主力は備前児島に兵を進め斐伊山に拠る穂井田元清に援軍を送って激しい戦いとなったが村上水軍を動員した毛利氏によって宇喜多勢は総崩れとなって退却 / 宇喜多基家、討死
- 1581年9月27日-09:00 | 日本 | 和歌山県伊都郡高野町 | 天正9年8月30日 | 伊丹城主荒木村重の家臣5名の匿いと、5名の引き渡し要求のために派遣した信長の使者を殺害したことを理由に、紀伊金剛峯寺の高野聖1300人余りを処刑
- 1581年9月30日-09:00 | 日本 | 三重県伊賀市 | 天正9年9月3日 | <雨請山砦の戦い>信長の武将蒲生氏郷が玉瀧口より7千余りの兵を率いて進攻 / 榎山・玉瀧・内保・湯舟・友田の土豪が雨請山に集まる / 氏郷は鉄砲を撃ち矢を飛ばした後一気に攻めるが伊賀勢も応戦 / 山内左衛門等が籠もるが多勢に無勢で次第に伊賀勢は不利になり夕陽が落ちる頃には落城
- 1581年9月30日-09:00 | 日本 | 三重県伊賀市 | 天正9年9月3日 | <国見山砦の戦い>伊賀者が最後の砦として立て籠もった国見山城とその隣に位置する草薨寺周辺では、徹底的な殺戮が行われた
- 1581年10月1日-01:00 | サマリヤ | ||| | <就任>サマリヤ共和国執政「ジュリアノ・コルベッリ」 「ジョ・パオロ・ベルツィ」
- 1581年10月3日-09:00 | 日本 | 三重県伊賀市 | 天正9年9月6日 | <第二次天正伊賀の乱>戦闘開始。伊賀衆は比自山城に3,500人(非戦闘員含め10,000人)、平楽寺に1,500人で籠城 / 伊賀衆は河原で野営していた蒲生氏郷隊に夜襲を掛け氏郷隊は寝込みを襲われ大敗 / 筒井順慶隊にも夜襲を掛け1000兵を討ち取られた / 怒った氏郷は平楽寺を強攻し退けられるが滝川一益の援軍を得てようやく陥落させた
- 1581年10月4日 00:00 | ハーリス | ||| | <死去>2代ササップトン伯「ハリー・リスリー」
- 1581年10月4日 00:00 | ハーリス | ||| | <就任>3代ササップトン伯「ハリー・リスリー」(~16241110死去)
- 1581年10月5日-09:00 | 日本 | 徳島県徳島市 | 天正9年9月8日 | <一宮城の戦い>三好義堅は紀伊の鉄砲衆3000を用い淡路の田村氏200の援軍を得て長宗我部方一宮成相の一宮城を攻撃するが長宗我部家臣久武親直が救援に来たため敗退。追撃は篠原自遁2000の軍勢が退け両軍ともに撤退
- 1581年10月5日-09:00 | 日本 | 富山県南砺市 | 天正9年9月8日 | <瑞泉寺の戦い>佐々成政、神保長住と一向一揆の拠点の瑞泉寺が戦い佐々成政達が勝利
- 1581年10月6日-09:00 | 日本 | 新潟県上越市 | 天正9年9月9日 | 上杉家臣、毛利秀広が御館の乱の論功行賞への不満から、上杉景勝側近の儒者、山崎秀仙を殺害、その場に居合わせた直江信綱も斬殺され、秀広は岩井信能らに討たれる / 景勝、樋口与六に直江家の跡を継がせる
- 1581年10月7日-01:00 | モコ | ||| | <死去>モコ領主「オラト1世」
- 1581年10月7日-01:00 | モコ | ||| | <就任>モコ領主「カロ2世」(~15890517没)

1590迄 (2237件)

- 1581年10月7日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正9年9月10日|<第二次天正伊賀の乱>伊賀では諸勢が佐那具嶺下ろしを攻囲し、国内諸寺の伽藍や一之宮の社を初めとするあらゆる建物群を放火していった/佐那具からも足軽を出して応戦してきたが、機を見計って馬を入れてきた滝川一益・堀秀政勢によって崩され、主立った侍十余を討ち取られる結果となった
- 1581年10月8日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正9年9月11日|<比自山城の戦い>比自山城は難攻不落の要塞で、丹羽長秀らが幾度となく攻略しようとしたが、その都度敗退し、落とせなかった/総攻撃の前日に全ての城兵は柏原城に逃亡し藻抜きの空であった/織田軍はほぼ伊賀国を制圧。村や寺院は焼き払われ、住民は殺害された(平楽寺では僧侶700人余りが斬首、伊賀全体では9万の人口の内非戦闘員含む3万余が殺害された)
- 1581年10月10日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ国王「バ イウン」
- 1581年10月10日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ国王「ナダ・バイン」(~15991219没)
- 1581年10月13日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年9月16日|<湊川口の戦い>因幡鳥取への兵糧補給における水上交通の要地、因幡千代川(湊川)河口の海戦において細川藤孝の家臣松井康之が毛利水軍を破り敵将鹿足元忠を斬った/これにより鳥取城は完全に食糧を絶たれ水・草木・城内の犬・猫・鼠まで食い尽くし死者の肉まで奪い合う修羅場となった
- 1581年10月15日-01:00|フランス| |||初の宮廷バレエ『王妃のバレエ・コミック』が上演される/イタリア出身のヴァイオリニスト・作曲家・振付家・演出家バルザール・ド・ボージュによる作品/フランス王アンリ3世の「寵臣」ジョウユーズ・公アンヌ・ド・ジョウユーズと、故「マルセル公」ニコラ・ド・ロレーヌの娘で王妃ルイズ・ド・ロレーヌの妹でもあるマルグリット・ド・ロレーヌの結婚を祝してつくられた作品
- 1581年10月17日-09:00|日本|熊本県水俣市|天正9年9月20日|島津義久、相良属城・肥後水俣城(犬童頼安)を攻略/肥後人吉領主「相良義陽」は葦北郡を割譲し息子の相良忠房や相良頼房を人質として差し出して降伏
- 1581年10月21日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国「ジェンローモ・フランキネッティ」(~15831021)
- 1581年10月24日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正9年9月27日|近江日野城主蒲生賦秀が玉瀧口から伊賀に侵攻し、伊賀阿山郡の土豪田矢三郎左衛門戦死
- 1581年10月26日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天正9年9月29日|安房里見家で宿老の小田喜領正木憲時はなおも抵抗し里見義頼が北条の支援を受けて正木憲時を討ち、ようやく沈静化
- 1581年10月27日-09:00|日本|山梨県韮崎市|天正9年9月30日|武田勝頼、甲斐韮崎新府中城竣工(12月24日、勝頼、新府城に移る)
- 1581年10月28日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正9年10月|<忍山城合戦>毛利軍が宇喜多領の忍山城を攻撃、落城
- 1581年10月28日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正9年10月|佐竹義重が黒川城(会津若松城)の蘆名盛隆を訪問、佐竹氏と蘆名氏が同盟関係となる/伊達領以南の諸大名は佐竹氏方につき、佐竹義重による奥州一統が成され、宇都宮・結城・那須ら東方之衆も加えて佐竹氏を中心とした一大勢力となる
- 1581年10月28日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正9年10月|高野大衆が一揆を起こしたことで織田信張(岸和田城主)が高野山へ侵攻
- 1581年10月28日-09:00|日本|新潟県|天正9年10月上旬|<新発田重家の乱(越後国)>御館の乱後の論功行賞に不満を持った揚北衆の新発田重家が、織田信長の調略により謀反/蘆名氏も織田に協力したため反乱は長期間に及び、景勝は南北から挟撃されることになる(反乱は天正15年(1587年)まで続く)
- 1581年10月29日-09:00|日本|福井県越前市|天正9年10月2日|<拝領>越前府中3万3千余石「前田利勝(利長)」織田信長より
- 1581年11月 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<死去>アングラ・ド・ナリア長官「Vasco Annes Corte Real2世」
- 1581年11月 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>アングラ・ド・ナリア長官「Margarida Corte Real」(~16100626死去)、「Cristovao de Moura y Tavora」(~16131226死去)
- 1581年11月3日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団対立総長「マチュリン・ロカス」
- 1581年11月4日-09:00|日本|福岡県田川郡添田町|天正9年10月8日|<彦山焼き討ち(豊前国)>大友宗麟が豊前彦山の三千坊といわれる坊舎(僧が住む住居)を焼き討ちにし、仏教徒を追い払う
- 1581年11月6日-09:00|日本|三重県名張市|天正9年10月10日|<柏原城の戦い>城主・滝野吉政や百地丹波をはじめ近在や比自山城から落ち延びてきた土豪など1600余人で立て籠もり織田信長に抵抗
- 1581年11月11日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正9年10月15日|伊賀一宮城陥落、伊賀猪田郷の森田浄雲入道康治戦死
- 1581年11月12日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正9年10月16日|百地三郎義則・百地太郎太・百地甚六義久に織田軍攪乱される
- 1581年11月20日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年10月24日|羽柴秀吉が山陰海賊の奈佐日本助・佐々木三郎右衛門を丸山城で自刃させる
- 1581年11月21日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年10月25日|<拝領>因幡国鹿野城主13500石「亀井茲矩」尼子氏の遺臣・羽柴秀吉により
- 1581年11月21日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正9年10月25日|羽柴秀吉、因幡国鳥取城(山名豊国)を攻略し吉川経家を自刃させる/秀吉は因州鳥取城を宮部継潤に守らせる
- 1581年11月22日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|天正9年10月26日|吉川元春が羽衣石城の南条元統を攻めた
- 1581年11月23日-09:00|日本|静岡県駿東郡清水町|天正9年10月27日|北条氏の伊豆戸倉城代笠原政晴が突然勝頼に服属を申し出て、忠節の証として葦山城を攻撃/勝頼は穴山梅雪を援軍として派遣し、自らも出陣
- 1581年11月24日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|天正9年10月28日|<馬山の戦い>(25日~)秀吉は伯耆に出兵し羽衣石城の南条元統を救援しようとしたが吉川元春は馬ノ山に布陣し全面対決も辞さない構えを示したた

1590迄 (2237件)

- め秀吉はいたずらに激戦して多数の将兵を損耗する事態を避け羽衣石へ兵糧・弾薬などの補給をおこなったうえで全軍に早期撤兵を命じた
- 1581年11月24日-09:00|日本|三重県名張市|天正9年10月28日|<柏原城の戦い>早朝、伊賀土豪連の総大将柏原城主・瀧野吉政が北出村の信雄陣所に向いて降参/天正伊賀の乱は終結/残党は徹底的に捕縛され殺されたが多  
くの指揮官は他国へ逃げほとぼりが冷めた頃に帰国
- 1581年11月26日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正9年11月|<拝領>八東・智頭2郡2万石「荒木重堅」因幡若桜城主
- 1581年11月26日-09:00|日本|愛知県西尾市|天正9年11月1日|<拝領>三河東条城1万石「松平忠康(徳川家康の四男福松丸)」1歳、断絶した東条松平氏の名跡を継ぐ(⇒天正10(1582)年、駿河沼津城4万石に転封)
- 1581年12月5日-09:00|日本|静岡県駿東郡清水町|天正9年11月10日|武田四郎勝頼が小田原方の伊豆国戸倉城主  
笠原新六郎政堯を誘って降服せしめ攻略
- 1581年12月8日-09:00|日本|福岡県宮若市|天正9年11月13日|筑前・立花軍、宗像軍、小金原で戦う/戦い利あらず  
宗像勢はほぼ全滅という大打撃を蒙り敗北
- 1581年12月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正9年11月15日|孫兵衛家次ら、三河国和田郷藤社の社殿を建立
- 1581年12月12日-09:00|日本|兵庫県淡路市|天正9年11月17日|羽柴秀吉・池田輝政、淡路国岩屋城・由良城(安宅清  
康)を攻略し淡路島を平定
- 1581年12月15日-09:00|日本|静岡県伊豆市|天正9年11月20日|武田勝頼、伊豆において北条勢を攻撃するが、北条  
勢は陣を固めて応じず大きな合戦にはならなかった
- 1581年12月16日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天正9年11月21日|新治郡新治村北井手村の斎藤伝鬼坊勝秀が鎌倉  
鶴岡八幡宮に百日間の参籠中、剣の奥義を悟り「天流(天道流)」と名付ける
- 1581年12月17日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正9年11月22日|海野幸光兄弟逆心の報を受けた真田昌幸が、弟信  
昌ら討手を岩櫃城の海野館に差し向け、海野氏を一掃。岩櫃城・沼田城を攻略
- 1581年12月18日-09:00|日本|愛知県知多市|天正9年11月23日|尾張国緒川郷の八幡社社殿建立
- 1581年12月19日-09:00|日本|愛知県犬山市|天正9年11月24日|<拝領>犬山城主「織田勝長」織田信長の五男(〜翌年  
6月2日(15820621)本能寺の変で討ち死に)
- 1581年12月21日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「ジャント・ラカエール」
- 1581年12月26日-09:00|日本|愛知県知多市|天正9年12月|神主太郎大夫ら、尾張国日長社の社殿を建立
- 1581年12月26日-09:00|日本|福井県福井市|天正9年12月|織田信長の娘永姫が越前府中城主「前田利長」に輿入れ
- 1581年12月27日-09:00|日本|熊本県宇城市|天正9年12月2日|<死去>肥後人吉領主「相良義陽」38歳、島津軍の先鋒  
として、響原で阿蘇軍(甲斐宗運)に敗れ、戦死(響原合戦)⇒子の「相良忠房」が継ぐ(〜天正13年2月15日(1585031  
6)死去)
- 1582年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「シャー・ベルナイ」
- 1582年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・ハッサン」(〜1598年死去)
- 1582年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王朝国王「セーン・スリナワサイ」
- 1582年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「フーン・ノイ」(〜1583年クワンク-王朝の直接支配〜1591年)
- 1582年-05:30|スリランカ| |||<再位>ジャナ王国国王「ブヴァラジャ・パンダラム」(〜1591年死去)
- 1582年-05:30|スリランカ| |||<死去>ジャナ王国国王「ベリヤピライ」
- 1582年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「テウケルシガイ」の次男(〜1598年)
- 1582年-04:00|アルメニア/トルコ| |||オスマン帝国がエルバン(アルメニア東部)占領併合(〜1604年)
- 1582年-04:00|ジョージア/トルコ| |||バトウミをオスマン帝国併合、トラフゾン・エライットの一部(〜1609年)
- 1582年-03:30|イラン| |||<即位>パダスバノド朝(Nur)君主「Sultan Aziz」(〜1586年)
- 1582年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ベイルベイ「ベフラム・パシヤ」(〜同年)
- 1582年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテア公「ニコロ・ド・ナート」(〜1584年)
- 1582年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ホドゥール・フェイン・パシヤ」(〜1583年)
- 1582年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシヤ「カイト・ラマダン」(〜同年)⇒「ハサン3世パシヤ」(2回目〜1584年)
- 1582年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Francis」(〜1592年)
- 1582年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ヴェンジャミン」(〜1591年)
- 1582年-01:00|フランス| |||<放棄>シャテルロー公「デアヌ・ド・フランス」アングレーム公爵位と交換
- 1582年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地総督「Lazanro Moreno de Leon」(〜1584年)
- 1582年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トースハウ)「Soren Christenson Flue」(〜同年)
- 1582年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>マテウス総督「Agostinho de Herrera y Rojas」(〜1584年)
- 1582年 00:00|ポルトガル/スペイン/インドネシア| |||スペインとポルトガルがモルッカ諸島の争奪戦争を開始
- 1582年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>ファイアル島・ピコ島トナリア長官「Jeronimo de Utra Corte Real」(〜1614  
年死去)
- 1582年 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ファン・ロペス・デ・セバダ」(〜1600年)
- 1582年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントヤゴ 総督代行「ペドロ・ロペス」(〜1583年)
- 1582年 05:00|キューバ| |||海賊リチャード・マンサニョを襲撃
- 1582年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマカア県総督「ロドリゴ・ポンセ・デ・レオン」(1回目〜1589年)
- 1582年1月3日-09:00|日本|大分県宇佐市|天正9年12月9日|大友軍が豊前宇佐宮を大友氏と敵対する秋月種実方  
に加担したため焼き討ち
- 1582年1月12日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ユーク・ルバソクト・ヴェルタレ」(〜15950504没)
- 1582年1月15日-02:00|エストニア/ロシア/ポーランド/リトアニア| |||ロシアがトルハットから撤退(1558年に占領)シポーランド・リトアニア

1590迄 (2237件)

に譲渡

- 1582年1月18日-09:00|日本|山梨県韮崎市|天正9年12月24日|甲斐・信濃国大名「武田勝頼」新府城に移る/古府中の館は破棄される
- 1582年1月22日 05:00|ヘル| ||ヘル・アレキパ|沖地震 (M8. 2)、死者多数
- 1582年1月24日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年|後閑村 (月夜野町) の怒林寺、沼田城下に移り中興再建 (現在の材木町天桂寺の位置)
- 1582年1月24日-09:00|日本|福島県須賀川市|天正10年|<死去>陸奥須賀川「二階堂行親」⇒「阿南の方」が継ぐ (~天正17 (1589) 年滅亡)
- 1582年1月24日-09:00|日本|北海道|天正10年|<交替>蝦夷領主「蠣崎季広」隠居⇒三男の「蠣崎慶広」(⇒慶長4 (1599) 年「松前慶広」に改名 ~元和2年10月12日 (1616) 死去)
- 1582年1月24日-09:00|日本|大分県宇佐市|天正10年1月|安心院麟生が豊前龍王城に立て籠もり、大友氏に反旗を翻す
- 1582年1月24日-09:00|日本|熊本県上益城郡御船町|天正10年1月|肥後・御船城主「甲斐宗運」、島津氏に降伏
- 1582年1月24日-09:00|日本|熊本県八代市|天正10年1月|島津義久、相良義陽の死に乗じ、肥後・八代古麓城を奪う
- 1582年1月24日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正10年1月|<蒲船津城の戦い>龍造寺氏は柳川に侵攻し、蒲池益種の守備する蒲船津城も落城
- 1582年1月24日-09:00|日本|福岡県八女市|天正10年1月|<猫尾城の戦い>蒲池氏殺害に恨みを持つ猫尾城の黒木氏が謀反。鍋島直茂が攻撃して鎮圧
- 1582年1月24日-08:00|中国| ||明・万暦10年1月|淮揚の海氾濫、塩場三十が浸水、溺死者二千六百
- 1582年1月27日-09:00|日本|青森県三戸郡三戸町|天正10年1月4日|<死去>陸奥三戸城「(南部氏第24代当主) 南部晴政」66歳、病歿⇒嫡男の「南部晴継」が継いだ (~24日病死)
- 1582年1月27日-09:00|日本|和歌山県橋本市|天正10年1月4日|<高野攻め>織田信長は松山新介を多和に派遣/松山は多和に築城
- 1582年2月1日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正10年1月9日|<死去>備前岡山「宇喜多直家」53歳⇒嫡子「宇喜多秀家」家督を嗣ぐ
- 1582年2月3日-09:00|日本|石川県七尾市|天正10年1月11日|前田利家が小丸山に居城を築き、所口・府中を併せて七尾と称す
- 1582年2月15日-09:00|日本|和歌山県|天正10年1月23日|紀州雑賀で鈴木孫一は対立する土橋若大夫を暗殺/前年に土橋が孫一の継父を討ち殺した遺恨によって、信長公の黙認を得て土橋を殺害し土橋の居館を攻囲したのち、織田信長へ事の次第を知らせる報を發した
- 1582年2月16日-09:00|日本|青森県三戸郡三戸町|天正10年1月24日|<死去>陸奥三戸城「(南部氏第25代当主) 南部晴継」病死⇒晴政の養嗣子「南部信直」が継ぐ (⇒天正19 (1591) 年、陸奥南部藩10万石)
- 1582年2月19日-09:00|日本|長野県木曾郡|天正10年1月27日|信濃木曾郡の武田家部将木曾義昌が織田方へ離反/武田勝頼は新府城にいた木曾義昌の母や嫡男ら人質を処刑
- 1582年2月19日-09:00|日本|和歌山県岩出市|天正10年1月27日|織田信長が鈴木孫一の後援として織田信張を大将とする根来・和泉衆を派遣してきたため土橋平次の子息達は根来寺の千職坊へ駆け入り、ここへ兄弟そろって立て籠った
- 1582年2月20日-09:00|日本/パチン|長崎県長崎市|天正10年1月28日|<天正少年使節>大友、大村、有馬氏のローマ教皇への使節団伊東マシヨら長崎を出帆
- 1582年2月23日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正10年2月|<新発田重家の乱>上杉景勝は重家に対する最初の攻勢を發動したが、あっけなく撃退された
- 1582年2月23日-09:00|日本|長野県|天正10年2月1日|信濃の木曾義昌が織田信長に内通し武田勝頼に謀叛
- 1582年2月24日-01:00|パチン| ||ローマ教皇グレゴリウス13世が、旧暦12月10日を12月20日とする暦法改正の布告を行う
- 1582年2月24日-09:00|日本|長野県茅野市|天正10年2月2日|武田勝頼、木曾氏討伐のため新府城から諏訪上原城まで出兵。諸將に国境を警備させる
- 1582年2月25日-09:00|日本|山梨県|天正10年2月3日|<武田征伐>織田信長、武田氏への総攻撃を指令/信濃伊奈・木曾から信忠、駿河から家康、相模から氏政、飛騨から金森長近が侵攻
- 1582年2月28日-09:00|日本|長野県北安曇郡池田町|天正10年2月6日|信濃伊那口の滝沢砦守将の下条信氏を家老である下条氏長が逆心を企てて放逐し、岩村口より織田軍河尻秀隆の軍勢を引き入れて織田勢へ通じた
- 1582年2月28日-09:00|日本|和歌山県岩出市|天正10年2月6日|紀州雑賀表では野々村正成が織田信長より命を受け、雑賀の土橋平次城館攻撃の検使として派遣/支えがたきを察した土橋方の千職坊は三十騎ばかりで脱出を図ったが斎藤六大夫がこれを追撃し、千職坊を討ち取ることに成功
- 1582年3月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクシオス・パトリアルカール・パトリアルカール (1583年)
- 1582年3月 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラナダ 暫定大統領・総督・総司令官「フアン・フリオ・デ・オリバーナ」 (~1585年)
- 1582年3月2日-09:00|日本|和歌山県岩出市|天正10年2月8日|鈴木孫一は織田信張とその配下の和泉衆・根来衆の応援を得て土橋氏の栗村の居館を攻め土橋平次・平尉 (平丞) 兄弟は逃亡、根来寺泉識坊は討ち取られるなど雑賀の内紛は孫一の勝利で決着
- 1582年3月4日-01:00|フランス| ||パリの高級レストラン・トゥルゾ・ジャルダンが開業
- 1582年3月4日-09:00|日本|愛媛県松山市|天正10年2月10日|温泉郡宅並城主栗上左衛門尉、水論によって同郡横山城主南通方を殺す

1590迄 (2237件)

- 1582年3月5日 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領土暫定総督・総司令官・大審問院長「ペドロ・ペルナルカニャバル」(~15870330)
- 1582年3月6日-09:00|日本|岡山県岡山市南区|天正10年2月12日|蜂須賀正勝、黒田孝高、3千3百を率いて、備前宇喜多と打ち合わせ児島郡常山城(城主戸川平右衛門)を攻略し、備中の国境に布陣
- 1582年3月8日-09:00|日本|長野県飯田市|天正10年2月14日|<甲州征伐(甲斐国)>武田軍の飯田城主保科正直は織田軍とは戦わず飯田城を捨てて高遠城へと逃亡(後に投降して戦後に高遠城主となった)
- 1582年3月8日-09:00|日本|長野県飯田市|天正10年2月14日|信州松尾の城主小笠原信嶺が内通を申し出てきたため、妻籠口から団平八・森長可が先陣に立って出撃し、清内路口より侵入して木曾峠を越え、なしの峠へ軍勢を登らせた/小笠原信嶺もこれに呼応して諸所に火煙を上げた/飯田城に籠っていた坂西織部・保科正直は抗戦を不可能と見、夜に入って潰走
- 1582年3月8日-09:00|日本|長野県北安曇郡池田町|天正10年2月14日|滝川一益・河尻秀隆の先発隊、伊那滝沢城の下条信氏を下す
- 1582年3月8日-09:00|日本|和歌山県有田郡広川町|天正10年2月14日|<高野攻め>高野勢は多和城並びに織田方筒井順慶勢の守る大和口の砦を攻撃
- 1582年3月9日-09:00|日本|長野県下伊那郡高森町|天正10年2月15日|森長可は三里ほどの距離を進軍し、市田という地で撤退に遅れた敵兵十騎余を討ち取った
- 1582年3月9日-09:00|日本|長野県下伊那郡松川町|天正10年2月15日|伊那大島城の武田信綱、城を明け渡して出奔
- 1582年3月10日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正10年2月16日|徳川家康、遠江小山城を開城させる
- 1582年3月10日-09:00|日本|長野県塩尻市|天正10年2月16日|<鳥居峠合戦>武田方今福昌和の軍勢が信濃鳥居峠に布陣するも、織田軍木曾義昌・遠山友忠に撃破される/この戦で織田勢が討ち取った首は跡部治部丞・有賀備後守・笠井某・笠原某ほか首数四十余にのぼり、敵勢は主立った侍を多く失った
- 1582年3月10日-09:00|日本|長野県下伊那郡松川町|天正10年2月16日|<大島城の戦い>織田信忠が飯田から大島へ進軍、武田信廉らが逃亡、大島城を占領
- 1582年3月11日-09:00|日本|長野県飯田市|天正10年2月17日|武田家部将の保科正直、飯田城を放棄し逃走
- 1582年3月12日-09:00|日本|長野県下伊那郡松川町|天正10年2月18日|武田家部将の武田信廉、大島城を放棄し逃走
- 1582年3月13日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正10年2月19日|徳川家康、武田軍が逃亡した小山城を接收
- 1582年3月14日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天正10年2月20日|徳川家康が、依田信蕃の立て籠もる駿河田中城を包囲
- 1582年3月15日-09:00|日本|岡山県玉野市|天正10年2月21日|<八浜合戦(備前国)>早朝、宇喜多勢が麦飯山麓に馬草刈りのために数名の兵を繰出す。これに対して、毛利勢は数人の兵を出し、馬草刈りをしていた宇喜多勢を追い払う。喜多勢は更に数人が加勢、毛利勢も数名を繰出し応戦。こうした両軍のやり取りで双方共に大勢となり、大崎村(玉野市八浜町大崎)柳畑の浜辺で大合戦となった結果、大将の宇喜多基家が戦死/敗走した宇喜多勢は八浜七本槍の働きでかろうじて毛利勢をくい止めたが、以降は八浜城に籠城して、秀吉の救援を待つこととなった
- 1582年3月15日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正10年2月21日|徳川家康、駿河駿府城を占領
- 1582年3月17日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正10年2月23日|<持舟城合戦>織田・徳川軍の攻撃を受けて武田軍は400名以上が討死
- 1582年3月19日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天正10年2月25日|駿河江尻城主「穴山梅雪(信君)」は甲府に人質として預けていた妻子を脱出させ、徳川勢を駿河に引き入れる
- 1582年3月20日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正10年2月26日|北条氏政・氏直が駿河に出陣し天神ヶ尾が落城
- 1582年3月21日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正10年2月27日|徳川家康軍、駿河持舟城を開城させる。朝比奈駿河守氏秀は久能山城へ退去
- 1582年3月21日-09:00|日本|長野県茅野市|天正10年2月27日|武田勝頼、信濃国諏訪上原の陣所を焼き捨て、甲斐国新府へ撤退
- 1582年3月22日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正10年2月28日|北条氏邦が上野国箕輪城入城。城代内藤昌月は北条に下る
- 1582年3月22日-09:00|日本|静岡県駿東郡清水町|天正10年2月28日|<戸倉城の戦い>北条軍は駿河に残された武田側の数少ない拠点の1つである戸倉城を落とす
- 1582年3月22日 14:00|日本|静岡県沼津市|天正10年2月28日|夜中、駿河三枚橋城が自落。武田勢は吉原川を越えて退却するが、追撃を受ける
- 1582年3月23日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正10年2月29日|駿河では朝比奈信置が逃げ込んだ久能城も攻略されて城代今福虎孝は自害
- 1582年3月23日-09:00|日本|和歌山県橋本市|天正10年2月29日|<高野攻め>織田方の岡田重孝らが学文路の西尾山の砦を攻めたが部将2人を失って撃退される
- 1582年3月24日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|天正10年3月|庄内の大宝寺義氏は大軍を率いて滝沢城を攻略/矢島、打越氏らを降して岩屋古館に侵攻、さらに二手に分かれ小助川氏の居城の荒沢館に襲いかかった
- 1582年3月24日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正10年3月|興国寺城城主の曾根下野守正清が徳川家康に降伏開城
- 1582年3月24日-08:00|中国| |||杭州で月給額の削減をめぐり兵士が反乱
- 1582年3月24日-08:00|中国| |||明・万暦10年3月|杭州で月給額の削減をめぐり兵士が反乱する
- 1582年3月24日-09:00|日本|静岡県御殿場市|天正10年3月1日|武田氏が滅亡すると駿河深沢城に火をかけて駒井

1590迄 (2237件)

昌直らは退去

- 1582年3月24日-09:00 | 日本 | 静岡県藤枝市 | 天正10年3月1日 | 徳川家康、依田信蕃の立て籠もる駿河田中城を包囲し、信蕃は城を明渡した
- 1582年3月24日 14:00 | 日本 | 石川県白山市 | 天正10年3月1日 | 佐久間盛政、加賀・白山麓・二曲城を攻略し、加賀一揆を鎮圧
- 1582年3月25日-09:00 | 日本 | 静岡県 | 天正10年3月2日 | 北条氏が駿河国の富士川以東を制圧
- 1582年3月25日-09:00 | 日本 | 長野県伊那市 | 天正10年3月2日 | <高遠城合戦>織田信忠率いる織田勢が遠江高遠城を攻略し城主仁科盛信・小山田昌行・今福昌和・原貞胤らが全滅
- 1582年3月26日-09:00 | 日本 | 長野県諏訪市 | 天正10年3月3日 | 織田信忠、上諏訪に進攻し諏訪大明神を焼く
- 1582年3月26日-09:00 | 日本 | 長野県諏訪市 | 天正10年3月3日 | 諏訪高島城の安中七三郎は織田信房に城を明け渡して退去
- 1582年3月26日-09:00 | 日本 | 長野県松本市 | 天正10年3月3日 | 深志城馬場信忠、織田長益に城を引き渡して退却
- 1582年3月26日-09:00 | 日本 | 山梨県韮崎市 | 天正10年3月3日 | 武田勝頼、新府城に火をかけ、郡内岩殿城をめざし、逃亡
- 1582年3月26日-09:00 | 日本 | 和歌山県日高郡日高町 | 天正10年3月3日 | <高野攻め>高野勢50余人が多和城を夜襲して損害を与えた
- 1582年3月28日-09:00 | 日本 | 山梨県甲府市 | 天正10年3月5日 | 織田信忠、上諏訪より新府城を経て甲府に乱入し、勝頼一族や重臣らの残党を捜し成敗
- 1582年3月29日-09:00 | 日本 | 静岡県富士宮市 | 天正10年3月6日 | 駿河では富士大宮司・富士信通が北条氏に服属を申し出る
- 1582年3月29日-09:00 | 日本 | 山梨県甲府市 | 天正10年3月6日 | 織田信忠が古府中を占領
- 1582年3月30日-09:00 | 日本 | 群馬県安中市 | 天正10年3月7日 | 織田信長四男の信房が上野安中城を制圧
- 1582年3月30日-09:00 | 日本 | 群馬県甘楽郡甘楽町 | 天正10年3月7日 | 織田軍は信長四男の信房が上野へ侵攻、国峰城を制圧
- 1582年3月30日-09:00 | 日本 | 群馬県沼田市 | 天正10年3月7日 | 上野へ侵攻してきた滝川一益に真田昌幸は沼田城を開け渡す
- 1582年3月30日-09:00 | 日本 | 山梨県甲府市 | 天正10年3月7日 | 織田信忠、府中に入り、一條大輔・清野美作守・朝比奈摂津守・諏訪越中守・武田上総介・今福筑前守・小山田出羽守・山縣三郎兵衛子息・武田信親を殺害、武田信綱(信廉)を府中相川で殺害
- 1582年4月1日-01:00 | サマリ | ||| <就任>サマリ/共和国執政「イッポリト・コッパルティニ」「ピエール・マリノ・ソニー」
- 1582年4月1日-09:00 | 日本 | 山梨県甲州市 | 天正10年3月9日 | 武田家部将の小山田信茂、武田勝頼から離反/勝頼一行は小山田信茂を頼って勝沼という山中から駒飼という山里へ逃れたが、小山田信茂がここに至って無下にも勝頼を突き放し、一行の受け入れを拒否/一行はやむなく田野という地の平屋敷にわか作りの柵を設けて滞陣
- 1582年4月2日-09:00 | 日本 | 山梨県西八代郡市川三郷町 | 天正10年3月10日 | 徳川家康軍、市川大門にある上野城を落とし、一条信竜が戦死
- 1582年4月2日-09:00 | 日本 | 和歌山県伊都郡かつらぎ町 | 天正10年3月10日 | <高野攻め>早朝、織田勢は夜襲の報復として寺尾壇の砦を攻撃、城将医王院が討死するも寄手の損害も大きく撃退された
- 1582年4月3日-09:00 | 日本 | 富山県富山市 | 天正10年3月11日 | 越中石動山城主小嶋職鎮が上杉景勝に寝返り、神保覺弘と富山城を奪い城主神保長住を幽閉
- 1582年4月3日-09:00 | 日本 | 富山県富山市 | 天正10年3月11日 | 佐々成政・前田利家、越中富山城を奪還/信長は神保長住を越中から追放
- 1582年4月3日 02:00 | 日本 | 山梨県甲州市 | 天正10年3月11日 | 巳の刻(午前11時頃)、武田勝頼(享年37歳)・信勝父子、桂林院殿(北条夫人)たちは、天目山麓の山梨郡田野(東山梨郡大和村)で自害/女房衆の介錯をしていた金丸定光、土屋昌恒も討ち死。信勝も斬り合い討ち死(16歳)。北条夫人(19歳)は自害/家臣は跡部勝資、長坂光堅(釣閑齋)、土屋昌恒、金丸定光、秋山光綱、安倍宗貞、小宮山友晴、小原広勝・忠国兄弟、阿部勝宝、小山田平左衛門、大熊朝秀らが戦死/これにより武田家が滅亡
- 1582年4月5日-09:00 | 日本 | 富山県魚津市 | 天正10年3月13日 | 柴田勝家・佐々成政、越中魚津城攻城開始
- 1582年4月7日-09:00 | 日本 | 長野県伊那市 | 天正10年3月15日 | 矢沢氏・祢津氏・室賀氏など武田氏の家臣達は高遠城を訪ねて織田信忠に降伏
- 1582年4月7日-09:00 | 日本 | 長野県上田市 | 天正10年3月15日 | 信濃上田城主「真田昌幸」が織田信忠に降伏
- 1582年4月7日-09:00 | 日本 | 山梨県甲府市 | 天正10年3月15日 | 武田信堯・小山田信茂・葛山信貞ら、甲府善光寺にて処刑される
- 1582年4月8日-09:00 | 日本 | 長野県小諸市 | 天正10年3月16日 | 信濃小諸城において、武田信豊が自害
- 1582年4月9日-09:00 | 日本 | 岡山県岡山市南区 | 天正10年3月17日 | <常山城の戦い>羽柴秀吉が羽柴秀勝(信長の4男で秀吉の養子秀勝)を奉じ備前児島に侵攻
- 1582年4月10日-09:00 | 日本 | 山形県最上郡金山町 | 天正10年3月18日 | 伊達輝宗は金山城を取り返すため再び出陣/金山城主・佐藤将監(金山城主)の強烈な反撃にあって退却
- 1582年4月12日-09:00 | 日本 | 静岡県静岡市清水区 | 天正10年3月20日 | <本領安堵>駿河国江尻・甲斐国河内領主「火山梅雪」織田信長により
- 1582年4月12日-09:00 | 日本 | 長野県 | 天正10年3月20日 | <所領安堵>信濃国木曾谷「木曾義昌」の上に信濃安曇・筑摩を加増

1590迄 (2237件)

- 1582年4月12日-09:00 | 日本 | 長野県飯田市 | 天正10年3月20日 | <本領安堵>信濃国伊那郡松尾領主「小笠原信嶺」織田信長により
- 1582年4月15日-09:00 | 日本 | 群馬県 | 天正10年3月23日 | <拝領>上野一国・信濃小県・佐久二郡・関東管領「滝川一益」、織田家に従った関東諸侯をその与力とした/織田信長により
- 1582年4月16日-09:00 | 日本 | 山梨県甲府市 | 天正10年3月24日 | 小山田信茂と親族、甲府にて処刑
- 1582年4月18日-09:00 | 日本 | 愛媛県宇和島市 | 天正10年3月26日 | 長宗我部元親が伊予三間に侵入、西園寺氏がこれを撃退
- 1582年4月20日-09:00 | 日本 | 静岡県沼津市 | 天正10年3月28日 | 三枚橋城の高坂源五郎・曾根河内守、城を徳川家康に明け渡して甲斐へ逃げる
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 岐阜県恵那市 | 天正10年3月29日 | <拝領>美濃国岩村「団忠正」
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 岐阜県下呂市 | 天正10年3月29日 | <拝領>美濃国金山米田島「森成利」
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 群馬県 | 天正10年3月29日 | <拝領>上野国一国・信濃国小県郡・佐久郡「滝川一益」
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 静岡県 | 天正10年3月29日 | <拝領>駿河国「徳川家康」織田信長により
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 静岡県沼津市 | 天正10年3月29日 | <拝領>駿河興国寺城「牧野康成」徳川家康家臣 (~9月)
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 静岡県沼津市 | 天正10年3月29日 | <拝領>駿河三枚橋城 (沼津古城)「松平 (松井) 康重」徳川家康家臣 (~天正18 (1590) 年)
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 長野県 | 天正10年3月29日 | <拝領>安曇郡・筑摩郡 (信濃国木曾谷安堵の上)「木曾義昌」
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 長野県 | 天正10年3月29日 | <拝領>信濃国伊那郡「毛利秀頼」織田信長により
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 長野県諏訪市 | 天正10年3月29日 | <拝領>信濃国諏訪郡「穴山梅雪」
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 長野県長野市 | 天正10年3月29日 | <拝領>信濃国高井郡・水内郡・更科郡・埴科郡と海津城20万石「森長可」(美濃兼山城主・森可成の次男。蘭丸長定らの兄)織田信長から
- 1582年4月21日-09:00 | 日本 | 山梨県 | 天正10年3月29日 | <拝領>甲斐国・信濃国諏訪「河尻秀隆」(穴山信君の本知を除外)織田信長により
- 1582年4月23日-09:00 | 日本 | 長野県長野市 | 天正10年4月 | 織田信忠、信濃上水内郡牧之嶋城を陥し、城主馬場民部信春 (昌房) 戦死、信濃上尾城主平林正恒逃亡
- 1582年4月23日-09:00 | 日本 | 和歌山県紀の川市 | 天正10年4月 | <高野攻め>織田方の竹田藤内らが麻生津口の飯盛山城を攻撃/高野勢は大将南蓮上院弁仙と副将橋口隼人らがこれを防ぎ、竹田ら四将を討ち取り甲首131を挙げ勝利を得た
- 1582年4月24日-09:00 | 日本 | 長野県長野市 | 天正10年4月2日 | 上杉軍、信濃長沼城を奪取
- 1582年4月25日-02:00 | エストニア/スウェーデン | || <就任>スウェーデン・エストニア総督「ヨハン・コルソ・ホーイェーフ・ゲッネス」(2回目~1583年)
- 1582年4月25日-09:00 | 日本 | 岐阜県恵那市 | 天正10年4月3日 | 織田信長、坂井越中守に命じて飯羽間右衛門尉を殺害
- 1582年4月25日-09:00 | 日本 | 長野県飯山市 | 天正10年4月3日 | 森長可が川中島の海津城へ入城し、稲葉貞通が飯山に在陣していたところへ、一揆蜂起し飯山を包囲
- 1582年4月25日-09:00 | 日本 | 山梨県甲州市 | 天正10年4月3日 | 織田信忠、謀反人らを匿った塩山恵林寺を焼き討ちし、快川紹喜ら老若男女上下百五十余人焼き殺される
- 1582年4月25日-09:00 | 日本 | 山梨県甲府市 | 天正10年4月3日 | 織田信長、長谷川竹に命じて美濃衆秋山萬可・秋山摂津守を殺害
- 1582年4月27日-09:00 | 日本 | 長野県長野市 | 天正10年4月5日 | <転封>美濃金山75000石「森長可」⇒信濃海津
- 1582年4月29日-09:00 | 日本 | 山梨県上野原市 | 天正10年4月7日 | 一揆勢8千が長沼口に進出/森長可はこれを撃破、追撃、一揆勢が立て籠もる大倉の古城を陥落/飯山包囲の一揆勢も引き上げ/飯山は森長可が引き受けて人数を入れ置く
- 1582年4月30日-09:00 | 日本 | 静岡県静岡市清水区 | 天正10年4月8日 | <庵原館の戦い>織田信長の命令により徳川軍に攻められ、甲斐武田氏の家臣朝比奈信置 (54) ・子の朝比奈信良自害
- 1582年4月30日-09:00 | 日本 | 長野県上田市 | 天正10年4月8日 | <所領安堵>信濃上田・上野沼田領主「真田昌幸」織田家家臣 (⇒天正15 (1587) 年、秀吉から信濃上田38000石所領安堵)
- 1582年5月6日-09:00 | 日本 | 愛媛県今治市 | 天正10年4月14日 | 伊予来島の村上通昌が羽柴秀吉に内通し、毛利氏に反旗を翻す/村上水軍は毛利方と織田方に分裂し塩飽諸島が秀吉に属することとなった
- 1582年5月6日-09:00 | 日本 | 岡山県倉敷市 | 天正10年4月14日 | <日畑城の戦い>羽柴秀吉が日畑景親の備中日畑城を攻略
- 1582年5月7日 08:00 | 日本 | 岡山県岡山市北区 | 天正10年4月15日 | <宮地山城の戦い>夕刻、羽柴秀吉が宮地山城の攻略を開始/秀吉方は宇喜多勢を先鋒に3万近い大軍で城を包囲し2回にわたって攻撃を加えたが城兵の逆襲を受けて敗退
- 1582年5月8日-09:00 | 日本 | 福岡県福岡市 | 天正10年4月16日 | <岩戸の戦い>道雪・宗茂・薦野増時らが原田軍・笠興長、秋月、宗像を撃破
- 1582年5月8日 08:00 | 日本 | 愛媛県松山市 | 天正10年4月16日 | 宇和郡下木城主宇都宮宣綱、安楽寺を建立した永綱の木像を造る
- 1582年5月11日 03:00 | フラジル/ポルトガル | ||| <就任>ポルトガル領ブラジル総督「マヌエル・デ・アルメイダ」(~15870810)
- 1582年5月13日-09:00 | 日本 | || 天正10年4月21日 | 彗星が現れる
- 1582年5月17日-09:00 | 日本 | 岡山県岡山市 | 天正10年4月25日 | <備前冠山城の戦い>織田軍羽柴秀吉2万、宇喜多勢1

1590迄 (2237件)

- 万で冠山の巢蜘蛛塚城(林重真)を囲み破る/林重真自害、重真の家来139人も討死
- 1582年5月18日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年4月26日|羽柴秀吉、備中庭瀬城を攻略
- 1582年5月19日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年4月27日|<備中高松城の戦い>羽柴秀吉が清水宗治が守る備中高松城を高松城を総攻め/浮田忠家率いる宇喜多勢(八幡山に布陣)が城の西沼押出式の端の外で朝から昼頃まで戦ったが失敗/寄せ手の死者426人、城兵97人
- 1582年5月19日-09:00|日本|長野県飯田市|天正10年4月27日|信濃伊那郡の菅沼定忠が伊那郡知久平で牛久保城主牧野康成と戦い戦死
- 1582年5月20日-09:00|日本|岩手県胆沢郡金ヶ崎町|天正10年4月28日|九戸政実、陸奥国和賀郡河崎城(金ヶ崎城)を夜襲により攻め落とす
- 1582年5月23日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年5月2日|羽柴秀吉方の宇喜多忠家、備中宮路山城を落とす(和睦交渉の使者信原内蔵允に宮地山城の出丸の主将船木藤左衛門が内通したため)乃美元信が開城して宮路山城を退去
- 1582年5月23日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年5月2日|羽柴秀吉、備中高松城を2回目の総攻めを実施/朝から昼まで、和井田口で戦う/死者は攻撃側25人、城側85人
- 1582年5月23日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年5月2日|加茂城では城将の乃美景興が秀吉に内通して秀吉軍を城内に導こうとするも、桂広繁、上山元忠ら守備兵の反撃を受け、追い出される
- 1582年5月23日-09:00|日本|岡山県倉敷市|天正10年5月2日|羽柴秀吉、備中国河屋城を攻略
- 1582年5月23日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正10年5月2日|羽柴秀吉に亀石城も降伏、開城
- 1582年5月24日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年5月3日|秀吉は加茂城・日幡城などの支城も攻略
- 1582年5月27日-09:00|日本|富山県魚津市|天正10年5月6日|<魚津城の戦い>織田軍は魚津城二の丸を占拠/景勝は戦を仕掛けられず、信濃国・海津城の森長可や上野国・厩橋城の滝川一益が越後侵入の態勢に入った
- 1582年5月28日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年5月7日|羽柴秀吉が、毛利氏の武将清水宗治の守る備中高松城を包囲し、水攻め作戦を開始
- 1582年5月28日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正10年5月7日|毛利方の河野通直が、来島村上氏の菟葛城に付城を築き、能島水軍が城下に放火
- 1582年5月29日-09:00|日本|愛媛県今治市|天正10年5月8日|毛利方の能島勢が得居通幸(来島通昌の兄)の領する伊予難波正岡郷や来島城を攻撃し、両軍が交戦
- 1582年5月30日-09:00|日本|徳島県板野郡藍住町|天正10年5月9日|三好康長が四国攻め先鋒として勝瑞(徳島県藍住町)に着き一宮と蛭山(夷山)の両城(ともに徳島市内)を攻め落とした
- 1582年6月1日-09:00|日本|新潟県|天正10年5月11日|森長可、信濃から越後を侵し、上杉景勝、越中から退く
- 1582年6月5日-09:00|日本|富山県魚津市|天正10年5月15日|上杉景勝が越中天神山に陣を置き、織田勢と戦う
- 1582年6月7日-09:00|日本|秋田県大館市|天正10年5月17日|安藤勢、比内の浅利勝頼を扇田の長岡城で謀殺し、領地を奪う
- 1582年6月7日-09:00|日本|長野県|天正10年5月17日|信濃伊那郡の武田遺臣菅沼定吉(浄秀)殺害
- 1582年6月8日-09:00|日本|栃木県小山市|天正10年5月18日|<祇園城返還問題>北条氏政、織田信長の要請を受け小山秀綱に下野祇園城を返還
- 1582年6月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Diego Menendez de Valdes」(~15930511)
- 1582年6月12日-09:00|日本|石川県鳳珠郡能登町|天正10年5月22日|<棚木城の戦い>能登正院の旧城主長景連(上杉景勝家臣)再び海路から奥能登に攻め込み棚木城を落とすが、前田利家勢(長連竜・前田安勝ら)の攻撃に全滅、開城
- 1582年6月13日-09:00|日本|新潟県南魚沼郡湯沢町|天正10年5月23日|滝川一益が越後に攻め入ろうとして三国峠を攻めた
- 1582年6月13日-09:00|日本|新潟県妙高市|天正10年5月23日|<関川合戦>織田家部将の森長可、田切城を攻略
- 1582年6月17日-09:00|日本|富山県|天正10年5月27日|織田信長家臣の森長可が上杉景勝の留守に乘じ信濃から越後境を侵す。上杉景勝は越後春日山城危機の報に接し、越中から陣を払い帰国
- 1582年6月18日-09:00|日本|京都府与謝郡与謝野町|天正10年5月28日|細川忠興が一色義清の丹後弓木城を落とす
- 1582年6月20日-08:00|中国| ||明・万暦10年6月|明の宰相張居正が死去し10年間の綱紀肅正政治に幕、死因は媚薬の過飲
- 1582年6月21日-05:00|日本|京都府京都市中京区|天正10年6月2日|<本能寺の変>未明、織田信長(49)が明智光秀に急襲され、自害。森蘭丸(長定)以下近臣70~80人が殉じる
- 1582年6月21日 03:00|日本|京都府京都市|天正10年6月2日|<二条御新造合戦>織田信忠、京都妙覚寺を出て二条御所(下御所)に籠もったところ、同じく明智光秀が襲撃し後刻「打死」/尾張犬山城主「織田勝長」(織田信長の五男)、村井貞勝(村井春長軒)以下も「悉打死」した/二条御所炎上
- 1582年6月21日 08:00|日本|滋賀県大津市|天正10年6月2日|夕方、明智光秀は安土城を目指し瀬田へ侵攻/瀬田城主山岡景隆・景佐兄弟を説得するも山岡兄弟は瀬田橋を焼き落とし城に火を懸けて山中へ退いた/光秀は手段がなくなり橋のたもとに復旧のため兵を置き、その日は坂本城へ入る
- 1582年6月21日 08:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正10年6月2日|<高野攻め>夕刻に至って、高野山に本能寺の変の情報が届き寄手は撤退を開始、高野勢はこれを追撃し勝利
- 1582年6月21日 11:00|日本|京都府綴喜郡宇治田原町|天正10年6月2日|<死去>「穴山梅雪(信君)」42歳、山城宇治田原で一揆衆に殺される
- 1582年6月22日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正10年6月3日|反信長派の土橋一族が挙兵したため、鈴木孫一は

1590迄 (2237件)

岸和田城へ逃亡

- 1582年6月22日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天正10年6月3日|<交替>丹後舞鶴12万石「細川藤孝」隠居、剃髪し名を幽齋に改め田辺城⇒長男の「細川忠興」が嗣ぐ(慶長5(1600)年豊前中津へ)この後、忠興は家老松井康之を通じて光秀の女婿明智秀満宛に義絶を伝え、信孝の所に二心なきことを述べさせ、妻玉を丹後の三戸野に幽閉
- 1582年6月22日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正10年6月3日|安土城の守将蒲生賢秀、氏郷父子、安土城の織田信長の妻妾、一族を伴って、居城日野城に退去/安土城を木村次郎左衛門に渡した
- 1582年6月22日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正10年6月3日|<拝領>遠江横須賀3万石「松平(大須賀)康高」築城(⇒天正17(1587)年上総久留里へ)
- 1582年6月22日-09:00|日本|富山県魚津市|天正10年6月3日|<魚津城の戦い>佐々成政が柴田勝家らの来援で上杉方中条景泰の拠る越中魚津城を落とす/上杉家部将の吉江景資・吉江資堅が魚津城で戦死/6月2日に信長が本能寺で明智光秀により討たれた(本能寺の変)との報に接し、主君の死に動揺した織田勢は四散/空城となった魚津城には須田満親を中心とする上杉勢が入り、越中東部における失地を奪還
- 1582年6月23日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正10年6月4日|徳川家康一行が伊勢白子より三河大浜に上陸、岡崎へ戻る/家康は本拠浜松城に赴かず、岡崎城からそのまま明智光秀に敵対行為を開始
- 1582年6月23日-09:00|日本|岡山県|天正10年6月4日|備前・備中・美作を宇喜多領とする
- 1582年6月23日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正10年6月4日|<備中高松城の戦い>備中高松城の吉川元春、小早川隆景と羽柴秀吉が和睦、毛利氏に備中・美作・伯耆の割譲を受け入れさせる/備中高松城開城、城主清水宗治(46)が切腹
- 1582年6月23日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正10年6月4日|明智光秀が安土城へ入城。光秀は安土城にあった信長の金銀財宝を接收。財宝を朝廷や寺社に奉納し、また身分に応じて貴族や家臣、知人、さらに財宝目当てに集まった庶民にまで2、3日のうちに分配
- 1582年6月23日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正10年6月4日|明智光秀と通じ武田元明が佐和山城を、京極高次が長浜城を占拠
- 1582年6月23日-09:00|日本|富山県魚津市|天正10年6月4日|上杉景勝、「変」の報を聞き、退却する柴田・佐々・森らの手から魚津城を取り返し、信長に応じた新発田重家を攻める
- 1582年6月23日-09:00|日本|富山県魚津市|天正10年6月4日|本能寺の変の報が越中に到来、柴田勝家ら、魚津城から撤収
- 1582年6月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正10年6月5日|織田信孝が丹羽長秀とともに明智光秀の女婿津田信澄(28)を大坂城に攻め、これを討つ
- 1582年6月24日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正10年6月5日|近江半国の旧守護京極高吉の子京極高次を将として、その旧臣山本山の城主阿閉貞征と光秀の近従山田八右衛門らとともに、秀吉の本拠長浜城を攻めさせてこれを占領し、斎藤利三をこれに入れる
- 1582年6月24日-09:00|日本|富山県下新川郡朝日町|天正10年6月5日|柴田勝家が宮崎城を攻略
- 1582年6月24日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正10年6月5日|伊賀国では織田信雄(北畠信意)の兵が城を捨て逃亡、牢人衆が城を占領
- 1582年6月25日-09:00|日本|岡山県|天正10年6月6日|羽柴秀吉が備中から光秀討伐に引き返す(8日には姫路に達し、いわゆる「中国大返し」と言われる機敏さで畿内へ急行)
- 1582年6月25日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正10年6月6日|毛利軍吉川元春、小早川隆景が、備中高松から撤収
- 1582年6月26日-09:00|日本|群馬県|天正10年6月7日|北條氏政が上野国に於て織田方の部將瀧川一益を破って追撃
- 1582年6月26日-09:00|日本|福井県|天正10年6月7日|柴田勝家は上杉軍に敗れて越前へ退却
- 1582年6月27日-09:00|日本|岐阜県本巣郡北方町|天正10年6月8日|<西美濃争乱>美濃北方城主・安藤守就(80)挙兵、稲葉一鉄父子の攻撃を受け、北方城が攻略され敗死
- 1582年6月27日-09:00|日本|新潟県上越市|天正10年6月8日|森長可も二本木の陣を払って越後国から撤退
- 1582年6月28日-09:00|日本|兵庫県洲本市|天正10年6月9日|羽柴秀吉が一隊を淡路島洲本に派遣し、明智方の将菅平平右衛門尉を攻撃
- 1582年6月29日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正10年6月10日|<再興>信濃諏訪領主「諏訪頼忠」諏訪にて挙兵(⇒天正11(1583)年3月、諏訪郡を所領として安堵)
- 1582年6月30日-09:00|日本|栃木県小山市|天正10年6月11日|北条氏照が下野小山城を攻撃、占領
- 1582年6月30日-09:00|日本|山梨県|天正10年6月中旬|秩父往還(雁坂口)を守備していた浄居寺城(中牧城)の大村忠堯・忠友に率いられた山梨郡倉科の土豪・大村党が大野砦に籠城して北条方に帰属/甲斐国総社の甲斐奈神社(橋立明神)の社家衆・大井撰元も北条方に属した
- 1582年7月1日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天正10年6月12日|中川清秀が天王山を、高山重友が山崎を占領、明智軍先鋒と小競り合いとなる
- 1582年7月2日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年6月13日|沼須城主(北毛)の藤田信吉が滝川一益に対し反乱を起し越後の長尾伊賀守に使いを出して上杉景勝に通じ、5千の兵を率いて滝川益重の兵4千が守る沼田城を攻め、水曲輪の一つを占拠/益重から報告を受けた一益が2万の兵(新田の滝川豊前、小幡、安中、和田、倉賀野、由良、館林の長尾、箕輪の内藤)を率いて駆けつけると藤田信吉は破れ去り、泣く泣く越後へ落ち延びた
- 1582年7月2日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年6月13日|滝川一益が沼田城を真田昌幸に返還、昌幸は沼田城を接收し回復
- 1582年7月2日-09:00|日本|山梨県大月市|天正10年6月13日|北条家部将の内藤綱秀、甲斐岩殿城を接收
- 1582年7月2日-04:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天正10年6月13日|<山崎の戦い(山城国)>早朝、天王山で明智

1590迄 (2237件)

軍と秀吉軍が交戦/明智軍の松田隊1,000名が山の上から弓・鉄砲攻撃を行うため天王山に登る。秀吉軍からは堀尾吉晴が200名で山頂へ登り交戦、松田隊に勝利/山の麓では堀秀政が松田隊を攻撃し、勝利。これにより松田隊は壊滅

- 1582年7月2日 01:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天正10年6月13日|<山崎の戦い(山城国)>午前、高山右近が秀吉が前線に到着する前に明智軍と交戦/中川清秀と池田恒興が両翼から攻撃、包囲された明智軍は退却を始める。明智軍の先手、伊勢貞興・諏訪盛直・御牧景重が東西に開き、南北に押し返し合い、高山勢と戦っているところ、中川清秀が左翼から、池田恒興が右翼から突進したため、下級兵士たちが動揺。伊勢貞興・諏訪盛直は勇敢に戦い討死、御牧景重は光秀へ退却するよう使者を送り、自身は突撃して討死
- 1582年7月2日 03:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天正10年6月13日|<勝龍寺城の戦い>正午頃、明智軍は総崩れとなり、兵が逃亡/光秀は旗本3,000の兵と勝龍寺城に立て籠もる
- 1582年7月2日 07:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天正10年6月13日|<山崎の合戦>午後4時頃、羽柴秀吉・織田信孝・丹羽長秀が明智光秀が京都山崎にて激戦/羽柴秀吉軍が勝利し明智光秀軍は重臣の多くが討死し敗走/明智光秀(55)は勝龍寺城に逃げ込み、夜に脱出して坂本城を目指す、山科小栗栖で土民の槍にかかり落命
- 1582年7月3日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正10年6月14日|羽柴秀吉軍の先鋒高山重友・中川清秀らが明智光秀の亀山城を攻め落とす
- 1582年7月3日-09:00|日本|京都府長岡京市|天正10年6月14日|勝龍寺城は秀吉軍の攻撃を支えられず落城
- 1582年7月3日-09:00|日本|滋賀県|天正10年6月14日|堀秀政、近江に出陣し明智残党を掃討
- 1582年7月3日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正10年6月14日|明智秀満、安土城から退去、単騎湖水を渡り坂本城へ退去
- 1582年7月3日-09:00|日本|山梨県甲府市|天正10年6月14日|織田家家臣河尻秀隆は岩窪館において徳川家部将の本多信俊を殺害/河尻は信俊に不審感を抱き、家康が一揆を扇動し甲斐を篡奪する意図があったと疑い信俊を殺害したという
- 1582年7月4日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正10年6月15日|近江国安土城、安土山下からの「類火」により焼失
- 1582年7月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正10年6月15日|堀秀政隊、坂本城を包囲/明智秀満は光秀の財宝を寄せ手の堀秀政に送り、光秀の妻子及び妻(光秀の娘)を刺殺し、城に火を掛けて自殺
- 1582年7月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正10年6月16日|北条氏直が滝川一益に宣戦布告、上野倉賀野に侵攻
- 1582年7月5日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正10年6月16日|丹羽長秀が佐和山城を陥れる
- 1582年7月6日-09:00|日本|京都府京都市|天正10年6月17日|明智光秀の首が京都本能寺に晒され、また近江堅田で捕らえられた光秀の家老斎藤利三(49)が京都六条河原で斬首される
- 1582年7月7日-09:00|日本|群馬県佐波郡玉村町|天正10年6月18日|<神流川の戦い>滝川一益勢が川井城を攻め、陥落させた
- 1582年7月7日-09:00|日本|埼玉県児玉郡上里町|天正10年6月18日|<神流川の戦い>滝川一益勢が、北条氏邦の配下であった斎藤光透とその弟・斎藤基盛が守る金窪城を攻め、陥落させた/金窪原で行われた合戦では、信玄・勝頼の旧臣を主体とした上州衆と滝川勢が、北条氏邦の鉢形衆5千と戦い、石山大学、保坂大炊介を討ち取ったが、上州衆も佐伯伊賀守が討ち取られ、最終的には北条方が敗れて追撃を受け二百余人が討ち取られた
- 1582年7月7日-09:00|日本|長野県長野市|天正10年6月18日|森長可、春日信達らの信濃国衆一揆に大勝、海津城を放棄
- 1582年7月7日-09:00|日本|山梨県|天正10年6月18日|<甲斐一揆>甲斐代官河尻秀隆(56)が一揆勢に襲われ、武田遺臣三井弥一郎に討たれる/子の秀長は森長可の元に逃避し客将となる(後に苗木城の城主)
- 1582年7月8日 08:00|日本|埼玉県児玉郡上里町|天正10年6月19日|<神流川の戦い>北条氏直、滝川一益が戦い、北条氏直の兵が敗走/北条氏政はこれを見て1万の兵を弟の北条美濃守氏則(氏規)に与え滝川勢を囲み攻めた/一益は後陣の上州衆を投入しようとしたが北条高広をはじめとする諸将の出足が鈍く進軍してこなかった/滝川一益は敵中に討ち入り、困んだ北条方は逆に追い立てられ、最後には北条氏則が30騎程で打ってかかり滝川勢と渡り合った/この時、北条方の300余人が討死/兵を立て直した北条氏直が再度滝川勢を攻めると、滝川一益も終に破れ夕刻には敗走、滝川方の重臣・篠岡、津田、太田、栗田など5百騎が踏み止まって討死、滝川方の上州衆では木部貞朝、倉賀野秀景の子(五郎太、六弥太)等が討死/元厩橋城主・北条高広は北条に服属
- 1582年7月9日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正10年6月20日|羽柴秀吉が岐阜城を占拠していた信忠家臣斎藤利堯(中立の立場をとっていた)から人質を取り降伏
- 1582年7月9日-09:00|日本|長野県長野市|天正10年6月20日|上杉景勝、調略により海津城(春日信達)を支配下に置く
- 1582年7月9日 13:00|日本|群馬県高崎市|天正10年6月20日|滝川一益は上州衆の人質であった北条高広の次男などを解放し、深夜に箕輪城を旅立った
- 1582年7月10日-09:00|日本|群馬県吾妻郡東吾妻町|天正10年6月21日|真田昌幸、吾妻衆の湯本三郎右衛門尉を岩櫃城に入城させ、上野の旧管轄地域を奪還
- 1582年7月10日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年6月21日|真田昌幸は叔父の矢沢頼綱を送り込んで沼田城を奪回
- 1582年7月10日-09:00|日本|長野県松本市|天正10年6月下旬|<天正壬午の乱(甲斐国、信濃国、上野国)>武田討伐後に木曾義昌に与えられた深志城(松本城)を、上杉景勝が小笠原洞雪斎(小笠原貞慶の叔父)に攻撃させ、占領
- 1582年7月12日-09:00|日本|石川県鹿島郡中能登町|天正10年6月23日|能登石動山の僧徒らが元の能登国守護島山氏の旧臣温井備前守、三宅備後守らを招き入れ、上杉氏の兵とともに石動山近傍の荒山に壘を築く
- 1582年7月13日-09:00|日本|茨城県|天正10年6月24日|佐竹義重が下野国烏山城城主那須資胤と和睦

1590迄(2237件)

- 1582年7月13日-09:00|日本|岐阜県可児市|天正10年6月24日|<移転>信濃海津「森長可(長一)」⇒美濃金山7万石(天正12年4月9日(15840518)戦死)
- 1582年7月13日-09:00|日本|長野県上田市|天正10年6月24日|真田昌幸、上杉景勝に従属
- 1582年7月15日-09:00|日本|岐阜県可児市|天正10年6月26日|森長可、東濃攻めを始め、可児郡大森城(可児市大森)、上恵土館(可児市上恵土)を攻略
- 1582年7月15日-09:00|日本|長野県佐久市|天正10年6月26日|北条氏直は、滝川一益を追う形でそのまま碓氷峠を越え、佐久郡の諸豪を臣従させた
- 1582年7月15日-04:00|日本|石川県鹿島郡中能登町|天正10年6月26日|前田利家、佐久間盛政ら、能登石動山城を攻略、温井景隆(51,能登国人)らを討つ
- 1582年7月16日-09:00|日本|愛知県|天正10年6月27日|<拝領>尾張・南伊勢5郡「織田信雄」(⇒天正18(1590)年7月13日東海地方の家康旧領への移封命令を拒否したことから改易)
- 1582年7月16日-09:00|日本|愛知県清須市|天正10年6月27日|<清洲会議>織田家四宿老の羽柴秀吉、柴田勝家、丹羽長秀、池田恒興で会議が行われ、織田信長の後継者を嫡孫三法師と定め遺領を処分
- 1582年7月16日-09:00|日本|大阪府|天正10年6月27日|<拝領>摂津大阪・尼崎・兵庫「池田恒興」(⇒天正12年4月9日(15840518)戦死、)
- 1582年7月16日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正10年6月27日|<拝領>美濃・北伊勢二郡(岐阜城)「織田信孝」(~翌(1583)年4月29日死去)
- 1582年7月16日-09:00|日本|京都府|天正10年6月27日|<拝領>丹波・播磨・山城・河内「羽柴秀吉」
- 1582年7月16日-09:00|日本|京都府綾部市|天正10年6月27日|<拝領>丹波山家16000石「谷衛友」羽柴秀吉から(~寛永4年12月23日(16280129)死去)
- 1582年7月16日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正10年6月27日|<拝領>丹波亀山城「羽柴秀勝」(~天正13年12月10日(15860129)病死)
- 1582年7月16日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天正10年6月27日|<拝領>丹波国周山城1万5000石「加藤光泰」羽柴秀吉家臣(⇒同年、近江貝津城へ転封)
- 1582年7月16日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正10年6月27日|<拝領>近江坂田郡20万石(安土城)「織田三法師」(堀秀政が管理~天正12(1584)年坂本城)
- 1582年7月16日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正10年6月27日|<拝領>若狭・近江高島郡・志賀郡(近江坂本城)「丹羽長秀」(⇒天正11(1583)年、越前(敦賀郡・南条郡の一部・大野郡の一部を除く)および加賀2郡を加増し123万石)
- 1582年7月16日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正10年6月27日|<拝領>近江長浜6万石(旧秀吉本領)「柴田豊勝(勝家の甥)」(~翌年4月16日(15830606)死去)
- 1582年7月16日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正10年6月27日|<拝領>近江佐和山20万石「堀秀政」(⇒天正13(1585)年7月越前北ノ庄)
- 1582年7月16日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正10年6月27日|<拝領>近江肥田「長谷川秀一」(⇒天正13年閏8月18日、越前東郷11万石へ加増転封)
- 1582年7月16日-09:00|日本|福井県|天正10年6月27日|<拝領>越前・北近江三郡(旧羽柴領)「柴田勝家」(⇒翌(1583)年4月24日滅亡)
- 1582年7月16日-09:00|日本|三重県伊勢市|天正10年6月27日|<旧領安堵>伊勢長島のみ「滝川一益」(⇒天正11(1583)年7月所領没収)
- 1582年7月17日-09:00|日本|山梨県|天正10年6月28日|徳川家康、大久保忠世や石川康道らを甲斐に派兵
- 1582年7月21日-09:00|日本|岐阜県加茂郡川辺町|天正10年7月2日|<米田城合戦>未明、森長可が肥田玄蕃の米田城を攻めた/肥田玄蕃は病を患っていた為、同夜に加治田城の斎藤利堯を頼って落ち延びた/森長可は肥田忠政を追って斎藤利堯が城主を務める加治田城の攻略に向かった
- 1582年7月21日-09:00|日本|長野県松本市|天正10年7月2日|上杉景勝が木曾義昌が守る深志城を小笠原洞雪齋に攻撃させ、占領
- 1582年7月22日-09:00|日本|岐阜県加茂郡富加町|天正10年7月3日|<加治田・兼山合戦>森長可は3,000余人の兵を率いて、馬串山から加治田城の支城である牛ヶ鼻砦(毛利山城)より飛騨川対岸にある小山に着陣し、飛騨川を渡って牛ヶ鼻砦に攻撃をしかけた/斎藤軍は西村治郎兵衛、湯浅新六らの物頭に軍兵500余りがついて守備しており、森軍の武将各務元正らと激戦を繰り広げるも勝敗はつかず、森軍は51余人討取られ金山へ兵を引いた/斎藤軍は40余人の戦死者を出して加治田城に撤退/森軍は牛ヶ鼻砦の敗軍を思い、刺違えて加治田を攻め落とさんと、未明に馬串砦を発向し、加治田に向け軍を進め、その夜は堂洞合戦で廃城になった堂洞城址に登り、夕田に宿陣
- 1582年7月23日-09:00|日本|岐阜県加茂郡富加町|天正10年7月4日|<加治田・兼山合戦>森長可が陣頭に立って本隊は渡河に成功、藤治兵衛の部隊を全軍で攻撃し、長沼勢は支えきれずに三徳檣へ押され、城下町は森軍の放火により燃え広がった/斎藤軍は混乱に陥り、藤治兵衛は黒の駒に打ち乗って諸卒を励ましながら防戦していたが、森軍の放った銃丸に胸板を打ち抜かれて落馬し、郎党にかかえられて三徳檣へ運ばれるも絶命/大将の利堯が各所に分かれている部隊を本陣に集め、森軍を囲むように攻め立てると、優勢だった森軍は次第に川向こうへ押し返された
- 1582年7月28日-09:00|日本|長野県上田市|天正10年7月9日|北条氏直が信濃上田城主真田昌幸を服属させる/真田昌幸、春日信達を調略し上杉氏へ反抗
- 1582年7月28日-09:00|日本|山梨県|天正10年7月9日|徳川家康は、信濃南部と八代・巨摩・山梨の甲斐3郡を掌握/佐久郡は碓氷峠を越えてきた北条に取られてしまう
- 1582年7月29日-09:00|日本|長野県松本市|天正10年7月10日|<再興>信濃松本(深志城)領主「小笠原貞慶」徳川家

1590迄 (2237件)

- 康家臣、旧領信濃深志城を回復し松本と改称(⇒天正13(1585)年豊富秀吉家臣~天正18(1590)年改易)
- 1582年7月30日-09:00|日本|京都府|天正10年7月11日|秀吉、丹後国内の旧明智領を細川忠興に与える
- 1582年7月31日 00:00|アイルランド/イギリス |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ダブリン大司教アダム・ロクス(1回目)」「ハンリー・ワップ 卿」(~15840621)
- 1582年7月31日-09:00|日本|岩手県胆沢郡金ヶ崎町|天正10年7月12日|葛西晴信、重臣寺崎吉次を遣わし、陸奥和賀郡河崎城を攻めるが、九戸勢が吉次を討死させ、これを撃退
- 1582年7月31日-09:00|日本|長野県|天正10年7月12日|北条氏直軍が上野国から碓氷峠を越えて信濃国に侵入し小諸を攻めた/徳川家康が先発させていた依田信蕃は小諸城を捨てて後退し、北条は大道寺政繁を小諸城に配して佐久郡を掌握/甲斐方面についても、河尻秀隆の死によって混乱した隙について郡内地方を掌握
- 1582年8月 00:00|マリ/ニジェール |||<即位>ソコイ帝国皇帝「アキア・ムハンマド 2世(アル・ハッジ)」(~15861215)
- 1582年8月1日-09:00|日本|長野県木曾郡|天正10年7月13日|木曾義昌、北条氏に帰属(小笠原氏に対抗するため北条氏に接近)
- 1582年8月1日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正10年7月13日|諏訪頼忠、北条氏に帰属(徳川氏に対抗するため北条氏に接近)
- 1582年8月1日-09:00|日本|長野県長野市|天正10年7月13日|上杉景勝、春日信達を誅殺し海津城を奪取
- 1582年8月2日-09:00|日本|岐阜県土岐市|天正10年7月14日|<妻木城合戦>森長可が妻木城主妻木頼忠に臣従するよう使者を遣わし要求したが頼忠は拒否したので家臣豊前市之丞を将とし二百余騎をもって攻めさせ、頼忠は和議にもちこみ長可の下に降る
- 1582年8月2日-09:00|日本|長野県長野市|天正10年7月14日|北条氏直軍が海津城攻略に向かい、上杉景勝軍(兵数8,000)と川中島の千曲川で対峙/海津城主・春日信達(上杉景勝により処刑)の調略に失敗し上杉と停戦に合意/北信濃攻略を諦め、甲斐方面へ進軍
- 1582年8月4日-09:00|日本|愛媛県四国中央市|天正10年7月16日|長宗我部元親、河上安勝の川之江城を陥れる/新居郡高峠城主石川通清も降伏
- 1582年8月5日-09:00|日本|長野県松本市|天正10年7月17日|<第2次深志城合戦>小笠原貞慶、小笠原貞種に勝利。上杉派も追放。深志城を攻略
- 1582年8月7日-09:00|日本|岐阜県加茂郡富加町|天正10年7月19日|<加治田城合戦>斎藤利堯、森長可を撃退
- 1582年8月7日-09:00|日本|埼玉県児玉郡上里町|天正10年7月19日|<神流川の戦い>(18日~)滝川一益、北条氏の兵と戦う/新附の上州兵に戦意が無く、滝川一益敗退
- 1582年8月7日-09:00|日本|長野県|天正10年7月19日|千曲川で上杉と対峙していた北条軍(兵数43,000)が甲斐方面へ進軍開始、佐久郡で唯一徳川方の国衆・依田信蕃は春日の三沢小屋砦に籠城/酒井忠次や大久保忠世ら徳川七手衆は甲斐へ撤退
- 1582年8月7日-09:00|日本|長野県松本市|天正10年7月19日|<第3次深志城合戦>小笠原貞慶、木曾義昌に勝利
- 1582年8月7日-09:00|日本|福井県|天正10年7月19日|<死去>若狭国守護「武田元明」明智光秀に加担したため丹羽長秀によって自害を命じられ滅亡
- 1582年8月8日-09:00|日本|香川県綾歌郡宇多津町|天正10年7月20日|長曾我部元親は長曾我部親政に兵1万3千人を指揮させて西長尾城に来させ東讃岐を略取するべく行動に出た/香川信景は兵3千余人を率いて合流/まず羽床、長尾を先鋒として宇多津城を攻めた/奈良太郎左衛門は城を捨てて去った/親政は目取采女に宇多津城を守備させ、山内源五に西庄城を守備させ、自らは国分寺を本陣として香西城を攻める
- 1582年8月11日-09:00|日本|香川県綾歌郡宇多津町|天正10年7月23日|西讃岐、東伊予の軍勢が長宗我部元親の命により、聖通寺山城を攻略。奈良元政は戦わずに香西に遁走
- 1582年8月12日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天正10年7月24日|松野篤通、那須領興野に攻め入る
- 1582年8月13日-09:00|日本|長野県長野市|天正10年7月25日|真田昌幸は、海津城代・春日信達を調略するが上杉家に見破られ、信達は処刑される庄城を守備させ、自らは国分寺を本陣として香西城を攻める
- 1582年8月14日-09:00|日本|石川県鹿島郡中能登町|天正10年7月26日|柴田勝家、佐久間盛政に命じて、石動山を攻め石動山の僧徒の乱を鎮圧
- 1582年8月15日-09:00|日本|長野県長野市|天正10年7月27日|加津野昌春(昌幸の弟真田信尹)が上杉景勝を離反し、牧之島城から出奔/上杉景勝、芋川親正を牧之島城に配置
- 1582年8月17日-09:00|日本|長野県|天正10年7月末|<川中島対陣>上杉と北条が講和。上杉家は高井郡、水内郡、更科郡、埴科郡を獲得。北条家は佐久郡、小県郡、安曇郡、筑摩郡、諏訪郡を獲得、真田家、木曾家、諏訪家などは北条家に帰属
- 1582年8月17日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正10年7月29日|<高島城合戦>(22日~)諏訪頼忠の高島城攻撃徳川軍、北条軍の進軍の報を受け諏訪から退却
- 1582年8月18日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|天正10年8月|武藤義氏、出羽由利郡に侵入し、安東愛季と戦う(荒沢合戦)
- 1582年8月18日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天正10年8月|那波顕宗(那波城主)北条高広に攻められるが、宇津木下綱と共に撃退
- 1582年8月18日-09:00|日本|長野県上高井郡高山村|天正10年8月|<苗木城合戦>金山城主・森長可が苗木城(遠山友忠)を攻めるため高山村まで来たが折からの付知川の増水と苗木勢の抵抗に遭い高山から引き返す
- 1582年8月18日-08:00|中国|||明・万暦10年8月|マテオ・リッチがマカオに上陸し布教活動を開始
- 1582年8月18日-09:00|日本|長野県伊那市|天正10年8月上旬|保科正直と内藤昌月、高遠城を奪取
- 1582年8月18日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正10年8月1日|諏訪・高島城を攻城していた酒井忠次ら3,000は北条の大軍が来るとの報に甲斐に向けて後退/北条主力軍43,000は、佐久経由で酒井軍を追撃するが、徳川勢は甲斐

1590迄 (2237件)

・新府城への撤退に成功

- 1582年8月19日-09:00 | 日本 | 栃木県那須郡那珂川町 | 天正10年8月2日 | 那須資晴、武茂守綱/豊綱父子を攻める
- 1582年8月23日-09:00 | 日本 | 香川県綾歌郡宇多津町 | 天正10年8月6日 | 香西佳清、長宗我部軍と香西郡伊勢馬場・西光寺等で戦う。香川信景の仲裁により和議を結び、長宗我部親政に降る
- 1582年8月23日-09:00 | 日本 | 香川県高松市 | 天正10年8月6日 | 西讃岐、東伊予の軍勢が長宗我部元親の命により、藤尾城を攻略
- 1582年8月23日-09:00 | 日本 | 長野県 | 天正10年8月6日 | <乙骨合戦>(3日~) 北条氏直は真田昌幸や諏訪頼忠を味方につけ、大軍の威力で徳川軍を信濃国から追い出し甲斐国へと後退させ、北条軍はこれを追撃
- 1582年8月24日-09:00 | 日本 | 京都府京都市 | 天正10年8月7日 | 羽柴秀吉が浅野長吉・杉原家次を京都奉行に任命
- 1582年8月26日-09:00 | 日本 | 新潟県新発田市 | 天正10年8月9日 | <新発田重家の乱(越後国)> 景勝は新発田城を包囲するが、新発田城周辺は湿地帯で攻撃は困難なため、退却
- 1582年8月28日-09:00 | 日本 | 香川県高松市 | 天正10年8月11日 | <第一次十河城の戦い> 香西佳清隊1千兵を味方に加えた香川親和軍は、讃岐国分寺を1万1千兵で出軍、十河城を取り囲んだ/十河存保は勝瑞城におり、十河存之が城代として籠城戦/香川親和軍は十河城の四方を囲み、攻城のために作道をしたが、城中には多数の鉄砲があり、四方の櫓から撃ち作道は中止となった/長宗我部元親軍は十河城との間合いを2町まで詰め、大筒を2挺用意し十河城の櫓を打ち崩し、籠城戦も難しくなってきた/前田城の城主前田宗清が夜討ちをかけ十河城を援護/長宗我部元親軍は岩倉から山越えし香川親和軍と合流し総勢3万6千兵まで膨れ上がり、再び攻城戦となったが落城させる事は出来なかった
- 1582年8月29日-09:00 | 日本 | 山梨県笛吹市 | 天正10年8月12日 | <黒駒合戦> 北条氏忠・氏勝勢10,000が家康の背後を襲うべく甲斐東部の黒駒へ進撃/これに対し、徳川軍鳥居元忠、三宅康貞、水野勝成ら2,000が黒駒付近で果敢に応戦し、北条勢約300を討ち取って撃退
- 1582年8月30日-09:00 | 日本 | 長野県東筑摩郡生坂村 | 天正10年8月13日 | <日岐城合戦>(8日~) 小笠原貞慶が仁科盛武を攻め降伏させる/仁科盛直は一族率いて大城に入り城兵を説き伏せて日岐大城は再度上杉氏に属するようになった
- 1582年9月1日-09:00 | 日本 | 鳥取県米子市 | 天正10年8月15日 | 伯耆佐陀の杉原景盛が毛利に叛意ありとして吉川元長が部将の香川春継・粟屋就光らを派兵し佐陀城を攻め杉原景盛を切腹自刃させる
- 1582年9月2日-09:00 | 日本 | 石川県鹿島郡中能登町 | 天正10年8月16日 | 佐久間盛政、某へ能登国荒山に籠もる温井備前守・三宅備後守(畠山遺臣)らを攻略
- 1582年9月8日-09:00 | 日本 | 長野県木曾郡 | 天正10年8月22日 | 木曾義昌、北条陣営から離反し徳川家に帰属
- 1582年9月11日-01:00 | フランス | ||| <即位> モンパンス公「Louis de Bourbon」を受け入れる
- 1582年9月12日-09:00 | 日本 | 静岡県浜松市北区 | 天正10年8月26日 | <死去> 祐圓尼(井伊直虎)/井伊直政が家督継承
- 1582年9月14日-09:00 | 日本 | 秋田県横手市 | 天正10年8月28日 | 奥羽では小野寺義道と由利十二頭が対立、雄物川畔大沢で戦う/黄昏となり両軍は兵を引いた
- 1582年9月14日-09:00 | 日本 | 徳島県板野郡藍住町 | 天正10年8月28日 | <中富川の戦い> 阿波国勝瑞城攻略を目指す長宗我部元親が十河存保と中富川で戦い、存保は敗れて勝瑞城に退いた/元親は兵を進めて勝瑞に着いて18日間戦い勝ちを得た。存保は密かに讃岐に走り、虎丸城に入った
- 1582年9月14日-09:00 | 日本 | 山梨県北杜市 | 天正10年8月28日 | 若神子城南の兵糧庫としていた大豆生田砦が徳川軍に落とされる
- 1582年9月16日-09:00 | 日本 | 長野県 | 天正10年8月30日 | <本領安堵> 安曇・筑摩両郡および木曾谷「木曾義昌」徳川家康により
- 1582年9月17日-09:00 | 日本 | 香川県高松市 | 天正10年9月 | 仙石秀久、秀吉の命により十河存保を救うため、兵3000を率い小豆島より渡海。屋島城を攻め、長宗我部軍と戦うが、攻めきれず小豆島に退く
- 1582年9月17日-09:00 | 日本 | 静岡県沼津市 | 天正10年9月 | <加増移封> 三河東条城1万石「松平忠康(徳川家康の四男)」⇒駿河沼津城4万石(⇒文禄元(1592)年、武蔵忍城10万石)
- 1582年9月17日-09:00 | 日本 | 静岡県沼津市 | 天正10年9月 | <交替> 駿河興国寺城「牧野康成」⇒「松平清宗」徳川家康家臣(⇒天正19(1591)年、武蔵国児玉郡八幡山1万石)
- 1582年9月18日-09:00 | 日本 | 新潟県新発田市 | 天正10年9月2日 | 越後・上杉景勝、新発田城(新発田重家)を攻撃(~25日)
- 1582年9月21日-09:00 | 日本 | 徳島県板野郡藍住町 | 天正10年9月5日 | <中富川の戦い> 大雨が5日間降り続き、後方の吉野川本流と中富川が氾濫し板野平野一帯が洪水で湖化して、長宗我部軍は民家の屋根や木の上に登り避難/この状況をみた十河軍は、城兵を小舟に乗せ、屋根の下や木の下から長柄の槍で串刺しにしていた/長宗我部軍は本陣を光勝院に移し、板野平野の水が引き去ったのち、陣形をたてなおして再び攻勢を開始/戦場は勝瑞城の内外で白兵戦となり、両軍入り乱れた乱戦になり双方かなりの損害が出た/本陣で指揮した十河存保は、玉砕覚悟で敵本陣へ攻勢をかけ最後の決戦にのぞもうとしたが、側近であった東村備後守の諫言を容れて勝瑞城へ引き揚げた
- 1582年9月23日-01:00 | フランス | ||| <死去> モンパンス公「Louis de Bourbon」
- 1582年9月23日-01:00 | フランス | ||| <即位> モンパンス公「Francois de Bourbon」(~15920604死去)
- 1582年9月23日-09:00 | 日本 | 山梨県北杜市 | 天正10年9月7日 | 若神子城北東の獅子吼城が徳川軍に落とされる
- 1582年9月24日-09:00 | 日本 | 京都府与謝郡与謝野町 | 天正10年9月8日 | <死去> 丹後国守護「一色義定」細川忠興に丹後宮津城にて謀殺され滅亡、弓木城は接收される
- 1582年9月24日-09:00 | 日本 | 長野県東筑摩郡生坂村 | 天正10年9月8日 | <日岐城合戦> 小笠原貞慶、仁科盛直に勝利
- 1582年9月27日-09:00 | 日本 | 群馬県館林市 | 天正10年9月中旬 | 佐竹義重が上野国へ侵攻、北条方の館林城を攻撃

1590迄 (2237件)

- 1582年9月28日-02:00|ル-マニア| |||<死去>モルダヴィア総督「イ-アン5世サス-ル」
- 1582年10月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Alvaro de Castro」(~1582.12死去)
- 1582年10月-08:00|中国/ミャンマー| |||ビルマが雲南に侵入
- 1582年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジ-オ-アントニオ-レオナルド-ツリ」 「フランチェスコ-ジ-ヤンニ-ニ」
- 1582年10月2日-09:00|日本|徳島県阿南市|天正10年9月16日|<死去>阿波牛岐城主「新開道善」が丈六寺にて長宗我部元親に謀殺される
- 1582年10月15日-01:00|バチカン/イタリア/ポ-ランド/ポルトガル/スペイン/リトアニア| |||カトリック教国でグレゴリウス暦が施行される(ユリウス暦では10月5日に相当する)
- 1582年10月15日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正10年9月19日|三河国野入村神明社の社殿が建立される
- 1582年10月17日-02:00|ル-マニア| |||<再任>モルダヴィア総督「ピ-ョ-トル6世」(2回目~15910819)
- 1582年10月17日-09:00|日本|徳島県板野郡藍住町|天正10年9月21日|<勝瑞城合戦>十河存保は降伏の誓詞を長宗我部元親に入れ、勝瑞城の明け渡しを条件に存保に免罪をうけ、讃岐国の虎丸城へ退去/この戦いで両軍の死者数の合計は1503名
- 1582年10月17日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正10年9月21日|<交替>鳥取城主「山名豊国」毛利派の家臣らに追放される⇒「牛尾元貞」吉川元春が入城させるが山名家臣から新たな城主を要望される
- 1582年10月19日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|天正10年9月23日|<羽衣石城合戦>毛利軍吉川元春と尾高城主杉原盛重の攻撃を受けて羽衣石城(南条元統)は落城、南条元統を追放
- 1582年10月21日-09:00|日本|静岡県三島市|天正10年9月25日|<三島合戦>北条氏政が小田原から駿河の沼津城へ進軍するも、徳川軍に敗北
- 1582年10月21日-09:00|日本|長野県上田市|天正10年9月25日|信濃上田城主「真田昌幸」が北条氏直を裏切り徳川家康に帰属
- 1582年10月21日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正10年9月25日|<放生橋の合戦>上杉景勝、越後・新発田城(新発田重家)を1ヶ月に亘って攻撃を続けたが攻めあぐねて撤退しようとしたところ放生橋で新発田方からの激しい追撃を受け敗走
- 1582年10月24日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年9月28日|真田昌幸、北条方が入っていた自城・沼田城を急襲して再奪取
- 1582年10月25日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正10年9月29日|三河国西郷大蔵社の社殿が建立される
- 1582年10月26日-04:00|ロシア| |||シベリヤがロシアに占領された(15980820、征服完了)
- 1582年10月26日-08:00|中国| |||明・万暦10年10月|蘇州ら地に大水、家屋千万・田地十萬頃損壊、死者二万
- 1582年10月27日-09:00|日本|鳥取県倉吉市|天正10年10月|吉川元春が岩倉城を再度攻撃し占領
- 1582年10月27日-09:00|日本|福井県|天正10年10月|越前北ノ庄城主「柴田勝家」とお市の方が婚姻/浅井長政亡き後、清州城で暮らしていたお市の方と三姉妹は北ノ庄城へ移る
- 1582年10月27日-09:00|日本|福岡県八女市|天正10年10月|迎春城の迎春氏が龍造寺に謀反/鍋島直茂が攻撃して鎮圧
- 1582年10月27日-09:00|日本|長野県|天正10年10月上旬|徳川軍、真田昌幸、依田信蕃が佐久郡の内山城や岩村田城、碓氷峠を占領、北条本隊の補給路を断つ
- 1582年10月30日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正10年10月4日|筑後国鷹尾城主「田尻鑑種」龍造寺氏と断ち島津氏に通じる/龍造寺隆信、田尻氏を攻める
- 1582年11月3日-09:00|日本|徳島県|天正10年10月8日|<死去>阿波国守護「細川持隆」「細川真之」滅亡
- 1582年11月3日-09:00|日本|徳島県那賀郡那賀町|天正10年10月8日|<茨ヶ岡城合戦>十河存保、阿波茨ヶ岡城主・細川真之に勝利
- 1582年11月5日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年10月10日|北条氏邦、上野沼田城(真田昌幸)を攻撃
- 1582年11月5日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正10年10月10日|長宗我部元親、阿波岩倉城を攻略
- 1582年11月9日-09:00|日本|福岡県八女郡広川町|天正10年10月14日|<迎春城の戦い>迎春城の迎春氏も呼応して謀反、鍋島直茂が攻撃して鎮圧
- 1582年11月14日-09:00|日本|長野県東御市|天正10年10月19日|<禰津城合戦>真田昌幸、北条方の小片郡禰津昌綱を攻める/禰津昌綱、勝利
- 1582年11月16日-09:00|日本|群馬県渋川市|天正10年10月21日|真田昌幸、津久田城(赤城村)を攻略
- 1582年11月19日-09:00|日本|長野県小諸市|天正10年10月24日|<小諸城合戦>大導寺政繁、依田信蕃に勝利
- 1582年11月21日-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<死去>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)・ポルトガル公(王位継承者)「フェイコ」
- 1582年11月21日-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)・ポルトガル公(王位継承者)「フェリペ」フェイコの弟(~15980913、スペイン王フェリペ3世兼ポルトガル王フェリペ2世として即位~16210331死去)
- 1582年11月22日-09:00|日本|岐阜県高山市|天正10年10月27日|<八日町の戦い>飛騨国荒城郷八日町村において、三木自綱と江馬輝盛との間で行われた合戦/江馬輝盛は三千の軍を率いて「大坂峠」を南下/対する三木自綱は牛丸親正、小島時光らと同盟軍を組織し、総勢二千余の軍をもって江馬勢を迎え撃った/江馬輝盛軍は三木勢の小島城城下に迫り、八日町において合戦が行われた/緒戦は兵力に優る江馬軍が優勢であったが、三木勢の伏兵に虚を突かれ混乱したところを、三木勢の発した銃弾が江馬輝盛に命中し討死/大将を失った江馬勢は総崩れとなり、決戦は三木氏の勝利に終わった
- 1582年11月23日-09:00|日本| |||天正10年10月28日|<第2次遠相同盟>徳川家康と北条氏直、織田信雄・信孝兄弟の仲裁を受け和睦/信濃・甲斐は徳川領、上野は北条領(切り取り次第)、家康次女の督姫を北条氏直に嫁がせる、沼田城の引き渡しを条件と決まる(真田昌幸は拒否、家康から離反)

1590迄 (2237件)

- 1582年11月23日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|天正10年10月28日|三木(姉小路)自綱勢の小島時光は江馬氏の本城である高原諏訪城に侵攻し攻め落とし、事実上江馬氏は滅亡/三木氏(姉小路氏)が飛騨一国を平定
- 1582年11月23日-09:00|日本|群馬県利根郡昭和村|天正10年10月28日|<森下合戦>北条氏邦、5000騎の兵を率いて沼田城の支城長井坂城(城主恩田能定)を攻略
- 1582年11月23日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正10年10月28日|北条氏邦、沼田城を攻め敗退
- 1582年11月26日-09:00|日本|愛知県新城市|天正10年11月|僧実増ら、三河国夏目村天満宮の社殿を建立
- 1582年11月26日-09:00|日本|長野県小諸市|天正10年11月|<拝領>小諸城「依田信蕃」(~翌年2月23日戦死)
- 1582年11月26日-09:00|日本|兵庫県三田市|天正10年冬|<移封>摂津山崎城「山崎堅家」⇒摂津三田23000石(~天正19年3月28日(15910521)死去)
- 1582年11月26日-09:00|日本|兵庫県洲本市|天正10年11月|<移封>近江野洲「仙石秀久」⇒淡路洲本5万石(~天正13(1585)年讃岐へ)
- 1582年11月27日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天正10年11月2日|柴田勝家、前田利家を山崎城に派遣し、秀吉と講和
- 1582年12月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<死去>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Alvaro de Castro」
- 1582年12月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Diogo de Azambuja」(2期目~1586.1)
- 1582年12月2日-09:00|日本|徳島県徳島市|天正10年11月7日|長宗我部元親が阿波一宮城主・一宮成祐を夷山城にて謀殺
- 1582年12月2日-09:00|日本|長野県佐久市|天正10年11月7日|<前山城合戦>依田信蕃、伴野信守に勝利/伴野信守は討死、伴野讚月齊全真は逃走
- 1582年12月11日-01:00|スペイン| |||<就任>第4代アルバ公「フアド・リケ・アルバ・レス・デ・トレド・イ・エンリクス・デ・グスマン」(~15831211死去)先代の子
- 1582年12月11日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<死去>スペインのポルトガル副王・第3代アルバ公「フェルナント・アルバ・レス・デ・トレド・イ・ビメンテル」
- 1582年12月20日-01:00|フランス| |||フランスでグレゴリウス暦が採用される(ユリウス暦で12月10日)
- 1582年12月24日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カジ・エリ・シャブ・シュ・ハ・シャ」(1期目~15840725)
- 1582年12月25日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正10年12月|北条氏邦軍が徳川についた真田の上野中山城を攻略し、城を拡張
- 1582年12月25日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正10年12月|酒井忠次が北条方の高島城の諏訪頼忠を降伏させる(諏訪頼忠は徳川家臣となる)
- 1582年12月25日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正10年12月|北条軍が徳川についた真田の中山城を攻略し、城を拡張。沼田城と岩櫃城が分断される
- 1582年12月25日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天正10年12月|那波顕宗(那波城主)、再度北条高広に攻められるが、宇津木下綱と共に撃退
- 1582年12月25日-09:00|日本|三重県多気郡多気町|天正10年12月|北畠具親、五箇篠山城にて挙兵し北畠信意と敵対するも2日で落城
- 1582年12月26日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正10年12月2日|羽柴秀吉は毛利氏対策として山陰は宮部継潤、山陽は蜂須賀正勝を置いた上で、和睦を反故にして大軍を率いて近江に出兵、長浜城を攻撃
- 1582年12月26日-09:00|日本|広島県三原市|天正10年12月2日|小早川隆景、本拠を新高山城から三原城に移す
- 1582年12月28日-09:00|日本|三重県|天正10年12月4日|<死去>土岐頼芸、元美濃守護(生年1502年)
- 1582年12月29日-09:00|日本|長崎県雲仙市|天正10年12月5日|島津勢が肥前千々石城を攻略
- 1583年-08:00|インドネシア| |||<死去>テルナテ・スルタン「Babullah Datu Shah」
- 1583年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Saidi Berkati」(~1606年~1628年死去)
- 1583年-07:00|ラオス| |||<退位>ランサン王朝国王「ナコン・ノイ王」タウングー王朝の直接支配
- 1583年-06:30|ミャンマー/タイ| |||アユタヤ朝が下ビルマを攻撃、スコタイを併合
- 1583年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Kantipur)国王「Shivasimha Malla」(~1620年)
- 1583年-05:30|インド| |||<復位>ムファリト朝スルタン「ムサ・ファール・シャー3世」(2期目~同年)
- 1583年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン・テウケル「シガイの次男」(~1598年)
- 1583年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ヒルリ朝国王「Dom Joao Keerithi Maha Radun」(~1603年)
- 1583年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ朝ハン「アフドゥッラー2世」イスクンダールの子(~1598年死去)
- 1583年-04:00|アゼルバイジャン/トルコ| |||シャッキはオスマン帝国に併合(~1603年)
- 1583年-04:00|ロシア/トルコ| |||テルヘントはオスマン帝国に占領される(~1606年)
- 1583年-03:00|エチオピア| |||<即位>オサ・イマム国イマム「Sa' adaddin Mahamed」(~1585年)
- 1583年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア「ハサン・ハ・シャ」(1期目~1584年)
- 1583年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ダマト・イブラヒム・ハ・シャ」(~1585年)
- 1583年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ホントウス、フリハッレ・テ・ラ・ガルドイ」(~15851105没)
- 1583年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハサン・ハ・シャ」(2期目~同年)
- 1583年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キープ・テンズ・メジヤ「ヌノ・ウエリョ・ヘ・レイラ」(~1586年)
- 1583年-01:00|スペイン| |||<死去>ペラガア公「クリストバル・コロン・デ・カルトナ」
- 1583年-01:00|フランス| |||<就任>シャテルロー公「フランソワ・ド・フルボン＝モンパシエ」(~15920604死去)
- 1583年-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク＝ルートルシュタット伯「アルブレヒト7世」(~16050410死去)
- 1583年-01:00|スペイン| |||<就任>ペラガア公「ヌニョ・アルバ・レス・ペレイラ・コロン・デ・ポルトガル」先代の従兄弟の子(~1622年没)

1590迄 (2237件)

- 1583年-01:00|イタリア| |||<即位>ゲラチーナ公「Michele Antonio1世Orsini」(~1627年死去)
- 1583年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島領土執達吏(トスハウ)「Mikkel Ibson」(~1584年)
- 1583年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・コースト長官「ジョン・ロドリゲス・ペサヤ」(~1586年)
- 1583年 00:00|モロッコ/ニジェール| |||カヌム・ポル国がモロッコに臣従
- 1583年 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「ガルシア・エルナンデス・デ・トルメダ/デ・イエコ・フェルナンデス・キニョス」(~15860421)
- 1583年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントアゴ 総督「ルカス・テルバジェ・アルバート」(2回目~1586年)
- 1583年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「エルナン・デ・カスコ」(~1589年)
- 1583年1月1日-01:00|ベルギー/オランダ| |||フランドルとベルギーの一部でグレゴリイ暦が採用される/ここでは12月21日の次の日が1月1日になり、クリスマスが飛ばされたことになる
- 1583年1月2日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正10年12月9日|<長浜城合戦>柴田勝豊が羽柴秀吉に降伏し、長浜城が開城される
- 1583年1月2日-09:00|日本|山梨県甲府市|天正10年12月9日|<任命>甲斐・甲府城代「平岩親吉」徳川家康配下
- 1583年1月13日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正10年12月20日|羽柴秀吉、織田信孝を美濃国岐阜城に攻撃し降伏させ、織田信孝から三法師を奪取/織田信孝は母、妹、娘を人質に差し出す
- 1583年1月16日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天正10年12月23日|宇和郡津島郷越智通頭、高田八幡宮を再興
- 1583年1月17日-01:00|ベルギー/オランダ/フランス| |||ネデルラントに転戦していた王弟「アンジュー公」フランソワ、アントウェルペン(アンヴェル)の民兵隊に大敗
- 1583年1月24日-09:00|日本|秋田県横手市|天正11年|<交替>出羽横手領主「小野寺景道」隠居⇒次男の「小野寺義道」が継ぐ(⇒天正18(1590)年所領安堵⇒上浦郡31600石に減封⇒1601年改易)
- 1583年1月24日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正11年1月|正岡宮内大輔、喜多郡菅田村少彦名神社を再興
- 1583年1月24日-09:00|日本|岐阜県土岐市|天正11年1月|<妻木城合戦>森長可に妻木頼忠は降伏
- 1583年1月24日-09:00|日本|岐阜県美濃市|天正11年1月|<立花山の戦い(美濃国)>武儀郡の諸士は、須原(現美濃市)・洞戸(現関市)に陣を構え、郡上と岐阜の連絡を遮断、これを知った遠藤方は300余騎で陣を攻め落とし、立花山に兵を置いて固守
- 1583年1月24日-08:00|中国/ミャンマー| |||明・万暦11年1月|ビルマ王ナガハインの軍が雲南に来襲、順寧を落とす
- 1583年1月24日-09:00|日本|京都府京都市|天正11年1月1日|上京木下柳原町の在家140-150焼亡
- 1583年1月24日-09:00|日本|群馬県太田市|天正11年1月1日|森長可の家臣・加木屋宇右衛門、杉ヶ洞で(金山城山麓東)久々利城主・久々利頼興を討ち取る
- 1583年1月24日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正11年1月1日|佐野宗綱は足利城の長尾顕長を奇襲しようとして須花坂で狙撃を受けて討ち死に/北条氏は榎本城を奪還した
- 1583年1月24日-09:00|日本|三重県|天正11年1月1日|織田信孝・柴田勝家につく伊勢長島の滝川一益が、羽柴秀吉に対して挙兵、伊勢亀山城主の関盛信・一政父子が年賀の挨拶で秀吉の姫路城を訪れている隙に、滝川一益が亀山城攻撃を行い、占領、秀吉方の峯城(城主 岡本良勝)も占領、滝川一益は亀山城に従弟の滝川益氏、峯城に甥の滝川益重を配置
- 1583年2月-03:00|サウジアラビア| |||<死去>メッカ・シャリフ「アフ・ヌマイ2世・ビン・ハラット」
- 1583年2月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ハッサン・ビン・アフ・ヌマイ2世」(~1601年12月死去)
- 1583年2月-01:00|ドイツ| |||ケルン大司教領の帰属をめぐってケルン戦争が起こる
- 1583年2月3日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|天正11年1月11日|庄内の大宝寺勢は再度、小助川氏の居城の荒沢城を攻撃/由利十二頭は安東愛季の後ろ盾のもと芋川を挟んで対峙/大宝寺勢は庄内に引き上げ
- 1583年2月4日-09:00|日本|新潟県|天正11年1月12日|上杉景勝、羽柴秀吉と同盟を結ぶ(後、羽柴秀吉に服属)
- 1583年2月5日-09:00|日本|愛媛県西予市|天正11年1月13日|長宗我部元親、伊予北川城(北川親安)を攻略
- 1583年2月9日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正11年1月17日|<厩橋城合戦>北条芳林、北条軍に勝利
- 1583年2月11日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「アルバート、オーストリア大公」(~15930705)
- 1583年2月13日-09:00|日本|茨城県古河市|天正11年1月21日|<死去>古河公方「(5代)足利義氏」形式的に続いていた古河公方は名実ともに滅亡
- 1583年2月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「コンサロ・ロンキョ・デ・ペニャサ」
- 1583年2月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督代理「デ・イエコ・ロンキョ・デ・ペニャサ」(~15840516)
- 1583年2月15日-09:00|日本|三重県|天正11年1月23日|羽柴秀吉、7万の兵で北伊勢に侵入
- 1583年2月17日-09:00|日本|岐阜県高山市|天正11年1月25日|飛騨の三木自綱は人を遣わして実弟で鍋山城主の鍋山豊後守顕綱を殺害させ二男秀綱をその嗣とした
- 1583年2月22日 00:00|ポルトガル| |||<死去>6代ブラガンサ公・初代バルセロナ公・5代ヴァイ・ヴァイツァ侯・10代オウム伯・7代アロイオス伯・7代オリア伯「ジョン1世」
- 1583年2月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>7代ブラガンサ公・2代バルセロナ公・6代ヴァイ・ヴァイツァ侯・11代オウム伯・8代アロイオス伯・8代オリア伯「フェドリコ2世」ジョン1世の長男(~16301129)
- 1583年2月23日-09:00|日本|大分県宇佐市|天正11年閏1月|大友勢が豊前龍王城を攻略し、安心院麟生は自害して果てる
- 1583年2月23日-09:00|日本|長野県上田市|天正11年閏1月|真田昌幸、徳川配下として小県郡の平定を開始/室賀領を攻撃、室賀正武が真田配下となる/真田昌幸が小県郡の丸子城(丸子三左衛門)を攻撃、占領
- 1583年2月28日-02:00|ラトヴィア/デンマーク| |||ピルテン地区(クライス・ピルテン)の主権がケルントとデンマークの間で争われる(~15850415)

1590迄 (2237件)

- 1583年2月28日-02:00|ラトビア/ポランド/リトアニア| |||リガがリガニアの一部としてポランド=リトアニアに組み込まれた(1621年までポランド=リトアニアの主権の下で自治都市のまま)
- 1583年3月-02:00|キリシヤ| |||<就任>カテドリア王国総督「アルメイセ・ゲリマニ」(~1585年12月)
- 1583年3月2日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|天正11年間1月8日|森長可、立花山(武儀郡)の遠藤慶隆を攻撃
- 1583年3月13日 05:00|ペルー/スペイン| |||<死去>ペルー副王「マルティン・エンリケス・デ・アルマンサ」
- 1583年3月13日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「(アウグスティン)大統領」クリストバル・ラミレス・デ・カルタナ(~1584年)
- 1583年3月20日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ファン・デ・ガライ」
- 1583年3月20日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<死去>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「ファン・デ・ガライ」
- 1583年3月20日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス暫定総督「ファン・デ・トレス・ナバレ」(~1587年6月)
- 1583年3月24日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|天正11年2月|松浦道可、肥前国長徳寺を建立
- 1583年3月24日-09:00|日本|広島県三原市|天正11年2月|小早川隆景、備後・三原城完成させる
- 1583年4月 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ロドリゴ・オルティス・デ・サラテ」(~15840315)
- 1583年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ヒエール・マッテオ・ベルツィ」[マルクアントニオ・ゴジ]
- 1583年4月2日-09:00|日本|長野県|天正11年2月10日|小笠原貞慶、北条氏から離反し徳川氏に帰属
- 1583年4月2日-09:00|日本|三重県|天正11年2月10日|羽柴秀吉(兵数20,000)が伊勢の滝川一益領へ侵攻
- 1583年4月3日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天正11年2月11日|<死去>下野烏山領主「那須資胤」⇒子の「那須資晴」が継ぐ(~天正18(1590)年失領)
- 1583年4月4日-09:00|日本|長野県佐久市|天正11年2月12日|芦田(依田)信蕃は田口城を攻略
- 1583年4月4日-09:00|日本|長野県南佐久郡北相木村|天正11年2月12日|芦田(依田)信蕃は北相木の坂上城も落とした
- 1583年4月5日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正11年2月13日|常陸国新治郡藤沢城主小田讃岐守氏治入道天菴は五才の嫡子金寿丸盛治(彦太郎守治)を太田城主佐竹義重に質子として差し出して降伏
- 1583年4月5日-09:00|日本|長野県安曇野市|天正11年2月13日|小笠原貞慶、上杉方に通じて小笠原氏に逆心を企てたという理由で小岩嶽城の古厩盛勝を誅殺
- 1583年4月7日-09:00|日本|大阪府池田市|天正11年2月15日|大石寺僧中納言日誓、摂津長柄に源立寺を創す
- 1583年4月8日-09:00|日本|三重県桑名市|天正11年2月16日|羽柴秀吉が、滝川一益の桑名城を攻めるが、後退を余儀なくされる
- 1583年4月12日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天正11年2月20日|羽柴秀吉、国府城を制圧
- 1583年4月14日-09:00|日本|栃木県那須郡那珂川町|天正11年2月22日|佐竹義重/宇都宮国綱、那須資晴と那須領那珂川近辺で戦い大関・大田原の援軍で撃退
- 1583年4月14日-09:00|日本|長野県佐久市|天正11年2月22日|<岩尾城の戦い>(21日~)徳川軍と信濃小諸城主の依田信蕃が、統治に従わない北条方の岩尾城(城主大井行吉/旧武田家臣)を攻撃するが、銃撃に合い翌日依田信蕃が戦死(36歳)
- 1583年4月16日-09:00|日本|長野県小諸市|天正11年2月24日|小諸城自落/北条方は小諸城を徳川方に明け渡して上野国に去り佐久郡は徳川方によって平定
- 1583年4月17日-09:00|日本|長野県|天正11年2月25日|<死去>小笠原長時、元信濃守護(生年1514年)
- 1583年4月22日-09:00|日本|富山県魚津市|天正11年3月|越中・佐々成政、魚津・松倉城を攻略
- 1583年4月22日-09:00|日本|長野県小諸市|天正11年3月|<拜領>信濃国小諸城6万石「依田康国」(芦田信蕃の長男)徳川家康臣下(~天正18年4月26日(15900519)戦死)
- 1583年4月24日-09:00|日本|長野県佐久市|天正11年3月3日|柴田康忠、大井行吉を説得し岩尾城を開城
- 1583年4月24日-09:00|日本|三重県亀山市|天正11年3月3日|羽柴秀吉が伊勢亀山城を攻略
- 1583年4月26日-09:00|日本|福井県|天正11年3月5日|柴田勝家が兵を上げ、秀吉にいどむ
- 1583年4月27日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正11年3月6日|<死去>出羽尾浦領主「大宝寺義氏」33歳、最上義光に通じた家臣前森氏永の謀反により自刃⇒弟の「大宝寺義興」が継ぐ(~天正15年11月24日(15871223)死去)
- 1583年4月28日-09:00|日本|長野県佐久市|天正11年3月7日|徳川軍の柴田康忠、岩尾城大井行吉を説得し開城させる
- 1583年5月1日-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー総督「カール・ユル・ティル・ケルト・ガート」(~15881006)
- 1583年5月4日-09:00|日本|愛媛県今治市|天正11年3月13日|毛利軍、伊予国来島を攻略/来島城から村上通昌が退去し、羽柴秀吉を頼って復帰を画策
- 1583年5月6日-09:00|日本|福岡県宗像市|天正11年3月15日|戸次道雪、高橋紹運、許斐岳を攻めてこれを陥す
- 1583年5月11日-09:00|日本|新潟県新潟市|天正11年3月20日|山吉景長(木場城守将)新発田勢を破る
- 1583年5月12日-09:00|日本|長野県上田市|天正11年3月21日|<虎空蔵城合戦>真田昌幸は上杉領の虚空蔵山城を急襲し城将駒沢主税守を討ち取る等多大な戦果を上げたが城は奪取できず
- 1583年5月14日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・ハダヤトラ・サルニ」(~1585年)
- 1583年5月19日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正11年3月28日|<所領安堵>信濃諏訪領主「諏訪頼忠」徳川家康家臣(⇒翌年12月、信濃金子城に移転)
- 1583年5月22日-09:00|日本|愛媛県松山市|天正11年4月|白井房胤、南四郎兵衛ら毛利水軍が得居通幸の立て籠もる伊予鹿島城を攻めるも反撃を受け、両名とも負傷
- 1583年5月22日-09:00|日本|徳島県鳴門市|天正11年4月|香宗我部親泰(長宗我部元親の弟)が木津城を攻略
- 1583年5月22日-09:00|日本|宮城県角田市|天正11年4月|相馬勢は伊具郡金津付近で伊達勢と戦い敗れ金津城を失った

1590迄 (2237件)

- 1583年5月22日-09:00|日本|長野県|天正11年4月1日|信濃・屋代秀正, 海津城から脱して信濃国荒砥城を奪い徳川家康に応じ, 上杉方に背く
- 1583年5月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ノックス公・ダークリー伯「エズメ・スチュワート」
- 1583年5月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ノックス公「ルトヴァイク・スチュワート」(~16240216死去)
- 1583年5月26日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正11年4月5日|柴田勝家が進軍、東野山砦の堀秀政を攻撃するが、堀秀政は攻撃を防ぐ
- 1583年6月3日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正11年4月13日|羽柴秀吉方にあった柴田勝豊の武将山路正国が堂木山で柴田勝家方に寝返る/秀吉はこれを捕らえて磔とする
- 1583年6月6日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正11年4月16日|一度は秀吉に降伏していた美濃の神戸(織田)信孝が羽柴秀吉に対抗して岐阜城にて再度挙兵
- 1583年6月7日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|天正11年4月17日|上杉景勝, 糸魚川に新城を築き, 越中牢人衆を入れ, 秋山定綱を横目とする
- 1583年6月7日-09:00|日本|三重県亀山市|天正11年4月17日|羽柴秀吉が峯城(城将滝川益重)を落とす
- 1583年6月9日 00:00|イギリス| |||<死去>第3代サックス伯「トマス・ラトクリフ」
- 1583年6月9日 00:00|イギリス| |||<就任>第4代サックス伯「ヘンリー・ラトクリフ」(~15931214死去)
- 1583年6月9日-09:00|日本|長野県東筑摩郡筑北村|天正11年4月19日|<青柳城合戦>上杉景勝は麻績城・青柳城を落城させたが新発田重家の乱鎮庄のため軍を引いたため, その隙に乗じてすかさず小笠原貞慶が筑北を制圧し青柳氏は城に帰還
- 1583年6月9日-09:00|日本|新潟県新潟市|天正11年4月19日|山吉景長(木場城守将)新発田勢を破る
- 1583年6月10日 01:00|日本|滋賀県長浜市|天正11年4月20日|柴田勝家は、佐久間盛政に大岩山砦を攻撃させ、大岩山砦を守っていたのは中川清秀(42:摂津茨木城主)は耐え切れず陥落、中川は討死/続いて黒田孝高の部隊が盛政の攻撃を受けることとなったが、奮戦し守り抜いた/盛政はさらに岩崎山に陣取っていた高山右近を攻撃、右近も支えきれずに退却し、木ノ本の羽柴秀長の陣所に逃れた
- 1583年6月11日-09:00|日本|香川県東かがわ市|天正11年4月21日|<引田の戦い>長宗我部氏家臣の香川信景らが率いる部隊五千名が引田城を攻めるとの情報を得て、仙石秀久は二千の兵で是を城から出でて伏兵にて迎撃し緒戦を有利に進める/数に勝る香川隊は次第に体勢を立て直し反撃に転じ此処に長宗我部氏からの後詰めが届き兵力差が倍以上となって仙石隊は敗戦色を強めると命辛々に引田城へ撤退
- 1583年6月11日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正11年4月21日|<賤ヶ岳合戦>(19日~)羽柴秀吉、柴田勝家に勝利/柴田側:柴田勝政、山路正国、拝郷家嘉らが討死/柴田勝家は越前北ノ庄城へ退却/劣勢であると判断した賤ヶ岳砦の守将、桑山重晴も撤退を開始/丹羽長秀率いる2,000の軍勢は撤退を開始していた桑山重晴の軍勢とちょうど鉢合わせする形となるとそれと合流し、そのまま賤ヶ岳周辺の盛政の軍勢を撃破し間一髪の所で賤ヶ岳砦の確保に成功
- 1583年6月12日-09:00|日本|香川県東かがわ市|天正11年4月22日|<引田の戦い>引田城は援軍を得た長宗我部軍の総攻撃を受け仙石秀久は城を持ち堪えさせる事が出来ず淡路島に撤退
- 1583年6月12日-09:00|日本|福井県越前市|天正11年4月22日|羽柴秀吉、越前国府中に前田利家を降伏させる
- 1583年6月14日-09:00|日本|岐阜県|天正11年4月24日|<拝領>武儀郡2万5000石「佐藤秀方」
- 1583年6月14日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正11年4月24日|織田信孝は織田信雄からの降伏勧告を受け入れて岐阜城を明け渡し尾張国に退いた
- 1583年6月14日-09:00|日本|福井県福井市|天正11年4月24日|<死去>越前北庄城主「柴田勝家」妻お市の方とともに自害/北ノ庄城は落城/浅井三姉妹は救出される/佐久間盛政は逃亡するものの黒田孝高の手勢に捕らえられ、のちに斬首され、首は京の六条河原でさらされた
- 1583年6月15日-09:00|日本|石川県|天正11年4月25日|羽柴秀吉が加賀国を平定/北陸諸将をくだす
- 1583年6月16日-09:00|日本|石川県加賀市|天正11年4月26日|<拝領>加賀国江沼郡大聖寺城4万4000石「溝口秀勝」
- 1583年6月16日-09:00|日本|石川県金沢市|天正11年4月26日|<拝領>加賀金沢120万石「前田利家」能登一国も安堵(~慶長4年閏3月3日(15990427)大坂の自邸で病死)
- 1583年6月16日-09:00|日本|大阪府|天正11年4月26日|<加増>摂津・西近江2郡「羽柴秀吉」大坂城を獲得
- 1583年6月16日-09:00|日本|大阪府茨木市|天正11年4月26日|<所領安堵>摂津茨木「中川秀政」
- 1583年6月16日-09:00|日本|大阪府高槻市|天正11年4月26日|<所領安堵>摂津高槻「高山右近」
- 1583年6月16日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正11年4月26日|<転封>摂津3郡12万石「池田恒興」⇒美濃国内(旧信孝領)13万石(大垣城)(⇒天正12年4月9日(15840518)死去)
- 1583年6月16日-09:00|日本|富山県|天正11年4月26日|<所領安堵>越中国「佐々成政」
- 1583年6月16日-09:00|日本|兵庫県|天正11年4月26日|<拝領>播磨・但馬「羽柴秀長」
- 1583年6月16日-09:00|日本|福井県越前市|天正11年4月26日|<拝領>越前一国・加賀二郡123万余石(越前府中城主)「丹羽長秀」若狭の他に加増(西近江2郡は放棄)(~天正13(1585)年4月16日病死)
- 1583年6月16日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正11年4月26日|<転封>和泉岸和田14万石「蜂屋頼隆」⇒越前敦賀5万石(~天正17年9月25日(15891103)死去断絶)
- 1583年6月16日-09:00|日本|三重県|天正11年4月26日|<所領安堵>尾張国・南伊勢「織田信雄」、北伊勢・伊賀国を加増
- 1583年6月16日-09:00|日本|三重県亀山市|天正11年4月26日|<所領安堵>近江日野「蒲生氏郷」、伊勢亀山を加増
- 1583年6月18日-09:00|日本|長野県上田市|天正11年4月28日|小県郡上田城主真田昌幸、家康に臣従
- 1583年6月18日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正11年4月28日|諏訪郡高島城主諏訪頼忠、家康に臣従
- 1583年6月18日-09:00|日本|長野県松本市|天正11年4月28日|東筑摩郡深志城主小笠原貞慶、家康に臣従

1590迄 (2237件)

- 1583年6月19日-09:00|日本|愛知県知多郡美浜町|天正11年4月29日|<死去>美濃岐阜城主「織田信孝」(織田信長の三男)兄の織田信雄に攻められ、尾張内海の大御堂寺で自刃/26歳(誕生:永禄1(1558))
- 1583年6月20日-08:00|中国| ||明・万暦11年5月|この月頃、女真族のヌルハチ(24)が、蘇子河上流の興京付近で、100人足らずの兵で挙兵
- 1583年6月29日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<死去>ヌエバ・イスパニヤ副王「ホルネ・デ・サント・サ」
- 1583年6月29日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「(アウグスティン)大統領」ルイス・デ・ベシジャヌエバ・イサパタ」(~15840924)
- 1583年6月29日-09:00|日本|長崎県南島原市|天正11年5月10日|島津、有馬連合軍が肥前安徳城(安徳純俊)を攻略
- 1583年7月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主代行「ホルチア」(~8.29)
- 1583年7月1日-09:00|日本|京都府宇治市|天正11年5月12日|<死去>加賀金沢城主「佐久間盛政」(30)山城槇島で斬られ、六条河原に梟された
- 1583年7月4日-09:00|日本|石川県白山市|天正11年5月15日|<拝領>加賀松任4万石「前田利勝(利長)」(⇒天正13(1585)年、越中国内32万石)
- 1583年7月4日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正11年5月15日|<拝領>和泉岸和田城3万石「中村一氏」紀州根来・雑賀・泉南地方の一向宗徒の押えとする(⇒天正13(1585)年、近江国水口岡山城主6万石)
- 1583年7月4日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正11年5月15日|<転封>摂津3郡「池田恒興」⇒美濃大垣城13万石(旧信孝領)
- 1583年7月4日-09:00|日本|岐阜県海津市|天正11年5月15日|<拝領>美濃高松3万石「徳永寿昌」(⇒慶長5(1600)年美濃高須へ)
- 1583年7月4日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正11年5月15日|<転封>摂津伊丹城「池田元助」⇒美濃岐阜城(旧織田信孝領)
- 1583年7月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正11年5月15日|<配置>近江坂本「杉原家次」
- 1583年7月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正11年5月15日|<配置>近江瀬田城2万石「浅野長吉」
- 1583年7月4日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|天正11年5月15日|<所領安堵>近江日野「蒲生氏郷」秀吉の伊勢滝川一益攻めに加わり
- 1583年7月4日-09:00|日本|滋賀県高島市|天正11年5月15日|<加増転封>近江貝津城1万5000石「加藤光泰」羽柴秀吉家臣⇒近江高島城2万石(⇒天正12(1584)年、尾張犬山城に移封)
- 1583年7月4日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正11年5月15日|<転封>近江長浜「堀秀政」⇒近江佐和山9万石(⇒天正13(1585)年越前北庄へ)
- 1583年7月4日-09:00|日本|福井県|天正11年5月15日|若狭「丹羽長秀」に越前・加賀2郡を加増
- 1583年7月4日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|天正11年5月15日|<加増転封>丹波内6284石「堀尾吉晴(可晴)」⇒若狭高浜17000石(⇒天正12(1584)年2万石に加増⇒天正13(1585)年、若狭国佐垣2万石⇒同年閏8月、近江国佐和山4万石)
- 1583年7月4日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正11年5月15日|<転封>和泉岸和田「蜂屋頼隆」⇒越前敦賀5万石
- 1583年7月6日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|天正11年5月17日|伊達輝宗・政宗父子、相馬義胤方の陸奥丸森城を攻め落とし黒木宗俊を城主とした
- 1583年7月8日 00:00|ポルトガル| |||<死去>フェルナン・メンデス・ピント、ポルトガルの冒険家・著述家(生年1509年)
- 1583年7月9日-09:00|日本|岐阜県中津川市|天正11年5月20日|<苗木城合戦>森長可の攻撃で遠山友忠は城を脱出して徳川家康を頼って落ち延び城に残った遠山兵は城を枕にことごとく討死/森長可、東濃平定
- 1583年7月10日-09:00|日本|京都府京都市|天正11年5月21日|織田信雄、前田玄以を京都所司代に任命
- 1583年7月10日-09:00|日本|徳島県那賀郡那賀町|天正11年5月21日|<引田の戦い>仙石秀久は長宗我部軍の香川信景率いる讃岐勢及び、大西頼包率いる阿波勢の計5000が引田に向け進軍中であるとの報を受け、奇襲をかけるため手勢を3つの隊に分け仙石勘解由、仙石覚右衛門、森権平をそれぞれ将とし、入野山麗に伏兵をおいた。秀久の読みは的中し、入野原にさしかかった阿讃勢に対し鉄砲を浴びせ、奇襲を受けた阿讃勢は一時退却をせざるを得なくなった。秀久本隊も追撃をかけ優勢に戦いを進めていたかに見えたが、数に勝る阿讃勢はすぐさま隊を立て直し次第に戦を優位に進めるようになった。阿讃勢が会戦しているとの報を受けた元親は配下の桑名親光、中島重勝隊らを救援に向かわせた。土佐勢の増援が駆けつけたことで長宗我部勢が仙石勢を完全に圧倒するようになり、完全に隊を乱した仙石勢は多くの将兵を失いながら引田城への退却を余儀なくされた/この戦いで仙石勘解由は前田平兵衛に討たれ、殿をしていた森権平は稲吉新蔵人に討たれてしまう/一方の長宗我部勢は中島重勝、桑名藤十郎等が討死
- 1583年7月10日-09:00|日本|長崎県南島原市|天正11年5月21日|深江城(安富氏)は再度、島津氏に反抗
- 1583年7月11日-09:00|日本|香川県東かがわ市|天正11年5月22日|<引田の戦い>長宗我部勢はそのまま引田へ進撃、仙石秀久の籠もる引田城を取り囲み総攻撃をかけたが、既に戦意を失った仙石勢は抵抗らしい抵抗を出来ずに城を逃げ出さざるを得なかった
- 1583年7月13日-09:00|日本|茨城県桜川市|天正11年5月24日|下野国益子城主益子筑後守重綱入道睡虎齋は富田の城兵をして飯田村に出兵させ、同国笠間城主笠間幹綱も橋本付近の人数を集めて大岡から入野へ兵を進める、益子方の加藤大隅守、同大藏少輔父子は兵を二隊に分け結城勢と共に谷中玄蕃充を進撃して之れを和尚塚に討取り其の勢に乗じて橋本城を占領/一説に、笠間城三万石笠間大和守幹綱入道心休は宇都宮氏の幕下で領民の争ひから隣境の益子城主益子筑後守重綱と抗争
- 1583年7月14日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正11年5月25日|<移封>尼崎城「池田輝政」⇒池尻城
- 1583年7月14日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天正11年5月25日|<拝領>尼崎「三好秀次」
- 1583年7月19日-09:00|日本|京都府京都市北区|天正11年6月|秀吉は信長の追善菩提として大徳寺総見院を建立

1590迄 (2237件)

し、本堂に織田信長坐像を奉納

- 1583年7月23日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正11年6月5日|甲斐国善光寺如来、美濃国から三河国岡崎へ移される
- 1583年7月28日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正11年6月10日|甲斐国善光寺如来、三河国岡崎から同国吉田へ移される
- 1583年7月29日-09:00|日本|香川県高松市|天正11年6月11日|長曾我部元親により十河存保の讃岐十河城落城
- 1583年7月29日-09:00|日本|香川県東かがわ市|天正11年6月11日|長曾我部元親により十河存保の讃岐虎丸城落城
- 1583年8月1日-09:00|日本|石川県金沢市|天正11年6月14日|<移転>加賀七尾城「前田利家」⇒加賀金沢(～慶長4(1599)年閏3月3日死去)
- 1583年8月5日 06:00|カナダ/イギリス| ||イギリス人ギルバートが、ニューファウンドランドをイギリス領と宣言/イギリス最初の植民地となる
- 1583年8月10日-09:00|日本|長崎県南島原市|天正11年6月23日|<深江城の戦い>有馬領の在番衆が龍造寺方の深江城を攻撃、新納忠堯が討死
- 1583年8月20日-09:00|日本|三重県伊勢市|天正11年7月3日|<所領没収>伊勢長島「滝川一益」羽柴秀吉に降伏
- 1583年8月20日-01:00|スウェーデン/ロシア| ||ロシア暦8月10日|ロシア「ツァーリ」イヴァン4世雷帝が、スウェーデンと休戦条約を締結し、リグニア戦争が終結
- 1583年8月21日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正11年7月4日|顕如、河内貝塚本願寺に移転
- 1583年8月29日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「ペトル2世耳飾り候」(～15850406)
- 1583年8月29日-09:00|日本|新潟県新潟市|天正11年7月12日|山吉景長(木場城守将)新発田勢を破る
- 1583年9月 04:00|刊/スペイン| ||<就任>刊総督「アロンソ・デ・ソトマヨール・デ・ウアルメデアノ」(～1592年7月)
- 1583年9月30日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正11年8月15日|徳川家康の次女督姫が小田原の北条氏直に嫁ぎ北の方と稱す
- 1583年10月-01:00|オーストリア| ||オーストリアの一部がグレゴリウス暦を採用
- 1583年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・パオロ・コルベッリ」[フランチェスコ・マルテッリ]
- 1583年10月3日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正11年8月18日|<八幡合戦>越後・上杉景勝、八幡で新発田重家を破る
- 1583年10月3日-09:00|日本|広島県三原市|天正11年8月18日|<高山城合戦>草刈重継、宇喜多直家に与する川端家長を打ち破り撤退させる
- 1583年10月3日-09:00|日本|広島県三原市|天正11年8月18日|美作国人草薙氏が因幡口で秀吉方荒木重堅を退ける
- 1583年10月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正11年8月20日|<拝領>近江国滋賀郡・高島郡など合計3万2000石「杉原家次」近江坂本城(～天正12年9月9日(15841012)死去)
- 1583年10月6日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正11年8月下旬|<放生橋の戦い(越後国)>景勝が撤退時に湿地帯で重家の追撃に合い、大敗
- 1583年10月9日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのペイルベイ「フレク・ユソフ・パシャ」(1回目～1586年5月)
- 1583年10月11日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天正11年8月26日|筒井順慶の配下となっていた高取城主越智玄蕃自害、越智氏は滅亡
- 1583年10月12日-09:00|日本|広島県竹原市|天正11年8月27日|浦盛勝、豊田郡宮床浦の宮床大明神社殿を再興
- 1583年10月16日-09:00|日本|茨城県桜川市|天正11年9月|<第1次富谷城合戦>益子家部将の加藤大隈守、笠間家部将の満川宗安に勝利/橋本城主谷中玄蕃允は討死
- 1583年10月16日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天正11年9月|<金敷城合戦>笠間家部将の羽石時政、益子家部将の金敷清久に勝利/金敷城は落城するも水谷政村の調停により回復
- 1583年10月16日-09:00|日本|栃木県芳賀郡益子町|天正11年9月1日|高塩政平の居城・山本城を益子家宗らが襲うが高塩勢の前に一度敗北
- 1583年10月18日-09:00|日本|広島県東広島市|天正11年9月3日|豊田郡祝詞山八幡宮の社殿造立
- 1583年10月22日-01:00|ドイツ| ||<死去>プロヴァンス選帝侯「ルートヴィヒ6世」
- 1583年10月22日-01:00|ドイツ| ||<即位>プロヴァンス選帝侯「フリドリヒ4世」(～16100919死去)
- 1583年10月31日-09:00|日本|栃木県芳賀郡益子町|天正11年9月16日|益子家宗が水谷蟠龍ら結城氏の加勢を得て高塩氏が立て籠もる山本城を攻め、山本城から高塩氏を追い落とす
- 1583年11月2日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正11年9月18日|<厩橋城合戦>北条氏直、上野厩橋城の北条高広を攻撃、降伏させる
- 1583年11月3日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|天正11年9月19日|三木氏は瀬宗域を攻め滅ぼす/これにより内ヶ島氏が領地の白川地方を除いて飛騨国をほぼ手中にした/自綱は高堂城を居城とし、秀綱を当主として松倉城に移らせた
- 1583年11月4日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国「ジェロラモ・シヤヴァリ」(～15851104)
- 1583年11月4日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| ||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「クリストバル・デ・オハレス」(～1586年没)
- 1583年11月9日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正11年9月25日|<新発田重家の乱・放生橋の合戦>上杉景勝の新発田城からの退却軍が放生橋に差し掛かった頃、一転して豪雨となり、沼田と濁流の中で立ち往生/この期を見て新発田重家は新発田城を討って出、池ノ端城主の高橋掃部之介らとともに上杉軍を追撃、途中で隊を二つに分け、歩卒は山の手から、自らは本道から三千騎をもって上杉軍に襲い掛かった/上杉軍は深田の中の細道で進退の

- 自由を奪われ殿軍の水原城主・杉原右近(満家)が討ち死にするなど大混乱に陥った/この戦いで、景勝は杉原右近の他、菅名綱輔、上野九兵衛らを失って、水原城は新発田方の手に渡った
- 1583年11月10日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Luis Rojas y Mendoza」(~1589.11)
- 1583年11月11日 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「シエラルト・フィッツジェラルド」
- 1583年11月12日-09:00|日本|長野県松本市|天正11年9月28日|<拝領>信濃松本城「小笠原貞慶」徳川家康配下(⇒天正13(1585)年11月豊臣秀吉配下となる)
- 1583年11月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ラインフェルス方伯「フィリップ2世(若伯)」子供が無く1代で絶家
- 1583年11月22日-09:00|日本|大分県豊後高田市|天正11年10月8日|大友義統、豊前佐野城を攻略
- 1583年11月25日-09:00|日本|佐賀県|天正11年10月中旬|肥後で島津と龍造寺の和議が成立
- 1583年11月25日-09:00|日本|栃木県|天正11年10月11日|佐野氏、北条氏に帰属
- 1583年12月11日-01:00|スペイン| |||<死去>第4代アルバ公「フドリケ・アルバ・レス・デ・トレド・イ・エンリケ・デ・グスマン」
- 1583年12月11日-01:00|スペイン| |||<就任>第5代アルバ公「アントニオ・アルバ・レス・デ・トレド・イ・ベアumont」(~1639/129死去)先代の甥
- 1583年12月15日-09:00|日本|熊本県阿蘇郡|天正11年11月2日|<死去>肥後阿蘇荘領主「阿蘇惟将」⇒弟の「阿蘇惟種」が継ぐ(~翌年8月13日(1584/09/17)死去)
- 1583年12月18日-09:00|日本|長野県松本市|天正11年11月5日|<会田合戦>(3日~)小笠原貞慶部将犬甘久知、上杉派堀内越前守に勝利
- 1583年12月31日-09:00|日本|愛知県|天正11年11月18日|三河国で大風が吹き、家屋が倒壊
- 1584年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「アハマト・ダジュティン・シャー」
- 1584年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・ヒジャウ(緑の女王)」(~1616年)
- 1584年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「ダジュル・アリフィン・シャー1世」(~1594年没)
- 1584年-08:00|インドネシア| |||<即位>マタラム王国初代スルタン「セナパティ」(~1601年)/パジャラン(スカルパ地方)王アデウ・イジャの死後パジャランを併合、トゥマクも支配下に入れてマタラム王国を開く
- 1584年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「チェイチェター1世」(~1594年)
- 1584年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ女王「ラジャ・ヒジャウ(緑の女王)」(~1616年)
- 1584年-05:30|インド| |||<建国>ジャブア国
- 1584年-04:00|ロシア| |||<即位>カシフ・ハン国ハン「ムスタファ・アリー」アブト・ツラー(アハマト・ハンの曾孫)の子(~1590年)
- 1584年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルバ・イムラト・パシャ(~同年)⇒「ハサン・パシャ」(2期目~同年)
- 1584年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ロウ・イェコ・メ」(~1586年)
- 1584年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「クハット・スレイマン・パシャ」(~同年)⇒「ユウ・エイヌ・パシャ」(1期目~1585年)
- 1584年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「マミ・ムハンマド・パシャ」(~1586年)
- 1584年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルバ・イムラト・パシャ(1回目~1585年)
- 1584年-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国ヘルダラント州総督アドルフ・ファン・ニューエナル(~1589年)
- 1584年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「フェランテ2世」(~1630/08/05)
- 1584年-01:00|ドイツ| |||<即位>ハートンントゥールハ辺境伯「ヤコブ3世」(~1590/08/17死去)、「エルンスト・フリードリヒ」(~1604/04/14死去)、「ゲオルク・フリードリヒ」(~1622年)
- 1584年-01:00|デンマーク| |||<完成>クロンボーク城完成
- 1584年-01:00|フランス/アメリカ| |||フランスのラ・ロッシュが第1回北アメリカ遠征を開始
- 1584年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Francisco Fernandes de Figueiredo」(~1586年)
- 1584年 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリブ島知事「Tomas de Cangas」(~1586年)
- 1584年 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Nunez de la Fuente」(~1589年)
- 1584年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トスハウ)「Niels Hansson Skinkel til Gjerskov og Ssholm」(~1585年)
- 1584年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>マデラ総督「Joao Leitao」(2期目~1585/11/22)
- 1584年 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||レソフェ周辺のフランス人入植者を駆逐、ポルトガル支配を確立
- 1584年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレヒトル/治安判事「カスパー・デ・アントラーデ」(~1587年)
- 1584年1月9日-09:00|日本|群馬県邑楽郡大泉町|天正11年11月27日|佐竹義重、宇都宮国綱らに調略された由良国繁、長尾頭長兄弟が北条方の富岡秀高を上野小泉城に攻めたが富岡秀高勝利
- 1584年1月13日-09:00|日本|愛知県新城市|天正11年12月|彦右衛門ら、三河国摩訶戸社の社殿を建立
- 1584年1月13日-09:00|日本|京都府福知山市|天正11年12月|羽柴秀吉、杉原家次を近江坂本城から丹波福知山城に配置
- 1584年1月13日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正11年12月|羽柴秀吉、浅野長吉を近江瀬田城から近江坂本城に配置
- 1584年1月13日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正11年12月|筑後の田尻鑑種、鷹尾城を龍造寺隆信に明け渡し、肥前佐嘉に所領を移される
- 1584年1月15日-09:00|日本|愛媛県北宇和郡鬼北町|天正11年12月3日|宇和郡奈良山等妙寺の観音厨子が、河原淵貞延らによって再興
- 1584年1月17日-01:00|ドイツ| |||ユリウス暦1月7日|ドイツのカリク諸邦でグレゴリウス暦が採用される
- 1584年1月19日-01:00|スペイン/イギリス| |||ユリウス暦1月9日|ロンドンのスペイン大使が追放され、イギリスとスペインの国交が断

1590迄 (2237件)

絶

- 1584年1月22日-01:00|スイス| ||ユリウス暦1月12日|スイスでグレゴリウス暦が採用される
- 1584年2月10日-09:00|日本|栃木県足利市|天正11年12月29日|下野国佐野城主佐野宗綱は上野国館林城主長尾顯長の属城である下野国足利の岩井山城主白石豊前守を攻める
- 1584年2月12日-09:00|日本|愛媛県南宇和郡愛南町|天正12年1月|伊予・御荘勸修寺基経、長宗我部軍に降伏
- 1584年2月12日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正12年1月|長尾輝景:川田城を攻めるが真田家に撃退された
- 1584年2月12日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|天正12年1月|橘谷山大洞院(森町橋)炎上
- 1584年2月12日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正12年1月1日|早朝から紀州の雑賀衆・根来衆連合軍が中村一氏がいる岸和田城を攻めたが敗れる
- 1584年2月14日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正12年1月3日|中村一氏の岸和田勢が紀州側の五か所の付城を攻め、これを守る泉南の地侍らと激戦となった
- 1584年2月22日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|天正12年1月11日|伊達輝宗・政宗父子、相馬義胤の属城陸奥金山城を攻略
- 1584年2月27日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正12年1月16日|<近木川合戦>羽柴家部将の中村一氏軍6000兵は、近木川を挟んで紀州の雑賀衆・根来衆連合軍と対陣/最初は激しい鉄砲戦となり、後に槍合わせとなったが、最終的に根来衆、雑賀衆連合軍は敗れた
- 1584年3月1日-01:00|スイス| ||スイス・コルベリヤ地震、土砂災害、死者300人
- 1584年3月2日-09:00|日本|長野県飯田市|天正12年1月20日|小笠原信嶺、下条頼安を松尾城にて誘殺
- 1584年3月12日-09:00|日本|広島県世羅郡世羅町|天正12年2月|小早川元総、大檀那として、世羅郡宇津戸の八幡宮社殿を造立
- 1584年3月16日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ファン・デ・トレス・ナバレッテ」(~1587年6月)
- 1584年3月20日-02:00|エストニア/スウェーデン| ||スウェーデンに併合された領土は、エストニア公国またはエストニア州として編成
- 1584年3月28日-04:00|ロシア| ||ロシア暦3月18日|<死去>ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」53歳(誕生:15300825)
- 1584年3月28日-04:00|ロシア| ||ロシア暦3月18日|<即位>ロシア・ツァーリ「フォートル・イワノヴィチ1世」(~15980107没)
- 1584年3月31日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王「ビシヤドンバルト・伯フェルナント・トレス・デ・ポルトガル・イ・メシア・ベネガス・イ・ホンセ・デ・レオン」(~15891120)
- 1584年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「フェデリコ・シバルティ」「ウインチェンツォ・ジヤネーニ」
- 1584年4月4日-09:00|日本|群馬県邑楽郡大泉町|天正12年2月24日|下野の佐野宗綱らが北条方の上野小泉城(富岡秀高)を攻撃
- 1584年4月7日-09:00|日本|群馬県邑楽郡大泉町|天正12年2月27日|<小泉城合戦>富岡秀高、佐野宗綱に勝利
- 1584年4月8日-01:00|カブチア| ||<就任>カブチア・ハン「タズ2世エルデティ」(1度目~15950515)
- 1584年4月9日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天正12年2月29日|<金敷城合戦>笠間家部将羽石時政、益子家部将金敷清久に勝利/金敷清久は討死
- 1584年4月11日-09:00|日本|佐賀県|天正12年3月|肥前の有馬鎮貴が龍造寺氏を離反して薩摩の島津氏に支援を要請
- 1584年4月16日-09:00|日本|三重県伊勢市|天正12年3月6日|織田信雄、徳川家康と図り家老の岡田重孝、津川義冬、浅井長時の三人を長島城にて誅殺、老臣岡田氏の居城尾張星崎を攻略/秀吉に宣戦布告
- 1584年4月20日-09:00|日本|三重県亀山市|天正12年3月10日|羽柴秀吉が堀秀政らと伊勢峯城を攻める
- 1584年4月22日-09:00|日本|三重県亀山市|天正12年3月12日|<亀山城の戦い>秀吉側の関盛信の居城である亀山城に対して徳川家康・織田信雄側から派遣された伊勢神戸城主の神戸正武が兵500を率いて奇襲、亀山城側は峯城攻撃準備のため手勢不足で苦戦するも城下に火を放ち煙を煙幕として戦い正武の攻撃を凌ぎ切った
- 1584年4月23日-09:00|日本|愛知県犬山市|天正12年3月13日|<犬山城の戦い>大垣城の池田恒興が羽柴秀吉につき、手薄になっていた織田・徳川方の犬山城を攻撃、占領
- 1584年4月23日-09:00|日本|福岡県糸島市|天正12年3月13日|怡土の原田信種と肥前唐津の波多信時、鹿家海岸に於いて戦い、原田方の勝利
- 1584年4月24日-09:00|日本|三重県亀山市|天正12年3月14日|<峰城合戦>蒲生氏郷、堀秀政らが織田家部将佐久間正勝と中川雄忠に勝利、伊勢峰城を攻略/犬山城主の中川雄忠は討死
- 1584年4月26日-09:00|日本|三重県松阪市|天正12年3月16日|羽柴秀長が伊勢松ヶ島城への攻撃を開始
- 1584年4月27日-09:00|日本|愛知県犬山市|天正12年3月17日|<羽黒の戦い>羽柴秀吉方の森長可が羽黒に出陣/早朝、酒井忠次・奥平信昌等が攻めて破る。家康は酒井・奥平等に追撃をさせないで、引きあげを命じた
- 1584年4月27日-09:00|日本|愛媛県松山市|天正12年3月17日|<恵良の戦い>毛利輝元の将戸元孝が元親の兵と伊予恵良で戦う
- 1584年4月28日-09:00|日本|愛知県小牧市|天正12年3月18日|徳川家康・織田信雄、尾張小牧山を占領(小牧合戦)
- 1584年4月28日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正12年3月18日|<大坂襲撃>根来・雑賀衆及び粉河寺衆徒は日高郡の湯河・玉置氏の加勢を得て和泉へ出撃、淡路の菅達長の水軍も加わり水陸から岸和田・大津を脅かしたが大津の地侍真鍋貞成は菅水軍の200艘1,000人を撃退
- 1584年4月28日-09:00|日本|長野県東筑摩郡筑北村|天正12年3月18日|<青柳城合戦>上杉家部将春日元忠、小笠原貞慶に勝利
- 1584年4月29日-09:00|日本|三重県松阪市|天正12年3月19日|<松ヶ島城合戦>(16日~)羽柴秀長、織田家部将滝川雄利と日置大膳亮に勝利/羽柴秀長、松ヶ島城を攻略
- 1584年5月-02:00|ウクライナ| ||<死去>クリミア・ハン国第17代ハン「ムフタ2世ギレイ2世」
- 1584年5月-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「サーゲト2世ギレイ2世」(~同年)⇒「イスラム2世ギレイ」(~1588年死去)

1590迄 (2237件)

- 1584年5月 00:00|ポルトガル/ブラジル| || |スペイン=ポルトガルの合同部隊がバハを出発。パライバでフランス船を撃破。河口から数キロ入った河畔にサン・フェリペ要塞を建設。ポティグアル族は川を上ってきた掃討部隊を待ち伏せ。司令官をはじめ40人のポルトガル人、多くの先住民兵士を殺害
- 1584年5月2日-09:00|日本|愛知県小牧市|天正12年3月22日|家康は榊原康政に命じ、小牧山城を改修させる。堀や土塁、虎口を造り防御力を高める
- 1584年5月2日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正12年3月22日|根来衆、雑賀衆連合軍に小木城、鳥取城、積善寺城は落城、焼き討ち、畠中城、沢城は焼き討ちされ、接收された
- 1584年5月2日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天正12年3月22日|<岸和田合戦>紀州勢は二手に分かれ、一手は土橋平丞兄弟を将として岸和田城を攻撃したが中村一氏に打ち負かされた/もう一手は堺を占領して堺政所・松井友閑を追い払い引き揚げたが、その夜岸和田城に攻めかけ佐野に帰った
- 1584年5月4日 05:00|日本|長崎県島原市|天正12年3月24日|<沖田畷の戦い>辰の刻(午前8時頃)、有馬晴信と島津の連合軍が待ち構える沖田畷へ龍造寺隆信が進軍/有馬・島津連合軍の梁瀬兵右衛門、川上忠堅と共に龍造寺隆信の本陣を攻め、未の初刻(午後2時)、川上忠堅が龍造寺隆信を槍で突き伏せると、梁瀬兵右衛門は龍造寺隆信(56)の首を挙げた/龍造寺軍は総崩れとなり大敗
- 1584年5月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正12年3月26日|<大坂乱入>紀州勢は住吉や天王寺に進出して大坂城留守居の蜂須賀家政・生駒親正・黒田長政らと戦った/紀州勢は大坂の街を破壊し焼き払いつつ侵攻/最終的には大坂は守られ、紀州勢は堺・岸和田からも撤退
- 1584年5月6日-09:00|日本|群馬県吾妻郡長野原町|天正12年3月26日|上杉景勝の支援を受けた羽尾源六郎が丸岩城・三原城を攻略
- 1584年5月10日-09:00|日本|広島県廿日市市|天正12年4月|内藤元栄、檀那として、厳島社不明御前を造立
- 1584年5月10日-09:00|日本|長野県|天正12年4月1日|上杉景勝に従属していた屋代秀正と室賀満俊兄弟が家康のもとに出奔
- 1584年5月12日-09:00|日本|岐阜県|天正12年4月3日|羽柴秀吉、尾張国から西方へ出馬し美濃国加賀野井城・奥城・竹鼻城を包囲
- 1584年5月12日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正12年4月3日|北條氏直と佐竹義重と下野国の沼尻に於て対陣
- 1584年5月15日 00:00|イギリス| || |<死去>スコットランド 大法官「アーガイル伯コリン・キャンベル」
- 1584年5月15日 00:00|イギリス| || |<就任>スコットランド 大法官代理「アラン伯ジェームス・スチュアート」(~1585.12.10)
- 1584年5月16日-08:00|フィリピン/スペイン| || |<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「サンティアゴ・デ・ペーラ」(~1590.5)
- 1584年5月17日-09:00|日本|三重県松阪市|天正12年4月8日|羽柴秀吉が伊勢松ヶ島城を開城させ、城主の滝川雄利は浜田城に移って籠城
- 1584年5月18日-01:00|イタリア| || |ベネチアでピサ=ニコティエロ銀行破産
- 1584年5月18日-09:00|日本|岐阜県可児市|天正12年4月9日|<死去>美濃金山7万石「森長可(長一)」戦死⇒「森忠政」が嗣ぐ(⇒慶長5年信濃海津へ)
- 1584年5月18日-04:25|日本|愛知県尾張旭市|天正12年4月9日|<白山林の戦い>4時35分ごろ羽柴秀次勢は白山林に休息していたところを後方から水野忠重・丹羽氏次・大須賀康高勢、側面から榊原康政勢に襲撃され秀次勢はほぼ潰滅/秀次は辛くも逃げ遂げた/目付として付けられていた木下祐久やその弟の木下利匡を初めとして多くの木下氏一族が、秀次の退路を確保するために討ち死に
- 1584年5月18日-04:00|日本|愛知県日進市|天正12年4月9日|<岩崎城の戦い>5時、池田恒興勢が丹羽氏重(氏次の弟)が守備する岩崎城を占領
- 1584年5月18日-02:00|日本|愛知県長久手市|天正12年4月9日|<檜ヶ根の戦い>7時ごろ、堀秀政勢は白山林へ救援に戻り秀次勢の敗残兵を組み込んで檜ヶ根に陣を敷き、迫り来る徳川軍を待ち構えた/徳川軍は、檜ヶ根辺りで堀勢を攻撃したが、返り討ちにされて逆に追撃された/岩崎城の池田恒興、森長可は徳川軍の急襲を知り撤退
- 1584年5月18日 01:00|日本|愛知県長久手市|天正12年4月9日|<長久手の戦い>午前10時ごろ、徳川・羽柴両軍が激突。戦闘は2時間余り続いた/森長可(27)が狙撃されて討死、池田恒興(51)も永井直勝の槍を受けて討死、池田元助も安藤直次に討ち取られ、池田輝政は戦場を離脱/恒興・森勢は潰滅、徳川軍の勝利に終わり、追撃したのち小幡城に引きあげた/羽柴軍の死者2500余人、織田徳川軍の死者590余人
- 1584年5月19日-09:00|日本|佐賀県藤津郡太良町|天正12年4月10日|島津軍により龍造寺家の肥前・竹崎城が陥落
- 1584年5月21日-09:00|日本|三重県津市|天正12年4月12日|織田信包(信長の弟)、蒲生氏郷が南伊勢の戸木城(織田信雄家臣木造氏)を攻撃(戸木城は10月下旬の講和まで防戦)
- 1584年5月22日-09:00|日本|愛知県|天正12年4月13日|羽柴秀吉軍、尾張国に於いて敗戦/小早川秀包、羽柴秀吉と共に退く
- 1584年5月22日-09:00|日本|栃木県矢板市|天正12年4月13日|那須資晴、川崎塩谷家と沢村で戦う
- 1584年5月26日-09:00|日本|愛知県|天正12年4月17日|九鬼嘉隆の軍船が志摩国から三河国渥美郡に来襲し、放火
- 1584年5月26日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正12年4月17日|<明知城合戦>徳川家に居た遠山利景が旧領であった明知城を奪還
- 1584年5月26日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正12年4月17日|<沼尻合戦>佐竹義重/宇都宮国綱/大田和に在陣、北条氏政/氏直父子は藤岡にて対陣する
- 1584年5月30日-09:00|日本|長野県東筑摩郡麻績村|天正12年4月21日|<麻績城合戦>徳川方の小笠原貞慶、信濃麻績城を攻めるも、上杉景勝家臣島津義忠に撃退される
- 1584年5月31日-09:00|日本|栃木県小山市|天正12年4月22日|佐竹義重軍の一隊が小山表攻撃の陣に移動中に北条氏直軍と遭遇し北条側が勝利
- 1584年6月4日-09:00|日本|愛知県|天正12年4月26日|織田信雄配下の軍勢、尾張国内の羽柴方陣所を夜討

1590迄 (2237件)

- 1584年6月9日-09:00|日本|福島県耶麻郡猪苗代町|天正12年5月|<沼尻の合戦>北条からは氏直・氏照が出陣、沼尻にて佐竹義重・宇都宮連合軍と約3か月間対峙/北条軍は宇都宮軍の退却口である岩舟山を占拠
- 1584年6月9日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|天正12年5月|田村清顕・佐竹義重・岩城常隆の調停により、伊達輝宗と相馬義胤が和睦し金山城と丸森城が伊達氏に返還された
- 1584年6月9日-09:00|日本|愛知県犬山市|天正12年5月1日|<移封>近江高島城2万石「加藤光泰」羽柴秀吉家臣⇒尾張犬山城(⇒翌年美濃大垣4万石)
- 1584年6月9日-09:00|日本|愛知県犬山市|天正12年5月1日|羽柴秀吉が、尾張楽田より撤退
- 1584年6月9日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正12年5月1日|<廃絶>備中庭瀬2万石「御子田正治」(小牧合戦の敗戦により)
- 1584年6月10日-01:00|フランス| |||<死去>アンジュ公・ヘーリ公「フランソワ1世」29歳
- 1584年6月13日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オーストリア総督「キヨム・ド・ブロー」(~1585年)
- 1584年6月13日-01:00|ベルギー/オランダ| |||オーストリアはオランダ軍に占領された(~16040920)
- 1584年6月15日-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインがマニラに高等裁判所を設置(王立最高司法院)
- 1584年6月15日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正12年5月7日|羽柴秀吉が美濃加賀井城を攻略
- 1584年6月15日-09:00|日本|岐阜県羽島市|天正12年5月7日|<竹ヶ鼻城の水攻め>羽柴勢は竹ヶ鼻城の北西1キロメートルにある間島村の丘陵に付け城を築いて、そこを本陣とした
- 1584年6月17日-02:00|トルコ| |||トルコ、エルズィンジャンで地震(M6.7)死者1万5000人
- 1584年6月17日-09:00|日本|愛知県一宮市|天正12年5月9日|羽柴秀吉軍は奥城を攻略
- 1584年6月21日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ジョン・ペロット卿」(~15880630)
- 1584年6月27日-09:00|日本|岡山県津山市|天正12年5月19日|<岩屋城合戦>宇喜多勢が美作岩屋城の中村頼宗を攻めるも、退けられる
- 1584年7月8日-01:00|オランダ| |||<就任>カク伯爵「フレダ男爵」(~1795年)
- 1584年7月10日-01:00|オランダ| |||<死去>ネーデルラント連邦共和国総督「ラニエ公ウイム1世」(ネーデルラント独立の指導者)デルフトの居館でスペイン(カトリック)の刺客に暗殺される
- 1584年7月10日-01:00|オランダ| |||<就任>オラニエ(オランジュ)公「フィリップ・ス・ウイム」ウイム1世の息子(~16180220死去)
- 1584年7月10日-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国フリースラント州総督「ティルボルク伯ウイム・ローテウエイク」ティルボルク伯ヨハネ6世の長男(~16200531)
- 1584年7月14日 00:00|イギリス/アメリカ| |||ユリウス暦:1584/7/4|ウォルター・ローリーの派遣したイギリスの探検隊、現北カラリ州ロアーク島を探検、ヴァージニアと命名
- 1584年7月14日-09:00|日本|山形県西村山郡河北町|天正12年6月7日|最上義光、白鳥長久を暗殺して居城出羽谷地城を攻略
- 1584年7月15日-09:00|日本|山形県寒河江市|天正12年6月8日|最上義光、寒河江高基を中野原で破り、居城寒河江城を攻略
- 1584年7月17日-09:00|日本|岐阜県羽島市|天正12年6月10日|<竹ヶ鼻城の水攻め>織田信雄方の美濃竹ヶ鼻城が羽柴秀吉方に開城される
- 1584年7月18日-09:00|日本|香川県高松市|天正12年6月11日|<第2次十河城合戦>長宗我部元親、十河存保に勝利、十河城を落城させ讃岐平定/次いで虎丸城を攻略し、十河存保を京都に逐う
- 1584年7月20日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正12年6月13日|<黒川城の乱>松本行輔と栗村盛胤、黒川城を奪取/蘆名盛隆、これを即時鎮圧
- 1584年7月20日-09:00|日本|三重県松阪市|天正12年6月13日|<加増転封>近江日野6万石「蒲生賦秀」⇒伊勢松ヶ島12万3千石(~天正18(1900)年会津若松へ)
- 1584年7月23日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正12年6月16日|<蟹江城合戦>午前、安宅船を擁する九鬼水軍と滝川一益の兵3千が蟹江浦に現れる/前田長定は、滝川一益の調略を受け入れ、佐久間信辰を本丸から退かせ、同時に長定の弟・前田長俊(利定)の守る下市場城及び、長男・前田長種の守る前田城も秀吉陣営となった
- 1584年7月23日-09:00|日本|福井県大野市|天正12年6月16日|大野城の山口重政は母親を人質に取られているにも関わらず調略に応じなかった為、夕刻、滝川、九鬼、前田勢は城攻めを行い、陥落寸前まで追い込んだという
- 1584年7月24日-09:00|日本|福井県大野市|天正12年6月17日|織田信雄は大野城に入城し、大野城攻めに失敗した滝川勢は蟹江城に、九鬼勢は下市場城にそれぞれ逃れ籠城
- 1584年7月25日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正12年6月18日|織田・徳川勢は下市場城を集中的に攻撃して城を落とし、前田長俊を討ち取った
- 1584年7月26日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正12年6月19日|舟入の戦いにおいて九鬼嘉隆が敗北/織田・徳川陣営による海上封鎖が完成
- 1584年7月26日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正12年6月19日|下市場城が降伏開城、織田・徳川勢が城を奪還
- 1584年7月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「オズデミル・オスマン・パシャ」(~15851029)
- 1584年7月29日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正12年6月22日|<蟹江城合戦>滝川一益は一度夜陰に紛れて各城門から城外に打って出て、その後、三の丸を放棄し二の丸に撤収しようとするが、海門寺口だけは苦戦し谷崎忠右衛門の率いる城兵は城外で包囲されてしまう/滝川一益はこの城兵を二の丸まで收容したが谷崎忠右衛門はこの日の鉄砲傷がもとで3日後に死亡/滝川一忠は前田口において二の丸に退く殿の将を務め、攻め方の水野勝成と切り合い、双方傷を負った
- 1584年7月30日-09:00|日本|愛知県名古屋市中川区|天正12年6月23日|石川数正と阿部信勝が攻めていた前田長種の守る前田城が開城し、徳川家康が榊原康政を伴い入城
- 1584年8月6日-09:00|日本|長野県小諸市|天正12年7月|小諸城の祢津昌綱が真田に降る。これにより小県郡の大

1590迄 (2237件)

半を支配下に置く

- 1584年8月6日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|天正12年7月|<拝領>播磨国宍粟郡5万石「黒田孝高」(⇒天正15(1587)年7月3日豊前国6郡12万石)
- 1584年8月6日-09:00|日本|福島県須賀川市|天正12年7月|<長沼城合戦>蘆名盛隆、新国貞通に勝利
- 1584年8月8日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正12年7月3日|<蟹江城合戦>瀧川一益が織田信雄・徳川連合軍に降伏して蟹江城を開城/和睦にもかかわらず退去中の前田長定が殺害され、滝川一益は殺害を免れ伊勢に逃れた
- 1584年8月8日-09:00|日本|群馬県みどり市|天正12年7月3日|北条氏と友好関係にあった由良国繁が阿久沢彦三郎に命じて五覧田砦を攻略
- 1584年8月12日-09:00|日本|長野県上田市|天正12年7月7日|真田配下となった室賀正武は昌幸の暗殺を企て上田城を訪れる/昌幸は計画を察知しており、室賀正武を斬殺/昌幸は小県郡を制圧
- 1584年8月20日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正12年7月15日|<岩船山の戦い>北条氏が調略を行い皆川広照らを寝返らせ佐竹・宇都宮陣営の退路である岩船山の岩船陣城を落とした
- 1584年8月22日-09:00|日本| ||天正12年7月17日|滝川一益、蟹江合戦での敗退により没落。嫡子一忠は改易、第一時は許される
- 1584年8月27日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正12年7月22日|<沼尻の合戦>北条氏と佐竹氏・宇都宮氏講和が成立し110日間に及ぶ長期戦終結/北条氏直、沼尻を確保/反北条派の金山城と館林城は孤立無縁/翌日には退陣
- 1584年9月5日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正12年8月|上杉景勝が八幡の合戦で新発田軍に勝利
- 1584年9月9日-09:00|日本|石川県加賀市|天正12年8月5日|<拝領>大聖寺城4万4千石「溝口秀勝」羽柴秀吉臣下
- 1584年9月10日 00:00|イギリス| ||<死去>第6代アガイル伯「コリン・キャンベル」
- 1584年9月10日 00:00|イギリス| ||<就任>第7代アガイル伯「アーチルド・キャンベル」(~1638年死去)
- 1584年9月10日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正12年8月6日|田村氏を離反して蘆名氏へ接近している小浜城主大内定綱と田村氏が交戦となり、田村氏が勝利
- 1584年9月12日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正12年8月8日|<移転>山城伏見「羽柴秀吉」→摂津大坂城(慶長3(1598)年8月18日死去)
- 1584年9月13日-01:00|スペイン| ||「マドリド」の北西のエル・エスコリアルに、エル・エスコリアル王宮が完成
- 1584年9月15日-09:00|日本|奈良県|天正12年8月11日|<死去>大和国守護(大和郡山18万石)「筒井順慶」36歳、神経性胃疾で⇒「筒井定次」が家督継承(⇒慶長8(1603)年、伊賀一国)
- 1584年9月17日-09:00|日本|熊本県阿蘇市|天正12年8月13日|<死去>肥後阿蘇荘領主「阿蘇惟種」44⇒嫡男の「阿蘇惟光」が継ぐ(~文禄2(1593)年8月18日、切腹滅亡)
- 1584年9月22日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正12年8月18日|<八幡表の戦い(越後国)>上杉景勝は新発田方の細越将監が接收していた水原城奪還のため出陣/上杉勢は新発田重家率いる本隊を水原城下に引き付けて戦い、その間に迂回していた景勝が八幡砦を奪取して水原城を孤立させたため、新発田方は水原城を放棄して退却/上杉方は直江兼続の陣が重家の攻勢を受けて崩壊し大損害を蒙っていたため、それ以上兵を進めることが出来なくなり、水原城もほとんどなくして新発田方の手に戻った
- 1584年9月25日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「メキシコ大司教ペドロ・ロペス・コントラス」(~15851016)
- 1584年9月28日-09:00|日本|福岡県八女市|天正12年8月24日|大友軍立花道雪・高橋紹運は龍造寺領・猫尾城の支城高牟礼城城将・椿原氏部を調略し開城/さらに川崎重高の犬尾城を攻め落とす
- 1584年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「イフェンソ・ブランケイ」「ジオ・ロドゲイロ・ベルツィ」
- 1584年10月2日-09:00|日本|愛知県岩倉市|天正12年8月28日|<楽田城・岩倉城の戦い>徳川家康が岩倉城に入り、羽柴・徳川双方、楽田と岩倉において対陣するも小競り合いに終わった
- 1584年10月2日-09:00|日本|富山県氷見市|天正12年8月28日|<朝日山城合戦>越中国の佐々成政は羽柴方の前田家臣村井長頼が立て籠もる越中朝日山城を急襲、村井長頼はこれを撃退
- 1584年10月2日-09:00|日本|福岡県久留米市|天正12年8月28日|大友軍立花道雪・高橋紹運は龍造寺領・城島城、酒見・榎津・貝津を掃討
- 1584年10月4日-09:00|日本|栃木県那須郡那珂川町|天正12年9月|<松野城の戦い>那須資晴は那須に近い佐竹方の松野城を攻めたが資晴配下の大屋宗国が討ち死にしたため兵を退く
- 1584年10月8日-09:00|日本|福岡県八女市|天正12年9月5日|大友軍立花道雪・高橋紹運が龍造寺領・筑後猫尾城を攻略し黒木家永は自害
- 1584年10月12日-09:00|日本|京都府福知山市|天正12年9月9日|<死去>丹波福知山城・近江坂本城3万2000石「杉原家次」⇒杉原長房が家督継承
- 1584年10月13日-09:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|天正12年9月10日|<末森城の戦い>佐々成政は、能登末森城を総攻撃/末森城将奥村永福・千秋範昌らの籠城軍1,500人が籠城戦を展開/前田方の城代土肥次茂(土肥親真の弟)が討死するなど、落城寸前にまで追い込まれる/前田利家は兵2,500人を率いて今浜まで進軍
- 1584年10月13日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正12年9月10日|大友軍立花道雪・高橋紹運が田尻鑑種の鷹尾城を降伏攻落
- 1584年10月14日-09:00|日本|愛媛県南宇和郡愛南町|天正12年9月11日|土佐長宗我部家臣久武親直が伊予深田の城を攻略
- 1584年10月14日-09:00|日本|福岡県八女市|天正12年9月11日|(8日~)大友軍立花道雪・高橋紹運が蒲池鎮運の山下城や谷川城・迎春城・兼松城・山崎城を降伏攻落
- 1584年10月14日-03:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|天正12年9月11日|<末森城の戦い>未明、前田利家が隠密行動で佐々勢の哨戒線を突破し、佐々軍を背後から襲う奇襲作戦を敢行/佐々勢主力は大損害を被り総崩れ

1590迄 (2237件)

- 1584年10月17日-09:00 | 日本 | 熊本県菊池市 | 天正12年9月14日 | 肥後・隈府城(隈部親永)が人質を出して島津に服従
- 1584年10月18日-09:00 | 日本 | 三重県津市 | 天正12年9月15日 | <戸木城の戦い>伊勢戸木城に籠っていた木造具政ら織田軍が蒲生氏郷ら羽柴軍と合戦を行い、羽柴軍が勝利、戸木城を攻略
- 1584年10月23日-09:00 | 日本 | 茨城県牛久市 | 天正12年9月20日 | 多賀谷重経が河内郡牛久城主岡見中務少輔保完を破って攻略
- 1584年10月30日-09:00 | 日本 | 熊本県 | 天正12年9月27日 | 龍造寺政家、肥後を島津義久に渡して和睦
- 1584年10月30日-09:00 | 日本 | 長野県木曾郡南木曾町 | 天正12年9月27日 | <妻籠城の戦い>徳川家康方の菅沼定利、保科正直、諏訪頼忠が木曾谷の妻籠城に攻め寄せたが、木曾義昌の重臣山村良勝がこれを撃退
- 1584年11月-05:30 | インド/ポルトガル | ||| <就任>ポルトガル領インド総督「ルカバドゥアルテ・デ・メネズ」(~15880504没)
- 1584年11月3日-09:00 | 日本 | 福井県大飯郡高浜町 | 天正12年10月 | <加増>若狭高浜17000石「堀尾吉晴(可晴)」⇒2万石(⇒天正13(1585)年、若狭国佐垣2万石)
- 1584年11月3日-09:00 | 日本 | 三重県 | 天正12年10月 | <任命>伊賀国守護「脇坂安治」(⇒天正13(1585)年5月、摂津国能勢郡1万石)
- 1584年11月3日-09:00 | 日本 | 山形県米沢市 | 天正12年10月 | <交替>出羽米沢領主「伊達輝宗」隠居⇒「伊達政宗」家督継承(⇒天正17(1589)年会津黒川城)
- 1584年11月5日-09:00 | 日本 | 福岡県久留米市 | 天正12年10月3日 | 大友軍立花道雪・高橋紹運は高良山に引揚げ軍勢を転じて久留米城・安武城を攻略
- 1584年11月5日-09:00 | 日本 | 福岡県筑後市 | 天正12年10月3日 | 大友軍立花道雪・高橋紹運は西牟田城を攻略
- 1584年11月5日-09:00 | 日本 | 福岡県豊前市 | 天正12年10月3日 | 大友軍立花道雪・高橋紹運は吉木城を攻略
- 1584年11月8日-09:00 | 日本 | 福島県会津若松市 | 天正12年10月6日 | <死去>陸奥黒川領主「蘆名盛隆」側近の大庭三左衛門に殺害され(黒川城の変)⇒子の「蘆名亀王丸」が継ぐ(~天正14年11月21日(15861231)死去)
- 1584年11月9日-09:00 | 日本 | 滋賀県東近江市 | 天正12年10月7日 | 堀秀政、近江国百濟寺の本堂を再建
- 1584年11月16日-09:00 | 日本 | 大阪府豊能郡能勢町 | 天正12年10月14日 | <枳根之宮合戦>塩川国満は能勢頼次の主要の城である地黄城、田尻城をその日のうちに落城させた
- 1584年11月17日-01:00 | トゥルキ | ||| <死去>カハベル侯「エリヒ2世」
- 1584年11月17日-01:00 | トゥルキ | ||| <就任>カハベル侯「ユリス」エリヒ2世の従甥(~15890303死去)
- 1584年11月21日-09:00 | 日本 | 愛媛県西予市 | 天正12年10月19日 | <第一次伊予黒瀬城の戦い>長宗我部元親が西園寺公広の黒瀬城を落とし、南伊予を平定
- 1584年11月21日-09:00 | 日本 | 山形県天童市 | 天正12年10月19日 | 最上義光が天童城を攻略し最上・村山郡を支配下に置く/天童頼久は仙台に逃亡
- 1584年11月28日-09:00 | 日本 | 富山県下新川郡朝日町 | 天正12年10月26日 | <越中宮崎城合戦>上杉景勝、越中境要害を攻撃、佐々軍に勝利
- 1584年11月30日-09:00 | 日本 | 福岡県八女市 | 天正12年10月28日 | <善導寺の戦い>大友軍立花道雪・高橋紹運は草野鎮永の発心岳城を攻め鎮永偽降の謀で数人の重臣を失った
- 1584年12月-06:30 | ミャンマー/タイ | ||| ビルマのナンダパイン王がタイへ侵入
- 1584年12月2日-09:00 | 日本 | 愛知県豊川市 | 天正12年11月 | 三河国蒜生社飛滝宮の拝殿が建立される
- 1584年12月2日-09:00 | 日本 | 愛知県名古屋市中区 | 天正12年11月 | 平松広忠、三河国花本村若宮八幡社の社殿を再興
- 1584年12月2日-09:00 | 日本 | 愛媛県大洲市 | 天正12年11月 | 土佐長宗我部勢が伊予延尾城などを攻略
- 1584年12月2日-09:00 | 日本 | 福島県耶麻郡北塩原村 | 天正12年11月 | 伊達政宗が蘆名領へ侵攻、檜原湖の北側にある穴沢氏の戸山城を攻略
- 1584年12月6日-09:00 | 日本 | 兵庫県川西市 | 天正12年11月5日 | 三草山清山砦を守っていた塩川国良は能勢軍の反撃にあって討ち死に/主が留守の能勢軍も必死の抵抗をみせたが、大勢は能勢軍の敗北
- 1584年12月16日-09:00 | 日本 | 兵庫県加西市 | 天正12年11月15日 | 羽柴秀吉は、勝手に戦を仕掛けた塩川国満に激怒し、池田輝政らに討滅を命じ山下城を取り囲んだ/若干の戦闘はあったようだが、秀吉の許しが難しいとさとした国満は山下城を開城し、切腹
- 1584年12月16日-09:00 | 日本 | 三重県桑名市 | 天正12年11月15日 | <矢田川原会見>羽柴秀吉が伊勢矢田川原で織田信雄と会見し、和議を結ぶ/北伊勢四郡を織田信雄に返還/尾張犬山城と甲田城を羽柴秀吉に割譲
- 1584年12月22日-09:00 | 日本 | 愛知県 | 天正12年11月21日 | 大義名分がなくなった家康も講和に応じ、戦いが終結/和睦の条件として家康は次男の於義伊(於義丸)(11歳/後の結城秀康)を大坂へ送り、秀吉の養子となる
- 1584年12月27日-09:00 | 日本 | 福島県耶麻郡北塩原村 | 天正12年11月26日 | 伊達政宗が穴沢氏の岩山城を攻略
- 1584年12月28日-01:00 | イタリア | ||| ベネチア、私立の銀行を廃し公立銀行を設立
- 1584年12月31日-01:00 | フランス/スペイン | ||| 「旧教派」のギーズ公アンリやシャルル1世・ド・ブルボン(ブルボン枢機卿)代理、スペイン王フェリペ2世の代理の密議を経て、この日パリの東郊外で「ジョウグ・イル条約」が結ばれる/「新教派」のナヴァル王アンリのフランス王位継承は認めない、フランス王アンリ3世の後継者はシャルル1世・ド・ブルボン(ブルボン枢機卿)とすることを決定、スペイン王フェリペ2世、「旧教同盟」への援助を約束
- 1585年-08:00 | インドネシア | ||| <死去>アチェ王国スルタン「アラウッテ・イン・マンズール・シャー」
- 1585年-08:00 | インドネシア | ||| <死去>ハンテン王国スルタン「マウナ・ハヌン・ハン・ユフ」病死
- 1585年-08:00 | インドネシア | ||| <即位>アチェ王国スルタン「ハ・ユン」(~15890628死去)
- 1585年-08:00 | インドネシア | ||| <即位>ハンテン王国4代「マウナ・ムハマッド」(~1596年)
- 1585年-08:00 | フィリピン | ||| <即位>マギンダヤ王国スルタン「Datu Salikula」(~1597年)

1590迄 (2237件)

- 1585年-08:00|フィリピン| |||フィリピンでインコメンデーションに対する反乱おこる
- 1585年-05:00|パキスタン| |||<再設立>チタル国
- 1585年-05:00|パキスタン| |||<即位>カトール朝国王「Muhtarram Shah Kator1世」
- 1585年-04:00|ジョージア| |||<死去>イメリ王「ジョージ2世」
- 1585年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「レオン」(~1588年)
- 1585年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・モハマト・キルマニ」(1回目~1587年)
- 1585年-03:00|エチオピア| |||<即位>オサ・イマム国イマム「sabraddin Adan」(~1613年)
- 1585年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ王国スルタン「Dawra」(~1587年)
- 1585年-02:00|コンゴ民主共和国| |||<建国>ルバ王国
- 1585年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドル・ベイルベイ「リトワン・ハシヤ」(~同年)⇒「オクザデ・メフメト・ハシヤ」(~1586年)
- 1585年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「テフターター・シナン・ハシヤ」(~1587年)
- 1585年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベイ「ラマザン・ハシヤ」(~1589年)
- 1585年-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国オランダ州、セーラント州、ユトレヒト州、オファーアイセル州総督「ラニエ公マウリッツ・ラニエ公ウィレム1世の次男」(~16250423死去57歳)
- 1585年-01:00|アフリカ/トルコ| |||オスマン朝の総督アリー・ベイが東アフリカ沿岸一帯を略奪
- 1585年-01:00|オランダ| |||オランダのステファンが「十分の一」を出版しヨーロッパでは始めてとなる10進法の小数表記を導入
- 1585年 00:00|カヤ諸島/トルコ| |||オスマン帝国のムラト・レイス提督が一時的にラサロテ島を占領
- 1585年 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 暫定大統領・総督・総司令官「フランシスコ・ギレン・チャロ」(~1590年)
- 1585年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ファン・テル・パリオ・セポルベダ」(1回目~1587年)
- 1585年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、ヘレス・デ・ラ・チョルカ州市長「ルカス・ピント・クアトランド」(~1588年)
- 1585年1月1日-01:00|ドイツ/スイス| |||ドイツのカトリック圏とスイスでグレゴリオ暦が採用される
- 1585年1月1日-09:00|日本|愛知県新城市|天正12年12月|三河国新城城の奥平信昌、同国十二所社の社殿を建立
- 1585年1月1日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正12年12月|<移転>信濃諏訪城「諏訪頼忠」⇒信濃金子城(⇒天正18(1590)年、武蔵奈良梨12000石へ転封)
- 1585年1月12日-09:00|日本|京都府京都市|天正12年12月12日|<退任>関白「一条内基」
- 1585年1月12日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正12年12月12日|北条氏照、下野藤岡城を攻略
- 1585年1月16日 00:00|イギリス| |||<死去>リットン伯「エドワード・クリントン」
- 1585年1月16日 00:00|イギリス| |||<就任>リットン伯「ヘンリー・クリントン」(~16160929死去)
- 1585年1月25日-09:00|日本|群馬県太田市|天正12年12月25日|北条氏照、由良国繁の金山城を攻略/由良国繁は桐生城へ移る
- 1585年1月25日-09:00|日本|群馬県館林市|天正12年12月25日|北条氏照、長尾顕長の館林城を攻略/長尾顕長は足利城へ移る
- 1585年1月26日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正12年12月26日|丹波亀山領主「羽柴秀勝」、毛利輝元養女(内藤氏)と婚儀
- 1585年1月31日-09:00|日本|石川県金沢市|天正13年|前田利家が前田家の祈願所として金沢城付近に妙立寺創建(石川県金沢市、1643年移転、忍者寺)
- 1585年1月31日-09:00|日本|京都府福知山市|天正13年|<拝領>丹波福知山城31000石「小野木重勝」羽柴秀吉家臣
- 1585年1月31日-09:00|日本| ||天正13年1月|毛利氏と羽柴、宇喜多両氏の国分交渉が決着/毛利氏は備前、美作、伯耆東三郡、備中河辺川以東を割譲するも、備中松山、伯耆八橋城の領有は認められる
- 1585年1月31日-09:00|日本|愛媛県|天正13年1月|伊予守護・河野通直:長宗我部元親に降伏/長宗我部元親は伊予を制圧し、四国全土を統一
- 1585年1月31日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正13年1月1日|<死去>下野唐沢山領主「佐野宗綱」足利岩井山城を攻めたが鉄砲で射殺される⇒養子の「佐野(北条)氏忠」が継ぐ(~天正18(1590)年失領)
- 1585年2月11日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正13年1月12日|<加増移封>尾張犬山城2万石「加藤光泰」羽柴秀吉家臣⇒美濃大垣城主4万石(同時に蔵入地2万石の管理も任されていた)(~天正13年)
- 1585年2月11日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正13年1月12日|<移封>美濃大垣「池田輝政」⇒美濃岐阜10万石
- 1585年2月11日-09:00|日本|滋賀県|天正13年1月12日|<拝領>近江佐倉3万石「池田長吉」(~慶長5年因幡鳥取へ)
- 1585年3月-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オランダ 総督「ギヨーム・ド・エルタン」(~1586年没)
- 1585年3月13日-09:00|日本|京都府京都市|天正13年2月12日|<就任>関白「二条昭実」(~7月11日)
- 1585年3月16日-09:00|日本|熊本県人吉市|天正13年2月15日|<死去>肥後人吉領主「相良忠房」⇒弟の「相良頼房」が継ぐ(⇒天正15(1587)年4月23日豊臣秀吉により肥後人吉・球磨一郡22100石安)
- 1585年3月19日-09:00|日本| ||天正13年2月18日|小早川秀包、安芸国への下国に際し羽柴秀吉より河内国内に1万石を宛行われる
- 1585年3月20日-01:00|フランス| |||「旧教派」のギーズ公アンリ、「新教派」に対抗し、「第8次フランス宗教戦争」を始める(~1598年)/北フランスの諸都市を占領/初めにルクール公を標的に進軍しアンジェで降伏を受け入れた/その後、ルクール公はハガリへ亡命
- 1585年3月22日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正13年2月21日|北条氏直が下野に侵入、佐野氏と太田和津原(三嶋)で戦う
- 1585年3月23日-01:00|パチン/日本| ||天正13年2月22日|天正遣欧使節がローマのパチン宮殿帝王の間で、教皇グレゴ

1590迄 (2237件)

リウ13世に拝謁

- 1585年3月25日-09:00|日本|富山県小矢部市|天正13年2月24日|前田利家、佐々成政の蓮沼城を攻略し焼き払った
- 1585年3月31日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|天正13年3月|秋月の兵、立花城を攻めるも戸次統虎これを撃退
- 1585年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ホ・ネット・ホ・ネッティ」「ジ・オ・マリア・ジ・ヤンギ」
- 1585年4月6日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主代行「パ・ラツィ」(~5.20)
- 1585年4月10日-01:00|パチカン| |||<死去>第226代ローマ教皇「グレゴリウス13世」83歳(誕生15020101)暦法改革を行った
- 1585年4月15日-02:00|ラトヴィア/デンマーク/ポーランド| |||デンマークのヒルソ領有権がポーランドに売却された
- 1585年4月18日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年3月19日|<所領安堵>信濃上田38000石「真田昌幸」/秀吉から(~慶長5年改易)
- 1585年4月19日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正13年3月20日|羽柴秀吉先発隊として羽柴秀次が3万騎を従え大坂城を出発し、貝塚に到着
- 1585年4月19日-09:00|日本|和歌山県岩出市|天正13年3月20日|羽柴秀長が二万余騎を率いて紀伊根来坂本で根来衆・雑賀太田左近・粉河三池法印らと激突
- 1585年4月20日-02:00|ラトヴィア/デンマーク/ポーランド| |||ドゥンガンはデンマークからポーランドに売却
- 1585年4月20日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正13年3月21日|<千石堀城の戦い(和泉国)>根来衆の前線拠点である千石堀城を攻撃。根来衆の鉄砲攻撃により秀吉軍は被害を出す。筒井隊と伊賀衆が火矢攻撃を行うと城内の火薬庫に引火、城を炎上させる
- 1585年4月20日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正13年3月21日|<澤城の戦い>沢城を高山重友・中川秀政が攻撃し、落城させる
- 1585年4月20日-09:00|日本|東京都中野区|天正13年3月21日|行春、黄金仏を本尊として新井山梅照院薬王寺(新井薬師)創建(中野区)<真言宗豊山派>
- 1585年4月20日-09:00|日本|和歌山県日高郡日高川町|天正13年3月21日|<坂ノ瀬合戦>玉置一族と湯川勢が坂ノ瀬で合戦、敗れた玉置氏は城を落とされ没落
- 1585年4月20日 11:00|日本|大阪府貝塚市|天正13年3月21日|夜、畠中城の紀州勢も城に火を放ち退却
- 1585年4月21日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正13年3月22日|(21日夕刻~)細川忠興、蒲生氏郷らが和泉積善寺城を開城させる
- 1585年4月21日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正13年3月22日|有田郡の国人白檜氏に誘われて上方勢に寝返った雑賀荘の岡衆が同じ雑賀の湊衆を銃撃し、雑賀は大混乱に陥った/土橋平丞は長宗我部元親を頼って船で土佐へ逃亡し、湊衆も船で脱出しようとしたが、人が乗りすぎて沈没する船が出るなどして大勢の死者が出た
- 1585年4月22日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正13年3月23日|西端の沢城でも羽柴方中村一氏に本丸に追い詰められた城兵は投降開城/和泉の紀州側城砦群は全て陥落
- 1585年4月22日-09:00|日本|和歌山県岩出市|天正13年3月23日|羽柴秀吉軍が根来寺に向かう/寺に残っていた僧侶は逃亡し根来寺はほぼ無抵抗で制圧された/夜根来寺は出火して炎上し、本堂、多宝塔(大塔)や南大門など一部を残して灰燼に帰した
- 1585年4月23日-09:00|日本|和歌山県有田郡有田川町|天正13年3月24日|仙石秀久、中村一氏、小西行長が鳥屋城を攻撃落城させる
- 1585年4月23日-09:00|日本|和歌山県有田市|天正13年3月24日|仙石秀久、中村一氏、小西行長が畠山貞政の本拠岩室城も落城させる
- 1585年4月23日-09:00|日本|和歌山県紀の川市|天正13年3月24日|羽柴秀吉、紀伊国雑賀に侵攻し一揆首領である土橋平之丞の居城を陥落/羽柴秀吉が粉川寺を攻略し粉河寺自焼
- 1585年4月23日-09:00|日本|和歌山県御坊市|天正13年3月24日|(23日~)日高郡でも上方勢が来襲し、湯河直春は防ぎ難いとみて小松原の居館も亀山城も自焼して逃れ、伯父の湯河教春の守る泊城へ後退
- 1585年4月24日-01:00|パチカン| |||<就任>第227代ローマ教皇「シクストゥス5世」(~15900827死去)
- 1585年4月24日-09:00|日本|栃木県矢板市|天正13年3月25日|<薄葉ヶ原の戦い(下野国)>那須家は宇都宮国綱と薄葉ヶ原で戦闘/宇都宮勢国綱は退却/那須資晴は手薄であった宇都宮属城の泉城、山田城、宇都野城、乙畑城、鷲宿城などを攻め落とし川崎城に迫ったが落とすことは出来なかった
- 1585年4月24日-09:00|日本|和歌山県有田市|天正13年3月25日|(23日~)上方勢は畠山氏の支城鳥屋城を攻め落とし、さらに本拠の岩室城も陥落して畠山貞政は敗走
- 1585年4月24日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正13年3月25日|雑賀荘は上方勢により占領されたが、太田左近宗正を大将になおも地侍ら5,000人が日前国懸神宮にほど近い宮郷の太田城に籠城/鉄砲戦で秀吉方51名討ち死に
- 1585年4月26日-09:00|日本|青森県青森市|天正13年3月27日|大浦為信、陸奥外ヶ浜の油川城・蓬田城・横内城を落とす
- 1585年4月26日-09:00|日本|栃木県芳賀郡益子町|天正13年3月27日|水谷正村に攻められ羽石盛長の田野城落城
- 1585年4月27日-09:00|日本|徳島県鳴門市|天正13年3月28日|仙石秀久・杉若無心が泊城を占拠/田辺に入ってきた上方勢3,000余人は同地の神社仏閣をことごとく焼き払い、その所領を没収
- 1585年4月30日-09:00|日本|青森県黒石市|天正13年4月|陸奥・南部信直、東政勝に浅瀬石城(大浦為信)を攻めさせるが、撃退された
- 1585年4月30日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正13年4月|大坂城天守閣が完成
- 1585年4月30日-09:00|日本|和歌山県田辺市|天正13年4月1日|仙石秀久らは潮見峠において湯河勢の反撃を受け、退却/杉若無心勢も三宝寺河原で山本勢に敗れ、討伐戦は頓挫
- 1585年5月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督代行「ヤノス・ギツィ」(~15881208)

1590迄 (2237件)

- 1585年5月3日-09:00|日本|青森県黒石市|天正13年4月4日|<浅瀬石城の戦い>南部信直が東政勝を攻手として3000の軍勢で浅瀬石城を攻撃してきたものの撃退
- 1585年5月7日-09:00|日本|石川県白山市|天正13年4月8日|前田利家が越中鳥越城攻略の為、金沢城を出陣するも、攻略はならず
- 1585年5月7日-09:00|日本|三重県松阪市|天正13年4月8日|羽柴秀長、筒井順慶らが南伊勢の松ヶ島城を占領
- 1585年5月8日-09:00|日本|愛知県日進市|天正13年4月9日|<岩崎城の戦い(尾張国)>夜明け、秀吉軍の池田恒興が信雄方の岩崎城(城主丹羽氏重)を攻撃、占領。丹羽氏重は討死
- 1585年5月8日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正13年4月9日|<太田城水攻め(和泉国)>太田城水攻めのための堤防の一部が切れ、寄手の宇喜多秀家勢に多数の溺死者が出た/攻城側は直ちに堤防の修復にかかり、13日までには修理を完了させた
- 1585年5月8日-04:00|日本|愛知県長久手市|天正13年4月9日|夜明け、家康本隊は東を大きく迂回し、色金山へ入る/水野忠重、丹羽氏次、大須賀康高、榊原康政が出陣、白山林で休息中の羽柴秀次を攻撃、秀次隊は壊滅/救援に戻った堀秀政は檜ヶ根付近で榊原康政隊と交戦、勝利となるが堀秀政は徳川軍が追撃していたことを知り、北へ退却/岩崎城の池田恒興、森長可も徳川軍の急襲を知り、撤退開始。撤退中の長久手で池田・森隊の前に家康・信雄本隊が現れ狭い谷合いの鴉ヶ廻間で対峙
- 1585年5月8日 05:00|日本|愛知県長久手市|天正13年4月9日|14時、井伊直政隊の鉄砲攻撃を受け、森長可が戦死。池田恒興、長男の池田元助も討ち捕られ、池田・森隊は壊滅(次男の池田輝政は戦場を離脱して逃れる)
- 1585年5月12日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年4月13日|<尼ヶ淵城合戦>真田昌幸、上杉軍に勝利
- 1585年5月12日-09:00|日本|和歌山県新宮市|天正13年4月13日|<本領安堵>紀伊新宮2万7千石「堀内氏善」羽柴秀吉に降伏
- 1585年5月15日-09:00|日本|福井県|天正13年4月16日|<死去>越前国・若狭国・加賀国2郡123万石「丹羽長秀」51歳、羽柴秀吉の天下取りにうまく利用されていたことに腹を立て、さらには持病が悪化したため切腹⇒長子「丹羽長重」家督継承(⇒閏8月、若狭1国15万に減封)
- 1585年5月18日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正13年4月19日|佐竹義重が下野国鹿沼城主壬生義雄を攻める
- 1585年5月20日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ミニア2世ターキッシュ」(2回目~1591年5月)
- 1585年5月21日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正13年4月22日|(3月24日~)<第二次太田城の戦い(和泉国)>紀伊一揆衆、一揆首謀者53人の首級を差し出し降伏/羽柴秀吉、紀伊一揆衆に勝利/紀伊平定
- 1585年5月25日-09:00|日本|香川県高松市|天正13年4月26日|<讃岐喜岡城の戦い>羽柴秀吉の四国征伐の一隊(宇喜多秀家ら7将の兵)の攻撃を受け手兵100人余と香西氏派遣の唐人弾正、片山志摩の率いる兵、合わせてわずか200をもって勇敢に戦ったが衆寡敵しがたく城兵一人残らず討死
- 1585年5月27日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正13年4月28日|佐竹義重/宇都宮国綱、北条氏直と鹿沼羽地宝山にて戦う
- 1585年5月29日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「盧守愼」(~15880624)
- 1585年5月29日-09:00|日本|大阪府豊能郡能勢町|天正13年5月|<移封>伊賀上野「脇坂安治」⇒摂津能勢1万石
- 1585年5月29日-09:00|日本|富山県小矢部市|天正13年5月|<今石動城の戦い>佐々成政配下の越中国守山城主神保氏張・同木舟城主佐々平左衛門・同井波城主前野勝長によって攻められ城下に放火されるも前田秀継と子の利秀の活躍によって撃退される
- 1585年5月29日-09:00|日本|和歌山県|天正13年5月|<拝領>紀州・和泉64万石「羽柴秀長」(⇒閏8月紀伊・河内・大和国100万石)/和歌山城(和歌山県)築城開始
- 1585年5月29日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正13年5月|<移封>但馬竹田1万石「桑山重晴」⇒紀伊和歌山(城代)3万石(~慶長元(1596)年5月11日隠居)
- 1585年5月29日-01:00|スペイン/イギリス| |||ユリウス暦5月19日|スペインのフェリペ2世が、スペインの港に停泊するイギリス船の拿捕を命令/イギリスへの宣戦布告となる
- 1585年5月31日-09:00|日本|福島県耶麻郡北塩原村|天正13年5月3日|伊達政宗が、芦名領の摩耶郡檜原に侵攻
- 1585年6月2日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正13年5月5日|象耳泉泉(68)、筒井順慶の母の志願により南都伝香寺を再興
- 1585年6月3日-09:00|日本|岐阜県羽島市|天正13年5月6日|秀吉軍が加賀野井城(城主信雄家臣加賀井重望)を占領
- 1585年6月4日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正13年5月7日|<死去>下総佐倉領主「(下総千葉氏第28代)千葉邦胤」29歳、家臣に暗殺される(第2次千葉の変)⇒子の「(北条氏政の七男)千葉直重」が継ぐ(~天正18(1590)年失領)/邦胤の嫡男重胤は人質として小田原に入り千葉氏が正式に北条の家臣となった
- 1585年6月5日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|天正13年5月8日|<移封>岸和田「中村一氏」→近江水口6万石(⇒天正18(1590)年7月駿河府中14万石)
- 1585年6月5日-09:00|日本|長野県須坂市|天正13年5月8日|真田昌幸の調略により上杉家を離反した高井郡福島城の須田信正が、上杉景勝の命により川中島海津城代の上條氏に成敗される
- 1585年6月8日-09:00|日本|宮城県東松島市|天正13年5月11日|<関柴合戦>(8日~)伊達政宗が南進、大塩城(蘆名龜王丸)を攻めるが敗北
- 1585年6月11日-09:00|日本|福島県耶麻郡北塩原村|天正13年5月14日|<関柴合戦(陸奥国)>関柴館主松本輔弘が伊達氏に内応すると、伊達政宗は原田宗時等を派兵し、自身も檜原方面から侵攻。関柴軍は蘆名軍に松本輔弘が討ち取られるなど大敗/しかし、伊達政宗の本隊が到着すると、蘆名軍は劣勢となり、穴沢俊恒、俊光父子は自害へと追い込まれた
- 1585年6月15日-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公「ジャック・ド・サヴォワ=ヌール」

1590迄 (2237件)

- 1585年6月15日-01:00|フランス| |||<就任>ヌール公「シャル・エマニュエル・ド・サヴォワ=ヌール」(~15950813死去)
- 1585年6月17日-02:00|ラトヴィア/ポーランド| |||<制定>ポーランド王領トングゲン
- 1585年6月17日-09:00|日本|青森県南津軽郡田舎館村|天正13年5月20日|大浦為信、千徳政武の籠もる陸奥田舎館城を攻略し、津軽地方から南部勢力を一掃す
- 1585年6月18日-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公「ジャック・ド・サヴォワ=ヌール」
- 1585年6月18日-01:00|フランス| |||<就任>ヌール公「シャル・エマニュエル・ド・サヴォワ=ヌール」(~15950813死去)
- 1585年6月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンバランド伯「ヘンリー・パーシー」
- 1585年6月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバランド伯「ヘンリー・パーシー」先代の子(~16321105死去)
- 1585年6月23日-09:00|日本|群馬県太田市|天正13年5月26日|金山城「由良国繁」北条氏に降伏し、桐生に退去
- 1585年6月29日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|天正13年6月2日|<拝領>若狭高浜19800石「山内一豊」(~天正13年近江長浜へ)
- 1585年6月30日-09:00|日本|滋賀県高島市|天正13年6月3日|<拝領>近江高島郡2万3千石「生駒政親」
- 1585年7月7日-09:00|日本|岐阜県羽島市|天正13年6月10日|<竹ヶ鼻城の水攻め(尾張国)>竹ヶ鼻城が降伏、開城
- 1585年7月8日-09:00|日本|香川県高松市|天正13年6月11日|<第二次十河城の戦い(讃岐国)>攻撃が続いていた阿波三好家の十河城(城主十河存保)を落城させる。十河存保と十河存之は大坂へ逃れ、秀吉に仕える
- 1585年7月13日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正13年6月16日|<蟹江城合戦(尾張国)>秀吉方についた滝川一益と九鬼嘉隆が信雄方の蟹江城、下市場城、前田城を占領
- 1585年7月13日-09:00|日本|兵庫県洲本市|天正13年6月16日|羽柴秀長率いる大和・和泉・紀伊の軍勢3万は堺から船出し、海路洲本に至る/羽柴秀次率いる摂津・近江・丹波の兵3万は明石から淡路へ渡り、両軍は福良で合流して大小800余艘の船団で阿波の土佐泊へ上陸
- 1585年7月16日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正13年6月19日|下市場城が降伏開城、織田・徳川勢が城を奪還
- 1585年7月18日-01:00|フランス| |||アンリ3世は洪々ながらヌール勅令を発し、プロテスタントの礼拝禁止と改宗に応じない者の国外追放を強いる弾圧政策と、ハウ王アンリの王位継承権無効を宣言/教皇シクストゥス5世もこれに応じて、ハウ王アンリのハウ王位とフランス王位継承権の剥奪を宣言
- 1585年7月20日-09:00|日本|愛知県名古屋市中川区|天正13年6月23日|前田城が降伏開城、織田・徳川勢が城を奪還
- 1585年7月21日-09:00|日本|富山県氷見市|天正13年6月24日|<阿尾城の戦い>高岡の守山城の神保氏が阿尾城を攻めるが苦戦するものの村井長頼の活躍により撃退
- 1585年7月24日-09:00|日本|愛媛県今治市|天正13年6月27日|小早川隆景、吉川・宍戸・福原など毛利氏の軍を率いて伊予の今張浦(今治市)に渡る
- 1585年7月27日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリスのロリ卿が北米ヴァージニアのロアノーク島に最初の植民団を送る
- 1585年7月27日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正13年7月|<拝領>丹波亀山5万石「前田玄以」(⇒慶長5(1600)年本領安堵)
- 1585年7月27日-09:00|日本|熊本県宇城市|天正13年7月|肥後阿蘇勢が島津方の花之山城を攻略
- 1585年7月27日-09:00|日本|福井県三方郡美浜町|天正13年7月|<移封>若狭高浜2万石「堀尾吉晴(可晴)」⇒若狭国佐垣2万石(⇒同年閏8月、近江国佐和山4万石)
- 1585年7月27日-09:00|日本|三重県松阪市|天正13年7月|<改名>伊勢松ヶ島領主「蒲生賦秀」⇒「蒲生氏郷」
- 1585年7月28日 00:00|イギリス| |||<死去>ベッドフォード伯「フランス・ラッセル」
- 1585年7月28日 00:00|イギリス| |||<就任>ベッドフォード伯「エドワード・ラッセル」先代の孫(~16270503死去)
- 1585年7月28日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月2日|午前~午後、小早川隆景の軍が、垣生・郷・庄内の諸砦、神社仏閣を焼き払い、藤田山城守義雄の守る岡崎城を攻略:<丸山城の戦い>小早川隆景は、高尾城の支城丸山城を包囲/高尾城主金子元宅は敵状視察を兼ねて30余騎を出動させたが敗走/丸山城の守将黒川広隆は戦わずして降伏、隆景に城を明け渡し、小早川勢の嚮導役を命じられ、金子城・高尾城攻めに参加
- 1585年7月29日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天正13年7月3日|<蟹江城合戦(尾張国)>蟹江城が降伏開城、織田・徳川勢が城を奪還/敗れた九鬼嘉隆は舟で退却、これを信雄が大舟で追撃、滝川一益もかろうじて脱出、伊勢へ退去
- 1585年7月29日 04:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月3日|<天正の陣(伊予国)金子城の戦い>午後、土佐の援軍片岡光綱の一隊が金子城に到着し小早川隆景・吉川元長軍を撃退
- 1585年7月30日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第87代ドージェ(元首)「ニコラ・ポッテ」
- 1585年8月1日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月6日|<天正の陣(伊予国)金子城の戦い>吉川元長が天神山から磯浦越え、名古城、御代島城、王子山砦を陥れ、一宮社を焼く/小早川隆景・吉川元長軍の将宍戸元秀、高築砦を焼く、金子城城兵は尾尻川(内堀)の西に退却
- 1585年8月2日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年7月7日|真田配下となった室賀正武は密かに家康の命令を受け、真田昌幸の暗殺を企て上田城を訪れる。真田昌幸は計画を察知し、室賀正武を斬殺
- 1585年8月2日 04:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月7日|<天正の陣(伊予国)金子城の戦い>午後、小早川隆景・吉川元長軍による総攻撃も金子城表口は落ちず、城方土佐援軍の将片岡光綱討死
- 1585年8月3日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月8日|<陣張谷・伏谷の戦い>吉川元長、金子城側面を攻めんとして御茶屋谷方面を攻めるも敗退
- 1585年8月3日-09:00|日本|徳島県鳴門市|天正13年7月8日|<第二次阿波木津城の戦い>木津城(東条関兵衛)は羽柴秀長軍の昼夜に渡る攻撃と蜂須賀正勝により水の手も断たれ落城
- 1585年8月4日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月9日|<天正の陣(伊予国)金子城の戦い>小早川隆景・吉川

1590迄 (2237件)

- 元長軍は引き続き金子城西方御茶屋谷を攻めるが城方の大勝
- 1585年8月4日-09:00|日本|鳥取県西伯郡大山町|天正13年7月9日|毛利氏の四国出兵に乗じて、伯耆羽衣石城の南条元統軍が西伯耆の吉川氏領に侵攻し香原山城を攻略
- 1585年8月5日 03:00|ブラジル| |||パハラ族との関係を回復したMartim Leitaoの部隊がふたたび出撃、ポティグアラ族の二度にわたる待ち伏せ攻撃を撃破し、Jaguaribe 川方面に進出/フィリペイ砦(現アソペソア)を建設
- 1585年8月5日-09:00|日本|愛媛県西条市|天正13年7月10日|小早川の調略に乗った宇野識弘が寝返り桑村郡にて毛利軍進軍の露払いを行い数名を討ち取る
- 1585年8月6日-09:00|日本|京都府京都市|天正13年7月11日|<就任>関白「羽柴秀吉」(前関白近衛前久の養子になり、近衛の本姓藤原を名乗る、~天正19(1591)年12月27日)
- 1585年8月6日-09:00|日本|京都府京都市|天正13年7月11日|<退任>関白「二条昭実」
- 1585年8月7日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月12日|<天正の陣(伊予国)高尾城の戦い>毛利軍は高尾城攻撃を開始。城内の兵も立ち向かい、双方に多数の戦死者を出した
- 1585年8月9日-09:00|日本|愛媛県西条市|天正13年7月14日|毛利軍により、丸山城(黒川広隆)降伏開城
- 1585年8月9日-09:00|日本|鳥取県西伯郡大山町|天正13年7月14日|<河原山城の戦い(伯耆国)>(9日~)伯耆羽衣石城の南条元統支援の行松氏が西伯耆の吉川氏領に侵攻し福頼左衛門尉元秀の守る汗入郡の河原山城を攻撃落城させた/吉川元春は弟の毛利元康を出兵させただけにこれを回復/行松氏は成果を挙げられないまま羽衣石城へ退却
- 1585年8月9日 09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月14日|<天正の陣(伊予国)金子城の戦い>午後6時、金子城落城/守将金子元春以下動けるものは御茶屋谷より落ち、残る将は自刃
- 1585年8月10日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年7月15日|北信濃上田城の真田昌幸が徳川家康と手切れ、越後の上杉景勝と結び小県・吾妻・利根の三郡を安堵される/真田昌幸、真田信繁を人質として上杉家に送る
- 1585年8月10日-09:00|日本|長野県小諸市|天正13年7月15日|小諸城の柵津昌綱が真田に降る。これにより小県郡の大半を支配下に置く
- 1585年8月10日 09:00|日本|徳島県阿南市|天正13年7月15日|<阿波牛岐城の戦い>阿波牛岐城の香宗我部親泰が城を破棄して土佐へ退いた
- 1585年8月12日-09:00|日本|愛媛県西条市|天正13年7月17日|<天正の陣(伊予国)高尾城の戦い>金子元宅は自ら高尾城に火を放ち、城外の野々市原に600余の兵と討って出た/長宗我部軍の援軍200を含めた800余の金子軍と毛利軍の両軍入り乱れた最終決戦が行われ、金子元宅はじめ金子方の武將は戦死、毛利軍の勝利に終わった
- 1585年8月13日-09:00|日本|愛媛県西条市|天正13年7月18日|<伊予高峠城の戦い>高峠城(高外木城)落城
- 1585年8月14日-09:00|日本|徳島県阿南市|天正13年7月19日|<牛岐城の戦い>秀次軍が牛岐城を攻略
- 1585年8月15日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョヴァンニ・ピエール・ダ・パレストリーナ《オフェルトリア》「マリアは天に昇らされたまいぬ」
- 1585年8月16日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月21日|新居郡金子村の一宮神社、毛利・金子両氏の兵火により焼失
- 1585年8月17日-01:00|ベルギー/スペイン| |||スペイン軍が、アントワープを占拠
- 1585年8月17日-09:00|日本|愛媛県新居浜市|天正13年7月22日|毛利軍、花房隊や新居郡の残兵が籠る金子本城へ北谷口より総攻めし落城
- 1585年8月18日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第88代ドージェ(元首)「パスクアレ・チコニヤ」(~1595年)
- 1585年8月20日-09:00|日本|高知県|天正13年7月25日|長宗我部元親が羽柴秀長の提示した講和条件を受け入れ、実子二人を人質として提出して降伏/羽柴秀吉(総大将は羽柴秀長)、長曾我部元親に勝利し四国平定
- 1585年8月20日-09:00|日本|徳島県徳島市|天正13年7月25日|<阿波一宮城の戦い>羽柴秀長が長宗我部元親の家臣谷忠澄の守る一宮城を攻め、開城させる
- 1585年8月20日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正13年7月25日|<阿波脇城の戦い>長宗我部親吉が羽柴秀次の軍に屈して降伏、開城/親吉は土佐に帰る途中で土豪の待ち伏せに逢い戦死:<阿波岩倉城の戦い>羽柴秀次が黒田孝高(官兵衛)、宇喜多秀家ら備前・播磨勢と合流した後に比江山親興の籠る岩倉城を攻めて落城させた
- 1585年8月25日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天正13年8月|下野の宇都宮国綱が、佐竹氏らの支援によって多気山城を築き、本拠を移す
- 1585年8月26日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年8月2日|<上田城の戦い>徳川家康が甲斐信濃に配置していた大久保忠世・鳥居元忠・平岩親吉・柴田康忠等に上田城を攻撃させたが昌幸の巧妙な作戦に敗走
- 1585年8月30日-09:00|日本|愛媛県|天正13年8月6日|<拝領>伊予35万石「小早川隆景」(湯築城、一部に小早川秀包)(~天正15(1587)年6月7日筑前・筑後・肥前1郡37万石)
- 1585年8月30日-09:00|日本|愛媛県|天正13年8月6日|<拝領>伊予中予和氣郡2万3000石「安国寺恵瓊」毛利家の外交僧(⇒天正15年6月7日6万石に増)
- 1585年8月30日-09:00|日本|愛媛県今治市|天正13年8月6日|<所領安堵>伊予中予風早郡1万4000石「来島通総」村上水軍(通総の兄得居通幸にも3000石)(~慶長2年9月16日(1597)1026)朝鮮で戦死)
- 1585年8月30日-09:00|日本|愛媛県四国中央市|天正13年8月6日|<伊予仏殿城の戦い>吉川元長軍は宇摩郡へ侵攻、仏殿城(川の江城)を無欠開城
- 1585年8月30日-09:00|日本|香川県|天正13年8月6日|<加増転封>淡路5万石「仙石秀久」⇒讃岐1国10万石(聖通寺城)(~翌年12月改易)
- 1585年8月30日-09:00|日本|香川県小豆郡小豆島町|天正13年8月6日|<拝領>播磨塩飽諸島・小豆島・津津など瀬戸内東部2万石「小西行長」(~天正16(1588)年肥後半国24万石)
- 1585年8月30日-09:00|日本|香川県高松市|天正13年8月6日|<所領安堵>讃岐十河城3万石「十河存保」旧領(~天正1

1590迄 (2237件)

- 4年12月12日 (15870120) 戦死滅亡)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 岐阜県大垣市 | 天正13年8月6日 | <拝領>美濃大垣城「羽柴秀長」(~天正13年)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 高知県 | 天正13年8月6日 | <所領安堵>土佐一国10万石「長宗我部元親」阿波・讃岐・伊予を割譲(~慶長4(1599)年5月19日死去)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 徳島県 | 天正13年8月6日 | <移封>播磨龍野「蜂須賀家政」→阿波徳島17万5700石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 徳島県徳島市 | 天正13年8月6日 | <移封>播磨置塩城1万石「赤松則房」(所領安堵)⇒阿波住吉1万石(~慶長3年7月17日(15980818)死去)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 奈良県高市郡高取町 | 天正13年8月6日 | <移封>摂津国能勢郡1万石「脇坂安治」⇒大和国高取20000石(⇒10月淡路洲本3万石)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 兵庫県明石市 | 天正13年8月6日 | <加増移封>摂津高槻城主「高山右近」⇒播磨国明石郡6万石(船上城)(~天正15(1587)年6月19日改易)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 兵庫県朝来市 | 天正13年8月6日 | <拝領>但馬竹田2万2千石「赤松広英(斎村政広)」(~慶長5年10月28日(16001203)自害滅亡)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 兵庫県養父市 | 天正13年8月6日 | <拝領>但馬八木1万5千石「別所重棟」(~天正19年6月6日(15910726)死去)
- 1585年8月30日-09:00 | 日本 | 和歌山県日高郡美浜町 | 天正13年8月6日 | <拝領>紀伊入山1万石「青木一矩」(~翌年8月旧領である越前国大野郡に移封)
- 1585年9月4日-09:00 | 日本 | 熊本県阿蘇市 | 天正13年8月11日 | 肥後「阿蘇惟光」が薩摩島津氏に降伏滅亡
- 1585年9月4日-09:00 | 日本 | 奈良県大和郡山市 | 天正13年8月11日 | <死去>大和郡山城主「筒井順慶」36歳⇒「筒井定次」が嗣ぐ(⇒閏8月18日、伊賀一国12万石・伊勢国内5万石・山城国内3万石の計20万石)
- 1585年9月6日-09:00 | 日本 | 熊本県宇城市 | 天正13年8月13日 | 肥後阿蘇勢甲斐親直が島津方の花之山城を攻略
- 1585年9月7日-09:00 | 日本 | 岐阜県高山市 | 天正13年8月14日 | 羽柴秀吉は金森長近に命じて飛騨国主・三木自綱を高堂城に攻め降伏させる
- 1585年9月12日-09:00 | 日本 | 熊本県 | 天正13年8月19日 | 肥後の阿蘇惟光は島津義久の侵攻を受けて領地を追われ降伏
- 1585年9月13日-09:00 | 日本 | 岐阜県高山市 | 天正13年8月20日 | 飛騨松倉領主「姉小路頼綱」羽柴秀吉に降伏滅亡
- 1585年9月13日-09:00 | 日本 | 岐阜県高山市 | 天正13年8月20日 | 羽柴秀吉の命で越前・金森長近父子が飛騨の姉小路氏・松倉城を攻略し飛騨を平定
- 1585年9月14日-09:00 | 日本 | 愛媛県西予市 | 天正13年8月下旬 | <第二次伊予黒瀬城の戦い>黒瀬城(西園寺公広)は羽柴軍・小早川隆景に無条件降伏、所領安堵される
- 1585年9月21日-09:00 | 日本 | 栃木県宇都宮市 | 天正13年8月28日 | 下野の宇都宮国綱が、佐竹氏らの支援によって多気山城を築き、宇都宮城から多気山城に居城を移転
- 1585年9月22日-09:00 | 日本 | 富山県富山市 | 天正13年8月29日 | <富山の役>羽柴秀吉率いる大軍が佐々成政を立て籠もる越中国富山城を包囲し、降伏させた/羽柴秀吉、佐々成政に越中新川郡を除く全ての所領を没収
- 1585年9月23日-09:00 | 日本 | 大阪府大阪市北区 | 天正13年8月30日 | 顕如、大坂天満本願寺に移転(羽柴秀吉が5月に寺地を寄進)
- 1585年9月24日-09:00 | 日本 | 岐阜県 | 天正13年閏8月1日 | <拝領>美濃国内1万石「太田宗隆」羽柴秀吉の直臣(⇒文禄2(1593)年閏9月、豊後国大野郡5万3200石加増し豊後臼杵城主6万5000石となる)
- 1585年9月24日-09:00 | 日本 | 富山県高岡市 | 天正13年閏8月1日 | <拝領>越中三郡(守山城)32万石「前田利長」(⇒慶長2(1597)年10月富山城に移る)
- 1585年9月24日-09:00 | 日本 | 富山県富山市 | 天正13年閏8月1日 | <削封>越中新川一郡のみ「佐々成政」(⇒天正15(1587)年7月肥後一国)
- 1585年9月24日-09:00 | 日本 | 福井県 | 天正13年閏8月1日 | <拝領>越前国内1万石「上田重安」羽柴秀吉に直仕(⇒慶長15(1600)年、→浅野家臣1万2千石)
- 1585年9月25日-09:00 | 日本 | 長野県上田市 | 天正13年閏8月2日 | <第一次上田合戦(信濃国)>徳川軍鳥居元忠、大久保忠世らが上田城の真田昌幸を攻撃/昌幸は城外へ討って出た後退却し、徳川軍を城内へ侵入させ伏兵攻撃、退却する徳川軍に砥石城から昌幸が追撃を加え、神川の増水で徳川軍は多くの溺死者を出す
- 1585年9月26日-09:00 | 日本 | 長野県上田市 | 天正13年閏8月3日 | <第一次上田合戦(信濃国)>真田昌幸、徳川軍に丸子城を攻められるが、落ちず
- 1585年9月28日-09:00 | 日本 | 富山県富山市 | 天正13年閏8月5日 | 羽柴秀吉、富山城を破却
- 1585年10月-02:00 | シリア・アラブ/トルコ | ||| <就任>ダマスカス(総督)「エルベントグル・アリ・パシャ」(~1586年)
- 1585年10月1日-01:00 | サンマリノ | ||| <就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・コルベッリ」「リベリオ・ガブリエリ」
- 1585年10月3日-09:00 | 日本 | 兵庫県三木市 | 天正13年閏8月10日 | <移封>摂津茨木「中川秀成」⇒播磨三木城12万石(⇒文禄2(1593)年11月19日豊後66000石)
- 1585年10月6日-09:00 | 日本 | 石川県小松市 | 天正13年閏8月13日 | <拝領>加賀国能美郡6万6000石「村上頼勝」小松城(⇒慶長3(1598)年4月越後本庄城9万石)
- 1585年10月6日-09:00 | 日本 | 熊本県下益城郡美里町 | 天正13年閏8月13日 | 島津・相良連合軍の前に堅志田城、花の山城は相次いで陥落、甲斐親英は剃髪して降伏
- 1585年10月6日-09:00 | 日本 | 滋賀県彦根市 | 天正13年閏8月13日 | <加増移封>若狭高浜1万7千石「堀尾吉晴(可晴)」→近江佐和山4万石(~天正18(1590)年7月遠江浜松へ)
- 1585年10月6日-09:00 | 日本 | 福井県 | 天正13年閏8月13日 | <拝領>越前国内2万石「青山宗勝」(⇒慶長3(1598)年、越

1590迄 (2237件)

前丸岡4万6000石)

- 1585年10月8日 00:00|イギリス| |||<死去>8代エドワード「アントワーヌ・ヘイ」  
1585年10月8日 00:00|イギリス| |||<就任>9代エドワード「フランス・ヘイ」(~16310716死去)  
1585年10月8日-09:00|日本|熊本県上益城郡御船町|天正13年閏8月15日|甲斐親乗が肥後御船城を退去  
1585年10月9日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正13年閏8月16日|小早川隆景、喜多郡に入って大津(のち大洲)・曾根城を陥れる  
1585年10月9日-09:00|日本|熊本県熊本市|天正13年閏8月16日|隈庄城は開城。隈庄城へは伊集院忠棟が入った  
1585年10月11日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|天正13年閏8月18日|<拝領>飛騨一国3万8700石「金森長近」(⇒慶長5(1600)年、美濃国武儀郡(上有知・関)18000石と河内国金田3000石を加増)  
1585年10月11日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天正13年閏8月18日|<加増移封>紀伊・和泉「羽柴秀長」⇒大和・紀伊・和泉三国100万石(郡山城)(~天正19年1月22日(15910215)死去)  
1585年10月11日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正13年閏8月18日|<移封>播磨三木「前野長康」⇒出石5万3千石  
1585年10月11日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正13年閏8月18日|<移封>某所1万石「明石則実」⇒但馬豊岡2万2000石  
1585年10月11日-09:00|日本|福井県越前市|天正13年閏8月18日|<拝領>越前国府中12万石「木村重茲」(⇒文禄2(1593年閏9月、山城淀18万石)  
1585年10月11日-09:00|日本|福井県小浜市|天正13年閏8月18日|<減封>越前国・若狭国・加賀国2郡123万石「丹羽長重」⇒若狭小浜15万石(⇒天正15(1587)年、加賀松任4万石)  
1585年10月11日-09:00|日本|福井県福井市|天正13年閏8月18日|<加増転封>近江肥田「長谷川秀一」⇒越前東郷11万石  
1585年10月11日-09:00|日本|福井県福井市|天正13年閏8月18日|<転封>近江佐和山「堀秀政」⇒越前北ノ庄18万石(~天正18(1590)年5月27日死去)  
1585年10月11日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正13年閏8月18日|<移封>大和郡山「筒井定次」⇒伊賀上野9万5千石(~慶長13年家中騒乱により改易)松倉重信と島清興は筒井定次と共に伊賀に移転  
1585年10月15日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正13年閏8月22日|<拝領>美濃大垣城30000石「一柳直末」(~天正17(1589)年軽海西城6万石に転封)  
1585年10月15日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正13年閏8月22日|<拝領>近江八幡43万石「羽柴秀次」/八幡山山頂に八幡城築城開始(⇒天正18(1590)年尾張国清洲城)  
1585年10月15日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正13年閏8月22日|<移封>若狭高浜「山内一豊」⇒近江長浜2万石(~天正18年遠江掛川へ)  
1585年10月15日-09:00|日本|兵庫県明石市|天正13年閏8月22日|<移封>高槻4万石「高山右近」⇒明石6万石(⇒天正15年改易)  
1585年10月17日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「ヒェロニムス侯爵アルバ・ロマンテ・デ・スニガ」(~15900126没)  
1585年10月20日-09:00|日本|熊本県|天正13年閏8月27日|阿蘇氏は島津氏に降伏  
1585年10月20日-09:00|日本|福島県二本松市|天正13年閏8月27日|<小手森城合戦>伊達達宗、大内領の小手森城を攻撃、大内家部将菊池顕綱に勝利/菊池顕綱は討死/城兵・女子合わせて約800人を撫で斬り/大内定綱は居城の小浜城を捨て、畠山氏の二本松城へ逃亡、その後蘆名氏に頼る/小浜城が伊達領となる  
1585年10月21日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年閏8月28日|<第一次上田合戦(信濃国)>(2日~)徳川勢が信濃上田城を攻撃するも真田昌幸に退けられる  
1585年10月24日-09:00|日本|新潟県阿賀野市|天正13年9月2日|梅津伝兵衛は水原城に火を放ち、混乱の中で剣持市兵衛、梅津宗三は新発田城に退却して水原城は落城  
1585年10月25日-09:00|日本|熊本県菊池郡菊陽町|天正13年9月3日|今石城が石原吉利が島津軍に徹底抗戦した末に玉砕、今石城の西に位置する竹迫城も陥落/前年の戦いで高森惟居が奪回していた岩尾・長野・南郷・下田の諸城も島津勢の侵攻を恐れて次々と開城する有様だった  
1585年10月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天正13年9月3日|<拝領>大和国添下郡4万8千石「羽田正親」小泉城  
1585年10月25日-09:00|日本|和歌山県紀の川市|天正13年9月3日|<拝領>紀州粉河1万石「藤堂高虎」紀州攻め、四国攻めの功により5百4千石加増  
1585年10月26日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正13年9月4日|<除封>美濃大垣4万石「加藤光泰」蔵入地2万石を自身の給人地としたために  
1585年10月27日-09:00|日本|愛媛県松山市|天正13年9月5日|<伊予湯築城の戦い>河野通直の湯築城が攻囲され小早川隆景の薦めにより開城し通直は道後の町に蟄居  
1585年10月27日-09:00|日本|愛媛県松山市|天正13年9月5日|<失領>伊予国湯築城主「河野通直」  
1585年10月29日-09:00|日本|熊本県合志市|天正13年9月7日|島津氏は肥後に出ていた島津忠平(義弘)が合志城を攻めて合志親重を追放  
1585年10月30日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正13年9月8日|<森下合戦>北条氏邦が沼田を攻撃し森下城が落城  
1585年10月31日-09:00|日本| |||天正13年9月9日|羽柴秀吉、豊臣姓を賜姓  
1585年10月31日-09:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|天正13年9月9日|<末森城の戦い(能登国)>越中の佐々成政が織田・徳川方につき、加賀の前田領へ侵攻、末森城を攻撃/前田利家は金沢城から援軍に向かい佐々成政を攻撃  
1585年11月1日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハデ・イル・ミン・パシャ」(~15860414)

1590迄 (2237件)

- 1585年11月2日-09:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|天正13年9月11日|佐々成政は敗北し退却
- 1585年11月3日-09:00|日本|福岡県みやま市|天正13年9月12日|島津氏は筑後に入って堀切城を陥れた
- 1585年11月4日-09:00|日本|熊本県上益城郡益城町|天正13年9月13日|島津軍の攻勢で御船城の北にある赤井城(木山弾正)陥落
- 1585年11月4日-09:00|日本|福岡県太宰府市|天正13年9月13日|高橋紹運の子の統増が守っていた筑前宝満城は筑紫広門に攻められて陥落し統増は岩屋に逃れる
- 1585年11月5日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<死去>スウェーデン・エストニア総督「ホントウス、フリハッレ・デ・ラ・ガルド」
- 1585年11月7日-09:00|日本|三重県津市|天正13年9月16日|秀吉方の武将蒲生氏郷によって織田信雄の城である伊勢国戸木城(家臣木造氏)が攻略
- 1585年11月8日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「グスタフ・ガブリエルソン・オクセンステーナ」(~1588年)
- 1585年11月8日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アンブロジオ・ディ・ネグロ」(~15871113)
- 1585年11月10日-09:00|日本|熊本県上益城郡益城町|天正13年9月19日|島津軍の攻勢で御船城の北にある木山城(木山紹宅)陥落/木山城の東にある津森城も陥落
- 1585年11月15日-09:00|日本|和歌山県|天正13年9月24日|榎峠の合戦で湯川直春勢は敗れて山中へ引き籠った
- 1585年11月16日-09:00|日本|福島県二本松市|天正13年9月25日|伊達政宗が塩松城を攻略し大内定綱を追う
- 1585年11月16日-09:00|日本|福島県本宮市|天正13年9月25日|小浜城ののど元である岩角城が片倉景綱・伊達成実・白石宗実・桜田元親の軍勢に攻め落とされる
- 1585年11月17日-09:00|日本|福島県二本松市|天正13年9月26日|大内定綱、出羽小浜城を放棄。伊達政宗、入城
- 1585年11月20日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正13年9月29日|<沼田城合戦>北条勢が真田の沼田城を攻めるが上杉の援軍を得た城代矢沢頼綱らの勇戦により失敗
- 1585年11月21日-09:00|日本|和歌山県|天正13年9月30日|湯河直春は再度攻勢に出て、討伐に当たった杉若無心・桑山重晴・美藤(尾藤)下野守らは苦戦を強いられた/結局上方勢は湯河氏らを攻め滅ぼすことはできず、和議を結び湯河氏らの本領を安堵
- 1585年11月22日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>マテウ総督「Tristao Vaz da Veiga」(~15910821)
- 1585年11月22日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天正13年10月|<拝領>大和高取1万5千石「本多利久」(⇒慶長5(1600)年25000石に加増)
- 1585年11月22日-09:00|日本|兵庫県洲本市|天正13年10月|<加増移封>大和高取20000石「脇坂安治」⇒淡路洲本33000石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)
- 1585年11月27日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正13年10月6日|<死去>陸奥国蘆名氏18代当主「蘆名盛隆」(二階堂盛義の長男)、黒川城(会津若松城)で家臣大庭三左衛門に暗殺される(24歳)
- 1585年11月28日-09:00|日本|福島県二本松市|天正13年10月7日|<二本松城合戦>二本松義継(畠山氏の庶流/二本松氏第十四代当主)が伊達政宗と田村清顕に攻められ降伏
- 1585年11月29日-09:00|日本|福島県二本松市|天正13年10月8日|<粟ノ巣の変(陸奥国)>陸奥二本松城主畠山義継、伊達輝宗を捕らえ乱戦により義継・輝宗死す/畠山国王丸が家督継承
- 1585年12月-01:00|オランダ/イギリス| |||イギリスがトリエ同盟の要請によりレスタ伯の軍隊をオランダに派遣
- 1585年12月4日-09:00|日本|三重県伊勢市|天正13年10月13日|伊勢神宮の正遷宮が行われる
- 1585年12月5日-09:00|日本|福島県相馬市|天正13年10月14日|佐竹方、陸奥中村城を攻略
- 1585年12月6日-09:00|日本|福島県二本松市|天正13年10月15日|<二本松城の戦い>伊達政宗と畠山国王丸が戦い国王丸が勝利
- 1585年12月8日-09:00|日本|長野県上田市|天正13年10月17日|真田昌幸、羽柴秀吉に臣従を誓う/軍事支援の約束を得る
- 1586年-08:00|インドネシア| |||ドゥマク国(中部ジャワ北岸で勢力を誇ったイスラム教国)アディ・ウ・ジャヤの死後、パジヤン王家はマタラム王国の始祖セナパティに簞奪される
- 1586年-03:30|イラン| |||<即位>パダスパニド朝(Nur)君主「Jahangir3世」(~1593年)
- 1586年-03:00|ペラルーシ| |||<即位>スツク公「ワリア・オレガティス」(~1612年)分割された領土を統合相続
- 1586年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイ「ハサン・アガ」(~1587年)
- 1586年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ベルナルド・ナヴァジエロ」(~1588年)
- 1586年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンテリア王国総督「ス・アーネ・モチェーゴ」(~1588年)
- 1586年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「コカ・シナン・ハシヤ」(~同年)⇒「ユグエイヌ・ハシヤ」(2期目~1587年)
- 1586年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャ「ホルヘ・テッロ・デ・メセス」(~1589年)
- 1586年-02:00|エジプト/トルコ| |||エジプトのオスマン朝守備隊が反乱をおこし、総督を監禁
- 1586年-01:00|ベルギー/オランダ| |||<死去>オステント総督「キヨムト・エルタン」
- 1586年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのハシヤ「テリ・アフメト・ハシヤ」(~同年)⇒「ハサン3世ハシヤ」(3回目~1588年)
- 1586年-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オステント総督「トマス・ノリス卿」(~1587年1月)
- 1586年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領ケウ提督「Gil Annes da Costa」(~1591年)
- 1586年 00:00|イギリス| |||<就任>5代モートン伯・8代アングラス伯「アーチルド・ダグラス」(~15880804死去)
- 1586年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Francisco Fernandes de Figueiredo」(~1587年)
- 1586年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Alvaro de Acosta」(~1589年)
- 1586年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島領土執達吏(トスハウ)「Lyder Augustinsson」(~1587年)
- 1586年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴルト・コスト長官「ベルナルド・イニョ・リベロ・パチエコ」⇒「ジョアン・ロイス・コウ

1590迄 (2237件)

チニヨ (~1594年)

- 1586年 00:00|イギリス/ペルー| |||イギリスの海賊キャベンディッシュがペルー副王領を荒らす
- 1586年 00:00|カリヤ諸島/モロコ| |||ランサロテ島のモロコの占領 (~1586年)
- 1586年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官代行「アリアガ」 (~1587年)
- 1586年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントティアゴ 総督「スリム」⇒「デ・イエゴ・フォルナンデス・デ・メルカド」 (~1591年)
- 1586年1月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Duarte Pereira de Sampaio」 (~1589年)
- 1586年1月-05:30|インド| |||<即位>ガイヤガ王国(ア-ラウイトウ朝) 国王「ヴェンカタ2世」 (~1614. 10死去)
- 1586年1月1日 04:00|ドミニカ共和国| |||ドレク, サントミンゴを襲撃. シマラの協力を得て奪取に成功
- 1586年1月2日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正13年11月13日|徳川家の重臣石川数正、岡崎から突如秀吉の元に出奔
- 1586年1月6日-09:00|日本|福島県本宮市|天正13年11月17日|<人取橋の戦い>伊達政宗は、安達太良川を渡って南方の観音堂山に布陣/佐竹および南奥諸大名の連合軍は、伊達本陣をめぐらして北進を開始し、瀬戸川(阿武隈川支流)に架かる人取橋付近で両軍が激突/戦闘は連合軍の一方的な攻勢に終始し伊達軍は潰走、政宗は辛うじて本宮城に逃れた/夜、佐竹軍は撤退
- 1586年1月9日-09:00|日本|新潟県新潟市|天正13年11月20日|護摩堂城主・宮島三河守が新潟津に押し寄せ、新発田綱之を騙まし討ち/船団は沼垂城に向かい沼垂城も落城
- 1586年1月10日-09:00|日本| ||天正13年11月21日|羽柴秀吉、徳川家康の次男於義丸を養子にすることで家康と和睦
- 1586年1月18日 14:00|日本| ||天正13年11月29日|<天正地震>夜の亥の下刻(23時ごろ)に起きたマグニチュード7.8前後という大地震/白川村保木脇、帰雲山の山麓にあった帰雲城が、この日の大地震による大規模な山崩れのため、白川谷の人家300余戸と共に倒壊・埋没し、城主内ヶ嶋氏理以下1500余人が犠牲になった/主な被害はこのほかに、越中礪波郡木船城も9m陥没し崩壊、城主夫妻以下多数の人々が死亡、美濃大垣城では城が崩壊して火災が起き、城中残らず焼失、城下町での倒壊家屋も多数あった
- 1586年1月22日-09:00|日本|長野県伊那市|天正13年12月3日|信濃・小笠原貞慶、家康と絶ち、保科正直を伊那郡高遠に攻めるが、父保科正俊が鉾持除の戦いで退けた
- 1586年1月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>ルカス・クラナハ(子)、ドイツの画家(生年1515年)
- 1586年1月25日-01:00|ハンガリー/ドイツ| |||<就任>ハンガリー総督・総司令官「ロバート・ダドリー」 (~1587.12.17)
- 1586年1月27日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天正13年12月8日|那須資晴(大関高増)、千本資俊・資政父子を滝寺にて謀殺
- 1586年1月29日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正13年12月10日|<死去>丹波国亀山城「羽柴秀勝」18歳(織田信長の4男、羽柴秀吉の養子)病没(誕生:永禄11(1568)年)⇒「豊臣秀勝」が継ぐ(~天正15(1587)年改易)
- 1586年2月4日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王室総督「イシュトヴァーン・ラッチ・ゼムチイ」
- 1586年2月4日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「マイクロシュ・イシュトヴァンフィ・パラニャウアー・イス・ギアソニ・ファルグイ」(1回目~9.4)
- 1586年2月7日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天正13年12月19日|(15日~)北条氏直が宇都宮城下に侵攻し、宇都宮大明神や神宮寺を焼き払い引き払う
- 1586年2月9日-09:00|日本|茨城県結城市|天正13年12月21日|20日から北条氏直が結城城を攻めたが退散
- 1586年2月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン・コブルク公・ザクセン選帝侯「アウグスト」
- 1586年2月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「クリスティアン1世」 (~1591.09.25死去)
- 1586年2月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン・コブルク公「ヨハン・ガジミル」 (~1633年)
- 1586年2月11日 05:00|コロンビア| |||サント・ドミンゴを出発したドレク、カタチを襲撃. 攻略に成功
- 1586年2月18日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・端泰1年|大越莫朝・端泰と改元 (~1588.01.27)
- 1586年2月19日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|天正14年|<移封>近江高島郡2万3千石「生駒親正」⇒伊勢神戸3万石⇒同年、播磨赤穂6万石(⇒翌年8月讃岐一国17万3千石)
- 1586年2月19日-09:00|日本|山形県米沢市|天正14年|伊達政宗が出羽に覚範寺を創建
- 1586年2月19日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正14年|高野山金剛峰寺金堂できる
- 1586年2月19日-09:00|日本|大阪府|天正14年1月|<拝領>和泉8万石「石川数正」(⇒天正18(1590)年、信濃国松本10万石)
- 1586年2月19日-09:00|日本|山形県|天正14年春|大宝寺氏が治める庄内地方で内乱が発生、当主大宝寺義興と最上方となっていた大宝寺家臣の東禅寺義長が交戦/最上義光は東禅寺義長を支援、庄内北部の飽海郡を占領
- 1586年2月19日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正14年1月1日|<彦間合戦>北条派の長尾顕長、佐竹派の佐野宗綱(31下野唐沢山城主)に勝利/佐野宗綱は討死
- 1586年2月20日-09:00|日本|大阪府|天正14年1月2日|<拝領>和泉8万石「石川数正」
- 1586年3月 06:00|アメリカ| |||ドレーク船長、フロリダのサント・アウグスティンを占領
- 1586年3月13日-09:00|日本|熊本県阿蘇郡高森町|天正14年1月23日|島津軍、肥後・阿蘇高森城(高森惟居は討死)を攻略し、肥後平定
- 1586年3月27日-09:00|日本| ||天正14年2月8日|羽柴秀吉が徳川家康と和睦
- 1586年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アスカニオ・ベッルツィ」 「フランチェスコ・ジヤンニ」
- 1586年4月13日-09:00|日本|茨城県鹿嶋市|天正14年2月25日|常陸の鹿島通晴が一族の貞信、清秀兄弟によって打倒される/同時に国分氏当主胤政が下総矢作城に復帰
- 1586年4月14日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カニズエリ・シヤフ・シユ・パシャ」(2期目~1588.04.15)

1590迄 (2237件)

- 1586年4月21日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ガブリエル・デ・ルハン」(2回目~15890331)
- 1586年4月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正14年3月4日|宇喜多次郎九郎他5人、千人斬り事件(1月~)の下手人として大坂で処刑
- 1586年4月22日-09:00|日本|福岡県宗像市|天正14年3月4日|<死去>筑前葛ヶ岳領主「宗像氏貞」改易
- 1586年5月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルーベ「カリコス・アリ・パシャ」(2回目~15870222)
- 1586年5月3日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正14年3月15日|<壬生藤井合戦>佐竹・宇都宮勢、壬生本領の藤井、壬生、羽生田を攻める/北条氏直、壬生氏救援のため、那須資晴とともに出兵、反北条の佐野、皆川氏を降伏させる
- 1586年5月9日-01:00|スペイン| |||<死去>リス・デ・モリス、スペインの画家(生年1510年)
- 1586年5月23日-09:00|日本|長崎県佐世保市|天正14年4月5日|大村、有馬、有田、波多の連合軍は、井手平城を攻め落とす
- 1586年5月31日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官代理「ジョン・メイトランド 卿」(⇒15870729大法官~15951003死去)
- 1586年6月1日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「アルバート・ラドビラ」(~15920713)
- 1586年6月6日-09:00|日本|長崎県佐世保市|天正14年4月19日|大村純忠、有馬義純、宗義智、波多信時、有田盛ら攻撃を受けた広田城合戦において肥前平戸領主「松浦鎮信」これらの軍勢を退けた
- 1586年6月9日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正14年4月22日|<下野鹿沼合戦>北条氏直、佐竹・宇都宮連合を圧倒し壬生氏を支援
- 1586年6月12日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正14年4月25日|猪俣邦憲、上野仙人ヶ岩屋を攻略
- 1586年6月17日-09:00|日本|徳島県徳島市|天正14年5月|蜂須賀家政、阿波・渭津を改称し徳島とし、自身の本拠も移す
- 1586年6月18日-09:00|日本|秋田県横手市|天正14年5月2日|<有屋峠の戦い(出羽国)>小野寺義道は鮭延典膳の反旗により失った最上地方の旧領(金山&真室川)を奪還するために挙兵
- 1586年6月20日-09:00|日本| ||天正14年5月4日|羽柴秀吉が、イエズス会によるキリスト教の布教許可状を発給
- 1586年6月24日 01:00|日本|山形県最上郡金山町|天正14年5月8日|<有屋峠の戦い>午前10時頃、小野寺・最上両軍は有屋峠にて遭遇/両軍は共に敵を難所に引き付けるべく膠着状態に陥ると、道為は鉄砲の名手を30人ばかり選抜し、大木の間から最上勢を狙い撃ちに、最上勢7~8騎を討取った/挑発に乗った最上勢は、細い道を進んだため、小野寺勢は両側から弓や鉄砲で打ち掛け、最上勢は大損害、最上勢の先陣である金山与三左衛門は撤退を命じ、この日の損害は小野寺勢の戦死者38人に対し、最上勢の戦死者は1,000人を越えた
- 1586年6月27日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正14年5月中旬|北条勢が、下野皆川城を攻撃し、城主皆川広照はこれに屈服して講和を結ぶ
- 1586年6月28日-03:00|日本|山形県最上郡金山町|天正14年5月12日|<有屋峠の戦い>早朝に最上勢は800騎をもって小野寺勢と激突/鮭延秀綱は精鋭100人を選び、大木の上から鉄砲で小野寺勢を狙い撃ちにした/この日の小野寺氏の戦死者は500人を数えた/この損害により、義道は八口内に兵を残し、横手に帰陣/これに対し、義康も鮭延秀綱と金山与三左衛門に兵を預けて山形へ帰陣/この合戦は両者の痛み分けという結果で終了
- 1586年6月30日-09:00|日本|静岡県静岡市|天正14年5月14日|徳川家康(45)と羽柴秀吉の妹旭姫(44)と結婚
- 1586年7月8日-09:00|日本|徳島県|天正14年5月22日|<死去>阿波国「蜂須賀正勝(小六)」61歳(誕生:大永6(1526))
- 1586年7月11日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正14年5月25日|<沼田城合戦>真田、北条軍が沼田城を攻撃するが撃退
- 1586年7月30日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正14年6月14日|上杉景勝が大坂城で羽柴秀吉に謁見し臣下の礼を取る
- 1586年8月14日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦8月4日|エリザベス1世の暗殺とマリー・ステュワート即位の陰謀を計画したバビントンが逮捕される/マリーは絶体絶命に追込まれる
- 1586年8月15日-09:00|日本|徳島県徳島市|天正14年7月|蜂須賀家政、阿波渭津を改称し徳島とし、自身の本拠も移す
- 1586年8月20日-09:00|日本|福岡県直方市|天正14年7月6日|<鷹取城の戦い>肥前・鷹取城(筑紫広門)が島津氏の攻撃を受け落城/島津家久の家臣川上忠隆、筑紫晴門と相討ち
- 1586年8月25日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|天正14年7月11日|<勝尾城の戦い>(6日~)肥前国・勝尾城(筑紫広門)が島津家久の攻撃を受け落城し以後廃された
- 1586年8月30日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天正14年7月16日|龍松山城に籠った山本主膳守康忠らは降伏し、和睦交渉のために訪れた郡山城の藤堂氏館で暗殺された
- 1586年8月30日-09:00|日本|福島県二本松市|天正14年7月16日|伊達政宗が畠山氏の二本松城を攻撃/二本松勢の会津退去を条件に和睦が成立し、二本松城は無血開城、伊達領となる
- 1586年9月-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝、タブリーズを占領
- 1586年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|天正14年7月24日|<死去>正親町天皇の第一皇子誠仁親王(35歳)
- 1586年9月10日-09:00|日本|福岡県太宰府市|天正14年7月27日|<岩屋城の戦い>(14日~)島津忠長、大友領の筑前・岩屋城(高橋紹運)を占領/高橋紹運(39)は自害、城兵全員玉砕/島津氏も多数の将兵を失った
- 1586年9月18日-01:00|イタリヤ| |||<死去>パルマ公「オッターヴ・イオ・ファルネゼ」61歳
- 1586年9月18日-01:00|イタリヤ| |||<即位>パルマ公(ファルネゼ家)アレクサンドロ(~15921203死去47歳)
- 1586年9月18日-09:00|日本|福岡県大野城市|天正14年8月6日|島津軍が宝満城を攻略
- 1586年9月19日-09:00|日本|岐阜県高山市|天正14年8月7日|<移封>越前大野「金森長近」⇒飛騨高山6万1千石(⇒

1590迄 (2237件)

- 慶長5 (1600) 年美濃国上有知1万8千石・河内国金田3千石を加増)
- 1586年9月19日-09:00|日本|福井県大野市|天正14年8月7日|<移封>紀伊入山1万石「青木一矩」⇒越前国大野郡(天正15 (1587) 年、播磨国立石城に転封)
- 1586年9月24日-01:00|ハンガリー/オーストリア| ||<就任>ハンガリー王室総督「ジェルジ・トラスコビッチ・トラスチャニ」(~15870131没)
- 1586年9月30日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1586/9/20|バビントンが処刑される/24歳(誕生:1561/11)エリザベス1世の暗殺を企てた陰謀家
- 1586年10月-05:30|インド| ||ムガル帝国がスリーガールに侵入しガミールを併合
- 1586年10月1日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<死去>シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「アドルフ」
- 1586年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「パオロアントニオ・オノフリ」 「ジャンバッティスタ・ベルツィ」
- 1586年10月1日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<即位>シュレースヴィヒ公「フレデリク2世」(~15870615死去)
- 1586年10月4日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正14年8月22日|<佐野城合戦>北条氏直、佐野城を攻略/北条氏忠、佐野野の家督継承
- 1586年10月6日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|天正14年8月24日|<立花山城の戦い>島津忠長率いる島津軍が大友家配下の立花家当主・立花宗茂が守る筑前・立花山城を包囲/豊臣秀吉配下の毛利軍が豊前の小倉城に進軍し止むを得ず島津軍は撤退
- 1586年10月7日-09:00|日本|福岡県糟屋郡須恵町|天正14年8月25日|<筑前高鳥居城の戦い>立花宗茂が立花山城から兵を率いて高鳥居城に留まっていた島津配下の星野鎮胤・鎮元兄弟を討ち取って高鳥居城を攻略
- 1586年10月8日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正14年8月26日|上杉景勝が、五十公野城下を放火
- 1586年10月8日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|天正14年8月26日|<豊前小倉城合戦>神田元忠(三浦元忠)率いる毛利先遣軍は、豊前門司城を出て島津方の高橋元種の支城豊前小倉城を攻略しようとして進軍したが、大里周辺で高橋勢の伏兵に苦しみ、秋月種実の攻撃もあって門司城に引き返した
- 1586年10月9日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正14年8月27日|矢沢頼綱が北条方の中山城を攻略
- 1586年10月9日-09:00|日本|福岡県那珂川市|天正14年8月27日|筑紫広門は、秋月家の那珂郡一の岳城を奪回
- 1586年10月10日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|天正14年8月28日|筑紫広門は、勝尾城を奪回
- 1586年10月10日-09:00|日本|三重県熊野市|天正14年8月28日|<紀伊北山一揆>熊野から日高郡山地郷にかけての山間部で一揆が起こる
- 1586年10月12日-09:00|日本|福岡県大野城市|天正14年8月30日|<筑前高鳥居城の戦い>立花宗茂がこの日までに毛利先遣軍とも連携して島津軍を追い宝満城と実父・紹運が自刃した岩屋城も奪還
- 1586年10月17日 00:00|イギリス| ||<死去>フリッパ・シドニー、イングランドの詩人(生年1554年)
- 1586年10月19日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正14年9月7日|真田昌幸が中山城を奪還
- 1586年10月20日-09:00|日本|茨城県つくばみらい市|天正14年9月8日|多賀谷重経/梶原政景、小張城を攻略し、只越全久が戦死
- 1586年10月21日-09:00|日本| ||天正14年9月9日|羽柴秀吉、豊臣姓を賜姓
- 1586年10月23日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正14年9月11日|徳川家康が、今川館跡地に駿府城を築城、完成
- 1586年10月26日-09:00|日本|和歌山県|天正14年9月14日|<紀伊国一揆>羽柴秀長重臣の伊藤掃部助が一揆軍との合戦で配下の兵もろとも討死
- 1586年10月28日-01:00|ドイツ| ||<死去>シュヴァルツブルク・ゾントー・スハゼン侯「ヨハン・ギュンター1世」
- 1586年10月28日-01:00|ドイツ| ||<就任>シュヴァルツブルク・ゾントー・スハゼン侯「クリスティアン・ギュンター1世」(~16421125死去)
- 1586年11月2日-09:00|日本|香川県仲多度郡多度津町|天正14年9月21日|仙石秀久が豊臣秀吉の命で天霧城を攻めた/川田六郎左衛門、川田七兵衛、川田小太郎の3兄弟は、三野菊右衛門、木村孫七郎、入江次郎兵衛らと共に殿を務め、香川信景父子を無事に土佐へと去らせた/川田小太郎は堀江口で戦死
- 1586年11月4日-09:00|日本|三重県熊野市|天正14年9月23日|<紀伊国一揆>(8月~)熊野から日高郡山地郷にかけての一揆は吉川平介らによってほぼ鎮圧された
- 1586年11月5日-09:00|日本|茨城県つくばみらい市|天正14年9月24日|多賀谷方、足高城を攻めるも、退散
- 1586年11月10日-09:00|日本|岩手県岩手郡雫石町|天正14年9月29日|奥州斯波氏の雫石御所が南部氏の攻撃で陥落
- 1586年11月14日-09:00|日本|福岡県北九州市小倉北区|天正14年10月4日|毛利輝元は軍監黒田孝高、叔父の吉川元春・小早川隆景をともなって高橋元種の小倉城、賀来氏が守る豊前宇留津城を攻撃/小倉城の城兵は元種の本城である豊前香春岳城へと逃亡して陥落、また、豊前馬ヶ岳城、豊前浅川城、筑前剣ヶ岳城がそれぞれ落城して毛利勢に帰服
- 1586年11月19日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正14年10月9日|<死去>陸奥三春領主「田村清顕」⇒子の「田村宗顕」が継ぐ(~天正18 (1590) 年失領)
- 1586年12月2日-09:00|日本|大分県豊後大野市|天正14年10月22日|島津義弘が肥後から豊後に侵攻/志賀親次の家臣である佐田常任が守る豊後・高城を水の手を断ち切ることで陥落させたのを手始めに、鳥岳城(堀相模守は戦死)を攻略
- 1586年12月3日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年10月23日|島津軍は岡城(志賀親次)を攻めるが撃退
- 1586年12月3日-09:00|日本|大分県豊後大野市|天正14年10月23日|島津家久軍は豊後松尾城、豊後小牧城を落とす
- 1586年12月4日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年10月24日|島津義弘が豊後・津賀牟礼城(戸次統貞は降伏)・高尾城(堀中務は降伏)など大野郡における諸城を攻略/小松尾城・一万田城などは島津氏にしたがい、小牧城などが陥落するが、志賀親次の守る岡城のみは島津の大軍の攻撃を受けても陥落しなかった

1590迄 (2237件)

- 1586年12月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト侯「Joachim Ernest」
- 1586年12月7日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正14年10月27日|徳川家康が大坂城を訪れて秀吉と会見し、臣従を誓う
- 1586年12月9日-09:00|日本|長崎県五島市|天正14年10月29日|<死去>肥前福江江川領主「宇久純定」⇒子の「宇久純堯」が継ぐ(天正15年8月26日(15870928)死去)
- 1586年12月12日-02:00|リトアニア/ポランド| |||<即位>ポランド・リトアニア共和国リトアニア大公「アルバート・ラドヴィガ大元帥」(~15871227)
- 1586年12月12日-01:00|ポランド/リトアニア/ルーマニア| |||<死去>ポランド王・リトアニア大公「ステファン・バトラス」兼トランシルヴァニア大公「イシュヴァーン・パトリ・ツマリョイ」
- 1586年12月12日-01:00|ポランド/リトアニア| |||<退位>ポランド王・リトアニア大公「アンナ・ヤクェロウカ」(~15960909死去)
- 1586年12月12日-09:00|日本|兵庫県南あわじ市|天正14年11月2日|<拝領>淡路志知城1万5千石「加藤嘉明(岸教明の子)」(~文禄2(1593)年伊予松前へ)
- 1586年12月14日-09:00|日本|大分県佐伯市|天正14年11月4日|<堅田合戦>梶牟礼城の佐伯惟定(惟直の子)が八幡山で島津家久軍と野戦/兵力で不利ながらも勝利
- 1586年12月14日-09:00|日本|福岡県京都郡苅田町|天正14年11月4日|吉川元春は島津方の宮山城を攻略したのち小早川隆景とともに高橋元種の支城豊前松山城を攻め落とす
- 1586年12月15日 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソコト帝国皇帝「ムハンマド・ハニ」(~15880409)
- 1586年12月17日-09:00|日本|京都府京都市|天正14年11月7日|<譲位>106代「正親町天皇」
- 1586年12月17日-09:00|日本|京都府京都市|天正14年11月7日|<踐祚>107代「後陽成天皇」(11月25日即位~16110327)
- 1586年12月17日-09:00|日本|福岡県築上郡築上町|天正14年11月7日|吉川元春・小早川隆景が賀来専慶の守る豊前・宇留津城をおとす/城兵千余の首を刎ね、その他非戦闘員も残らず磔に処す
- 1586年12月25日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正14年11月15日|三河国多米白山社の社殿建立
- 1586年12月25日-09:00|日本|福岡県北九州市小倉北区|天正14年11月15日|<死去>吉川元春(57毛利元就次男)豊前国小倉で病死/吉川元長が家督継承
- 1586年12月25日-09:00|日本|福岡県京都郡みやこ町|天正14年11月15日|吉川・小早川軍が高橋元種の支城障子岳城を攻略
- 1586年12月31日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正14年11月21日|<死去>陸奥黒川領主「蘆名亀王丸」3歳(翌年、後継者を佐竹義重の子である白河義広とし蘆名義広と名乗る)
- 1587年-05:30|インド| |||<即位>ヒンドール王国シャー「Qasim Barid Shah2世」(~1591年)
- 1587年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・シャー・ウァリ・シラジ」(~1589年)
- 1587年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジュ王国スルタン「Tayyib」(~1591年)
- 1587年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カラ・ユウ・エイヌ・パシャ」(~1590年、在職中に死去)
- 1587年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「アケル・レイヴ・ヨソフワト・グレイブ・ラセボルク」(~1590年)
- 1587年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「マフマド・パシャ・ファハッド」(~1588年)
- 1587年-01:00|ポランド| |||<就任>オレシツァ公「カレル2世」(~1617年)
- 1587年-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「カラ・アリ・パシャ」(~1588年)
- 1587年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ・ホルシュタイン公「フィリップ」(~15901018死去)
- 1587年-01:00|オランダ/イギリス/ブラジル| |||英蘭連合軍、ベルナンゴを襲撃
- 1587年-01:00|イタリア| |||ヴンチエンツォ・ゴンザガ1世、マントヴァ公に
- 1587年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||オスマン朝がアルジェリアに総督を任命
- 1587年 00:00|フェロ諸島| |||<死去>フェロ諸島首席大臣「Isak Guttormsen」
- 1587年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Martinho de Ulhoa」
- 1587年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Miguel Teles de Moura」(~1591年死去)
- 1587年 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<制定>カーボベルテ諸島を一つの植民地に統一
- 1587年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「ロペ・デ・ベガ・ポルトカロ」(1回目~1594年)
- 1587年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「フランシスコ・デ・カレナス」(~1596年没)
- 1587年1月4日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正14年11月25日|羽柴秀次、豊臣姓を下賜
- 1587年1月9日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月|<駄原城の戦い>豊後・菅迫城の朝倉一玄は留守の火縄の計で空城の駄原城を炎上させ、反乱や失火と誤って襲いかかって入城してきた島津軍を志賀らとともに包囲し壊滅
- 1587年1月10日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月2日|島津義弘は片ヶ瀬原の北側岡城を望む行灯山の岩屋に本陣を置き滑瀬口まで攻め込むが志賀親次は狙撃で是を撃退
- 1587年1月11日-09:00|日本| ||天正14年12月3日|豊臣秀吉が、奥両国惣無事令を発し、下野の多賀谷重経、陸奥の片倉景綱、白土右馬助らに送る
- 1587年1月11日-09:00|日本|大分県大分市|天正14年12月3日|<鶴賀城の戦い(豊後国)>島津家久が鶴賀城へ総攻撃をかけて宗魚の腹心である佐藤美作守を討ち取る
- 1587年1月12日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オランダ 総督「ジヨン・コンウェイ」(~15900811)
- 1587年1月12日-09:00|日本|大分県臼杵市|天正14年12月4日|大友家では戦わずして降伏した柴田紹安居城の星河城に対して佐伯惟定を差し向け、佐伯惟定に内応した武将によって星河城は落城し柴田一族は殺戮された/

1590迄 (2237件)

- 柴田紹安は援軍を送らなかつた島津家久を恨み島津に叛旗を翻したがすぐに鎮圧されて殺された
- 1587年1月12日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正14年12月4日|家康、居城を浜松城から駿府に移す
- 1587年1月13日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月5日|島津義弘は再度岡城滑瀬口まで攻め込むが志賀親次は狙撃で是を撃退
- 1587年1月14日-09:00|日本|大分県大分市|天正14年12月6日|<鶴賀城の戦い>島津家久は鶴賀城攻撃を開始し、その日のうちに三の曲輪、二の曲輪を攻め、本曲輪1つをのこすのみとなった
- 1587年1月18日-09:00|日本|大分県大分市|天正14年12月10日|<鶴賀城の戦い>島津家久は鶴賀城を府内攻めの拠点にすべく昼夜を分かたず攻めつづけ、途中宗魚(大友家臣、豊後鶴賀城主)は流れ矢にあたって戦死
- 1587年1月19日-09:00|日本|福岡県田川郡香春町|天正14年12月11日|<香春岳城の戦い>(11月24日~)吉川勢に20日間にわたって猛攻を加えられ豊前・香春岳城の高橋元種が降伏
- 1587年1月20日-09:00|日本|大分県大分市|天正14年12月12日|<戸次川の戦い>島津家久は鶴賀城の囲みを解いて撤退し坂原山に本陣をおいた/豊臣勢軍監仙石秀久は戸次川を強行渡河/島津勢は身を伏せて川を渡り切るのをみはからって急襲、虚を衝かれた秀久が敗走、兵の少なくなったところを家久軍主力が寄せた/豊臣方は四国勢6,000のうち2,000を失い元親の嫡子長宗我部信親、十河存保などの有力武将を失う大敗/大友氏の戸次統常も戦死/長宗我部元親率いる第三陣は合戦に参加できず、先遣隊の敗報を受けて、全ての馬を放置したまま、数名の部下と船で伊予の日振島へ退却/軍監である仙石は諸将の軍を差し置いて小倉城に撤退、その後20名の部下とともに脱出し妙見で他の兵と合流し、自領の讃岐へ逃げ帰る
- 1587年1月20日-09:00|日本|大分県大分市|天正14年12月12日|<鶴崎城の戦い>島津軍が豊後・鶴崎城に総攻撃開始/落とし穴と鉄砲により島津軍は多くの死傷者を出した/攻防戦が16回ほど繰り返され城側はその都度島津兵を撤退へと追い込んだが兵糧が尽き城を預かる鶴崎城主・吉岡統増(鎮興の子)の母である妙林尼は降伏
- 1587年1月20日-09:00|日本|香川県高松市|天正14年12月12日|<死去廃絶>讃岐十河3万石「十河存保」戦死(32歳)
- 1587年1月21日-09:00|日本|大分県臼杵市|天正14年12月13日|<豊後丹生島城の戦い>島津家久軍は大友義統が放棄した府内城を陥落させて、隠居した大友宗麟の守る丹生島城(臼杵城)を包囲/丹生島城はなんとか持ちこたえた/その後北上する島津軍は杵築城を攻めたが木付鎮直の激しい抵抗を受け失敗、豊後南部では大友家臣佐伯惟定がいったん島津方に奪われた諸城を奪回して後方を遮断/また、志賀親次が島津義弘軍を数度にわたって破る戦いを展開した
- 1587年1月30日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月22日|島津義弘本隊の主力を指揮する新納忠元は南山城を落とす
- 1587年1月30日-09:00|日本|香川県綾歌郡宇多津町|天正14年12月22日|<改易>讃岐1国10万石(聖通寺城)「仙石秀久」戸次川の戦いでの不覚を責められ没収
- 1587年1月31日-01:00|ハンガリー/オーストリア| ||<死去>ハンガリー王室総督「ジェルジ・トラスコビッチ・トラスチャニ」
- 1587年1月31日-01:00|ハンガリー/オーストリア| ||<就任>ハンガリー王室総督代行「ミクロシュ・イシュトヴァン・パライヤヴァーリ エスキゾコバルグイ」(2回目~8.13)
- 1587年1月31日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月23日|<山野城の戦い>山野城の朽網鑑康(85)が島津義弘に攻められ、支城の三船城が落とされ、高齢で采配したのが災いして死亡
- 1587年2月 05:00|ペルー| ||キャベンディッシュ、太平洋に入りペルー各地の港を攻撃
- 1587年2月1日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月24日|<山野城の戦い>豊後・山野城(朽網城)の朽網鑑康の遺児・鎮則が降伏開城/島津義弘が山野城に入る
- 1587年2月1日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月24日|稲富新助、単独で志賀親次の岡城を落とそうとするも、逆に挟撃を受け、敗走
- 1587年2月1日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月24日|白坂石見守、豊後・笹原目城を攻め城代阿南惟秀を降伏させる
- 1587年2月1日-09:00|日本|香川県丸亀市|天正14年12月24日|<拝領>讃岐丸亀5万石「尾藤知宣」豊臣秀吉より(⇒翌年7月2日所領没収)
- 1587年2月5日-09:00|日本|大分県竹田市|天正14年12月28日|豊後・笹原目城では阿南惟秀の謀略にかかって白坂石見守が戦死
- 1587年2月8日-09:00|日本| ||天正15年|天正通宝(銀錢、銅錢)を鑄造
- 1587年2月8日-09:00|日本|岐阜県海津市|天正15年|<移封>美濃福束「市橋長勝」→美濃今尾1万石(⇒慶長15(1610)年伯耆矢橋23000石)
- 1587年2月8日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天正15年|北条氏房、武蔵国浄国寺を創建
- 1587年2月8日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正15年|<拝領>近江国佐和山城2万石「加藤光泰」赦免(⇒天正19(1591)年3月、甲斐24万石)
- 1587年2月8日-09:00|日本|群馬県桐生市|天正15年1月|由良国繁・長尾顕長兄弟が佐竹義重に通じ北条氏直に叛旗を翻した
- 1587年2月18日 00:00|イギリス| ||ユリアス暦2月8日|<死去>マリー・ステュアートが断頭台で処刑される。44歳(誕生:15421207)。フランスの王妃、スコットランドの女王だった悲劇の女王
- 1587年3月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>プダのペイレルイ「フレック・ユス・パツヤ」(2回目~15881128)
- 1587年3月6日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「アルバロ1世ニミ・アルカニル・ムベナ」
- 1587年3月6日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「アルヴァロ2世ニミ・アソカソカ」(~16140809没)
- 1587年3月9日-09:00|日本|大分県佐伯市|天正15年2月|大友家の朝日嶽城、佐伯惟定に奪還される

1590迄 (2237件)

- 1587年3月20日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天正15年2月12日|<拝領>伊予宇和郡板島丸串城7万石「戸田勝隆」
- 1587年3月26日-09:00|日本|大分県竹田市|天正15年2月18日|(2日~)志賀親次は、日向口より三重に侵入した島津家久に奪われていた岡城の砦(支城)、柏野壘、高尾壘、小牧壘を奪回/守将甲斐重尚以下280名をせん滅
- 1587年3月30日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領トビネ督・総司令官・大審問院長「大審問院:ペドロ・ベガス・デル・カハレ/フランシスコ・デ・アンペイ/カザス・デ・メセス/モノ・デ・マ」(~15890802)
- 1587年4月 00:00|イギリス| |||この月、イギリスの神学者ジョン・フォックス没(誕生:1516)「教会の活動」を出版した
- 1587年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ドヴィコ・ベルツィ」「ピエール・マリノ・ジョーニ」
- 1587年4月6日-09:00|日本|大分県竹田市|天正15年2月29日|志賀親次も魚住の崖鬼ヶ城に、1000の兵を三段に配置、小渡牟礼の渡しに雑兵16人を瀨踏みさせ、島津軍に渡河場所を教える/島津勢が渡河し鬼ヶ城の坂半腹に至るまで志賀勢は音を立てずに潜み、三方(三口)より攻撃、島津軍を撃破首380をあげる/島津義弘は岡城攻撃を断念
- 1587年4月8日-09:00|日本|茨城県日立市|天正15年3月|多賀谷重経は足高城と牛久城の間に初崎城を築いて両城を分断、続いて足高城、板橋城、岩崎城を攻撃/板橋城は開城し城主の月岡玄蕃は人質として多賀谷領に送られ、岩崎城主の只越尾張守は城兵の助命を条件に切腹
- 1587年4月10日-09:00|日本| ||天正15年3月3日|佐竹義重の次男である佐竹義廣が陸奥国会津黒川城主葦名盛氏の養子と成って葦名家の跡を継ぎ、蘆名・佐竹同盟が成る
- 1587年4月10日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正15年3月3日|<就任>陸奥黒川領主「蘆名義広」(~天正17(1589)年伊達氏に滅ぼされる)
- 1587年4月10日-09:00|日本|福島県白河市|天正15年3月3日|<再任>白河結城氏「白河義親」復帰(~天正18(1590)年改易)
- 1587年4月11日-01:00|イタリヤ| |||ベネチアでリアル銀行設立
- 1587年4月14日 00:00|イギリス| |||<死去>ラント・伯「エドワード・マーズ」
- 1587年4月14日 00:00|イギリス| |||<就任>ラント・伯「ジョン・マーズ」先代の弟(~15880224死去)
- 1587年4月15日-09:00|日本|大分県大分市|天正15年3月8日|<鶴崎城の戦い>早朝、豊後・鶴崎城を後にし、薩摩へ引き上げて行く島津軍は、乙津川沿いの寺司浜で伏兵に奇襲を受け伊集院久宣と白浜重政が戦死、野村文綱は戦傷を負いながらも味方の撤退を助け後にこれがもとで日向で命を落とした
- 1587年4月18日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの神学者ジョン・フォックス(誕生:1516)「教会の活動」を出版した
- 1587年4月22日-09:00|日本|大分県大分市|天正15年3月15日|<豊後府内城の戦い>夜半、島津義弘は風雨にまぎれて府内城を脱出し豊後松尾城の家久と合流して島津軍は豊後から退却
- 1587年4月23日-09:00|日本|大分県佐伯市|天正15年3月16日|島津軍は三梅峠で志賀親次の追撃を受けて多くの犠牲を出す
- 1587年4月25日-09:00|日本|大分県佐伯市|天正15年3月18日|島津軍は梓峠で佐伯惟定が率いる大友軍の更なる追撃を受け多くの犠牲を出す
- 1587年4月25日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正15年3月18日|<駿府城会見>徳川家康、信濃国人の木曾氏、小笠原氏、真田昌幸と会見し和睦/家康が本多忠勝の娘(小松姫)を信幸に嫁がせ、信幸の正室であった清音院殿は側室となる/その後、真田昌幸が上洛し、秀吉に謁見し正式に家臣となる/信繁は人質として大坂に残り、その後秀吉の側近家臣として仕える
- 1587年4月25日-09:00|日本|長野県上田市|天正15年3月18日|<所領安堵>信濃上田38000石「真田昌幸」徳川家康家臣
- 1587年4月30日-01:00|スペイン/イギリス| |||ユリウス暦:1587/4/20|(旧暦4月19日~)<英西戦争><スペイン王の髭焦がし>フランス・ドレー率いるイギリス艦隊が準備妨害のためガリス港に来襲し、スペイン船37~24隻が破壊または捕獲/その後、ドレーはホルガル沿岸部を襲撃して小型の漁船が主だが100隻以上を破壊または拿捕し、この際に捕獲した大量の樽材を焼却している
- 1587年5月3日-09:00|日本|福岡県久留米市|天正15年3月26日|新納忠元ら島津勢、宮之路において羽柴秀吉軍先発隊と交戦・撃破
- 1587年5月6日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正15年3月29日|豊臣秀長が日向北部の要衝である日向松尾城を陥とし日向南部の要衝・高城を包囲
- 1587年5月8日-09:00|日本|福岡県田川郡添田町|天正15年4月1日|<豊前岩石城の戦い>前田利長、豊前巖石城(蒲生氏郷)を攻め1日で落とす
- 1587年5月11日-09:00|日本|福岡県朝倉市|天正15年4月4日|筑前・秋月種実降伏し、古処山城開城
- 1587年5月13日-09:00|日本|秋田県大仙市|天正15年4月6日|<唐松野の戦い(出羽国)>合戦開始、夜明けと共に戸沢盛安は安東愛季陣を攻撃、不意を襲われた安東軍は大混乱に陥ったが、しだいに態勢を立て直し、果敢に応戦/この日の戦いは夕方まで続けられ、日没と共に両軍とも兵を退いた
- 1587年5月13日-09:00|日本|宮崎県都城市|天正15年4月6日|羽柴秀長軍、耳川を渡り、高城を包囲/この頃伊東祐兵、日向の伊東旧臣を煽動して蜂起させる
- 1587年5月17日-02:00|ラトビア| |||<死去>ケルント・ゼムリン公「ゴットハルト・ケラー」
- 1587年5月17日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルント・ゼムリン公「フリードリヒ・ケラー」(~16420817、死去)、「ヴァイヘルム・ケラー」(~1617年)
- 1587年5月18日-09:00|日本|秋田県大仙市|天正15年4月11日|(6日~)安藤愛季、角館城主の戸沢盛安と唐松野で戦った後退却
- 1587年5月23日-09:00|日本|熊本県熊本市|天正15年4月16日|秀吉軍は肥後隈本に到着、島津方の隈本城主・城親賢を降した

1590迄 (2237件)

- 1587年5月24日-09:00|日本|熊本県宇土市|天正15年4月17日|肥後・宇土城(名和顕孝)降伏
- 1587年5月24日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正15年4月17日|<根白坂の戦い>日向国根城坂で行なわれた豊臣秀吉軍と島津義久軍による合戦/夜半、島津軍は根城坂を急襲/島津軍は突破できずに戦線は膠着/秀長麾下の藤堂高虎が500名と宇喜多秀家麾下の戸川達安の手勢で継潤の救援に向かい島津軍を翻弄、小早川・黒田勢が挟撃をしかけたため島津軍は島津忠隣、猿渡信光が戦死するなど甚大な損害を出して敗走/義久・義弘は都於郡城に退却し家久も佐土原城に兵を引いた
- 1587年5月28日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年4月21日|島津義久は伊集院忠棟と平田増宗を人質として豊臣秀吉に和睦を申し入れた
- 1587年5月29日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年4月22日|島津義珍(義弘)が鶴田の秀吉陣所に赴いて降伏
- 1587年5月31日-09:00|日本|鹿児島県出水市|天正15年4月24日|薩摩国島津氏の分家・薩州家7代当主で出水城城主島津忠辰、豊臣秀吉に降伏
- 1587年6月-01:00|スペイン/イギリス| |||海賊ドレイク、アゾレス沖合でインドからの帰還途中にあったスペイン船サンフェリペ号を急襲。12万ポンド相当の財宝を奪取し帰国
- 1587年6月 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「フアン・デ・トレス・デ・ベラ・イ・アラゴン」(2回目~1588年)
- 1587年6月3日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|天正15年4月27日|薩摩鶴亀城(串良城)の城主島津忠長が豊臣秀吉に降伏
- 1587年6月4日-09:00|日本|鹿児島県薩摩川内市|天正15年4月28日|<平佐城の戦い>豊臣秀吉軍の小西行長・脇坂安治・九鬼嘉隆らが、桂忠詮が守る薩摩・平佐城への攻撃開始/平佐城の井穴口を守る原田帯刀が寄手大将小出大隅守の弟九鬼八郎を弓で射とめ、また、城内の女たちや子どもたちも懸命にはたらくなど善戦して、双方、相当数の犠牲者を出した
- 1587年6月5日-09:00|日本|鹿児島県薩摩川内市|天正15年4月29日|<平佐城の戦い>平佐城の桂忠詮は九鬼嘉隆らを相手取り孤軍奮闘したが既に降伏した島津義久から停戦命令が届いたため、羽柴秀吉に降伏し全ての戦が終わった
- 1587年6月5日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正15年4月29日|日向高城の山田有信が豊臣方に開城
- 1587年6月6日-09:00|日本|秋田県横手市|天正15年5月|阿気野の戦い(出羽国)>小野寺義道は家臣・小清水蔵人に700の兵を与え先発させ自らは1000の兵を率いるも戸沢盛安勢に蔵人を討たれ敗走
- 1587年6月6日-09:00|日本|長崎県対馬市|天正15年5月|<交替>対馬国主「宗義智」⇒「宗義調」復帰(~天正16(1588)年12月12日死去)
- 1587年6月7日 00:00|イギリス| |||<就任>第5代ホースウェル伯「フランス・ステュアート」(~1612.11死去没収)
- 1587年6月11日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年5月6日|島津義久は伊集院の雪窓院で剃髪して名を「龍伯」と改めて出家
- 1587年6月13日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年5月8日|島津龍伯(義久)は泰平寺に滞留していた秀吉のもとを訪れて正式に降伏
- 1587年6月15日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレースヴィヒ公「フレデリク2世」
- 1587年6月15日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<就任>シュレースヴィヒ公「フィリップ」(~15901018死去)
- 1587年6月18日-09:00|日本|新潟県阿賀野市|天正15年5月13日|<水原城合戦>上杉景勝、新発田方の水原城を攻略
- 1587年6月23日-09:00|日本|長崎県大村市|天正15年5月18日|<死去>肥前三城城「大村純忠」55歳、肥前大村の坂口館で⇒長男の「大村喜前」が嗣ぐ(~元和2年8月8日(16160918)毒殺される)
- 1587年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者代行「ペトル・トルソン」(~15880623)
- 1587年6月27日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年5月22日|大隅国「島津義弘」野尻で豊臣秀吉に降伏
- 1587年6月28日-09:00|日本|大分県津久見市|天正15年5月23日|<死去>豊後のキリシタン大名の豊後国大友氏21代当主・大友宗麟(58)豊後津久見で
- 1587年6月30日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正15年5月25日|<除封>丹波亀山10万石「豊臣秀勝」
- 1587年6月30日-09:00|日本|宮崎県|天正15年5月25日|<安堵>日向諸県郡「島津久保(義弘の子)」
- 1587年7月1日-09:00|日本|宮崎県|天正15年5月26日|北郷時久・北郷忠虎、島津義久・島津義弘の勧降で都城・安永・末吉・財部砦を明け渡し、大隅国宮内で石田三成・安国寺恵瓊に謁見
- 1587年7月5日-09:00|日本|熊本県|天正15年5月30日|<拝領>肥後国34万石「佐々成政」(~天正16(1588)年2月改易)
- 1587年7月12日-09:00|日本|大分県|天正15年6月7日|<任命>豊後国守護「大友義統」⇒豊後府内、豊後一国37万石安堵(⇒天正20(1592)年2月隠居⇒文禄2(1593)年5月1日改易)
- 1587年7月12日-09:00|日本|香川県高松市|天正15年6月7日|<廃絶>讃岐高松15万石「仙石秀久」高野山へ追放(戸次川合戦で敗戦による)
- 1587年7月12日-09:00|日本|香川県丸亀市|天正15年6月7日|<廃絶>讃岐丸亀5万石「尾藤知宣」/日向国根白坂の合戦で豊臣秀吉の怒りをかい没収
- 1587年7月12日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年6月7日|<安堵>薩摩・大隅・日向の一部56万石「島津義久」
- 1587年7月12日-09:00|日本|熊本県人吉市|天正15年6月7日|<安堵>肥後人吉22165石「相良頼房」(~寛永13年06月13日(16360715)死去)
- 1587年7月12日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天正15年6月7日|<安堵>肥前松浦8万石「波多親」(~文禄2(1593)年所領没収)
- 1587年7月12日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天正15年6月7日|<安堵>肥前佐嘉32万石「龍造寺政家」(⇒11月28日隠居)
- 1587年7月12日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天正15年6月7日|<拝領>肥前佐賀4万5千石「鍋島直茂」/以後勝茂、光茂

1590迄 (2237件)

- 、綱茂、吉茂、宗茂、宗教、重茂、治茂、齊直、直正、直大と続く (~明治4年)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 滋賀県高島市 | 天正15年6月7日 | <拝領> 近江大溝1万石「京極高次」浅井三姉妹の次女・初が京極高次に嫁ぐ (⇒天正18 (1590) 年、近江八幡山城28000石)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 長崎県大村市 | 天正15年6月7日 | <拝領> 肥前大村21427石「大村喜前」 (~元和2年8月8日 (16160918) 死去)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 長崎県五島市 | 天正15年6月7日 | <所領安堵> 肥前福江 (石田城) 15530石「五島純玄 (宇久純堯の長男)」 (~文禄3年7月28日 (15940912) 死去)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 長崎県対馬市 | 天正15年6月7日 | <安堵> 対馬国「宗義調・義智」
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 長崎県平戸市 | 天正15年6月7日 | <安堵> 肥前平戸 (肥前松浦郡の一部および壱岐国一円) 63196石「松浦鎮信」 (⇒同年子の久信が家督継承⇒慶長7年8月29日 (16021014) 死去)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 長崎県南島原市 | 天正15年6月7日 | <安堵> 肥前日野江40000石「有馬晴信」 (⇒慶長17 (1612) 年3月22日改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 兵庫県三田市 | 天正15年6月7日 | <移封> 越前国大野郡1万石「青木一矩」⇒摂津立石城 (⇒同年越前大野城8万石⇒文禄元 (1592) 年越前府中城に移封)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 兵庫県南あわじ市 | 天正15年6月7日 | <加増> 淡路津名・三原郡1万5千石「加藤嘉明」⇒4万5千石 (⇒文禄3 (1594) 年7月6万石に加増)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福井県 | 天正15年6月7日 | <拝領> 越前藤枝5万石「丹羽長正」 (⇒慶長5 (1600) 年改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県 | 天正15年6月7日 | <移封> 伊予「小早川隆景」⇒筑前・筑後2郡・肥前2郡約37万石 (~文禄4 (1595) 年隠居)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県 | 天正15年6月7日 | <加増移封> 播磨国宍粟郡5万石「黒田孝高」⇒豊前国6郡12万石 (~天正17 (1589) 年5月隠居)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県 | 天正15年6月7日 | <拝領> 筑後国 (上妻郡) 1.8万石「原田信種」
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県 | 天正15年6月7日 | <拝領> 豊前1万石「森勝永 (森勝信の子)」毛利勝永に改姓 (~慶長5 (1600) 年改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県北九州市 | 天正15年6月7日 | <安堵> 豊前規矩・田河両郡 (小倉城) 6万石「毛利吉成」 (~慶長5 (1600) 年改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県北九州市 | 天正15年6月7日 | <拝領> 豊前小倉6万石「森勝信」/毛利勝信に改姓 (~慶長5 (1600) 年改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県久留米市 | 天正15年6月7日 | <加増移封> 伊予国宇和郡大洲城3万5000石「毛利秀包 (小早川隆景の養子)」⇒筑後3郡7万5000石 (天正16年、久留米城に入った⇒天正20 (1592) 年13万石に加増)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県みやま市 | 天正15年6月7日 | <拝領> 筑後江浦18千石「高橋直次 (鎮種)」 (~文禄4 (1595) 年筑後内山へ)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県柳川市 | 天正15年6月7日 | <移封> 筑前立花山領主「立花宗茂」⇒筑後柳川13万2000石 (慶長5 (1600) 年10月25日降伏改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 福岡県八女市 | 天正15年6月7日 | <安堵> 筑後山下18015石「筑紫広門」 (⇒慶長5 (1600) 年改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 宮崎県 | 天正15年6月7日 | <減移封> 筑前秋月36万石「秋月種実」隠居⇒日向高鍋3万石「秋月種長」 (~慶長19 (1614) 年6月13日死去)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 宮崎県延岡市 | 天正15年6月7日 | <移封> 豊前香春「高橋元種 (秋月種実二男)」⇒日向延岡5万石 (~慶長18 (1613) 年改易)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 宮崎県宮崎市 | 天正15年6月7日 | <再興> 日向飫肥36000石「伊東祐兵」 (~慶長5年10月11日 (16001116) 死去)
- 1587年7月12日-09:00 | 日本 | 和歌山県 | 天正15年6月7日 | <加増> 紀州粉河1万石「藤堂高虎」⇒2万石 (文禄4 (1595) 年伊予国板島7万石)
- 1587年7月16日-09:00 | 日本 | 福岡県福岡市 | 天正15年6月11日 | 豊臣秀吉、博多の町を再興し、楽市とする
- 1587年7月21日-09:00 | 日本 | 茨城県つくばみらい市 | 天正15年6月16日 | 多賀谷重経は足高城を総攻撃、鬼怒川 (小貝川) の堰を切って足高城周辺を水浸しにして援軍を遮断しようとしたが、高井城、守谷城などの援軍が多賀谷軍の背後に回り、多賀谷軍は多賀谷為宗・窪谷能登守ら二十数名が討ち取られ、谷田部城に敗走
- 1587年7月24日-09:00 | 日本 | || 天正15年6月19日 | 豊臣秀吉が5箇条のキリシタン禁令を發布し、宣教師に対しては20日以内の国外退去を命じる
- 1587年7月24日-09:00 | 日本 | 兵庫県明石市 | 天正15年6月19日 | <廃絶> 播磨明石6万石「高山右近」禁教令に従わず
- 1587年7月27日 01:00 | カホベルテ / ホルトガル | ||| <就任> カホベルテ 諸島のコレヒトル / 治安判事「アマドール・ゴメス・ラソ」 (~1595年)
- 1587年8月4日-09:00 | 日本 | 群馬県渋川市 | 天正15年7月 | 北条勢の攻撃により、群馬郡の岩井堂城が陥落
- 1587年8月7日 01:00 | カホベルテ / ホルトガル | ||| <就任> カホベルテ 総督「トウアルテ・ロバダ・ダ・ガマ」 (~15910325)
- 1587年8月10日 03:00 | ブラジル / ホルトガル | ||| <就任> ホルトガル領ブラジル総督「評議会 (アントニオ・モンス・パレイス / クリストヴァン・カルトーゾ・デ・パロス / アントニオ・コエリョ・デ・アギアル)」 (~15910609)
- 1587年8月13日-01:00 | ハンガリー / オーストリア | ||| <就任> ハンガリー王室総督「イシュトヴァン・フェイエルグーイ」 (~15961120没)
- 1587年8月13日-09:00 | 日本 | 熊本県 | 天正15年7月10日 | <肥後国人一揆> 肥後の当主佐々成政が統治に失敗、国衆と農民の反感を買い大規模な一揆が発生 / 隈部親永・親泰父子は、秀吉の朱印状を盾に検地を拒否して挙兵
- 1587年8月14日-01:00 | イタリア | ||| <死去> マントヴァ公「ケリエルモ・ゴンザーガ」兼モンフェラート公「ケリエルモ10世」
- 1587年8月14日-01:00 | イタリア | ||| <即位> マントヴァ公兼モンフェラート公「ヴィンチェンツォ1世・ゴンザーガ」ケリエルモ10世の長男 (~16

1590迄 (2237件)

120209死去)

- 1587年8月26日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年7月23日|上杉景勝は一万騎を従え新発田城下に侵攻、田畑に放火
- 1587年8月30日-09:00|日本|熊本県菊池市|天正15年7月27日|<肥後国人一揆>佐々成政は自ら6,000の兵で隈府城を攻めると、隈部親永は親泰の籠る城村城に移った
- 1587年9月3日-09:00|日本|茨城県つくばみらい市|天正15年8月|多賀谷重経は筑波郡久賀村の足高城主岡見宗治を攻め破って攻略し、更に牛久、布引、小金までも掠奪せんと企図して、牛久城主岡見頼房を攻め破って攻略
- 1587年9月8日-09:00|日本|熊本県山鹿市|天正15年8月6日|<肥後国人一揆>佐々成政は隈部親永・親泰父子が籠る城村城を包囲したが守りが堅く攻略に手こずった/親永は甲斐親英と謀り、国人ら35,000余に兵を挙げさせ、和仁親実・菊池武国らに率いられた一揆軍は隈本城を攻囲/成政は急いで隈本城に取って返したが、自身の甥である佐々成能が内古閑鎮房に討たれるなど撤退の最中に多くの家臣が討ち取られる
- 1587年9月12日-09:00|日本|香川県丸亀市|天正15年8月10日|<移封>播磨赤穂6万石「生駒親正」→讃岐丸亀6万石(→慶長5(1600)年15000石加増)
- 1587年9月14日-09:00|日本|熊本県熊本市|天正15年8月12日|<肥後国人一揆>隈部親永は甲斐親英と謀り、国人ら35,000余に兵を挙げさせ、和仁親実・菊池武国らに率いられた一揆軍は隈本城を攻囲
- 1587年9月16日-09:00|日本|熊本県熊本市|天正15年8月14日|佐々軍別動隊を率いた成政家臣佐々宗能、肥後国衆の内空閑勢により戦死。成政は山之上三名字衆・小代勢の支援で隈本城に入城
- 1587年9月17日-09:00|日本|熊本県熊本市|天正15年8月15日|隈本城を攻めていた旧阿蘇家臣の田口・田代氏ら城内の阿蘇大宮司兄弟の生命保全を条件に城内の成政と呼応して、攻め手を攻め崩し包囲とける
- 1587年9月18日-01:00|ポ-ランド/リトニア| |||<退位>ポ-ランド王・リトニア大公「ジ-ゲマンタス4世」ジ-ゲムト1世の女系の孫(〜16320419死去)
- 1587年9月25日-09:00|日本|新潟県上越市|天正15年8月23日|再度出陣した上杉勢は蘆名氏と新発田勢の連絡を絶つため、蒲原郡の東部から新発田方面へと向かい今泉城を陥落させた
- 1587年9月28日-09:00|日本|長崎県五島市|天正15年8月26日|<死去>肥前福江江川15530石「宇久純堯」⇒子の「五島純玄」が継ぎ安堵(〜文禄3年07月28日(15940912)死去)
- 1587年10月1日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィ-朝第5代シャー「アッハ-ス1世」(〜16290119)
- 1587年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジ-オ-アントニオ・レオナルド・ツリ」ピ-エル・パ-オ・コルベ-ツリ
- 1587年10月1日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年8月29日|会津の芦名盛隆は新発田へ援軍と兵糧を送ったが山内村附近で上杉勢のために迎撃され、半ば戦死して引き揚げた
- 1587年10月2日-09:00|日本|熊本県|天正15年9月|<肥後国人一揆(肥後国)>鍋島直茂と安国寺恵瓊は要請を応じて救援の輜重隊を派兵したが、肥後南関にて大津山出羽守の伏兵に襲撃され救援は失敗/次に救援出撃の立花宗茂と高橋直次兄弟は、要請に基づき輜重隊を含む1,200の兵を率いて柳川城を出発。立花高橋勢は既に一揆方の伏兵の計を察知し、これを逆用して先に兵を騎馬鉄砲・輜重隊・長槍隊の三隊に分けて伏兵を配置、小野鎮幸の主力隊が南関を突破して大津山出羽守を討ち取り、大津山城を攻め落とした。そして、城村城を牽制するために築かれた支城・平山東・西付城にて隈部勢の有働兼元に包囲された兵糧不足の佐々成政軍に補給作戦を行うことに成功している。立花高橋勢は1日に13度ももの戦いを行い、一揆方の城を7城も落とし、650余の敵兵と有働志摩守・有働下総守・大知越前守らの武将を討ち取るなど戦功を立てた
- 1587年10月2日-09:00|日本|栃木県芳賀郡茂木町|天正15年9月|益子家宗は茂木の佐夫良峠に攻め寄せたが茂木治良率いる軍に敗れて退却
- 1587年10月2日-09:00|日本|宮城県登米市|天正15年9月|陸奥・葛西晴信、伊達政宗と起請文を交わし軍門に降る
- 1587年10月2日-09:00|日本|秋田県男鹿市|天正15年9月1日|<死去>出羽脇本領主「安東愛季」病死⇒子の「秋田実季」が継ぐ(⇒天正18(1590)年本領安堵)
- 1587年10月6日-09:00|日本|石川県白山市|天正15年9月5日|<減移封>若狭小浜12万石「丹羽長重」→加賀松任4万石/領主・家臣の軍律違反により(⇒天正18(1590)年加賀国小松12万石)
- 1587年10月6日-09:00|日本|愛媛県今治市|天正15年9月5日|<拝領>伊予国今治11万3200石「福島正則」(〜文禄4(1595)年尾張清洲へ)
- 1587年10月6日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正15年9月5日|<拝領>伊予大洲7万石「戸田勝隆」(〜文禄3年10月23日(15941204)死去断絶)
- 1587年10月6日-09:00|日本|福井県小浜市|天正15年9月5日|<拝領>若狭小浜80000石「浅野長政(長吉)」(〜文禄2(1593)年甲斐甲府へ)
- 1587年10月8日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年9月7日|<加地城合戦>上杉景勝は新発田城攻撃に先立ち、同族の加地秀綱が立て籠もる加地城を攻撃、秀綱は奮戦空しく討ち死にし、加地城は落城
- 1587年10月14日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天正15年9月13日|<完成>聚楽第/豊臣秀吉、京都政庁を妙顕寺城から聚楽第に移転
- 1587年10月15日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年9月14日|<赤谷城合戦>上杉景勝、芦名属城・赤谷城を攻略/小田切三河守は討死
- 1587年10月17日-01:00|イタリア| |||<死去>トスカナ大公「フランチェスコ1世・デ-メ-ディチ」
- 1587年10月17日-01:00|イタリア| |||<即位>トスカナ大公「フェルディナント1世・デ-メ-ディチ」フランチェスコ1世の兄弟、コジモ1世の息子(〜16090207退位)
- 1587年10月20日-01:00|フランス| |||<死去>ジ-ョルジュス公「Anne」
- 1587年10月20日-01:00|フランス| |||<即位>ジ-ョルジュス公「Antoine Scipion」(〜1592年死去)
- 1587年10月20日-01:00|フランス| |||「旧教派」と結んだフランス王アンリ3世、フランス西部のケトラ(ホルド-の北東)のケトラの戦

1590迄 (2237件)

- い)で、ナール王アンリ(のちのフランス王アンリ4世)率いる「新教派」と「ホリティック派」(宗派よりも政治・政策を優先)の連合軍に大敗/フランス王軍を率いた寵臣ジョージ・公アンヌ・ド・ジヨウズは戦死
- 1587年10月29日-09:00|日本|長野県松本市|天正15年9月28日|小笠原貞慶、青柳頼長・長迪父子を深志城にて誘殺
- 1587年11月1日-09:00|日本|長崎県諫早市|天正15年10月|西郷信尚、龍造寺家晴の伊佐早城を襲い、これを奪う/家晴、ついで奪回
- 1587年11月1日-09:00|日本|福岡県|天正15年10月1日|<豊前国人一揆>長岩城の野中鎮兼の呼びかけで上毛の日熊(姫熊、日隈)城の日熊直次氏、宇佐高家城(中島城)の中島房直(統次)が挙兵/如法寺孫二郎輝則、緒方惟綱、日隈小次郎直次、喜井弥七郎信継、有吉内記らで、日熊城に籠城。これに対し黒田長政は苦闘の末に日熊城を攻め落とした
- 1587年11月1日-01:00|ハンガリー| ||ユリウス暦10月22日|ハンガリーでグレゴリウス暦が採用される
- 1587年11月5日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正15年10月5日|<尾浦城の戦い(出羽国)>東禅寺が再び反乱/武藤義興は東禅寺を攻めた
- 1587年11月8日-09:00|日本|福岡県築上郡築上町|天正15年10月8日|<城井谷城の乱>宇都宮鎮房、城井谷城を奪還し蜂起
- 1587年11月9日-09:00|日本|福岡県築上郡築上町|天正15年10月9日|<岩丸山の戦い>黒田長政は2,000の兵を率いて城井谷に出陣し、入り口の構える広幡城を落とし、城代瓜田春永を案内に岩丸山の尾根を行軍。岩丸山の先の宇都宮の本城・大平城を目指して行軍するも、山中に配置された宇都宮の伏兵が反撃。藪景、谷の影、木の陰、岩陰から奇襲を受け、黒田家臣大野小弁重や毛利の客将勝間田彦六座衛門が討死し、黒田方は800人の死者を出した
- 1587年11月13日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年10月13日|<五十公野城合戦>上杉景勝軍・藤田信吉ら、新発田方の五十公野城を攻略/五十公野道如斎は討死
- 1587年11月14日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ダウイテ・ヴァッカ」(~1589/11/14)
- 1587年11月14日-09:00|日本|鹿児島県|天正15年10月14日|羽柴秀吉、島津義久へ「在京堪忍分」1万石を宛行
- 1587年11月14日-09:00|日本|山形県西置賜郡白鷹町|天正15年10月14日|出羽・最上義光に内応した伊達の将・鮎貝宗信が政宗に征伐される
- 1587年11月16日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正15年10月16日|<拝領>宇和・喜多両郡16万石(大洲地蔵嶽城)「戸田勝隆」
- 1587年11月20日-09:00|日本|栃木県さくら市|天正15年10月20日|<倉ヶ崎城合戦>北条氏に内通している日光山が倉ヶ崎城を急襲し守備に就いていた上郷衆を討ち取り倉ヶ崎城を落とす
- 1587年11月23日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年10月23日|<五十公野城合戦>上杉景勝、五十公野道如斎に勝利。五十公野道如斎は討死
- 1587年11月25日-09:00|日本|栃木県日光市|天正15年10月25日|日光山勢力が小倉城の今泉氏、戸祭氏を討ち小倉城を奪回
- 1587年11月25日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年10月25日|<新発田城合戦>上杉景勝が、越後新発田城を攻略、新発田重家(42)戦死/新発田城には景勝代官清水内蔵介・宮島三河守が在番
- 1587年11月26日-09:00|日本|千葉県|天正15年10月26日|<死去>安房国館山城主「里見義頼」⇒嫡男「里見義康」が家督を継ぐ(⇒天正18(1590)年安房4万石に減封)
- 1587年11月28日-09:00|日本|新潟県新発田市|天正15年10月28日|<新発田城の戦い(越後国)>新発田重家は自ら700余騎の軍勢を率いて景勝軍に突撃を敢行したが果たせず、自刃
- 1587年11月30日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正15年11月|<移封>豊前国香春岳城「高橋元種」⇒日向国縣53000石
- 1587年11月30日-09:00|日本|大分県中津市|天正15年11月上旬|<長岩城の戦い>長政は、下毛郡と城井谷を分断させるべく、山間部の要害・長岩城(城主:宇都宮一族の野中鎮兼)に侵攻、長岩城は強固な山城であり黒田勢にも多くの戦死者が出た/官兵衛の凋落によって黒田方に内通していた百留河内守の助力により長岩城は落城し鎮兼は自刃
- 1587年12月6日-09:00|日本|福岡県豊前市|天正15年11月7日|黒田長政は如法寺庄川底で円藤源兵衛を討ち取り、やがて、伊藤田・中尾・山田・八屋らが滅ぼされた
- 1587年12月11日-09:00|日本|福岡県築上郡築上町|天正15年11月12日|<豊前国人一揆>黒田長政は毛利の援軍を加え城井谷に攻め入ったが大敗となり退却
- 1587年12月14日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正15年11月15日|松平(戸田)康長、三河国大崎郷の八幡宮社殿を建立
- 1587年12月15日-09:00|日本|福岡県築上郡築上町|天正15年11月16日|<城井谷再戦>毛利の将・吉川広家率いる10,000の増援を受け、12,000の大軍を率いて官兵衛と長政は再び城井谷を攻めた。黒田・吉川両軍は付城を置いた萱切山に陣を張り、岩丸山で出陣した鎮房と対峙。鎮房はゲリラ攻撃を駆使するも黒田軍も的確に対応し、宇都宮軍は劣勢を強いられ、残すは城井ノ上城の鎮房本陣のみまで追い込まれる。広家は鎮房本陣を切り崩そうとするが、長政が大敗した鎮房に広家が勝つ構図を避けるため鎮房本陣に和睦の使者を送る形で城井谷再戦は終結
- 1587年12月17日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ハッサー伯爵マリック・フリンス・ファン・オラニエ」(~1625/04/23没)
- 1587年12月23日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正15年11月24日|<尾浦城の戦い>東禅寺義長は最上義光と共に大宝寺義興の出羽・尾浦城を攻略/義興は自刃
- 1587年12月27日-02:00|リトアニア/ポーランド| ||<即位>ポーランド・リトアニア共和国リトアニア大公「ジギムントス3世」スウェーデン王「グスタフ」(~1632/04/30没)

1590迄 (2237件)

- 1587年12月27日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天正15年11月24日|<交替>肥前佐嘉32万石「龍造寺政家」隠居⇒「鍋島直茂」が継ぐ(〜元和4(1618)年6月3日病死)
- 1587年12月31日-09:00|日本|愛知県江南市|天正15年12月2日|今枝某、尾張国宮後の八幡宮社殿を建立
- 1588年-08:00|インドネシア| ||<即位>パジャン君主「Pangeran Benawa1世」(〜1589年)
- 1588年-05:30|インド| ||<死去>アフマド・カール王国国王「ムルサ・ニザム・シャー1世」
- 1588年-05:30|インド| ||<即位>アフマド・カール王国国王「フサイン・ニザム・シャー2世」(〜1589年)
- 1588年-05:30|インド| ||<即位>パーンテヤ朝君主「Varathunga Pandyan」(〜1612年)
- 1588年-04:00|ジョージア| ||<即位>イメリティ王「ロストム」(〜1589年)
- 1588年-04:00|アゼルバイジャン/トルコ| ||シマカはオスマン帝国の一部(1583年から占領〜1603年)/シルヴァンがオスマン帝国に併合され、この地域はシルヴァンとガンジヤのイェイトに分割(〜1603年)/ナフチヴァンはオスマン帝国の一部(〜1604年)/ガンジヤ、ナゴルノ・カラバフはオスマン帝国の一部(〜1606年)/ハークはオスマン帝国の一部(1583年から占領〜1607年)
- 1588年-02:00|ウクライナ| ||<死去>クリミアハン国ハン「イスラム2世ギレイ」
- 1588年-02:00|シリア-アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ベイルルベイ「アリ・パ・シャ」(〜不明)⇒「メフメト・パ・シャザート・ハサン・パ・シャ」(1591年)
- 1588年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アルベルト・ロターノ」(〜1590年)
- 1588年-02:00|ギリシャ| ||<就任>カンテリア王国総督「アルヴィーゼ・ジュステニアニ」(〜1591年)
- 1588年-02:00|シリア-アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ユヴェイス・パ・シャ」(3期目〜1589年)
- 1588年-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミアハン国第19代ハン「カースィ2世ギレイ」(1期目〜1596年)
- 1588年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのパシャ「カテル・パ・シャ」(1回目〜1591年)
- 1588年-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズナニ総督「ジャフスガ・アル・パ・シャ」(〜同年)⇒「ハリル・パ・シャ」(〜1590年)
- 1588年 00:00|フランス諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Louis de Vic」(〜1601年)
- 1588年 00:00|ギリシア/サウジアラビア/トルコ| ||<就任>カチー管理者「マヌエル・ロペス・カルトーゾ」カチーに砦を建設
- 1588年 00:00|フェロー諸島| ||<就任>フェロー諸島首席大臣「Peder Jacobsen」(〜1600年死去)
- 1588年 00:00|フェロー諸島| ||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トスハウ)「Mats Batzerson」(〜1591年)
- 1588年 00:00|ポルトガル/トルコ| ||ポルトガルがオスマン朝の東アフリカ遠征軍を撃破
- 1588年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、ヘレス・デ・ラ・チョルテカ州暫定市長「デ・イゴ・デ・パ・ス・イ・キヨネス」(〜1590年)
- 1588年1月1日-09:00|日本| ||天正15年12月3日|関東惣無事令、奥両国惣無事令を発令、大名間の戦闘を禁止する
- 1588年1月3日-09:00|日本|熊本県玉名郡和水町|天正15年12月5日|秀吉は、肥後国人一揆の早期解決を図って九州・四国の大名を総動員し小早川秀包を一揆討伐の総大将として出陣し、立花宗茂、高橋直次、筑紫広門、鍋島直茂、安国寺恵瓊らの九州大名勢や、戸田勝隆、福島正則、生駒親正、蜂須賀家政らの四国大名勢も参陣、和仁親実ら兄弟が籠城した田中城を攻略して一揆を鎮圧
- 1588年1月9日-09:00|日本|愛媛県|天正15年12月11日|伊予宇和郡の旧領主・西園寺公広が宇和の新領主となった秀吉の家臣・戸田勝隆に殺された/大名としての西園寺氏は完全に滅亡
- 1588年1月10日-09:00|日本|大分県中津市|天正15年12月12日|<豊前国人一揆(豊前国)>大丸城が陥落
- 1588年1月15日-09:00|日本|愛知県新城市|天正15年12月17日|三河国宮路郷の宜次郎左衛門定与ら、同国白鳥社の社殿を建立
- 1588年1月19日-09:00|日本|大分県中津市|天正15年12月21日|<豊前国人一揆>加来城と福島城は吉川軍と黒田勢に攻撃され加来安芸守・福島佐渡守入道は降伏/城を明け渡し城を出る城兵を一方的に包囲網のなかに包み込み有無をいわず殺された
- 1588年1月24日-09:00|日本|熊本県山鹿市|天正15年12月26日|<肥後国衆一揆>佐々成政、立花宗茂、安国寺恵瓊らは一揆の首謀者・隈部親永の城村城を攻め落として一揆を鎮圧
- 1588年1月28日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正16年|宇喜多秀家、豪姫(前田利家の娘で豊臣秀吉の養女)と婚儀
- 1588年1月28日-09:00|日本|高知県高知市|天正16年|長宗我部元親、土佐・大高坂山に築城、岡豊から移る
- 1588年1月28日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正16年|皆川広照は宇都宮国綱、佐竹義宣の連合軍の来攻を受け西方真名子富張の地を失う
- 1588年1月28日-08:00|中国| ||明・万暦16年|女真族のヌルハチ(29)が建州三衛の諸族を統一してマンジュ国と称
- 1588年1月28日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・興治1年|大越莫朝・興治と改元(〜15910124)
- 1588年1月28日-09:00|日本|大分県中津市|天正16年1月|黒田官兵衛が豊前中津城を築城
- 1588年1月29日-01:00|アンドラ| ||<就任>アンドラ公国共同大公「ウルル司法アンドリュウ・カハラ」(〜16090922)
- 1588年2月8日-09:00|日本|広島県福山市|天正16年1月12日|足利義昭、鞆幕府を閉鎖し将軍職を返上、京に戻る
- 1588年2月24日 00:00|イギリス| ||<死去>トラント伯「ジョン・マーズ」
- 1588年2月24日 00:00|イギリス| ||<就任>トラント伯「ロジャー・マーズ」先代の長男(〜16120626死去)
- 1588年2月28日-09:00|日本|宮城県加美郡加美町|天正16年2月2日|<大崎合戦・中新田の戦い>伊達政宗、泉田重光・留守政景に命じて大崎義隆の拠点陸奥中新田城を攻めさせるが、大敗
- 1588年3月9日-09:00|日本|愛知県安城市|天正16年2月12日|三河国蔵王権現社の社殿が建立される
- 1588年3月9日-09:00|日本|福島県本宮市|天正16年2月12日|<郡山合戦>蘆名義広軍の大内定綱は伊達領苗代田城を攻略、後続と合流して伊達方の郡山城・窪田城・高倉城・本宮城を攻め立てた
- 1588年3月17日-09:00|日本|熊本県|天正16年2月20日|<改易>肥後一國「佐々成政」
- 1588年3月20日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正16年2月23日|<大崎合戦>新沼城に閉じ込められた留守政景は、黒川晴氏による斡旋を受けて、泉田重光・長江勝景(葛西晴信・相馬義胤からみた義兄)を人質として提出する代わ

1590迄 (2237件)

- りに城の囲みを解くことを条件に和議を結ぶ
- 1588年3月26日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正16年2月29日|<大崎合戦>留守政景は新沼城を出て敗残兵を收容しながら後退/大崎氏の分家にあたる最上義光(正室は大崎氏)は政宗による武力介入を許さず、5,000人の兵を率いて援軍に赴き、大崎軍に加勢して伊達領黒川・志田両郡の各所を攻略
- 1588年3月27日-09:00|日本|天正16年春|小田原城主北條氏政は下総国の小金城主高城下野守、常陸国の土浦城主菅谷左工門重政、同喜八郎、足高城主由良信濃守光繁、牛久城主岡見治部少輔保定等を攻め破って攻略、次いで下総国の豊田城主多賀谷左近將監忠経を攻め、太田氏房は常陸国の小田城主梶原美濃守景国、北條城主北條出雲守治高、真壁城主真壁安芸守氏幹入道道夢などを攻め破って攻略
- 1588年4月1日-01:00|サンマリノ|<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ペルツツィ」(「ウ・インチェンツォ・ジ・ヤニニ」)
- 1588年4月2日 03:00|アルゼンチン/スペイン|<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アロンソ・デ・ペラ・イ・アラゴン・イ・セルス」(~15920713)
- 1588年4月2日 04:00|パラグアイ/スペイン|<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「ファン・デ・トレス・デ・ペラ・イ・アラゴン」(~15920713)
- 1588年4月4日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ|<死去>デンマーク=ノルウェー二重王国国王兼シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「フレデリク2世」53歳(誕生15340701)
- 1588年4月4日-01:00|デンマーク|<就任>デンマーク摂政「ニールス・カス・ティル・タール・コーレル」(~15940629死去)、「ヨルゲン・ローゼンクランツ・ティル・ローゼンホルム」(~15960409死去)、「クリストファー・ヴァルケントルフ」、「ヘーター・ムンク・ティル・エストヴァト・コーレル」(~15960817)
- 1588年4月4日-01:00|デンマーク/ドイツ/ノルウェー|<即位>デンマーク=ノルウェー二重王国国王兼シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「クリスチャン4世」フレデリク2世とゾフィー・フォン・メレンブルクの長男(~16480228死去70歳)1640年にホルシュタイン=ビッネブルク伯領を獲得し、デンマーク王領ホルシュタインに併合
- 1588年4月9日 00:00|マリ/ニジェール|<即位>ソコト帝国皇帝「アスキア・イジャク2世」(~15910414)
- 1588年4月11日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正16年3月16日|(2月1日~)再び伊達軍は、政宗を総大将として、大崎領に攻め入り小野田城を落城させ、中新田城を攻撃、大崎義隆も一万余名の兵で応戦、伊達軍は大崎氏から伊達に従った、一迫、二迫、宮町、鍛冶屋沢、鬼首氏を合わせ一万七千名にもなり、大崎軍と数日睨みあいが続いたが、危急に伊達成実より「佐竹軍安積に出陣」の報を受け退去せざるを得なくなった
- 1588年4月15日-02:00|トルコ|<就任>オスマン帝国大宰相「コクタン・パシャ」(2期目~15910801)
- 1588年4月18日-09:00|日本|福島県安達郡大玉村|天正16年3月23日|伊達成実が蘆名勢と玉井で戦い、これを撃破
- 1588年4月19日-01:00|イタリア|<死去>パロ・ウエロネーゼ、イタリアの画家(生年1528年)
- 1588年4月19日-09:00|日本|天正16年3月24日|伊達政宗、最上義光(政宗の母の兄)と断交
- 1588年4月26日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正16年4月|<拝領>美濃曾根3万石「西尾光教」(~慶長5(1600)年)
- 1588年4月26日-09:00|日本|岐阜県郡上市|天正16年4月|<再移封>美濃曾根「稲葉貞通」⇒美濃郡上八幡4万石(~慶長5(1600)年豊後臼杵へ)
- 1588年4月26日-09:00|日本|岐阜県美濃加茂市|天正16年4月|<減移封>郡上八幡城主「遠藤慶隆」⇒美濃国加茂郡7500石
- 1588年4月26日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天正16年4月|北条氏邦家臣の猪俣邦憲が真田領を攻撃、権現山城を攻略
- 1588年5月1日-09:00|日本|長崎県長崎市|天正16年4月6日|秀吉が、キリシタン領となっていた長崎を収公して鍋島直茂を代官とする
- 1588年5月4日-05:30|インド/ポルトガル|<死去>ポルトガル領インド総督「アルカバト・ウアルテ・デ・メネセス」
- 1588年5月4日-05:30|インド/ポルトガル|<就任>ポルトガル領インド総督「マヌエル・デ・ヌーザ・コウチニョ」(~15910515没)
- 1588年5月12日-01:00|フランス|<ギーズ公アフリが率いる旧教同盟と国王軍との紛争で、パリ市民がギーズ公側について蜂起する(パリの日の事件)>
- 1588年5月13日-09:00|日本|福島県郡山市|天正16年4月18日|<郡山合戦>蘆名義広は伊達領に攻め入ったが蘆名勢が伊達成実、大内定綱らによって退けられる
- 1588年5月14日-01:00|フランス|<フランス王アンリ3世、市民が国王を捕らえるためパリの「ル・ヴァル宮殿」(1区)に向かっているという知らせを受け、「ル・ヴァル宮」の正方形の部分から「小回廊」を経て西に向かい、未完成の「大回廊」を通じてパリ南西のシャットルに逃れ、さらにフランス中部のトゥールに移動>
- 1588年5月15日-09:00|日本|大分県中津市|天正16年4月20日|<中津城騒動>黒田長政、豊前中津城にて宇都宮鎮房(53豊前城井城主)を酒宴の席で騙し討ち殺害し、城井に逃げ帰った家臣を追討し城井の館も灰燼と帰した
- 1588年5月17日-09:00|日本|大分県宇佐市|天正16年4月22日|黒田長政、城井の留守を守る宇都宮鎮房の父長房を討ち、娘の鶴姫も13人の侍女諸共処刑/朝房夫人童子だけは逃亡に成功
- 1588年5月19日-09:00|日本|熊本県|天正16年4月24日|宇都宮朝房(18鎮房の子)が肥後の陣所にて、黒田勢に謀殺される
- 1588年5月20日-09:00|日本|茨城県石岡市|天正16年4月25日|佐竹義重が常陸国新治郡石岡の府中城主大掾清幹を攻めて其の属城である小幡や田余の両砦を攻略
- 1588年5月23日-09:00|日本|宮城県仙台市太白区|天正16年4月28日|<大崎合戦(陸奥国)>伊達勢は秋保で山形衆を百一人討ち取り、首二十一が政宗の元に届けられた
- 1588年6月1日-09:00|日本|和歌山県紀の川市|天正16年5月8日|藤堂高虎紀伊粉河に上行寺を創す
- 1588年6月3日-09:00|日本|福島県耶麻郡猪苗代町|天正16年5月10日|陸奥/蘆名氏の重臣猪苗代盛国・盛胤父子の間に内紛が起こる。盛胤が黒川城に出仕した隙を突いて盛国が猪苗代城を奪取/家臣の大半は盛国に従い、あくまで盛胤を支持する家臣は斬られた/盛胤は盛国を攻めるが猪苗代城は奪還できず、金上盛備が仲介に入ってひとまず父子は和睦
- 1588年6月4日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正16年5月11日|相馬義胤は田村清顕継室(義胤叔母)の依頼に

1590迄 (2237件)

- 応じて、田村家中の伊達派を押さえ込もうと三春城入城をはかったが、伊達派の田村月齋らに銃撃されて江井胤治ら側近多数が討死し、命からがら船引城(田村市船引町)へ逃れた
- 1588年6月5日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正16年5月12日|相馬義胤は田村清顕(政宗岳父・妻は義胤叔母)没後伊達派と相馬派に分かれて紛糾していた田村氏の所領を確保して、小手森城と蘆名勢の後詰めをするべく、自ら三春城へと向かったが、田村家中の伊達派・橋本顕徳らに阻まれて入城を果たせずに退去
- 1588年6月6日-09:00|日本|熊本県|天正16年5月13日|肥後の検地反対一揆が鎮圧され、毛利輝元らが兵をおさめて帰国
- 1588年6月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハ・デーン=ハ・デーン辺境伯「フリッポ 2世」
- 1588年6月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>ハ・デーン=ハ・デーン辺境伯「エドゥアルト・フォルウナート」(~16000608死去)
- 1588年6月7日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正16年5月14日|徳川家康が駿府城を修理し、天守閣が竣工
- 1588年6月8日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天正16年5月15日|<再建>京・要法寺
- 1588年6月8日-09:00|日本|福島県田村市|天正16年5月15日|伊達政宗・片倉小十郎が大越城(田村市大越町上大越)を攻めたが、守備していた標葉郷大将の泉田雪齋・相馬胤清父子らがこれを撃退
- 1588年6月9日-09:00|日本|福島県二本松市|天正16年5月16日|伊達政宗は石川弾正と相馬義胤の兵を小手森(二本松市針道)に攻め、義胤が船引から脱出し、石川弾正が月山城を捨てる
- 1588年6月10日-09:00|日本|福島県田村市|天正16年5月17日|伊達政宗は石沢(田村市船引町石沢)の城も落とす
- 1588年6月10日-09:00|日本|福島県二本松市|天正16年5月17日|伊達政宗は百目木(二本松市)の城も落とす
- 1588年6月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウリアム・フィッツウリアム」(2回目~15940811)
- 1588年6月24日 00:00|アイルランド/デンマーク| |||<就任>アイルランド 支配者「ラウリス・クルゼ・ティル・スヴェンストラップ」(~15910623)
- 1588年7月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「ハンス・ヴァアトマイスター」(~10.13)
- 1588年7月3日-09:00|日本| ||天正16年閏5月10日|豊臣秀吉と北条氏直、再度和睦
- 1588年7月4日-09:00|日本|山形県山形市|天正16年閏5月11日|<追認>羽州探題(出羽山形城)「最上義光」秀吉に任命される(⇒天正18(1590)年出羽山形24万石安堵)
- 1588年7月5日-09:00|日本|福島県郡山市|天正16年閏5月12日|<郡山合戦(陸奥国)>相馬義胤は田村清顕(政宗岳父・妻は義胤叔母)没後伊達派と相馬派に分かれて紛糾していた田村氏の所領を確保して、小手森城と蘆名勢の後詰めをするべく、自ら三春城へと向かったが、田村家中の伊達派・橋本顕徳らに阻まれて入城を果たせずに退去
- 1588年7月6日-09:00|日本|熊本県|天正16年閏5月13日|肥後の検地反対一揆が鎮圧され、毛利輝元らが兵をおさめて帰国
- 1588年7月7日-09:00|日本|熊本県|天正16年閏5月14日|<改易>肥後一国「佐々成政」53歳/一揆の責任で切腹
- 1588年7月8日-09:00|日本|熊本県|天正16年閏5月15日|<拜領>肥後半国(宇土・益城・八代郡)14万石「小西行長」宇土古城(後に24万石に加増⇒慶長5(1600)年10月1日処刑される)
- 1588年7月8日-09:00|日本|熊本県|天正16年閏5月15日|<拜領>肥後半国19万5千石「加藤清正」隈本(熊本)城主(⇒慶長5(1600)年52万石~慶長16(1611)年6月24日)
- 1588年7月9日-09:00|日本|福島県二本松市|天正16年閏5月16日|<小手森城合戦>伊達政宗、田村家部将石川光昌(相馬派)に勝利/小手森城は陥落し、石川光昌は相馬領へと逃れた
- 1588年7月10日-09:00|日本|福島県郡山市|天正16年閏5月17日|<郡山合戦(陸奥国)>伊達政宗は田村月齋の手引きで三春城に入り、反伊達派のこもる大倉城に攻め寄せ大倉城陥落
- 1588年7月11日-09:00|日本|福島県田村市|天正16年閏5月18日|政宗は反伊達派相馬勢のこもる石沢城に攻め寄せた/大越城の泉田顕清(雪齋胤清)も政宗の大軍をくい止め、逆に打ち破る
- 1588年7月12日-09:00|日本|福島県田村市|天正16年閏5月19日|船引城から義胤が退去し、東安達方面における相馬方の戦線は崩壊
- 1588年7月15日-01:00|フランス| |||フランス王アンリ3世、フランス北西部のルアンで、王と「旧教同盟」は一体だとする「一体勅令」を出す
- 1588年7月16日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正16年閏5月23日|<権現山城合戦>北条家部将猪俣邦憲、真田昌幸に勝利
- 1588年7月16日-09:00|日本|福島県相馬市|天正16年閏5月23日|亙理元宗父子が新地・駒ヶ嶺の間の大森へ出陣してくると相馬義胤はこれを撃退
- 1588年7月17日-02:00|トルコ| |||<死去>ミマル・スイフ、オスマン帝国の建築家(生年1489年)
- 1588年7月31日 04:00|スペイン/イギリス| ||ユリウス暦7月21日|<アルマダの海戦>夜明けとともにイングランド 艦隊が無敵艦隊の右翼後方から接近し、砲撃を加え、その後、左翼後方のビスケー湾船隊へ攻撃を加えた/船隊司令カレ 提督の乗艦サン・ファン号とエル・グラン・リソ号の2隻がイングランド 艦隊の攻撃の矢面に立たされた/2時間ほどの双方決定的な打撃を与えられない砲撃の応酬の後に、メデイナセア公の援軍が駆けつけたためワードは後退を命じた;<プリマス沖海戦>/戦闘後、スペインのガリオン船サン・サルバドル号が爆発事故を起こして炎上し、続いてアンタルシア船隊司令ペドロ・デ・ヴァルデスの乗艦ヌエストラ・セニョラ・デル・ロサ号が衝突事故を起こして行動不能に陥り、救出はかなわず、メデイナセア公はやむなく両船を遺棄
- 1588年7月31日 19:00|スペイン/イギリス| ||ユリウス暦7月21日|<アルマダの海戦>夜、イングランド 艦隊は敵を追尾すべく出港/ドレークは漂流していたロサ号と遭遇し、ヴァルデス提督を降伏させ、船を拿捕/サン・サルバドル号もイングランド に拿捕される
- 1588年8月2日-01:00|スペイン/イギリス| ||ユリウス暦:1588/7/23|<ホートランド 沖海戦>イングランド 艦隊は逆風にもかかわらず果敢に攻撃を敢行、ワードの本隊と無敵艦隊が激しい砲撃を交わす中、北方へ突出したフビッシャーの船隊と聖ヨ

1590迄 (2237件)

- ネ騎士団の騎士ウゴ・デ・モンカダ率いるガレス船隊(帆船とガレ船の折衷型の船種)とが交戦し、フビツァーは巧みな操船でガレス船を翻弄して大損害を与え、ガレス船は帆船に敵わないことを証明
- 1588年8月2日 12:00|スペイン/イギリス| |ユリウス暦:1588/7/23|<ポートランド沖海戦>ハワードは苦戦したが、午後になって風向きが有利に変わるのを待っていたドレークが参戦して、イングランド艦隊は逆襲に転じた/激しい砲撃が交わされたが、スペイン船の砲撃は届かず、イングランド船の長射程だが軽量のカルビン砲は有効な打撃を与えることができなかった
- 1588年8月4日 00:00|イギリス| |||<死去>5代モートン伯・8代アングス伯「アーチルド・ダグラス」
- 1588年8月4日 00:00|イギリス| |||<就任>6代モートン伯「ウィリアム・ダグラス」(~1606年死去)
- 1588年8月4日-09:00|日本|福島県|天正16年6月12日|郡山・窪田両城に向けて兵を進めた蘆名勢と伊達勢が対峙して互いに砦を築き、以降40日間にわたって延々小競り合いを繰り返した
- 1588年8月4日 12:00|スペイン/イギリス| |ユリウス暦:1588/7/25|<ワイト島沖海戦>イングランド艦隊はフビツァー、ハワード、ホーキンスそしてドレークの4つの集団に分かれて、全面的な攻撃を仕掛けた/戦いはポートランド沖と類似した経緯をたどり、まずフビツァー、ハワードが敵と砲撃を交わし、ホーキンスとドレークは風向きが有利になるのを待ってから側面攻撃を仕掛ける/メイトニア公は潮流に流されて砂州へ追いこまれるのを避けるべく、外洋に出よう命じた/この戦いでもポートランド沖海戦と同様、双方沈んだ船はなく、スペイン側の砲撃は届かず、イングランド側の打撃力が不足していることが明らかになった/ワイト島から退避した無敵艦隊の近くに安全な港はなく、パルマ公の軍隊の準備に関わりなくカレーへ向かうことを強いられた
- 1588年8月7日-09:00|日本|滋賀県|天正16年6月15日|豊臣秀吉、上杉景勝に在京賄料として、近江の蒲生・野洲・高島郡内で1万石の地を与える
- 1588年8月7日 12:00|スペイン/イギリス| |ユリウス暦:1588/7/28|深夜、イングランド艦隊は150-200ト級の軍艦に樹脂や硫黄、火薬そしてタールを満載した火船8隻を風下に位置し、密接して投锚している無敵艦隊へ向けて送り込んだ/スペイン人はこれらの異常に大きな火船はアントウェルペン包囲の際にオランダ人が使用し、破壊的な効果をもたらした大量の火薬を満載した特殊な火船「鉛の機械」(マイナス・デ・ミナス)であると信じて恐怖/2隻は途中で捕らえられて曳航されたが、残りは艦隊に突っ込んだ/メイトニア公の旗艦と主な軍艦は位置を保ったが、残りの船は錨を切って混乱しつつ分散してしまった/オランダ船隊司令ウゴ・デ・モンカダの乗るガレス船クルソは混乱の中で事故を起こして行動不能に陥り、カレーに座礁してしまい、ハワードのアーカイユル号がこれを攻撃して乗組員および漕ぎ手奴隷との死闘の後に捕獲され、その残骸は最終的にイングランドとフランスが入手/炎上したスペイン船はなかったが、半月陣形は崩され、そこへイングランド艦隊が戦闘を仕掛けるべく迫っていた/メイトニア公は号砲を鳴らさせてスペイン艦隊にカレーへの再集結を命じたが、多くの艦は錨を全て失って停止することができず、海岸線に沿って北東へ流されていくばかりだった/メイトニア公は、やむなく旗艦サン・マルセーノ号を発進させて部下の艦を追い、もっと先で艦隊を再編成することにした
- 1588年8月8日-01:00|スペイン| |||<死去>アロンソ・サンチェス・コエリヨ、スペインの画家(生年1531年頃)
- 1588年8月8日-01:00|スペイン/イギリス| |ユリウス暦7月29日|スペインの無敵艦隊がグラングリーヌの海戦で12隻を失い暴風にあって支離滅裂になりイギリス海軍に大敗
- 1588年8月8日-09:00|日本|青森県五所川原市|天正16年6月16日|津軽為信が浪岡御所(北畠氏)残党のこもる飯詰高盾城を落とし南部氏に代わって津軽全土を支配下に置き津軽一帯の統一に成功
- 1588年8月9日-09:00|日本|福島県郡山市|天正16年6月17日|窪田の戦い(郡山合戦)伊達政宗:陸奥安積郡窪田で、佐竹義重・芦名義広・岩城常隆と対峙/約40日間の持久戦を経て和議
- 1588年8月9日 15:00|中国| |明・万暦16年閏6月18日|中国・雲南省、通海地震(M7.0)、死者千人
- 1588年8月12日 00:00|イギリス/イタリア| |||<死去>アルフォンソ・フェッラ、スコットランド出身のイギリスの作曲家(生年1543年)
- 1588年8月12日-09:00|日本|福島県田村市|天正16年6月20日|相馬義胤は田村顕康(月斎の子)を田村郡宇都志城(田村市船引町上移)に攻めるが、鬼庭綱元が百目木より出陣し押し返され退却を余儀なくされた
- 1588年8月22日-09:00|日本| |天正16年7月|秀吉、天正大判・小判を鑄造
- 1588年8月25日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正16年7月4日|下総国印旛郡佐倉城主千葉介邦胤が家臣鎌田万五郎の爲めに殺害され、其の子千鶴丸は六才にして小田原城主北條氏直に降伏して人質として北條氏に身を寄せ、千葉方の部将で下総国印旛郡臼井城主原式部少輔胤成が軍代として佐倉城に入って之れを守る
- 1588年8月25日-09:00|日本|福島県郡山市|天正16年7月4日|<郡山合戦(陸奥国)>窪田を守っていた片倉景綱・伊達成実の前方を蘆名方、新国貞通の部隊が通過。景綱弟の片倉藤左衛門に新国を追わせるところ、深追いして蘆名軍に囲まれた。景綱、成実はこれを救うべく戦闘したが、引き上げに苦戦。伊東重信が討死にするも、反撃に転じ五十余人を討ち取って引き上げた
- 1588年8月26日-09:00|日本|兵庫県|天正16年7月5日|羽柴秀吉、島津義久へ「在京賄料」として摂津国・播磨国内に1万石を宛行
- 1588年8月29日-09:00|日本| |天正16年7月8日|伊達政宗:岩城常隆・石川昭光の調停により最上義光と講和
- 1588年8月29日-09:00|日本| |天正16年7月8日|秀吉が諸国の農民に武器の所持を禁止する(刀狩令)/また、諸国の海賊を禁止する(海賊禁止令)
- 1588年8月31日-09:00|日本|岩手県紫波郡紫波町|天正16年7月10日|南部信直、陸奥岩手郡高水寺の斯波詮元を攻め、斯波御所を滅亡させる
- 1588年9月4日 00:00|イギリス| |||<死去>レスター伯「ロバート・ダドリー」
- 1588年9月11日-09:00|日本|福島県郡山市|天正16年7月21日|<郡山合戦>(6月12日~)伊達政宗と蘆名義広、対陣の末に和睦/蘆名義広、郡山・窪田両城の攻略をあきらめて撤退
- 1588年9月21日-09:00|日本|岩手県紫波郡紫波町|天正16年8月|斯波氏家臣の岩清水義教(右京)が、遊興に浸り政務を怠る主君斯波詮直から離反/南部信直は岩清水義教の要請を受け、斯波氏の本拠高水寺城を攻撃。高水寺斯

1590迄 (2237件)

波氏は滅亡

- 1588年9月21日-09:00|日本|三重県松阪市|天正16年8月|蒲生氏郷、伊勢松坂城に移る
- 1588年9月23日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正16年8月3日|出羽国米沢城主伊達右京大夫政家が陸奥国三春城主田村清顯を攻め破って攻略し所領を併す
- 1588年9月25日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正16年8月5日|伊達政宗は三春城に入って愛姫の従弟・田村宗顕を田村氏当主に据えて田村領の確保に成功し、一連の合戦は伊達氏の勝利に終わった
- 1588年9月26日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー知事「Amias Paulet卿」
- 1588年10月-01:00|イタリア| |||サウオア公カロ・エマエーレ1世によるサルツァ侵攻
- 1588年10月1日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「アッバース1世」(~16290119死去)
- 1588年10月1日-03:30|イラン| |||<退位>サファヴィー朝シャー「ムハンマド・ホターバンテ」(~1595年死去)
- 1588年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルク・アウレリオ・ブランケーティ」「ジャンパットイスタ・ベルツィ」
- 1588年10月6日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督「アクセル・ギルテンスティアーン・ティル・リュンビガート」(~16010405)
- 1588年10月6日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正16年8月16日|<十五里ヶ原の戦い>上杉景勝の将、村上城主本庄繁長・義勝父子が数千の大軍で庄内に攻め込み、尾浦城に近い十五里ヶ原で最上軍(東禅寺義長)は大敗、東禅寺義長は敵本陣に突撃し戦死/この後、最上軍は朝日山城などで抵抗を続けたが敗れ(朝日山城の戦い)、庄内地方は上杉景勝の版図となる/その後、繁長は余勢を駆ってさらに兵を進めたが、東根で最上勢の猛反撃に遭い撤退
- 1588年10月12日-09:00|日本| ||天正16年8月22日|相模・徳川家康の周旋で豊臣・北条講和
- 1588年10月13日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「グスタフ・アクセルソン・パネール・ス・ジュルショム」(~1590年)
- 1588年10月14日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正16年8月24日|越後上杉景勝の将の村上城主本庄繁長が、庄内の尾浦城を囲む
- 1588年10月20日-09:00|日本|岩手県陸前高田市|天正16年秋|陸奥/葛西晴信が熊谷直長に命じて、重臣浜田広綱の反乱(4月)を鎮圧
- 1588年10月28日-09:00|日本|大分県中津市|天正16年9月9日|山田大膳の子の山田親実が黒田官兵衛の家臣・小河信章に中津城で謀殺される
- 1588年10月30日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正16年9月中旬|佐竹義重は太田資正入道三楽斎道誉、梶原美濃守景国、太田源三郎資武らをして手配山の麓に押しよせ小田天菴と戦い、小田方の先鋒である江戸山城守、大藤小太郎等は討死
- 1588年11月1日-01:00|フランス| |||<死去>ジャン・ドゥラ、フランスの人文主義者・詩人(生年1508年)
- 1588年11月13日-09:00|日本|群馬県利根郡昭和村|天正16年9月25日|北条勢の攻撃により、勢多郡の阿曾城が失陥
- 1588年11月29日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペイレルベ「フェルハト・パシヤ」(~1590年9月)
- 1588年12月8日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「ジギスムント・ハートリー・ソムリヨイ」(1回目~15980410)
- 1588年12月18日-09:00|日本|茨城県稲敷市|天正16年11月|北條氏直は府中城主大掾清幹の要請により常陸国の江戸崎に出陣し、石岡の高浜を奇襲して佐竹勢と戦い敗北
- 1588年12月18日-09:00|日本|高知県高知市|天正16年冬|長宗我部元親、土佐大高坂に築城/岡豊から移る
- 1588年12月23日-01:00|フランス| |||<死去>ギース公「アンリ1世」アロワで全国三部会出席中、アンリ3世の刺客により暗殺される
- 1588年12月23日-01:00|フランス| |||<就任>ギース公「シャルル1世」(~16400930死去)
- 1588年12月24日-01:00|フランス| |||故ギース公アンリの弟ルイ・ド・ロレーヌ(ギース枢機卿)が殺害される
- 1589年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Rui Dias da Cunha」(~1592年)
- 1589年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「バユン」(~1596年)
- 1589年-08:00|フィリピン| |||フィリピンのカヤン、イロコス地方で反乱がおこる
- 1589年-05:30|インド| |||<即位>アフマドガール王国国王「イスマイル・ニザーム・シャー」(~1591年)
- 1589年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメレティ王「バゲラト4世」(~1590年)
- 1589年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・モハマド・キルマニ」(2回目~1590年)
- 1589年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「アリ・パシヤ・エルバンザード」(~1590年)
- 1589年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャ「ロウレンソ・デ・ブリト」(~1591年)
- 1589年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタニス・ハン「Mehmed2世・ヘイ」(~1594年)
- 1589年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「シャルル3世」ロレーヌ公(~1608年)
- 1589年-01:00|ロシア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ペイレルベイリ「サズリ・メフメト・パシヤ」(2回目)⇒「イスタンコイル・アフメド・パシヤ」(~1590年10月)
- 1589年-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国ヘルダラント州総督オラニエ公マウリツ[オラニエ公ウィルム1世の次男](~16250423死去)
- 1589年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<制定>ポルトガル王領西アフリカ
- 1589年-01:00|スペイン| |||スペインのエルシーリヤが叙事詩「ラ・アラウカーナ」を完成
- 1589年 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Tomas de Cangas」(~1597年)
- 1589年 00:00|モロッコ| |||アルジラはモロッコに再編入
- 1589年 00:00|イギリス| |||ウィリアム・リーが、足踏みメカニカル編み機を発明
- 1589年 00:00|イギリス| |||ハクルートが「イギリス国民の主要な航海」を刊
- 1589年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ファン・デ・ペナランダ」(~1590年)
- 1589年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマカグア県総督「ジエロニモ・サンチェス・デ・カランサ」(~1594年)

1590迄 (2237件)

- 1589年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア総督「カルロス・デ・アレキアノ」(~1592年)
- 1589年1月1日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正16年11月15日|三河国和田郷の若宮八幡社社殿が建立
- 1589年1月5日-01:00|フランス| |||<死去>オルアン公「カリヌ・ド・ウ・メイ」(故アンリ2世の妃)腹膜炎で病死/69歳(誕生15190413)フランス、聖バールムーの虐殺を行った
- 1589年1月11日-09:00|日本|沖縄県|明・万暦16年11月25日|<死去>琉球国王「尚永」30歳
- 1589年1月11日-09:00|日本|沖縄県|明・万暦16年11月25日|<即位>琉球国王「尚寧」(⇒慶長14(1609)年、薩摩島津家に服属)
- 1589年1月14日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正16年11月28日|築瀬道悦、三河国足助の八幡宮社殿を建立
- 1589年1月14日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正16年11月28日|佐竹方の真壁氏幹が新治郡の藤沢城を攻め小田方の田伏某が討死
- 1589年1月17日-09:00|日本|愛知県一宮市|天正16年12月|阿古田新右衛門ら、尾張国南小淵の天神社社殿を建立
- 1589年1月21日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正16年12月5日|吉川平介は豊臣秀長の配下で山奉行として材木の管理・調達を担当、熊野木材の売上を着服/報告を受けた豊臣秀吉がこれに激怒し吉川平介を大和西大寺にて処刑
- 1589年1月28日-09:00|日本|長崎県対馬市|天正16年12月12日|<死去>対馬国主「宗義調」57歳⇒「宗義智」が復帰(棧原城)(⇒慶長5(1600)年対馬府中藩10万石所領安堵)
- 1589年2月15日-09:00|日本|熊本県|天正17年|小西行長の宇土城普請の要求を志岐麟泉・天草種元・大矢野種基・上津浦種直・栖本親高ら天草五人衆が拒否し反乱
- 1589年2月15日-08:00|中国| ||明・万暦17年|<即位>ダライ・ラマ「4世ユンテン・ギヤツォ」(~1616年)
- 1589年2月15日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|天正17年1月|<交替>常陸太田城主「(常陸佐竹氏第17代当主)佐竹義重」隠居⇒子の「佐竹義宣」が継ぐ(⇒天正18(1590)年本領安堵)
- 1589年2月19日-09:00|日本|福島県田村郡小野町|天正17年1月5日|岩城常隆が小野へ進攻/谷津作湯之原で2日から激闘し田村梅雪斎(相馬派)の小野城を落城させる
- 1589年2月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ウスター伯「ウィリアム・サマセット」
- 1589年2月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ウスター伯「エドワード・サマセット」先代の子(~16280303死去)
- 1589年2月24日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正17年1月10日|<拝領>丹波亀山10万石「羽柴秀俊」
- 1589年2月24日-09:00|日本|栃木県足利市|天正17年1月10日|北条氏照が由良国繁、長尾顕長の足利城を攻撃
- 1589年3月3日-01:00|ドイツ| |||<死去>カレンベルク侯兼「ラウジシュグ・アイク＝ヴ・オルフェンビュッテル侯「ユリウス」
- 1589年3月3日-01:00|ドイツ| |||<就任>カレンベルク侯兼「ラウジシュグ・アイク＝ヴ・オルフェンビュッテル侯「ハインリヒ・ユリウス」ユリウスの息子(~16130730死去)
- 1589年3月16日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳テソ」(~12.5)
- 1589年3月16日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正17年1月29日|興福寺衆徒、神鹿殺傷の犯人を大和国般若寺で斬る
- 1589年3月17日-09:00|日本|秋田県秋田市|天正17年2月|<第三次湊騒動(出羽国)>茂季の子である高季(豊島通季)は「湊安東氏の復興」を唱えて南部氏、小野寺氏と連絡し、戸沢氏とも手を結んで、実季に対し反乱を起こした/高季を擁する豊島勢は一時湊城を奪い八柳氏、永井氏などの秋田郡一帯の国人衆を組織し、実季を檜山城に籠城させるなど窮地に追い込んだ
- 1589年3月17日-09:00|日本|群馬県太田市|天正17年2月|由良国繁が降伏
- 1589年3月21日 07:00|日本|静岡県|天正17年2月5日|申刻(16時頃)に東海地方で大地震が起き、駿河の河東の興国寺城、長久保城、沼津城の壁、二階の門まで破壊
- 1589年3月29日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正17年2月13日|真田昌幸の嫡男信幸が人質として、三河国岡崎城で徳川家康に謁する
- 1589年3月31日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ファン・デ・テヘダ」(~1594年7月)
- 1589年4月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地カリヤ諸島総司令官「Luis de La Cueva y Benavides」(~1594年)
- 1589年4月 00:00|ポルトガル/イギリス| |||イギリス提督「フアン・ド・レク」がポルトガル遠征を行うが失敗
- 1589年4月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||「グラン・カリヤ島、ネリフェ島」はカリヤ諸島の総司令部の一部(~1595年)
- 1589年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・コルベッリ」「リベリャ・ガブリエリ」
- 1589年4月2日-02:00|トルコ| |||イスタンブールで、オスマン朝の常備歩兵軍団「エニチェリ」が反乱を起こす(「ペイルハイ」事件)
- 1589年4月3日-01:00|フランス| |||フランス国王アンリ3世が、新教軍のアンリ・ド・ナヴァルが和解「トゥール秘密条約」を結ぶ
- 1589年4月4日-09:00|日本|群馬県桐生市|天正17年2月19日|北条氏を離反した由良・長尾氏を北条氏が攻め、桐生城の由良国繁が降伏、桐生城は破却され、国繁は小田原に送られた
- 1589年4月10日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天正17年2月25日|<聚楽第落首事件>聚楽第の番所の壁に秀吉の政治を批判する落書き「大仏のくどもあれや鑓かたなくぎかすがいはこだからめぐむ」「ささたへて茶々生きしげる内野原今日はけいせい香きらいける」が書かれた
- 1589年4月14日 00:00|イギリス| |||<剥奪>「アンデル伯「フィリップ・ハワード」
- 1589年4月15日-09:00|日本| ||天正17年3月|宇喜多秀家、豪姫(前田利家の娘で豊臣秀吉の養女)と婚儀
- 1589年4月15日-09:00|日本|岐阜県本巣市|天正17年3月|<加増移封>美濃国内3万石「一柳直末」⇒美濃輕海西城6万石(~天正18年3月29日(15900503)戦死)
- 1589年4月15日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天正17年3月|茶々の懐妊を受け、秀吉は淀城を改修して茶々に与え産所とする
- 1589年4月15日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|天正17年3月1日|<聚楽第落首事件>本願寺顕如、自害した尾藤道休の首を差し出す

1590迄 (2237件)

- 1589年4月17日-09:00|日本|栃木県足利市|天正17年3月3日|足利城の長尾頭長降伏。北条氏邦は足利城を破却。頭長は足利にとどめ置かれた
- 1589年4月22日-09:00|日本|大阪府門真市|天正17年3月8日|<聚楽第落首事件>豊臣秀吉に勘当されていた斯波謙入を匿っていた本願寺一族願得寺頭悟が自害
- 1589年4月23日-09:00|日本|京都府京都市下京区|天正17年3月9日|<聚楽第落首事件>豊臣秀吉、尾藤知宣の妻子や容疑者を匿ったとされた大坂天満町民63名を京都六条河原にて磔刑
- 1589年5月 00:00|リ/モロコ/ニヅエル| |||モロコ軍がサハラ砂漠を越えてソコト帝国に侵入
- 1589年5月2日-09:00|日本| ||天正17年3月18日|下野国益子城主益子宮内大夫は宇都宮城主宇都宮国朝の憎むところとなって攻められ遂に自害して攻略され滅亡
- 1589年5月2日-09:00|日本|京都府京都市下京区|天正17年3月18日|<聚楽第落首事件>豊臣秀吉、番衆17名を京都六条河原にて磔刑
- 1589年5月3日-01:00|トイツ| |||<死去>カレンベル侯「ユリス」
- 1589年5月3日-01:00|トイツ| |||<就任>カレンベル侯「ハインリッヒ・ユリス」(~16130730死去)
- 1589年5月9日-01:00|アコラ/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王領西アフリカ総督「パウロ・デ・イラス・カモン」
- 1589年5月9日-01:00|アコラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督補佐「ルイス・セラ」(~1591年)
- 1589年5月15日-09:00|日本|秋田県大館市|天正17年4月|南部信直、安東氏内紛を機に、出羽鹿角郡から比内に攻め入り、大館城を奪う
- 1589年5月17日-01:00|チコ| |||<死去>チコ領主「カヨ2世」
- 1589年5月17日-01:00|チコ| |||<就任>チコ領主「エルク」(~16041121没)
- 1589年5月24日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天正17年4月10日|松平家忠が駿府城「小天守」を完成
- 1589年5月30日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正17年4月16日|陸奥・大崎義隆、伊達政宗に降伏
- 1589年6月4日-09:00|日本|福島県田村市|天正17年4月21日|岩城常隆が鹿股(神股)の城を攻め、千余りの首を落とし、小野新町の城を攻め右馬頭らは父梅雪と共に降伏
- 1589年6月13日-09:00|日本|京都府京都市下京区|天正17年5月|豊臣秀吉が五条大橋を架け替えさせ完成
- 1589年6月16日-09:00|日本|福島県郡山市|天正17年5月4日|伊達政宗は片倉景綱を先鋒に大内定綱、片平親綱、伊達成実ら伊達軍は猪苗代湖から東に4里の地にある安子ヶ島城に迫り、城主の安子ヶ島治部はすぐに開城
- 1589年6月17日-09:00|日本|福島県郡山市|天正17年5月5日|伊達政宗軍は安子ヶ島城から西に1里の地にある高玉城を攻め、城主の高玉常頼は伊達軍相手に果敢に応戦するも圧倒的兵力の前に落城し、常頼夫妻や娘婿の荒井新兵衛夫妻以下60余名の城兵は悉く撫で斬りとされた
- 1589年6月21日-09:00|日本|福島県田村市|天正17年5月9日|佐竹、岩城、相馬が田村領に侵略/門沢氏、伊達の加勢の将兵1000余が門沢城の防戦に努めるも、激戦の中、三春に退却
- 1589年6月22日-09:00|日本|福岡県|天正17年5月10日|<交替>豊前国6郡12万石「黒田孝高」隠居、「如水」と号す⇒子の「黒田長政」が嗣ぐ(~慶長5(1500)年筑前福岡へ)
- 1589年6月28日-08:00|イントネア| |||<死去>アチ王国スルタン「バ・イム」
- 1589年6月28日-08:00|イントネア| |||<即位>アチ王国スルタン「アラウッテ・イン・リアヤット・シャー・アルカミル」(~1604.4退位)
- 1589年6月29日-09:00|日本|福島県田村市|天正17年5月17日|相馬義胤は岩城勢と共に常盤城を攻め落とす
- 1589年7月1日-09:00|日本|福島県|天正17年5月19日|伊達政宗が東へ進軍、相馬領駒ヶ峯城を攻撃、占領/蘆名家臣の猪苗代盛国を調略に成功、猪苗代城が伊達領となる
- 1589年7月2日-09:00|日本|宮城県亶理郡山元町|天正17年5月20日|伊達政宗軍は葦首城も落とし、城代の泉田甲斐は政宗に降り、杉目三河や木崎右近らは討死/相馬義胤は田村郡侵攻を諦めて引き返すが、その時政宗はすでに戦後処理を亶理重宗に任せて相馬領から撤退
- 1589年7月3日-09:00|日本|福島県相馬郡新地町|天正17年5月21日|伊達政宗、陸奥・相馬義胤属城・新地城を攻略
- 1589年7月9日-09:00|日本|福島県田村市|天正17年5月27日|門沢城を岩城勢が落とす
- 1589年7月13日-09:00|日本|秋田県能代市|天正17年6月|(2月~)檜山城の戦い(湊騒動)安東道季が安東実季を出羽湊城に攻めるが、実季は檜山城に籠もり、由利諸党の救援を得て撃退
- 1589年7月13日-09:00|日本|千葉県いすみ市|天正17年6月|里見義康、土岐氏の万喜領へ侵攻、発坂峠で敗れる
- 1589年7月13日-09:00|日本|福島県耶麻郡猪苗代町|天正17年6月1日|猪苗代盛国が亀丸を伊達政宗の人質に差し出して恭順
- 1589年7月16日-09:00|日本|福島県郡山市|天正17年6月4日|大平城を佐竹勢が落とす
- 1589年7月17日-09:00|日本|福島県耶麻郡猪苗代町|天正17年6月5日|<摺上原合戦>蘆名軍は猪苗代城から西におよそ2里の地にある高森山に本陣を置いて伊達軍を待ち構え、挑発のため、猪苗代湖畔の民家に放火/政宗も猪苗代城から出撃し、猪苗代盛国を先鋒にして蘆名軍に攻めかかった/当初は風向き、そして盛胤や盛備らの活躍で蘆名軍が圧倒的に有利だったが第3陣の富田隊を含め、松本・平田ら重臣衆や援軍による後詰め諸隊は動かずに傍観を決め込み、さらに風向きが東から西に変わったことを機に、守勢に回っていた伊達軍が一斉に攻勢に出た/傍観を決め込んでいた富田氏実が、伊達軍と戦わずに西に向かって、独断で撤退開始/続いて二階堂隊、石川隊も撤退しはじめ、義広も撤退せざるを得ず、蘆名軍は総崩れ/義広は何とか渡れたが、富田氏実の自軍が渡り終えると橋を落としたため、逃げようとする蘆名軍は逃げ道がなくなった/蘆名家は事実上壊滅。金上盛備、佐瀬種常・常雄らは戦死し、日橋川で溺死した者は1800余、伊達軍に討ち取られた兵は3580余
- 1589年7月19日-09:00|日本|福島県耶麻郡猪苗代町|天正17年6月7日|伊達政宗は菅原城を落とした原田宗時の別働隊と合流して周辺を制圧
- 1589年7月21日 06:00|ガアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ガアテマラ総督・総司令官・大統領「ペドロ・マリン・デ・レタ」(~15940803)

1590迄 (2237件)

- 1589年7月22日 11:00|日本|福島県会津若松市|天正17年6月10日|夜、伊達政宗が陸奥国会津黒川城主葦名義廣を  
追い拂って攻略/戦国大名としての蘆名家は滅亡
- 1589年7月23日-09:00|日本| ||天正17年6月11日|陸奥/伊達政宗、白河義親を帰服させ
- 1589年7月23日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正17年6月11日|<移転>出羽米沢領主「伊達政宗」⇒会津黒川城(  
⇒天正18(1590)年、72万石安堵)/蘆名家の旧臣ら、いわゆる富田氏実、長沼盛秀、伊東盛恒、松本源兵衛、横沢彦  
三郎、慶徳善五郎らは政宗に恭順を誓った/会津の大半は政宗の支配下に入り、政宗は奥州の覇者となった
- 1589年7月24日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天正17年6月12日|上杉景勝が佐渡島に進攻し、河原田城(本間高統)を  
攻略
- 1589年7月28日-05:30|インド| ||ガミールはヒンズー帝国(ムガル帝国)に編入
- 1589年7月28日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天正17年6月16日|上杉景勝、佐渡羽茂城(本間高季)を攻略し、佐渡を  
平定して直轄地とする/慶長5年まで上杉領となる
- 1589年8月-01:00|フランス| ||<即位>ペリ公「ルイジ」(~16010129死去)
- 1589年8月2日-01:00|フランス| ||<死去>フランス国王「アンリ3世」/37歳(誕生15510919)前日カトリック教徒ジャック・クレマンに刺さ  
れた
- 1589年8月2日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国首席大臣マシリアント・ペス[カリエ公](~16110129)
- 1589年8月2日-01:00|フランス| ||<即位>フランス国王(ブルボン朝)アンリ4世(良王アンリ・緑の情夫)(~16100514)[ルイ9世の男  
系10世孫フランソワ1世の姪の子フランソワ2世・シャルル9世・アンリ3世の再従兄弟であり、最初の結婚により義兄弟
- 1589年8月2日 05:00|エカトル/スペイン| ||<就任>スペイン領土総督・総司令官・大審問院長「マヌエル・パロス・デ・サン・ミゲル」  
(~1592年)
- 1589年8月9日-08:00|フィリピン| ||フィリピンで「奴隷制」廃止の勅令がでる
- 1589年8月11日-09:00|日本|秋田県大仙市|天正17年7月|<第三次湊騒動(出羽国)>実季側は鉄砲わずか300挺で檜  
山城を守り抜き檜山籠城は5か月あまりにおよんだが、南部氏の比内(秋田県内陸北部) 侵攻に際し一旦和睦と  
なった/この隙に実季方に赤尾津氏や羽根川氏ら由利十二頭の勢力が参戦し湊城を攻める動きを見せたことか  
ら、豊島勢は挟み撃ちに会い壊滅、湊城は再び実季の手に落ちた。豊島勢の残党は「寺内の合戦」に勝利し一矢報  
いたもの高季(通季)が敗走したことから四散
- 1589年8月11日-09:00|日本|長野県上田市|天正17年秋|家康が本多忠勝の娘(小松姫)を真田信之に嫁がせる/信  
幸の正室であった清音院殿は側室となる
- 1589年8月11日-09:00|日本|群馬県|天正17年7月1日|<沼田吾妻裁定>沼田吾妻領を3分割し2/3を北条氏、1/3を真  
田氏と決定/北条領:沼田郡と吾妻郡中之条/真田領:吾妻郡嬬恋・長野原・草津・坂上・岩島・原・東
- 1589年8月13日-09:00|日本|福島県郡山市|天正17年7月3日|岩城常隆が下枝城に進攻するも伊達勢の激しい抵抗  
にあい退却
- 1589年8月17日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天正17年7月7日|<河原田城の戦い(佐渡国)>上杉景勝による佐渡攻め  
の際に本間佐渡守高統は内の兵を河原田城に集めて決戦したが敗れ城に火を放って自刃
- 1589年8月31日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正17年7月21日|真田昌幸、沼田・吾妻城を北条方へ明け渡す。減少分  
の替地は家康から伊那郡に給される
- 1589年9月21日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ4世、フランス北部の「アルクの戦い」で「マイエヌ公」シャル・ド・ロレーヌ率いる「カトリック  
同盟軍」を破る
- 1589年9月29日-09:00|日本|愛知県刈谷市|天正17年8月20日|鈴木大之進ら、三河国今岡村の神明社の社殿を建立
- 1589年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フェデリコ・ジナルティ」[マリ・ベリエリ]
- 1589年10月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正17年9月|三河国振草郷の本郷・下田の総氏子、同郷の牛頭天王・  
八幡両社を建立
- 1589年10月10日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正17年9月|秀吉延暦寺を再建
- 1589年10月10日-09:00|日本|京都府京都市|天正17年9月1日|豊臣秀吉、諸大名に妻子の在京を命じる
- 1589年10月24日-09:00|日本|愛知県津島市|天正17年9月15日|織田信雄、安井秀長(秀勝)に命じて、尾張国津島社  
の弥五郎殿を造営させる
- 1589年11月 04:30|ペネラ/スペイン| ||<就任>スペイン領ペネラ総督「Diego de Osorio y Villegas」(~15960613)
- 1589年11月3日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正17年9月25日|<死去断絶>越前敦賀4万石「蜂屋頼隆」無嫡
- 1589年11月8日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正17年10月|<拝領>越前敦賀2万余石「大谷吉継」(~慶長5年9月15日(  
16001021)戦死)
- 1589年11月15日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正17年10月8日|<改易>丹波亀山10万石「羽柴秀勝(秀次の弟)」知行  
の不满を訴えたことで秀吉の怒りに触れ
- 1589年11月15日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正17年10月8日|<拝領>丹波亀山10万国「羽柴秀俊」豊臣秀吉により
- 1589年11月20日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「パチタ・グロネ」(~15911115)
- 1589年11月29日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正17年10月22日|<名胡桃城事件>北条の沼田城主 猪俣  
邦憲が真田の名胡桃城番衆の中山九兵衛を内応させ、中山九兵衛が名胡桃城主鈴木重則(主水)を偽の書状で岩  
櫃城へ向かわせ、その隙に猪俣邦憲の軍勢が名胡桃城に入り、城を占拠/計り事と知った鈴木重則(主水)は引き  
返すが城を奪われており、城下の正覚寺で自害
- 1589年11月30日-09:00|日本|熊本県天草郡苓北町|天正17年10月23日|小西行長は一揆の中心人物・志岐麟泉(鎮  
経)と交戦し勝利を挙げる
- 1589年12月3日-09:00|日本|福島県須賀川市|天正17年10月26日|伊達政宗、陸奥須賀川城を攻略し、二階堂氏を滅  
ぼす
- 1589年12月10日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正17年11月3日|<拝領>越前敦賀城5万石「羽柴秀勝」(⇒翌年11月、

1590迄 (2237件)

甲斐・信濃国2か国に転封)

- 1589年12月11日-09:00|日本|福島県|天正17年11月4日|陸奥/伊達政宗、石川昭光を帰服させる
- 1589年12月12日-09:00|日本|熊本県天草郡苓北町|天正17年11月5日|<仏木坂の戦い>明け方、木山弾正が加藤清正の陣営へ突入、これを突き崩す/清正軍もよく持ちこたえ、混戦乱闘状態となり、仏木坂での一騎打ちとなり、弾正敗れ形勢は逆転、弾正軍壊滅
- 1589年12月17日-09:00|日本|熊本県天草郡苓北町|天正17年11月10日|志岐城は開城し、志岐麟泉は薩摩へ逃れる/志岐氏、天草氏は滅亡し、栖本氏、上津浦氏、大矢野氏は戦わずして小西行長に降伏
- 1589年12月23日 03:00|ブラジル| |||クリスチャン・デ・ハ・ロズ総督、オ・レアルの戦いでム・エ・バの率いる先住民反乱軍を撃破/600人を虐殺
- 1589年12月31日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正17年11月24日|豊臣秀吉が小田原城主の北条氏直に宣戦布告状を送り、諸大名に出陣の準備を命じる
- 1590年-08:00|マレーシア| |||<死去>ハ・ハン・スルタン「アブドゥル・カテール・アラウデ・イン・シャー」
- 1590年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハ・ハン・スルタン「アフマド・シャー2世」(~1592年)
- 1590年-06:30|ミャンマー/タイ| |||アウチャ朝のナレスエン王がビルマ軍を撃退
- 1590年-05:30|インド| |||<建国>ラムナト 国
- 1590年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カ・イ・オルダ・ハン「Ur Muhamed Khan」(~1597年)
- 1590年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||ホラサンの戦いで、サファビ朝がブハラ・ハン国を撃破
- 1590年-04:00|ジョージア| |||<復位>イメリエ王「ロストム」(~1605年)
- 1590年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィ朝大宰相「ミルザ・ロトフ・オラ・シラン」=>「ミルザ・ハテム・ベグ・ナシリ・オルト・カハデイ」(~16100528)
- 1590年-03:30|イラン| |||<即位>ハ・ダ・スハニド朝 (Kojur) 君主「Jahangir4世」(~1598年殺される)
- 1590年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハ・ケ・ダット・クリス「シカ・ラザート・ユフ・シナン・ハ・シャ」(~1594年)
- 1590年-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「カラ・ユウ・エイ・ハ・シャ」
- 1590年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテ・イア公「ジ・ローモ・カヘッロ」(~1592年)
- 1590年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハドゥム・ハフス・アフメド・ハ・シャ」(~1594年)
- 1590年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「エリック・カブリエルソン・オクセンステイナ」(~1592年7月)
- 1590年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・クリス(総督)「コカ・シナン・ハ・シャ」(~同年) =>「ハサン・ハ・シャ」(3期目~1591年)
- 1590年-02:00|レバノン| |||レバノンでファル・アッデ・イーン2世が台頭
- 1590年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ス・フィー・メフメド・ハ・シャ」(~1591年)
- 1590年-01:00|ベナン| |||<即位>アラダのフォン王国国王「テ・コホン」(~1610年頃)
- 1590年-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公(ハプスブルク家のインナー・エスターライヒ公)フェルディナント2世(~1637年) 1619年、インナー・エスターライヒ公フェルディナント2世が神聖ローマ皇帝に選出された後、ケルテン公領は再び他のハプスブルク家領と統合、以後神聖ローマ皇帝がケルテン公を兼ねた
- 1590年-01:00|スウェーデン/ロシア| |||ロシアがスウェーデンと戦争
- 1590年 00:00|トゴ| |||<就任>アグハ・ナンキン摂政「ジョント」(~1630年)
- 1590年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール暫定首長「ベルキョール・ダ・フランカ」「シモン・ロベ・ス・デ・メントンカ」(~1591年6月)
- 1590年 00:00|マリ| |||<即位>マリ帝国マンサ「Mahmud4世」(~1610年)
- 1590年 00:00|イギリス| |||ス・ンサーが「神仙女王」を刊
- 1590年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督「ファン・ベラスケス・ラミロ・デ・ロケ・ロサン」(~1591年)
- 1590年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、ベレス・デ・ラ・チョルテカ州暫定市長「ベト・ロ・ヒロン・デ・アルハラト」(~1593年)
- 1590年 06:00|アメリカ| |||先住民五か国がイロコイ連盟を結成、モーク族、オナイダ、オノダガ、カユガ族、セネカ族が参加する。支配地域はニューヨーク、ペンシルバニア、オハイオ、ニュージャージー、カナダにまたがる
- 1590年1月1日 03:00|ブラジル| |||デ・ハ・ロズ軍、先住民反乱部隊の本拠地カチを占領
- 1590年1月1日-09:00|日本|熊本県天草市|天正17年11月25日|加藤清正・小西行長、肥後本渡城(天草伊豆守)を攻略、天草一揆を平定
- 1590年1月5日-01:00|フランス| |||ホルト-議会在、アンリ・ドゥ・ナヴァルを国王と宣言
- 1590年1月6日-09:00|日本|茨城県|天正17年12月1日|陸奥/岩城常隆が田村領の侵略地を返還し、伊達政宗に服従
- 1590年1月8日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「カエテ侯爵ガルシア・ウルタ・デ・メントーサ」(~15960724)
- 1590年1月8日-09:00|日本|栃木県芳賀郡益子町|天正17年12月3日|下野国宇都宮城主宇都宮国綱が同国の中堂城主益子入道睡虎を攻略
- 1590年1月13日-09:00|日本|鳥取県|天正17年12月8日|<拝領>因幡国内4万3600石・但馬国二方郡内7370石、合計50970石「宮部継潤」
- 1590年1月20日-08:00|フィリピン/ペルー| |||ペルー副王カエテ侯爵ガルシア・ウルタ・デ・メントーサがフィリピンに交易船を派遣
- 1590年1月21日 00:00|イギリス/デンマーク| |||デンマークはシエランド 諸島・オーケー諸島の主権を放棄
- 1590年1月26日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<死去>ヌエバ・イスパニヤ副王「ヒンシヤンリカ侯爵アルバ・ロ・マンリケ・デ・スニガ」
- 1590年1月27日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「サンティアゴ 伯爵ルイス・デ・ベラスコ」(1回目~15951104)
- 1590年2月2日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「シュテファン」共同統治(~15910819)
- 1590年2月5日-09:00|日本|鹿児島県始良郡湧水町|天正18年|<移転>日向飯野城主「島津義弘」=>大隅栗野城主
- 1590年2月5日-09:00|日本|埼玉県川越市|天正18年|「随風」が無量寿院北院<天台宗>に住み豪海僧正に師事し「天海」と改名
- 1590年2月5日-09:00|日本|千葉県いすみ市|天正18年1月|正木大膳亮、土岐氏の万喜城を攻めるが追い払われた

1590迄 (2237件)

- 1590年2月12日-09:00|日本|佐賀県|天正18年1月8日|<拝領>長島庄、有田、小城東郷等19700石余「後藤家信」(~元和8年4月2日(16220512)死去)
- 1590年2月12日-09:00|日本|福島県白河市|天正18年1月8日|常陸国の佐竹義重の嫡子義宣が陸奥国の白河に出陣し、浅川城主浅川次郎左工門を攻める
- 1590年2月15日-09:00|日本|静岡県静岡市|天正18年1月11日|徳川秀忠、小姫(織田信雄の娘・豊臣秀吉の養女)と婚儀
- 1590年2月21日 00:00|イギリス| ||<死去>カリック伯「アンブローズ・ダドリー」
- 1590年2月23日-09:00|日本|千葉県いすみ市|天正18年1月19日|安房国岡本城主里見義康、上総国鳥山城主正木時茂が上総国万喜城主土岐頼春を攻撃したが敗北
- 1590年2月25日-09:00|日本|東京都|天正18年1月21日|徳川秀忠、小姫(織田信雄の娘・豊臣秀吉の養女)と婚儀
- 1590年3月3日-01:00|オランダ| ||モリッツ軍がネーデルラントのブレダを占領/ブレダはネーデルラント連邦共和国が管理(~1625年)
- 1590年3月5日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正18年1月29日|常陸国筑波郡手子生城主小田氏治入道天菴は自ら軍を率へて小田城を取り戻さんと小田の城外なる樋口に進み梶原美濃守景国、太田源三郎資武等と戦い之れを破ったが、新治郡片野城主太田資正入道三楽斎道誉が樋口に来て景国、資武ら兄弟を救ひ出して小田城内に引き退き、天菴も手子生城に引き揚げる
- 1590年3月12日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年2月7日|小田原攻めの先鋒徳川家康の先陣として本多忠勝・榊原康政・井伊直政らが出陣し、小田原征伐の幕が切って落とされる
- 1590年3月14日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ4世、「イガリの戦い」(パリ南郊イガリ=ジュルセ=ヌー)で「マイエヌ公」シャル・ド・ロレヌ率いる「カリック同盟軍」を破る
- 1590年3月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李山海」(~15920610)
- 1590年3月21日-03:30|イラン/トルコ| ||オスマン朝とサファヴィー朝が、1578年以來の戦争を終結させて和約を結ぶ
- 1590年3月21日-09:00|日本| ||天正18年2月16日|夜、諸国に大地震が起り、安房や上総の両国に津波が起る
- 1590年3月30日 05:00|ロシア/スペイン| ||<就任>ヌバケラナ大統領・総督・総司令官「アントニオ・ゴンサレス」(~1597年8月)
- 1590年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「フランチェスコ・ジャンネーニ」「ジヤンパツティスタ・ファブリ」
- 1590年4月8日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正18年3月4日|豊臣水軍が伊豆長浜城を攻撃、占領/その後西伊豆の拠点を制圧しながら南下する
- 1590年4月14日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正18年3月10日|<所領安堵>出羽角館44300石「戸沢盛安」(~天正18年6月6日(15900707)死去)
- 1590年4月16日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正18年3月12日|北相木の白岩砦で依田能登守(頼房)と伴野貞長は蜂起
- 1590年4月19日-09:00|日本|群馬県安中市|天正18年3月15日|北国勢(前田利家・上杉景勝・真田昌幸・依田康国)が碓氷峠へ進軍、松井田城の大道寺隊と交戦勝利
- 1590年4月21日-09:00|日本|長野県佐久市|天正18年3月17日|依田康国は勝間城(稲荷山城)に陣取り家臣の伴野小隼人・平尾平三・依田長右衛門等が相木頼房・伴野貞長の隊をつき相木勢は380余名の戦死者を出し伴野貞長は戦死、相木能登守は上州に逃れた
- 1590年4月22日-09:00|日本|群馬県安中市|天正18年3月18日|大道寺政繁、北国軍に碓氷峠撤退させられ、1500名で松井田城に籠城北
- 1590年4月22日-09:00|日本|福島県相馬郡新地町|天正18年3月18日|相馬義胤弟の中村城代・相馬隆胤の兵が駒ヶ嶺を攻めて敗北
- 1590年4月24日-09:00|日本|群馬県安中市|天正18年3月20日|<松井田城の戦い(上野国)>前田利家・上杉景勝・真田昌幸らの北国勢は松井田城に総攻撃を仕掛けるが落城せず
- 1590年4月29日-09:00|日本|茨城県稲敷市|天正18年3月25日|佐竹軍は先づ木原を攻め二陣は龍ヶ崎を攻め、一陣、三陣のみにて江戸崎を取込めんとす/阿波崎城に到る土岐治綱深傷に堪えず遂に自決
- 1590年5月1日-09:00|日本|青森県つがる市|天正18年3月27日|<本領安堵>陸奥津軽郡一円45000石(陸奥大浦城主)「津軽為信」(⇒文禄3(1594)年、陸奥弘前(堀越城)47000石)
- 1590年5月3日-09:00|日本|愛知県一宮市|天正18年3月29日|<拝領>尾張黒田3万5千石「一柳直盛(直末の弟)」(~慶長6(1601)年伊勢神戸へ)
- 1590年5月3日-09:00|日本|岐阜県本巣市|天正18年3月29日|<死去廃絶>美濃軽海西城60000石「一柳直末」45歳、銃弾により戦死(無嗣)
- 1590年5月3日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|天正18年3月29日|織田信雄・蒲生氏郷・福島正則・細川忠興ら(40,000)が葦山城(北条氏規)を攻撃/細川忠興が葦山城の外郭を破る
- 1590年5月3日 02:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|天正18年3月29日|徳川勢は鷹之巣城を落とす
- 1590年5月3日 02:00|日本|静岡県三島市|天正18年3月29日|<山中城合戦>朝8時30分頃、豊臣秀次軍、山中城岱崎出丸へ突入開始/援軍で駆け付けていた北条勢の間宮康俊、間宮信冬は岱崎出丸を守備し、一柳直末を討ち取る活躍も見られたが、まず岱崎出丸が陥落し、間宮康俊は討死/三の丸も大きな抵抗をせずに陥落/本丸も程なく破られ、残った北の丸での攻防の末、城主・松田康長も戦死/北条勢は約2000名が命を落とし、開戦から2時間30分後の朝11時には勝敗が決した/北条氏勝は城を脱出し、僅かな供と一緒に本拠である玉縄城へ戻り、籠城
- 1590年5月4日-09:00|日本|静岡県駿東郡小山町|天正18年4月1日|徳川家康配下の井伊直政軍が足柄城を攻撃/山中城の落城を知った城主・北条氏光は小田原城へ撤退/井伊直政が足柄城を占領
- 1590年5月5日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年4月2日|豊臣秀吉軍が北条方の根府川城を落とす

1590迄 (2237件)

1590年5月7日-01:00|フランス| |||アンリ4世がパリを包囲

1590年5月10日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正18年4月7日|伊達政宗が弟を立てようとした母から黒川城で謀殺されかけ、弟の小次郎を斬殺

1590年5月12日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年4月9日|小田原城に立て籠もっていた皆川広照が、豊臣方に投降

1590年5月14日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|天正18年4月11日|茶人山上宗二、箱根湯本で秀吉によって耳と鼻をそがれたうえで、処刑される。宗二は千利休の弟子。秀吉の悪口を当人目の前にはばからずに怒りを買ったという

1590年5月14日-09:00|日本|神奈川県横浜市港北区|天正18年4月11日|徳川家康、放棄された小机城を接收

1590年5月15日-09:00|日本|群馬県安中市|天正18年4月12日|真田昌幸、信幸とその手勢を連れ碓氷峠に行き、苦戦の末80人を倒す

1590年5月15日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|天正18年4月12日|豊臣秀吉軍が北条方の松山城を落とす

1590年5月16日-09:00|日本|神奈川県三浦市|天正18年4月13日|房総の里見家が北条氏を裏切り三浦半島上陸開始

1590年5月17日-09:00|日本|群馬県甘楽郡下仁田町|天正18年4月14日|甲州勢が下仁田町目明石の西牧城を落とす

1590年5月20日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|天正18年4月17日|前田利家率いる北陸道軍分遣隊藤田信吉が国峰城、攻略

1590年5月20日-09:00|日本|群馬県富岡市|天正18年4月17日|北方隊が宮崎城を攻略

1590年5月22日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正18年4月19日|前田利家・上杉景勝らの大軍に包囲され和田城が開城

1590年5月22日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正18年4月19日|前田利家率いる北陸道軍分遣隊浅野長政ら厩橋城、攻略

1590年5月23日-09:00|日本|群馬県安中市|天正18年4月20日|<松井田城合戦>上杉勢の前田利家、上杉景勝らが上野国の松井田城主大道寺駿河守政繁を降服させて攻略

1590年5月24日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天正18年4月21日|徳川家康が武蔵玉縄城(山中城から脱出した北条氏勝が籠城していた)を説得、開城させる

1590年5月25日-09:00|日本|東京都千代田区|天正18年4月22日|<江戸城の戦い>徳川家康が江戸城を説得、開城させる/北条氏勝は降伏

1590年5月26日-09:00|日本|静岡県下田市|天正18年4月23日|九鬼嘉隆、脇坂安治らが下田城(清水康英)を攻略

1590年5月26日-09:00|日本|福島県相馬郡新地町|天正18年4月23日|相馬盛胤・義胤父子は新地城を攻めて失敗

1590年5月27日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正18年4月24日|北方隊は上野箕輪城を攻め落とした

1590年5月29日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正18年4月26日|<石倉城の戦い>松平修理大夫康国と倉賀野淡路守が戦い松平康国が勝利

1590年5月29日-09:00|日本|長野県小諸市|天正18年4月26日|<死去>信濃国小諸城6万石「依田康国」小田原戦役で戦死⇒弟の「松平康貞」が継ぐ(⇒8月1日上野藤岡に移封)

1590年5月30日-09:00|日本|東京都千代田区|天正18年4月27日|武蔵国江戸城の川村兵大夫は徳川家康の説得によって城を開け渡して降伏し攻略

1590年5月31日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正18年4月28日|北国勢が唐沢山城を開城させる

1590年6月1日-08:00|フィリピン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「コ・ヌ・ベ・リス・ダ・ス・マリニヤス」(~15931025死去)

1590年6月1日-09:00|日本|群馬県太田市|天正18年4月29日|北条方が金山城を放棄

1590年6月1日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正18年4月29日|佐竹義宣、宇都宮国綱軍によって、下野鹿沼城、攻略される

1590年6月1日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正18年4月29日|佐竹義宣、宇都宮国綱軍によって、下野壬生城、攻略される

1590年6月4日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年5月3日|北條家臣広沢秀信が、小田原城を包囲する蒲生氏郷の陣所に夜討ちをかける。氏郷は自ら槍を取って応戦し、城内に逃げ込んだ広沢を追撃

1590年6月4日-09:00|日本|埼玉県川越市|天正18年5月3日|武蔵河越城の大導寺政繁が豊臣秀吉軍に降伏開城

1590年6月6日-09:00|日本|茨城県牛久市|天正18年5月5日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は小田原方の牛久城(岡見治広)を落とす

1590年6月6日-09:00|日本|茨城県守谷市|天正18年5月5日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は小田原方の守谷城(相馬治胤)を落とす

1590年6月6日-09:00|日本|千葉県松戸市|天正18年5月5日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は小田原方の小金城を落とす

1590年6月9日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正18年5月8日|上杉景勝・浅野長政らは皆川城を攻め落城させた

1590年6月11日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正18年5月10日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は臼井城を落とす

1590年6月11日-09:00|日本|千葉県千葉市|天正18年5月10日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は土気城を落とす

1590年6月11日-09:00|日本|千葉県東金市|天正18年5月10日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は東金城(酒井定長)を落とす

1590迄 (2237件)

- 1590年6月12日-09:00|日本|栃木県小山市|天正18年5月中旬|関東勢の結城晴朝軍が北條方の下野・小山城(小山政種)を攻撃、占領
- 1590年6月12日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正18年5月11日|結城晴朝が北条方についた小山秀綱の榎本城を攻略
- 1590年6月15日-09:00|日本|福島県相馬市|天正18年5月14日|相馬隆胤が黒木宗元・亙理重宗の兵と塚部(相馬市)の小豆畑で戦い敗北、童生淵(相馬市)で討死
- 1590年6月16日-09:00|日本|群馬県渋川市|天正18年5月15日|北国勢が白井城を占領
- 1590年6月19日-09:00|日本|千葉県印旛郡酒々井町|天正18年5月18日|浅野長政・内藤家長(徳川家臣)らによる下総方面軍は本佐倉城を落とす
- 1590年6月21日-09:00|日本|茨城県稲敷市|天正18年5月20日|浅野長吉、佐竹義宣、宇都宮国綱、結城晴朝らが、常陸江戸崎(土岐治綱)・龍ヶ崎(土岐胤倫)を攻略
- 1590年6月23日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天正18年5月22日|浅野長吉、本多忠勝らが北条氏房配下の武蔵・岩槻城(太田氏房の留守居伊達房実)を攻撃占領
- 1590年6月23日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|天正18年5月22日|武蔵松山城を石田三成、真田昌幸軍が攻略
- 1590年6月25日-09:00|日本|茨城県結城市|天正18年5月24日|<所領安堵>下総結城11万5千石「結城晴朝」配下の多賀谷、水谷氏らの諸将と共に豊臣秀吉の本陣に参陣
- 1590年6月28日-09:00|日本| ||天正18年5月27日|佐竹義宣・宇都宮国綱・結城朝勝が小田原に参陣し、本領を安堵される
- 1590年6月28日-09:00|日本|福井県越前市|天正18年5月27日|<死去>越前北ノ庄18万石「堀秀政」38歳、小田原早川口の陣中で病歿⇒長男の「堀秀治」が16万石継ぐ(⇒慶長3(1598)年4月、越後国春日山に転封)
- 1590年6月30日-07:00|タイ| ||<死去>アユタヤ王朝第20代国王「サハット1世マハタムラーチャーティラト(マハタムラーチャー)」
- 1590年6月30日-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第21代国王「サハット2世ナレスワン」(~16050425死去)
- 1590年6月30日-09:00|日本|群馬県館林市|天正18年5月29日|石田三成、大谷吉継、長束正家に関東の諸将を加えた軍勢が上野館林城を攻略
- 1590年7月2日-09:00|日本|青森県三戸郡南部町|天正18年6月|<法師岡合戦>九戸派部将の櫛引清長、南部派部将の南盛義に勝利、南盛義は討死
- 1590年7月2日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天正18年6月|<復帰>小弓公方「足利頼純」(~3か月間)
- 1590年7月2日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|天正18年6月1日|豊臣秀吉軍の織田信雄・蒲生氏郷・細川忠興・福島正則ら韮山城の下丸を陥落
- 1590年7月4日 00:00|チャネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー・知事「Anthony Paulet」(~16000722死去)
- 1590年7月7日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正18年6月6日|<死去>北浦郡4万4000石「戸沢盛安」戸沢氏18代当主(生年1566年)⇒弟の光盛が継ぐ
- 1590年7月9日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年6月8日|北条家臣松田憲秀と長男の笠原政晴、秀吉に内応
- 1590年7月10日-01:00|オーストリア/ドイツ| ||<死去>内オーストリア大公・シュターアマルク公・ケルテン公「カール2世」
- 1590年7月10日-01:00|スロベニア| ||<死去>カネオラ公「カール2世」
- 1590年7月10日-01:00|オーストリア/スロベニア/ドイツ| ||<即位>インナーエスターライヒ公・ケルテン公・カネオラ公「フェルディナント2世」(~16370215死去)
- 1590年7月10日-01:00|オーストリア| ||<即位>シュターアマルク公「フェルディナント1世」(~16370215以降はオーストリア大公と一致)
- 1590年7月10日-09:00|日本|山形県|天正18年6月9日|伊達政宗が豊臣秀吉に対面を許され臣従、会津を没収される代わりに本領は安堵される
- 1590年7月12日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年6月11日|<忍城の戦い>忍城、石田三成の総攻撃を撃退
- 1590年7月14日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|天正18年6月13日|豊臣秀吉軍の織田信雄・蒲生氏郷・細川忠興・福島正則ら韮山城の5つの端城を陥落
- 1590年7月15日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|天正18年6月14日|前田利家、上杉景勝、浅野長吉、木村重茲らが武蔵国鉢形城主北條氏邦を攻め降伏させ攻略/北条氏邦は助命され、前田家の家臣となる
- 1590年7月17日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年6月16日|松田憲秀の長子であった笠原政晴が数人の同士とともに豊臣側に内通していたことを、政晴の弟の松田直秀が氏直に報告して発覚/政晴は氏直により成敗された
- 1590年7月17日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年6月16日|豊臣方の石田三成らが武蔵忍城南に堤を築き水を導くが、折からの大雨で堤の西端が決壊、自軍に被害が出る
- 1590年7月19日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年6月18日|<忍城の戦い>豊臣方石田三成に水攻めされ、降り続いた豪雨の影響で本丸まで水没しそうになったが、これを防ぐ為に下忍口守備の本庄泰展は配下の脇本利助、坂本兵衛らに堤防を破壊させ、水が溢れ出し豊臣軍約270人が死亡
- 1590年7月21日-09:00|日本|長崎県長崎市|天正18年6月20日|天正遣欧少年使節団、長崎に帰還、使節に同行したウァリニャーノによって活字印刷機など南蛮技術がもたらされる
- 1590年7月23日 11:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年6月22日|夜、雨の中、小田原城の曲輪(篠曲輪)を井伊直政が攻撃して制圧
- 1590年7月24日-09:00|日本|東京都八王子市|天正18年6月23日|<八王子城の戦い>前田利家・上杉景勝が北条氏照配下の武蔵国八王子城を攻撃、半日で落城させる/八王子城は領民1000名も戦闘に参加し、全滅/城代の横地監物は落城前に檜原村に脱出したが、小河内村付近にて切腹
- 1590年7月25日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|天正18年6月24日|<韮山城合戦>(3月29日~)織田信雄、北条氏規の伊豆韮山城を包囲/北条氏規は孤立無援の中で豊臣軍相手に死闘を展開/韮山城降伏

1590迄 (2237件)

- 1590年7月26日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年6月25日|豊臣秀吉が石垣山に本陣を移す/豊臣秀吉、早雲寺を焼き討ち
- 1590年7月26日-09:00|日本|神奈川県相模原市|天正18年6月25日|本多中務大輔忠勝、平岩親吉らが相模国の津久井城の内藤左近太夫を破り攻略
- 1590年7月27日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年6月26日|豊臣秀吉は大坂から職人を呼び寄せ、小田原城の西にある笠懸山に石垣造りと天守の石垣山城を完成させる
- 1590年7月30日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年6月29日|武藏国埼玉郡行田の忍城主成田氏長は小田原に籠城をして居たが、遂に叛して小田原の城中より豊臣秀吉に書状を送って内通。成田氏長が降伏
- 1590年7月31日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正18年7月|浅野長吉、佐竹義宣、宇都宮国綱、結城晴朝らが、常陸土浦城を攻略
- 1590年7月31日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年7月1日|<忍城の戦い>豊臣方援軍の浅野長政は忍城行田口で城兵に猛攻を加えられ敗走
- 1590年8月2日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正18年7月3日|伊達政宗が黒川城を明け渡す
- 1590年8月4日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年7月5日|北条氏政・氏直親子が豊臣秀吉に降伏し小田原城を開城/土気城の城兵も降伏し浅野長政に接收された/北城氏重臣の松田憲秀が不忠を咎められて秀吉の命で切腹
- 1590年8月4日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正18年7月5日|前田利家率いる北陸勢に攻められ倉賀野城降伏
- 1590年8月4日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年7月5日|<忍城の戦い>忍城持田口で長束正家、浅野長吉、真田昌幸らが敗退/佐間口で大谷吉継、宇都宮国綱らが敗退/下忍口で石田三成、佐竹義重らが敗退
- 1590年8月6日-09:00|日本|栃木県小山市|天正18年7月7日|下総国結城城主結城晴朝が下野国小山祇園城主小山小四郎政種を攻め破って攻略。その後宇都宮領にも侵攻、鹿沼・壬生などを横領
- 1590年8月7日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正18年7月8日|<死去>下野壬生領主「壬生義雄」絶滅
- 1590年8月10日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年7月11日|<死去>北条氏政(53)・氏照(50)が抗戦の責任を問われ医者田村安栖の宿所で切腹/北條氏直、氏規、氏勝らは高野山に入って隠居し北條氏は滅亡
- 1590年8月11日-09:00|日本|東京都西多摩郡檜原村|天正18年7月12日|北条方支城檜原城が落城
- 1590年8月12日-09:00|日本|愛知県清須市|天正18年7月13日|<改易>尾張清洲100万石「織田信雄」(家康の旧領へ移ることを拒絶して秀吉の怒りにふれ、常陸の佐竹氏に預けられ剃髪)
- 1590年8月12日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正18年7月13日|<加増移封>美濃国10万石「池田輝政」→三河国4郡(吉田城)15万2千石(⇒慶長5(1600)年播磨姫路52万石)
- 1590年8月12日-09:00|日本|神奈川県|天正18年7月13日|<改易>相模国(小田原城)「北条氏直」
- 1590年8月12日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|天正18年7月13日|<拝領>遠江横須賀3万石「渡瀬繁詮」(のち5千石を加増~文禄4(1595)年改易切腹)
- 1590年8月12日-09:00|日本|埼玉県|天正18年7月13日|<移封>諏訪「諏訪頼忠」⇒武蔵比企郡奈良梨・児玉郡蛭川・埼玉郡羽生1万2千石(徳川家康の与力)
- 1590年8月12日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正18年7月13日|<加増移封>大溝1万石「京極高次」⇒近江八幡2万8千石(⇒文禄4年(1595)年、近江大津城6万石)
- 1590年8月12日-09:00|日本|千葉県|天正18年7月13日|<減封>上総没収、安房一国(岡本城)4万石「里見義康」(⇒天正19(1591)年11月館山城に移転⇒慶長2(1597)年9万1千石に高直し)
- 1590年8月12日-09:00|日本|長野県飯田市|天正18年7月13日|<拝領>信濃(伊奈郡)飯田7万石「毛利秀頼」(⇒同年10万石に高直し~文禄2年間9月17日(1593/109)死去)
- 1590年8月12日-09:00|日本|長野県小諸市|天正18年7月13日|<拝領>信濃小諸5万石「仙石秀久」大名復帰(⇒文禄3(1594)年、7000石加増)
- 1590年8月12日-09:00|日本|長野県諏訪市|天正18年7月13日|<拝領>信濃高島2万7千石「日根野高吉」(~慶長5年6月26日(1600/805)死去)
- 1590年8月12日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天正18年7月13日|<移封>三河国刈谷城「水野忠重」⇒伊勢国神戸4万石(⇒文禄3(1595)年三河刈谷城2万石)
- 1590年8月12日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天正18年7月13日|<拝領>伊勢神戸2万「瀧川雄利(木造具康の子)」(⇒文禄3(1594)年7000石加増⇒文禄4(1595)年、伊勢員弁郡5000石加増⇒慶長5(1600)年改易)
- 1590年8月15日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年7月16日|<忍城の戦い>武藏国埼玉郡の忍城兵らは水攻めを受けたが屈せず固守して居たが、小田原に籠城して居た主君成田氏長より降伏の論告を受けて遂に代官の酒巻鞆負は開城して攻略
- 1590年8月17日-01:00|ドイツ|||<死去>「ハテンドゥルハ辺境伯「ヤコフ」3世」
- 1590年8月17日-01:00|ドイツ|||<就任>「ハテンドゥルハ辺境伯「エルスト・ヤコフ」」(~1591/529死去)
- 1590年8月18日-09:00|日本|埼玉県川越市|天正18年7月19日|<死去>北条氏の重臣大道寺政繁が豊臣秀吉の命により武蔵河越常楽寺にて自刃(58)
- 1590年8月19日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正18年7月20日|北條氏直はじめ、太田氏房、千葉直重、北条直定、北条氏規、北条氏忠、北条氏光、松田直秀、遠山直吉、大道寺直繁らが高野山に配流(8月12日入山)
- 1590年8月21日-09:00|日本|福島県いわき市|天正18年7月22日|<死去>陸奥磐城平120000石「岩城常隆」⇒養子の「岩城貞隆」が継ぐ(同年所領安堵)
- 1590年8月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正18年7月26日|<拝領>三河岡崎5万7400石「田中吉政」(~慶長5(1600)年筑後久留米へ)
- 1590年8月25日-09:00|日本|愛知県清須市|天正18年7月26日|<加増>近江国43万石「豊臣秀次」+尾張・北伊勢五郡(

1590迄 (2237件)

- 織田信雄の旧領)57万1737石(尾張・清洲城主となる)⇒100万石  
1590年8月25日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正18年7月26日|<加増移封>岐阜13万石「池田輝政」⇒三河吉田15万2千石  
1590年8月25日-09:00|日本|茨城県古河市|天正18年7月26日|<移封>信濃松本「小笠原秀政」⇒下総古河3万石(徳川家康の与力)(~慶長6(1601)年信濃飯田へ)  
1590年8月25日-09:00|日本|茨城県下妻市|天正18年7月26日|<所領安堵>常陸下妻6万石「多賀谷重経」(⇒慶長6(1601)年2月改易)  
1590年8月25日-09:00|日本|茨城県筑西市|天正18年7月26日|<所領安堵>下館城2万5千石「水谷勝俊」(⇒寛永16(1639)年、備中成羽藩に転封)  
1590年8月25日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正18年7月26日|<改易>常陸小田領主「小田氏治」豊臣秀吉の小田原征伐に参陣しなかったため/大名としての小田氏は完全に滅亡  
1590年8月25日-09:00|日本|茨城県結城市|天正18年7月26日|<交替>下総結城11万5千石「結城晴朝」隠居⇒養子の「結城秀康」が継ぐ(徳川家康の庶長子で秀吉猶子於義丸を外孫である水戸城主江戸重通の娘と娶わせる⇒後に小山・壬生・日光領加増し18万1千石⇒慶長5(1600)年越前北ノ庄68万石)  
1590年8月25日-09:00|日本|茨城県龍ヶ崎市|天正18年7月26日|<再封>常陸龍ヶ崎40000石「蘆名盛重(義勝・義広)」(⇒文禄4(1595)年江戸崎45000石~慶長5(1600)年所領没収)  
1590年8月25日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天正18年7月26日|<移封>遠江二股「大久保忠世」⇒相模小田原45000石(~文禄3年9月15日(15941028)死去)  
1590年8月25日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正18年7月26日|<拝領>上野箕輪12万石「井伊直政」(⇒慶長3(1598)年高崎城に移転)  
1590年8月25日-09:00|日本|群馬県館林市|天正18年7月26日|<拝領>上野館林10万石「榊原康政」(~慶長11年5月14日(16060619)死去)  
1590年8月25日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正18年7月26日|<所領安堵>上野沼田2万7千石「真田信之」(⇒慶長5(1600)年95000石に加増)  
1590年8月25日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年7月26日|<加増移封>駿河沼津4万石「松平忠吉(徳川家康の四男)」⇒武蔵忍10万石(~慶長5(1600)年尾張清洲へ)  
1590年8月25日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正18年7月26日|<拝領>武蔵国忍1万石「松平家忠」(⇒後下総国小見川)  
1590年8月25日-09:00|日本|埼玉県比企郡小川町|天正18年7月26日|<転封>信濃金子城「諏訪頼忠」⇒武蔵奈良梨12000石(⇒天正20(1592)年、上野総社に転封~同年隠居)  
1590年8月25日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正18年7月26日|<加増移封>近江国長浜城2万石「山内一豊」⇒遠江掛川5万1千石(⇒文禄3年9月21日(15941102)伊勢国鈴鹿郡[三重県鈴鹿市]1000石加増)  
1590年8月25日-09:00|日本|静岡県静岡市|天正18年7月26日|<加増移封>近江水口6万石「中村一氏」⇒駿河府中14万石(⇒慶長5年7月17日(16000825)病死)  
1590年8月25日-09:00|日本|静岡県浜松市|天正18年7月26日|<移封>近江佐和山「堀尾吉晴(可晴)」⇒遠江浜松12万石(⇒慶長4(1599)年10月1日、家督を次男の忠氏に譲って隠居)  
1590年8月25日-09:00|日本|千葉県旭市|天正18年7月26日|<移封>木曾「木曾義昌」⇒下総阿知戸1万石(徳川家康の与力)  
1590年8月25日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天正18年7月26日|<拝領>上総大多喜10万石「本多忠勝」(⇒慶長6(1601)年伊勢国桑名10万石)  
1590年8月25日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|天正18年7月26日|<移封>伊那高遠「保科正直」⇒下総多胡1万石(徳川家康の与力)  
1590年8月25日-09:00|日本|千葉県香取市|天正18年7月26日|<拝領>下総矢作4万石「鳥居元忠」(~慶長5年8月1日(16000908)戦死)  
1590年8月25日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正18年7月26日|<移封>三河吉田「酒井家次」⇒下総臼井37000石(~慶長9(1604)年上野高崎へ)  
1590年8月25日-09:00|日本|千葉県館山市|天正18年7月26日|<減封>上総・下総の所領没収⇒安房国館山4万石「里見義康」(~慶長5(1600)年、常陸国鹿島郡3万石加増され12万石)  
1590年8月25日-09:00|日本|東京都|天正18年7月26日|<加増移封>三河・遠江・駿河・甲斐・南信濃「徳川家康」⇒武蔵江戸250万石(⇒慶長8(1603)年征夷大将軍)  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天正18年7月26日|<所領安堵>下野国18万石「宇都宮国綱」(⇒慶長2年10月13日(15971122)改易)  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県大田原市|天正18年7月26日|<所領安堵>下野黒羽1万石「大関高増」+息子晴増に3千石(~慶長3年1月14日(15980219)死去)  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県小山市|天正18年7月26日|<改易>下野祇園城「小山秀綱」小田原城攻めに際しては、北条氏方として行動したため  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正18年7月26日|<失領>下野唐沢山領主「佐野(北条)氏忠」  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正18年7月26日|<所領安堵>下野佐野3万9千石「佐野房綱(天徳寺宝衍)」(⇒天正20(1592)年9月22日、政綱(信種が改名)に家督を譲って隠居)  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正18年7月26日|<所領安堵>下野皆川13000石「皆川広照」(⇒慶長8(1603)年、信濃飯山75000石に転封)  
1590年8月25日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天正18年7月26日|<改易>下野烏山8万石「那須資晴」小田原征伐に

1590迄 (2237件)

遅参したため/資晴の子・那須資景に5千石を宛がわれ滅亡は免れる

- 1590年8月25日-09:00|日本|長野県上田市|天正18年7月26日|<所領安堵>信濃上田3万8千石「真田昌幸」(⇒慶長5(1600)年改易高野山に蟄居)
- 1590年8月25日-09:00|日本|長野県松本市|天正18年7月26日|<移封>和泉国内8万石「石川数正」→信濃松本10万石(〜文禄元(1592)年12月死去)
- 1590年8月26日-09:00|日本|青森県|天正18年7月27日|<所領安堵>南部内七郡10万石「南部信直」
- 1590年8月27日-01:00|パチン| |||<死去>第227代ローマ教皇「シクストゥス5世」68歳(誕生15211213)イギリス女王エリザベスを破門し、日本の大友、有馬、大村の遣欧使節と交渉があった
- 1590年8月30日-01:00|フランス/スペイン| |||フェリペ2世の派遣したファルネゼのスペイン軍がパリに到着し、アンリ4世がパリの包囲網を解く
- 1590年8月30日-09:00|日本|愛知県犬山市|天正18年8月1日|<拝領>尾張犬山1万2千石「石川貞清」小田原の役で功績(〜慶長5(1600)年改易)
- 1590年8月30日-09:00|日本|茨城県水戸市|天正18年8月1日|<本領安堵>常陸太田城主「佐竹義宣」⇒常陸水戸25万5800石(⇒慶長7(1602)年出羽久保田205818石)
- 1590年8月30日-09:00|日本|茨城県守谷市|天正18年8月1日|<移封>甲斐巨摩郡切石1万石「明智定政」⇒下総相馬郡守谷1万石(⇒文禄2(1593)年「土岐定政」に改名⇒慶長2年3月3日(15970419)死去)
- 1590年8月30日-09:00|日本|香川県|天正18年8月1日|<拝領>讃岐半国「小笠原貞慶」(同年、秀吉の怒りを買って改易)
- 1590年8月30日-09:00|日本|東京都千代田区|天正18年8月1日|徳川家康(関東250万石余)この日関東に入国江戸城に入る(江戸御打入り)
- 1590年8月30日-09:00|日本|福井県南条郡南越前町|天正18年8月1日|<拝領>越前今庄2万石「赤座吉家」(〜慶長5(1600)年改易)
- 1590年8月30日-09:00|日本|三重県桑名市|天正18年8月1日|<加増移封>美濃三塚1万5千石「氏家行広」→伊勢桑名2万2千石(〜慶長5(1600)年改易)
- 1590年9月7日-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>オランダ総督「エドワード・ノリス卿」(〜1599年9月)
- 1590年9月7日-09:00|日本| |||天正18年8月9日|豊臣秀吉が会津黒川城に入り、豊臣秀次に検地を命じ奥州仕置を発令、ついに天下を統一する
- 1590年9月7日-09:00|日本|青森県弘前市|天正18年8月9日|<所領安堵>津軽三郡(大浦城)4万5千石「津軽為信」(〜文禄3(1594)年、大浦城から堀越城へ居城を移す)
- 1590年9月7日-09:00|日本|秋田県男鹿市|天正18年8月9日|<本領安堵>出羽脇本7万8500石「秋田実季」(⇒天正19(1591)年、52440石〜慶長7(1602)年常陸宍戸へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正18年8月9日|<所領安堵>出羽角館44300石「戸沢光盛」(〜天正20年3月15日(15920426)死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|秋田県横手市|天正18年8月9日|<所領安堵>出羽横手5万石「小野寺義道」(⇒翌年1月上浦郡31600石に減封)
- 1590年9月7日-09:00|日本|茨城県守谷市|天正18年8月9日|<移封>甲斐切石1万石「明智定政」→下総守谷1万石(⇒文禄2(1593)年土岐家を再興「土岐定政」に改名〜慶長2年3月3日(15970419)死去)/次に定義が嗣ぐ(〜元和3年撰津高槻へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|岩手県奥州市|天正18年8月9日|<改易>陸奥国江刺岩谷堂城主「江刺重恒」(小田原参陣を果たせなかったため)
- 1590年9月7日-09:00|日本|岩手県花巻市|天正18年8月9日|<改易>陸奥国稗貫郡「稗貫広忠」小田原参陣を果たせなかったため
- 1590年9月7日-09:00|日本|岩手県盛岡市|天正18年8月9日|<所領安堵>陸奥盛岡10万石「南部信直」(〜慶長4(1599)年10月5日死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県安中市|天正18年8月9日|<移封>三河野田「菅沼定盈」→上野国阿保城1万石(⇒慶長6(1601)年隠居)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天正18年8月9日|<拝領>上野那波1万石「松平家乗」(〜慶長6(1601)年1月美濃岩村へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県渋川市|天正18年8月9日|<拝領>上野白井2万石「本多康重」(〜慶長6(1601)年三河岡崎へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県高崎市|天正18年8月9日|<拝領>上野吉井2万石「菅沼定利」(〜慶長7年10月22日(16021205)死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県藤岡市|天正18年8月9日|<拝領>武蔵国・上野(藤岡城)3万石「依田康寛」(〜慶長5(1600)年改易)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正18年8月9日|<拝領>上野厩橋3万3千石「平岩親吉」(〜慶長6(1601)年甲斐府中へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正18年8月9日|<拝領>上野大胡2万石「牧野康成」(⇒慶長5(1600)年蟄居)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県加須市|天正18年8月9日|<拝領>武蔵騎西2万石「松平(松井)康重」(〜慶長6(1601)年常陸笠間へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県川越市|天正18年8月9日|<移封>三河西尾「酒井重忠」→武蔵川越1万石(〜慶長6(1601)年上野前橋へ)

1590迄 (2237件)

- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県北足立郡伊奈町|天正18年8月9日|<拝領>武蔵小室1万石「伊奈忠次」(~慶長15年6月13日(16100801)死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天正18年8月9日|<移封>駿河田中「高力清長」→武蔵岩槻2万石/次に忠房が嗣ぐ(-元和5年遠江浜松へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県深谷市|天正18年8月9日|<拝領>武蔵深谷1万石「松平康直」(~文禄2年10月29日(15931221)死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県深谷市|天正18年8月9日|<拝領>武蔵東方1万石「松平(戸田)康長」(⇒慶長6(1601)年上野白井へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県本庄市|天正18年8月9日|<拝領>武蔵国児玉郡八幡山(雉岡城)1万石「松平家清」(⇒慶長6(1601)年三河吉田3万石へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|埼玉県本庄市|天正18年8月9日|<拝領>武蔵本庄1万石「小笠原信嶺」(~慶長3年2月19日(15980326)死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県旭市|天正18年8月9日|<転封>信濃木曾谷領主「木曾義昌」⇒下総阿知戸1万石(~文禄4(1595)年2月13日死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県印旛郡酒々井町|天正18年8月9日|<拝領>下総本佐倉1万3千石「三浦重成」佐原から三浦に姓を改め(⇒慶長5(1600)年近江国浅井郡3千石加増⇒慶長10(1605)年甥の重次に近江の所領3000石を分与~寛永元(1624)年死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|天正18年8月9日|<拝領>下総多古1万石「保科正光」(⇒慶長5(1600)年11月信濃高遠へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県君津市|天正18年8月9日|<拝領>上総久留里3万石「松平(大須賀)忠政(榊原康政の長男)」(~慶長6(1601)年2月遠江横須賀へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正18年8月9日|<拝領>下総岩富1万石「北条氏勝」(~慶長16年3月24日(16110506)死去)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県山武市|天正18年8月9日|<移封>遠江掛川城「石川康通」⇒上総鳴戸2万石「石川康通」(~慶長6(1601)年美濃大垣5万石へ転封)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県野田市|天正18年8月9日|<拝領>下総関宿2万石「松平(久松)康元」(⇒天正19(1591)年4万石に加増)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県野田市|天正18年8月9日|<拝領>下総山崎1万2千石「岡部長盛」(~慶長14(1609)年8月丹波亀山へ)
- 1590年9月7日-09:00|日本|千葉県富津市|天正18年8月9日|<拝領>上総佐貫2万石「内藤家長」(~慶長5年8月1日(16000908)戦死)
- 1590年9月7日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正18年8月9日|<加増移封>伊勢松坂「蒲生氏郷」→会津黒川42万石(蘆名氏の旧領)「蒲生氏郷」(⇒翌年の再仕置で約92万石に加増)
- 1590年9月7日-09:00|日本|福島県石川郡石川町|天正18年8月9日|<改易>陸奥国石川「石川昭光」小田原参陣を果たせなかったため
- 1590年9月7日-09:00|日本|福島県いわき市|天正18年8月9日|<所領安堵>陸奥磐城平120000石「岩城貞隆」(~慶長7(1602)年改易)
- 1590年9月7日-09:00|日本|福島県白河市|天正18年8月9日|<改易>陸奥白河「白河(結城)義親」豊臣秀吉の小田原征伐に参陣しなかったため滅亡
- 1590年9月7日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天正18年8月9日|<改易>陸奥三春領主「田村宗顕」伊達家中とみなされ所領収公され田村郡は伊達領と認められた/田村氏は大名としての地位を失った
- 1590年9月7日-09:00|日本|福島県南相馬市|天正18年8月9日|<所領安堵>陸奥小高4万9234石「相馬義胤」(⇒慶長2(1597)年5月、居城を小高城から北の牛越城に移す~慶長7(1602)年5月17日改易)
- 1590年9月7日-09:00|日本|三重県亀山市|天正18年8月9日|<拝領>伊勢亀山2万2千石「岡本重政」(~慶長5(1600)年改易)
- 1590年9月7日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正18年8月9日|<改易>陸奥国大崎「大崎義隆」豊臣秀吉の小田原征伐に参陣できず/大崎氏は滅亡
- 1590年9月7日-09:00|日本|宮城県黒川郡大和町|天正18年8月9日|<改易>陸奥国黒川郡鶴楯城主「黒川晴氏」小田原参陣を果たせなかったため
- 1590年9月7日-09:00|日本|宮城県登米市|天正18年8月9日|<改易>陸奥登米寺池30万石「葛西晴信」小田原に参陣しなかったため
- 1590年9月7日-09:00|日本|宮城県登米市|天正18年8月9日|<拝領>葛西大崎30万石(寺池城(登米城))「木村吉清」(⇒翌年、葛西大崎一揆の責任を問われ改易)
- 1590年9月7日-09:00|日本|山形県山形市|天正18年8月9日|<所領安堵>出羽山形24万石「最上義光」(⇒慶長5(1600)年57万石に加増)
- 1590年9月7日-09:00|日本|山形県米沢市|天正18年8月9日|<滅封>奥羽約114万石から会津四郡、岩瀬郡、安積郡を没収⇒陸奥米沢72万石「伊達政宗」(⇒天正19(1591)年陸奥岩出山58万石)
- 1590年9月9日-09:00|日本|宮城県登米市|天正18年8月11日|豊臣秀吉の奥州仕置軍と葛西晴信が戦い、陸奥佐沼城が落城/領地没収
- 1590年9月15日-01:00|パキスタン| |||<就任>第228代ローマ教皇「ウルバヌス7世」(~9.27死去)
- 1590年9月21日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|天正18年8月23日|<拝領>上野小幡藩3万石「奥平信昌」(⇒慶長6(1601)年3月美濃国加納10万石)

1590迄 (2237件)

- 1590年9月21日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正18年8月23日|<庄内藤島一揆>上杉氏によって執行された出羽庄内地方での太閤検地に抵抗する藤島一揆が勃発
- 1590年9月27日-01:00|バチカン| |||<死去>第228代ローマ教皇「ウルバヌス7世」[1521年08月04日生~](享年69)
- 1590年10月-05:30|インド/パキスタン| |||アハメドがアブドゥルハミド指揮の軍隊を派遣してシンド地方を併合
- 1590年10月-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリコニア・ベイルベグ「サキリ・マフムド・パシャ」(3回目~1595年)
- 1590年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オラツィオ・ジャンニニ」「ジャンパツティスト・ベルツィイ」
- 1590年10月2日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正18年9月4日|伊達政宗・浅野長吉らが九戸政実の乱を平定/政実は捕らえられ護送中に誅殺
- 1590年10月2日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天正18年9月4日|<転封>三河国刈谷城主「水野忠重」⇒伊勢国神戸4万石
- 1590年10月5日-09:00|日本|滋賀県|天正18年9月7日|<加増>近江、美濃国内1万65石「富田知信(信広)」⇒上山城2万155石
- 1590年10月12日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天正18年9月14日|<死去>絵師狩野永徳(48)が襖絵を制作中に急死(誕生:天文12(1543)0113)
- 1590年10月18日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレスヴィヒ・ホルシュタイン公「フィリップ」
- 1590年10月18日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<就任>シュレスヴィヒ・ホルシュタイン公「ヨハン・アドルフ」(~16160313死去)
- 1590年10月19日-09:00|日本|秋田県|天正18年9月下旬|<仙北一揆>出羽の仙北地方と由利地方に検地反対の一揆が勃発/一揆勢力は各所に放火し、増田・山田・川連の古城に2万4,000名余が籠もった。一揆発生の際を聞いた景勝は、増田を攻撃したのに対し、一揆勢は山田・川連の両城から援兵を出し、防戦に努めた/上杉勢は2,000余の軍兵を川連城付近まで極秘裏に進軍させ、陣貝を合図にして一挙にせめて一揆勢を破った/川連・山田に籠城した一揆衆が降伏し、一揆はいったん平定
- 1590年10月29日-09:00|日本|秋田県仙北郡美郷町|天正18年10月|<仙北一揆>横手盆地中部の六郷において、大谷吉継配下の者が検地の縄を入れた際、百姓たちがしきりに訴訟し、検地を妨害するので大谷衆はその場で3名を見せしめのため斬殺し、5名を捕縛した。それに対し、怒りと怨嗟にかられて蜂起した農民が吉継の家臣を殺害、その数は50名から60名に達した。これを契機に一揆が再燃、仙北各地で蜂起
- 1590年10月29日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正18年10月|<藤島一揆>出羽の庄内地方で上杉景勝と大谷吉継の検地に対する不満から農民が反乱。一揆勢が藤島城に籠城
- 1590年10月31日-09:00|日本|静岡県袋井市|天正18年10月3日|<加増移封>丹波6000石⇒遠江久野1万6千石「松下之綱」(~慶長3年2月30日(15980405)死去)
- 1590年11月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのベイルベグ「ソフ・スイナン・パシャ」(1回目~15920131)
- 1590年11月1日-01:00|スペイン/ベルギー| |||スペインのベルギー副王領でアルカハラ(売上税)が導入
- 1590年11月11日-09:00|日本|秋田県仙北郡美郷町|天正18年10月14日|<仙北一揆>大谷勢を大森にのこし、上杉景勝およびその旗本1万2,000騎が出動して、鍋倉四郎以下2,000余名の籠もる増田の館を攻撃/一揆衆は上浦郡各地から集まって上杉軍を包囲したが、上杉勢は浅舞、柳田、川連、山田など一揆の拠点を攻略し、一揆衆の首1,580を討ち取った。上杉方も討死200余、負傷500余の被害
- 1590年11月13日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正18年10月16日|<葛西大崎一揆>旧葛西・大崎領地で改易に対する不満から旧臣や農民が反乱/一揆軍、岩手沢城を占拠/一揆軍はさらに木村吉清・清久父子を佐沼城に包囲/一揆勢は寺池城・名生城をも木村父子から奪取
- 1590年11月18日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルズベリ伯・ウォーターウオート伯「ジョージ・タルボット」
- 1590年11月18日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリ伯・ウォーターウオート伯「ギルバート・タルボット」先代の息子(~16160508死去)
- 1590年11月20日-09:00|日本|岩手県北上市|天正18年10月23日|<和賀・稗貫一揆>陸奥の和賀郡、稗貫郡で改易に対する不満から旧臣や農民が反乱/和賀義忠、稗貫広忠らが蜂起/和賀氏の元居城であった二子城の浅野長政代官・後藤半七を急襲して攻略し、和賀氏の旧領を奪回、鳥谷ヶ崎城を2千余名が包囲、城が天然の要害の地にありなかなか落城しなかった
- 1590年11月27日-09:00|日本|山梨県|天正18年11月|<転封>越前敦賀5万石「羽柴秀勝」⇒甲斐・信濃国2か国(翌年3月、美濃国岐阜に転封)
- 1590年12月3日-09:00|日本|岩手県花巻市|天正18年11月7日|南部信直は不來方城(後の盛岡城)に軍勢を集結させて、自らが500騎ほど引き連れて鳥谷ヶ崎城へ救援に駆け付け城を包囲している一揆勢に攻撃をしかけ囲みを解いた/南部軍は鳥谷ヶ崎に一旦入城したが積雪期が近づき、冬に城を護り通すのは困難であると判断、城を捨てて浅野重吉らを連れ南部氏居城の三戸城に撤退、鳥谷ヶ崎城を含め稗貫氏の旧領も一揆勢の手に渡った
- 1590年12月5日-01:00|バチカン| |||<就任>第229代ローマ教皇「グレゴリウス14世」(~15911016死去)
- 1590年12月12日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正18年11月16日|<名生城の戦い>蒲生氏郷は単独で一揆勢に落とされていた名生城を占領し、籠城して一揆及び政宗に備える
- 1590年12月17日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正18年11月下旬|<葛西大崎一揆(陸奥国)>伊達政宗が宮沢城を攻略
- 1590年12月17日-09:00|日本|宮城県栗原市|天正18年11月下旬|<葛西大崎一揆(陸奥国)>伊達政宗が高清水城を攻略
- 1590年12月20日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王室公式外科医で、近代外科学の父アンソワーズ・パレ(1510-)
- 1590年12月20日-09:00|日本|宮城県登米市|天正18年11月24日|<葛西大崎一揆(陸奥国)>伊達政宗、佐沼城を奪還し木村吉清・清久父子を救出し、両名を氏郷の居る名生城へ送り届けた
- 1590年12月27日-09:00|日本|千葉県松戸市|天正18年12月|<拝領>下総小金藩3万石「武田信吉」(⇒文禄2(1593)年

1590迄 (2237件)

下総国佐倉城10万石)

1590年12月27日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正18年12月|<拝領>越前敦賀2万余石「大谷吉継」⇒5万石(～慶長5年9月15日(16001021)戦死)

1590年12月27日-09:00|日本|北海道|天正18年12月|<所領安堵>蝦夷「蠣崎慶広」(蠣崎季広の三男)が上洛して豊臣秀吉に謁見(⇒慶長4(1599)年苗字を松前に改める)

1590年12月27日-09:00|日本| ||天正18年12月1日|<死去>安禅寺宮、誠仁親王第七王子(生年1580年)